Hondaインターナビシステム
取扱説明書

基本的な機能

ナビゲーション機能

通信機能

オーディオ機能

その他

説明書について

Honda インターナビシステムの取扱説明書は次の２部構成になっています。

取扱説明書

Honda インターナビシステムの基本的な機能を
わかりやすく記載しています。

デジタルオーナーズマニュアル（CD-ROM版）

Honda インターナビシステムの機能を十分ご理解いた
だけるようにすべての機能を詳しく説明しています。

お知らせ

この CD-ROM は Honda インターナビシステムでは
見ることができません。
CD-ROM ドライブが装着されているお手持ちのパソコ
ンでご覧になることができます。

このたびは Honda 車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この本は、Honda インターナビシステムについて
すべての機能を詳しく説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。

この本は 5 つの分類に分けて説明しています。
各分類の特徴は右記のとおりでインデックスの色分けは分類を説明しています。

お願い

- 車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
- 初期画面を表示した後に大切なメッセージを表示します。必ずお読みください。

お知らせ

- 操作パネル色や地図色の設定がこの本に記載の画像と異なる場合があります。色の設定の変更については、*「ナビ機能の設定を変える」(P422)* を参照してください。
- 仕様変更などにより、この本の内容と実車が一致しない場合もありますのでご了承ください。
- 画面の表示の色は撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。

基本的な機能 ･･･(A ～ D) 章
知っておくと役に立つ基本的な機能を説明

ナビゲーション機能 ･･･(E ～ J) 章
ナビゲーション機能に関する操作

通信機能 ･･･(K) 章
インターナビ・プレミアムクラブ機能に関する操作

オーディオ機能 ･･･(L ～ M) 章
音楽や映像の機能に関する操作

その他 ･･･(N ～ V) 章
その他の機能や専門用語、各機能の詳細な情報

安全にお使いになるために

Honda インターナビシステムの取り扱いを説明しています。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険	**指示に従わないと、 死亡または重大な傷害に至るもの**
警告	**指示に従わないと、 死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの**
注意	指示に従わないと、 傷害を受ける可能性があるもの

安全に関する記号

禁止（してはいけないこと）を示します。

その他の表示

ポイント

＊1・知っておくと便利な操作や情報

アドバイス

◆1・使いこなすために便利な操作や情報

関連する機能

関連する操作の参照ページを示します。

お願い

お車のために守っていただきたいこと。
Honda インターナビシステムをご使用いただく際に守っていただきたいこと。

警告

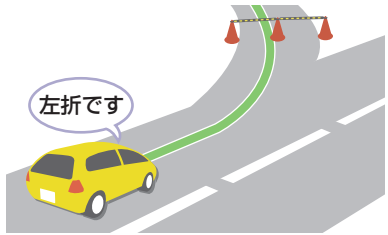
- テレビや DVD ビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。
  車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

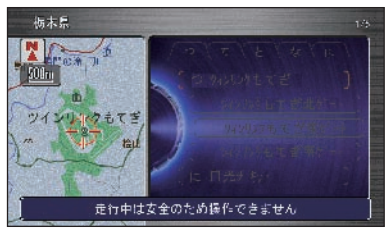
・安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。
また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お願い

・目的地 (自宅) への案内は、道路の状況や Honda インターナビシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。



・安全のために、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません」などのメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。



お願い

・停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。

・エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。エンジンを始動してからお使いください。

Honda インターナビシステム
デジタルオーナーズマニュアル

もくじ

基本的な機能

A B C D

知っておくと役に立つ基本的な機能を説明。

ナビゲーション機能

E F G H I J

ナビゲーション機能に関する操作。

通信機能

K

インターナビ・プレミアムクラブ機能に関する操作。

オーディオ機能

L M

音楽や映像の機能に関する操作。

その他

N O P Q R S T U V

その他の機能や専門用語、各機能の詳細な情報。

A 本書の見かた

この本の見かたについて説明しています。

14 本書の見かた
本書の構成と分類 14
表記と意味 15

16 知りたい機能の調べかた
メニュー名から探すとき 16
目的別に探すとき 16
操作手順から探すとき 16

B ナビゲーションのしくみ

Honda インターナビシステムについて説明しています。

20 こんなことができます

22 各部の名前とはたらき

24 ナビゲーションシステムについて
ナビゲーションシステムのしくみ...24

C 覚えておきたい基本操作

必要となる操作を説明しています。

26 ボタンの使いかた
プログレッシブコマンダーの操作...26
リストから項目を探すとき 27

29 地図の縮尺を切り換える
地図を詳しく／広く見る 29
市街地図を表示させる 30

31 見たい場所まで地図をスクロールする
地図をスクロールする 31

33 案内の音量を調節する

34 文字入力のしかた
1. 文字種を切り換える 34
2. 全角／半角を切り換える 34
3. 文字を入力する 35
4. 変換を行う 35
5. 文字入力を終了する 35
漢字表から入力する 36
文字を削除する 36
スペースを空ける 37
文字を挿入する 37
改行する 37

「もくじ」は次のページへつづきます >>

D はじめにする基本操作

まず最初に次の 3 つの操作を行ってください。

40 操作モードを選ぶ
ナビが初めての方には……40
いろんな機能を使いたい方へ……40
42 自宅を登録する
44 自宅の位置を変更する
45 自宅を消去する
46 地図の向きを決める
基本画面を設定する……46
右画面を設定する……48

E 表示に関すること

表示内容に関する見かたや変更方法について説明しています。

50 ナビゲーション画面の見かた
52 地図の見かた
地図表示について……52
VICS 情報表示について……54
56 いろいろなメニュー画面
「目的地 / ルート」ボタンを押したとき……56
「ナビメニュー」ボタンを押したとき…58
「画面 / 消」ボタンを押したとき…59
「AUDIO 表示」ボタンを押したとき…59
地図をスクロールしたとき（ポイントメニューの表示）……60
実行 を押したとき（ワンプッシュメニュー / カスタマイズメニューの表示）…61
62 地図の表示方法を変える
地図モードを切り換える……62
表示方法の種類……62
66 走行中に表示する案内
ルート案内中の表示……67
音声による誘導・案内……71
74 高速道路の施設を確認する
走行中の高速道路の施設を見る……74
77 行程ガイドの案内（交差点）情報を見る
次の案内地点（交差点）の情報を見る…77
79 施設の詳細な情報を確認する
建物の絵に合わせたとき……79
施設マーク / ユーザー施設マークに合わせたとき……80
自宅やよく行く地点、マークに合わせたとき……81
VICS 情報マークに合わせたとき…81
82 画面の表示を消す
ナビゲーション／オーディオ画面を消す……82
83 画面の明るさを変える

F 施設マークに関すること

コンビニやファーストフード店、ガソリンスタンドのマークを地図上に表示できます。

86 表示する施設マークを選ぶ
施設マークを分類ごとに選ぶ……86
施設マークの種類を詳細に選ぶ……87
施設マークをすべて表示／非表示にする……88
施設マークの位置を修正する……89
91 不要な施設マークを消す
施設マークを非表示にする……91
非表示にした施設マークを再び表示させる……92

「もくじ」は次のページへつづきます >>

93 あらたにユーザー施設マークを追加する
ユーザー施設マークを登録する 93
登録したユーザー施設マークを確認する 94
ユーザー施設マークを編集する 94
ユーザー施設マークを消去する 95

G 場所を登録する

目的地や経由地の設定に利用できるよく行く地点や目印になる場所を登録することができます。

98 よく行く場所を登録する
よく行く地点を登録する 98
よく行く地点を編集する 99
自宅やよく行く地点を確認する ... 101
よく行く地点を消去する 101
102 好みのマークで場所を登録する
マークを新規登録する 102
マークを編集する 103
マークを確認する 105
マークを消去する 105
マークリストをパーソナルホームページと同期する 107
マークの詳細情報を見る 108
109 通りたくない地域を登録する
回避エリアを登録する 109
回避エリアを編集する 110
回避エリアを確認する 111
回避エリアを消去する 111

H 場所を探す

ルートを設定するときや場所を登録するときの場所の探しかたを説明しています。

114 特定の施設を探す
施設名がわかっているとき 114
電話番号がわかっているとき 115
ジャンルから施設を探す 116
117 近くの施設を探す
近くにある施設を探す 117
ルート周辺の施設を探す 118
よく使う条件で周辺の場所を探す 119
121 友人・知人宅を探す
住所や地名がわかっているとき ... 121
122 駐車場を探す
都道府県別に探すとき 122
近くの駐車場を探すとき（駐車場セレクト） 123
駐車場セレクトを設定する 124
VICS 駐車場を確認する 126
127 その他の方法で探す
郵便番号で場所を探す 127
マップコードで場所を探す 127
地図をスクロールして探す 128
129 場所を探した後にできること

I ルートを設定する

さまざまな方法で目的地（経由地）を設定し、ルート計算を行います。

132 探した場所に行く
目的地を設定するには 132
最近行った場所にもう一度行くとき 133
134 登録した場所に行く
自宅に帰るとき 134
よく行く地点に行くとき 134
マークの場所に行くとき 135
136 どこかおすすめの場所はない？
インターナビドライブ情報で探した場所やお勧めコースに行く 136
140「案内開始」の前にできること
条件の違う別のルートから選ぶ ... 142
ルート情報を確認する 143
立ち寄る場所を追加する 143
入口、出口インターチェンジを指定する 144
インターナビからお好みのルートを取得する 145
新しい道路の情報があったとき ... 146

「もくじ」は次のページへつづきます >>

J ルート設定後にできること

ルートを設定し、案内開始後にルートの確認や計算条件の変更、経由地の追加などができます。

148 ルートを確認する
目的地や経由地周辺の地図を確認する ... 148
ルートの全体を表示する ... 148
ルート情報を表示する ... 149
ルートに沿って地図を動かし確認する ... 149
区間表示する ... 150

151 ルートを変更する
迂回するルートに変更する ... 151
別のルートに変更する ... 152
計算条件を変更するとき ... 153
ルートを計算しなおす ... 153
立ち寄る場所を追加する ... 154
立ち寄る場所を変更／消去する ... 155
インターチェンジを指定する ... 157

159 ルート案内を終了する
ルート案内を一時中止する ... 159
目的地を消去する ... 159

160 設定されたルートについて
ルート計算の仕様 ... 160
ルート計算のしかた ... 160
ルートの道塗りについて ... 161
音声での案内について ... 161
交差点拡大図について ... 161
ルート候補選択画面での高速料金について ... 161
オートリルートについて ... 161

K インターナビの通信サービスを使う

Honda からのお知らせや気象情報を確認するなどのサービスを利用できます。

164 インターナビ・プレミアムクラブとは
通信機能をご利用になる前に ... 165

166 通信機能を使えるようにする
接続ケーブルで携帯電話を接続する ... 166

167 通信機器・USB メモリー接続方法
データ通信 USB で接続する ... 168
Bluetooth で携帯電話を接続する ... 170
登録した携帯電話を選択する ... 173
接続方法を切り換える ... 177
接続先（プロバイダ）を選ぶ ... 178
設定内容を初期値に戻す ... 183

184 Honda からのお知らせを確認する
Honda からのお知らせがあったとき ... 184
履歴を確認する ... 184

186 最新のニュースなどを確認する
情報センターに接続して情報を確認する ... 186
internavi ダイレクトから接続する ... 187
接続を終了する ... 187
internavi ダイレクトを設定する ... 188
登録した情報をパーソナル・ホームページと同期する ... 189

190 音声による読み上げ機能について
最新のニュースなどを読み上げるには ... 190
再度読み上げるには ... 190

191 各パーツの交換時期を管理する
パーソナル・ホームページと同期する ... 191
各パーツの記録を見る ... 192
パーツを追加するには ... 193
パーツの交換した情報を記録するには ... 194
パーツの交換サイクルを変更するには ... 195
パーツを消去するには ... 195
パーツの交換時期のお知らせ設定 ... 196
愛車プロフィールを設定する ... 196
緊急時の連絡先を登録する ... 198
マイカースケジュールを設定する ... 199

200 気象情報を確認する
画面表示について ... 200
気象情報を確認するには ... 203
履歴を確認する ... 205

206 新しい道路データを取得する
ルート周辺に新しい道路があったときには ... 206
新しい道路のデータがないかを確認する ... 206
一覧から新しい道路のデータを取得するには ... 207

「もくじ」は次のページへつづきます >>

L オーディオ・テレビ

音楽 CD やテレビ、DVD ビデオなどの操作方法をわかりやすく説明しています。

210 ディスクの取り扱いについて
- ディスクの正しい使いかた 210
- 再生できるディスクの種類 211
- MP3 ファイルについて 213
- WMA ファイルについて 214
- AAC ファイルについて 215
- フォルダと MP3/WMA/AAC ファイルについて 216
- ディスクを入れる / 取り出す 217

219 USB アダプターについて
- 対応機器について 219
- USB アダプターに接続する 220

221 オーディオ・テレビの基本操作
- ナビゲーション画面とオーディオ画面の切り換え 221
- 各メディアに切り換える 221
- 音量を調節するには 222
- オーディオ機能を終了するには ... 222
- サブディスプレイの表示について ... 223
- オーディオリモートコントロールスイッチについて 224

225 ラジオをきく
- ラジオをきくには 225
- 記憶された放送局を呼び出す 227
- お好みの放送局を記憶するには ... 227
- 受信状態の良い放送局を探すには ... 228

230 交通情報をきく
- 交通情報をきくには 230

231 音楽 CD をきく
- 音楽 CD をきくには 231
- 再生方法を変えるには 233

234 MP3/WMA/AAC ディスクをきく
- MP3/WMA/AAC ディスクをきくには 234
- 再生方法を変えるには 236

238 USB メモリーの曲をきく
- USB メモリーの曲をきくには 238
- 再生方法を変えるには 240

242 iPod の曲をきく
- iPod の階層について 242
- iPod の曲をきくには 243
- ルートメニューから曲を選ぶ 245
- 再生方法を変えるには 246

248 テレビを見る
- テレビを見るには 248
- 受信状態の良い放送局を探すには ... 251
- お好みの放送局を記憶するには ... 252
- 番組表を見るには 253
- 複数の音声を切り換えるには 253
- 表示サイズを切り換えるには 254
- マルチサービス放送を切り換えるには 254
- 初期スキャンをやり直すには 255

256 DVD ビデオを再生する
- DVD ビデオを見るには 256
- DVD ビデオの操作画面を表示する 256
- タイトルやチャプターを選ぶとき ... 263
- 数字入力でメニューを選ぶとき ... 263
- ビデオのワイド画面を切り換える ... 264
- 視聴制限のある DVD ビデオを再生したとき 265

266 ビデオに切り換える
- ビデオ機器の接続について 266
- ビデオの見かた 266

M HDD サウンドコンテナ

音楽 CD を Honda インターナビシステムのハードディスク (HDD) に録音して、再生する機能です。

268 HDD サウンドコンテナとは

269 プレイリストについて

270 録音する
- 録音するとき 270
- 録音を停止するとき 270
- 録音を再開するとき 270

272 HDD サウンドコンテナできく
- HDD サウンドコンテナできくには 272
- 再生方法を変えるには 274

「もくじ」は次のページへつづきます >>

276 曲を探す
リスト画面から探すには 276
検索機能を使うには 277
曲を探したら 279
280 新しくプレイリストを作る
曲を選んでプレイリストを作成する 280
曲を探してプレイリストを作成する 281
282 プレイリストの情報を編集する
詳細情報を表示する 282
タイトルや読みを変更するには ... 283
アーティスト名を変更するには ... 283
ジャンルを変更するには 284
プレイリストに曲を追加するには ... 285
プレイリストの再生順番を変更するには 286
曲の再生順番を変更するには 286
287 プレイリスト、トラックを消去する
プレイリストを消去する 287
曲を選んで消去する 287
再生中の曲を消去する 288
HDD サウンドコンテナの曲をすべて消去する 288
289 タイトル情報を取得する
タイトル情報を取得するには 290
「No Title リスト」のタイトル情報を取得する 291
294 HDD サウンドコンテナの空き容量を見る

N USB メモリーを使う

インターナビでは、USB メモリーを画像やマーク地点リストのバックアップに使ったりすることができます。

296 USB メモリーを接続する
USB メモリーを使ってできること 297
298 USB メモリーでマーク地点リストを取り扱う
マーク地点リストをUSB メモリーに保存する 298
USB メモリー内のマーク地点リストを確認する 299
マーク地点リストをUSB メモリーから読み込む ... 299
USB メモリー内のマーク地点を消去する 300
301 USB メモリーから道路データを取得する
USB メモリーから新しい道路データを読み込む 301
302 USB メモリーで画像を扱う
303 USB メモリーの情報を確認する

O ハンズフリー電話を使う

ハンズフリー電話を使用するための設定を行います。

306 準備
ハンズフリー電話について 306
携帯電話を接続する 306
307 ハンズフリー電話の設定
電話の設定をする 307
受話音量 / 着信音量を調節する ... 308
電話帳を設定する 309
ワンタッチダイヤルを設定する ... 318
320 ハンズフリー電話を使う
電話をかける 320
ワンタッチダイヤルでかける 321
電話帳からかける 321
履歴から電話をかける 322
履歴を電話帳に登録する 323
履歴を消去する 324
地図に登録された電話番号にかける ... 325
電話を受ける 327
QQ コールを利用する 329
緊急連絡先に電話する 330
ロードサービスを利用する 330

「もくじ」は次のページへつづきます >>

P 音声操作

Honda インターナビシステムの各機能を音声で操作できます。

332 基本操作
音声操作の流れ 333
発話のポイント 336

338 声を覚えさせる（学習モード）
ユーザーを選択する 339

340 音声操作モードについて
音声操作モードを切り換える 340

341 音声で操作する
地図の表示を操作する 341
場所を探す 342
ルート案内中に操作する 345
音声でインターナビ情報を確認する 346

347 音声操作ガイドを使う
基本的な音声操作の方法を表示する 347

348 主な音声コマンドを確認する

349 設定を変更する
設定を変更する 349

351 音声コマンド一覧
基本モード時の音声コマンド一覧 ... 351
拡張モード時の音声コマンド一覧 ... 353

Q ETC を使う

ETC の使いかたを説明します。

368 ETC について
自動料金収受システムのしくみ ... 368
ETC をご利用いただくには 368

369 ETC を利用する前に

370 ETC の使いかた
ETC 車載器の各部の名称 370
ETC カードを入れる / 取り出す ... 371
スピーカーの音量を調節する 372
ETC カードの未挿入 / 抜き忘れ案内について 373
料金所通過のしかた 374
履歴を確認する 374
車載器管理番号を確認する 375

R VICS を使う

VICS センターに集められた交通情報を利用することで Honda インターナビシステムをより活用することができます。

378 VICS とは
VICS 情報の提供方法について 378
VICS 情報の画面表示について 380

381 インターナビ VICS とは

382 VICS からの情報を確認する
ルート上の交通情報を確認するとき ... 382
地図をスクロールして確認するとき ... 384
選んだ地点の VICS 情報を取得する 384
VICS 文字情報を見る 385
VICS 図形情報を見る 385
受信済みの割り込み情報を再表示するとき 386
音声で情報を確認する 387

388 VICS 放送局を選ぶ
リストから選局する 388
マニュアル選局する 389
自動選局に戻す 389

390 FM 文字多重放送を見る
リストから放送局を選ぶとき 390
マニュアルで選局するとき 391

392 VICS 情報について
VICS センターからのおことわり ... 392
緊急情報の自動表示について 392

「もくじ」は次のページへつづきます >>

VICS を使ったルート計算について ... 393
インターナビ VICS を使ったルート計算について ... 394
インターナビ・フローティングカーシステムについて ... 395
VICS 使用時のメッセージについて ... 396
VICS 情報が受信しにくい状況 ... 397
VICS 情報についての注意事項 ... 399
VICS センターの運用時間 ... 400
VICS についてのお問い合わせ先 ... 400

S 便利な機能

スケジュールの管理や個人情報を守るシークレットモードを利用することができます。

402 警告灯サポート
警告灯サポートメッセージを確認する ... 402
警告灯サポートの詳細情報を見る ... 403
警告灯サポートの情報を読み上げる ... 403
QQ コールに電話する ... 403
My ディーラーに電話する ... 403

404 スケジュールを管理する
スケジュールを作成する ... 404
設定したイベントが実行されると … ... 406
スケジュールを確認 / 変更するには ... 407
スケジュールを実行する ... 408
スケジュールを消去する ... 408

409 音声メモを使う
音声を録音する ... 409
音声メモを再生する ... 410
音声メモを消去する ... 410
タイトルを編集する ... 411

412 シークレットモードを使う
シークレットモードを設定する ... 412
シークレットモードを解除する ... 413
パスワードを変更するには ... 413

414 マップクリップを使う

415 保存データを消去する

416 地図 / その他情報について
ソリッドシティマップ収録エリア ... 416
阪神高速道路株式会社からのご連絡 ... 416
地図データについて ... 416
VICS サービスエリアについて ... 418
放送局リストのデータについて ... 418
その他情報提供元 ... 419
地図のバージョンを確認する ... 419

T 環境の設定について

このナビゲーションの設定を変えたり、メニューをカスタマイズしたりすることができます。

422 ナビ機能の設定を変える
地図表示設定 ... 424
案内設定 ... 429
インターナビ /VICS 設定 ... 433
車両警告設定 ... 435
通信／電話設定 ... 436
音声操作設定 ... 437
システム設定 ... 438

440 よく使う機能をまとめる

442 現在地を修正する

443 ルートの学習内容を消去する

444 地図データを更新する
DVD で地図を更新するには ... 444

446 オーディオの設定を変える
音質を調節するには ... 446

447 テレビや DVD の設定を変える
映像の色を調節するには ... 447
DVD の初期設定を変更するには ... 447
DVD の初期設定で設定できる項目について ... 448
DVD のダイナミックレンジコントロールを切り換えるには ... 449
DVD の視聴制限のレベルを変更するには ... 449

「もくじ」は次のページへつづきます >>

U 困ったときは・・・

「故障かな？」と思ったり、「どうしたらいいの？」と困ったときは、本章をチェックしてみてください。

454 Q & A（よくある質問について）
ナビゲーション機能について 454
通信機能について 455
地図データについて 457
オーディオ機能について 459

460 故障かな？と思ったときの対処方法
ナビゲーション機能関連項目 460
VICS 関連項目 461
通信機能関連項目 462
DVD ビデオ /CD/MP3/WMA/AAC 関連項目 463
HDD サウンドコンテナ関連項目 ... 469

470 エラーメッセージと対処方法
ナビゲーション機能関連項目 470
通信機能関連項目 471
DVD ビデオ /CD/MP3/WMA/AAC 関連項目 472
USB アダプター（USB メモリー） 474
HDD サウンドコンテナ関連項目 ... 475
サブディスプレイ 476
ETC 477

V 付録

480 GPS について
現在地がわかるしくみ 480
測位の精度を高めるためのしくみ ... 480

482 現在地や軌跡の誤差について

485 ハードディスクナビに関する注意点

486 ナビ専門用語集

490 画面マップ

511 さくいん

519 VICS 情報有料放送サービス契約約款

521 Gracenote サービスについて

524 お問い合わせ、ご相談窓口

本書の見かた

この本の見かたについて説明しています。

本書の見かた　14
知りたい機能の調べかた　16

A

本書の見かた

本書は、各章や見出しを次のように色分けをして表現しています。

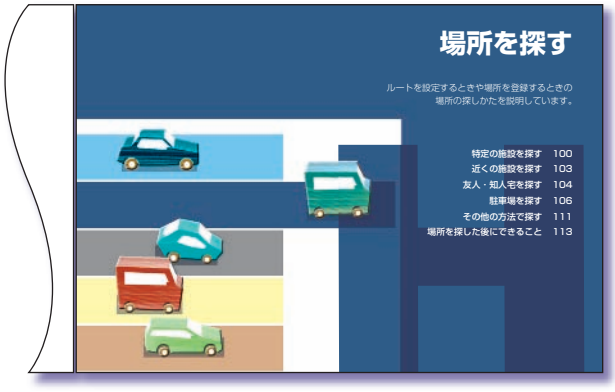
本書の構成と分類

本書では、Hondaインターナビシステムのさまざまな機能を、機能内容ごとに下表のように分類して説明しています。
また、分類された章と色は*「もくじ」(P4)*や章扉と本文ページの章インデックスと対応しています。

章	色	記載内容の分類
A～D	水色	**基本的な機能** 知っておくと役に立つ基本的な機能を説明。
E～J	青	**ナビゲーション機能** ナビゲーション機能に関する操作。
K	灰色	**通信機能** インターナビ・プレミアムクラブ機能に関する操作。
L～M	薄黄	**オーディオ & ビジュアル** 音楽や映像の機能に関する操作。
N～V	薄茶	**その他** その他の機能や専門用語、各機能の詳細な情報。

※このページは説明のためのページです。実際の操作説明とは異なります。

章扉



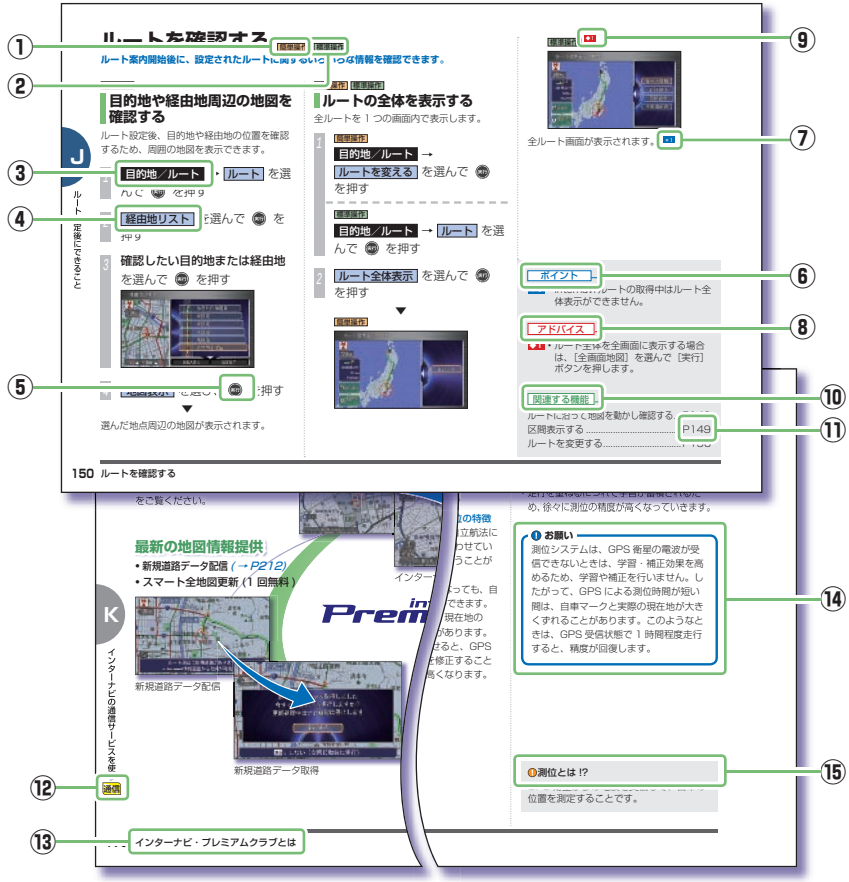
本文ページ

表記と意味

本書で使用している、各表記の意味を説明します。

表記	意味
① 簡単操作	簡単操作モードで操作可能な機能を示します。*(→ P40)*
② 標準操作	標準操作モードで操作可能な機能を示します。*(→ P40)*
③ ○○○○	Honda インターナビシステム本体のボタンを示します。*(→ P23)*
④ ○○○○	液晶画面に表示する選択項目を示します。
⑤ 実行	プログレッシブコマンダーの［実行］ボタンを示します。
⑥ ポイント	知っておくと便利な操作や情報を記載しています。
⑦ ※1	同ページ中または手順終了後にある ポイント 記載内容の参照番号です。
⑧ アドバイス	便利な操作や情報を記載しています。
⑨ ◆1	同ページ中または手順終了後にある アドバイス 記載内容の参照番号です。
⑩ 関連する機能	関連する操作の参照ページを示します。
⑪ *(P000)*	参照ページを示します。
⑫ 通信	通信機能を必要とします。※1
⑬ **見出し**	説明の内容を示す見出しです。
⑭ **お願い**	お車のために守っていただきたいこと。Honda インターナビシステムをご使用いただく際に守っていただきたいこと。
⑮ ○○○○**とは !?**	専門用語の説明です。

※ 1 通信費用が別途必要です。



※ このページは説明のためのページです。実際の操作説明とは異なります。

知りたい機能の調べかた

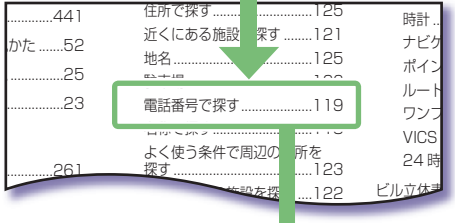
知りたい機能をすばやく、簡単に探せるように、いろいろな方法を紹介していきます。

メニュー名から探すとき

画面に表示するメニュー名の機能が知りたいときは、*「さくいん」(P511)* を利用します。

画面表示

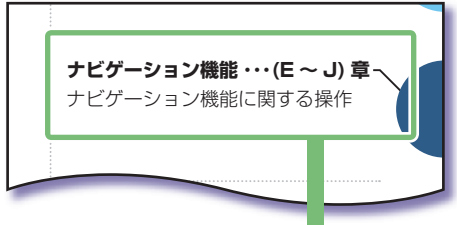
「さくいん」のページ



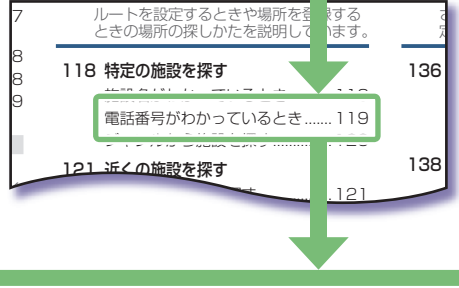
目的別に探すとき

「～へ行きたい」などの目的があるときは、*「もくじ」(P4)* を利用します。

「インデックス」で目的の機能を確認



「もくじ」のページ



操作手順から探すとき

操作の過程で、各メニューの機能を探したいときは *「画面マップ」(P490)* を利用します。

操作の手順を確認

「画面マップ」のページ

＊2 • ジョイスティックを下に倒すと絞り込みができます。
• ［ジャンルで絞る］を選んで［実行］ボタンを押すと、ジャンルによる絞り込みができます。
• ［地域で絞る］を選び［実行］ボタンを押すと、エリア選択のリストが表示され、地域（都道府県名、市区町村名）による絞り込みができます。選んだ項目の都道府県内のすべての市区町村を選びたい場合は、ジョイスティックを下に倒します（例：［青森県全て］）。

関連する機能

文字入力のしかた.....P36

簡単操作 標準操作

電話番号がわかっているとき

探している施設の電話番号がわかっているときに便利です。＊1

1 簡単操作

目的地／ルート → 名称／番号で探す → 電話番号で探す を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート → 名称／番号入力 → 電話番号 を選んで 実行 を押す

2 電話番号を入力する ＊2

3 検索 を選んで 実行 を押す

▼

該当する地図とメニューが表示されます。以降は『場所を探した後にできること』（→P133）を参照してください。

ポイント

＊1 • 検索結果に複数の施設がある場合は、施設のリストが表示されます。施設を選んで［実行］ボタンを押すと該当する地図とメニューが表示されます。

＊2 • IP 電話でも探すことができます。
• 市外、市内局番は、必ず入力してください。その他の番号は、すべて入力しなくても検索できます。
• 該当する電話番号がない、または番号をすべて入力しなかった場合は、局番に該当する市区町村の代表地点の地図が表示されます。
• 個人宅の電話番号は検索できません。
• ユーザー施設マークは検索できません。
• 登録したマークは検索できます。

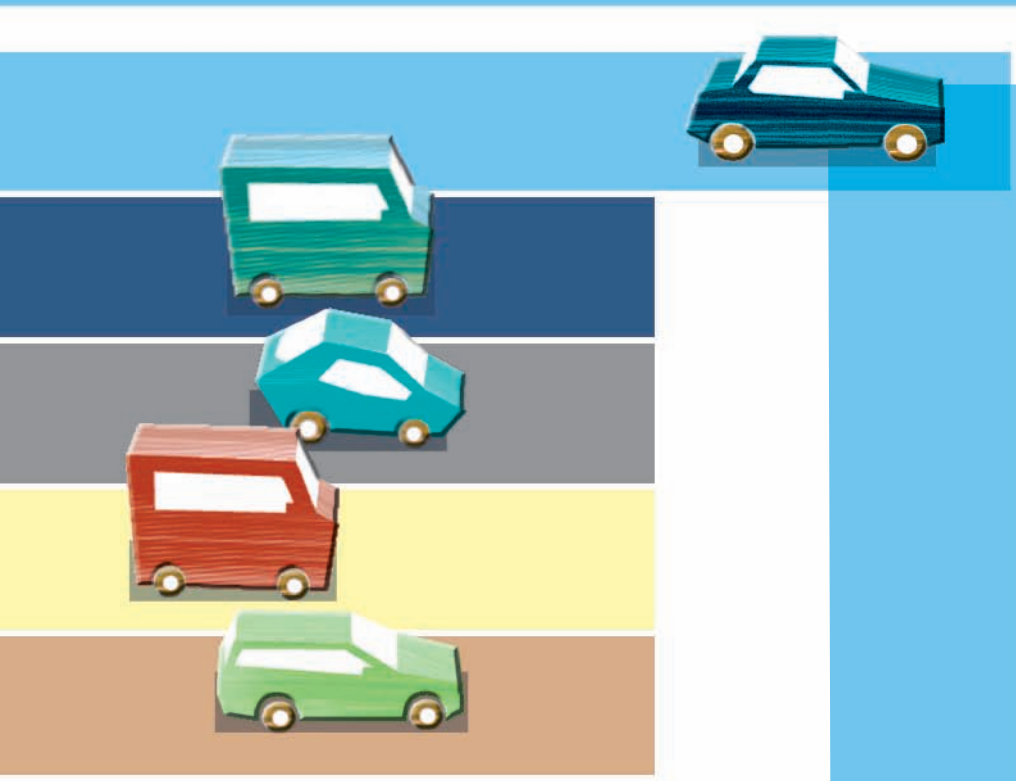
関連する機能

文字入力のしかた.....P36

M E M O

ナビゲーションのしくみ

Honda インターナビシステムについて
説明しています。



こんなことができます 20
各部の名前とはたらき 22
ナビゲーションシステムについて 24

B

こんなことができます

ナビを使うのがはじめての方にも、使いこなしている方にもおすすめしている機能をご紹介します。

ナビを使うのがはじめての方におすすめの機能はコチラ。

P40

簡単操作モード

簡単に使えるモードがあります。
よく使う機能を簡単に使えるようにまとめた「簡単操作モード」に切り換えます。

P113

目的地設定

さまざまな方法で場所を探します。
施設の名称や電話番号、住所などから場所を探し、目的地に設定することができます。

インターナビ通信機能を使う方におすすめの機能はコチラ。

P145

インターナビ VICS

高精度な交通情報を利用できます。
出発地から目的地までの交通情報を一気に取得して、最適なルート誘導を行います。

P200

インターナビウェザー

気象情報を画面に表示します。
天気情報や警報・注意報を画面に表示します。
安全なドライブをサポートします。

P123

駐車場セレクト

駐車可能な駐車場だけを表示。
車両サイズに合わせた駐車場を検索。
料金や形状の条件で絞り込みも可能です。

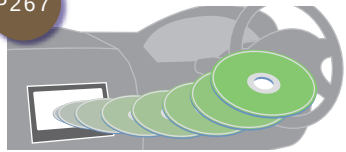
P134

自宅へ帰る

帰り道は簡単に設定できます。
あらかじめ自宅を登録しておけば、行き先からの帰り道が簡単に設定できます。

P267

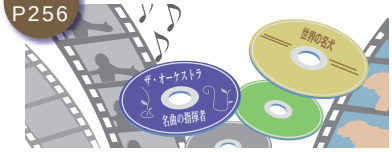
HDD サウンドコンテナ



音楽 CD を HDD に録音できます。
本機内蔵のハードディスクに音楽 CD の曲を録音できるので、車内に音楽 CD を置いておく必要がありません。

P248
P256

オーディオ



テレビや DVD ビデオが見られます。
ワンセグ放送のテレビやお手持ちの DVD ビデオを車内でご覧になることができます。

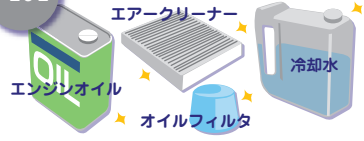
P107

パーソナル・ホームページ

自宅でドライブプラン。
インターネットで、ドライブ計画や My スポットを設定、カーナビと共有することができます。

P191

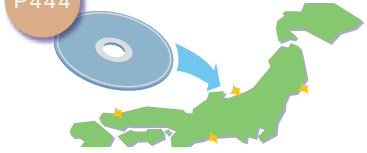
カーカルテ



オイルなどの交換時期をお知らせ。
走行距離を通信してパーソナル・ホームページで管理。
最適な交換時期をお知らせします。

P444

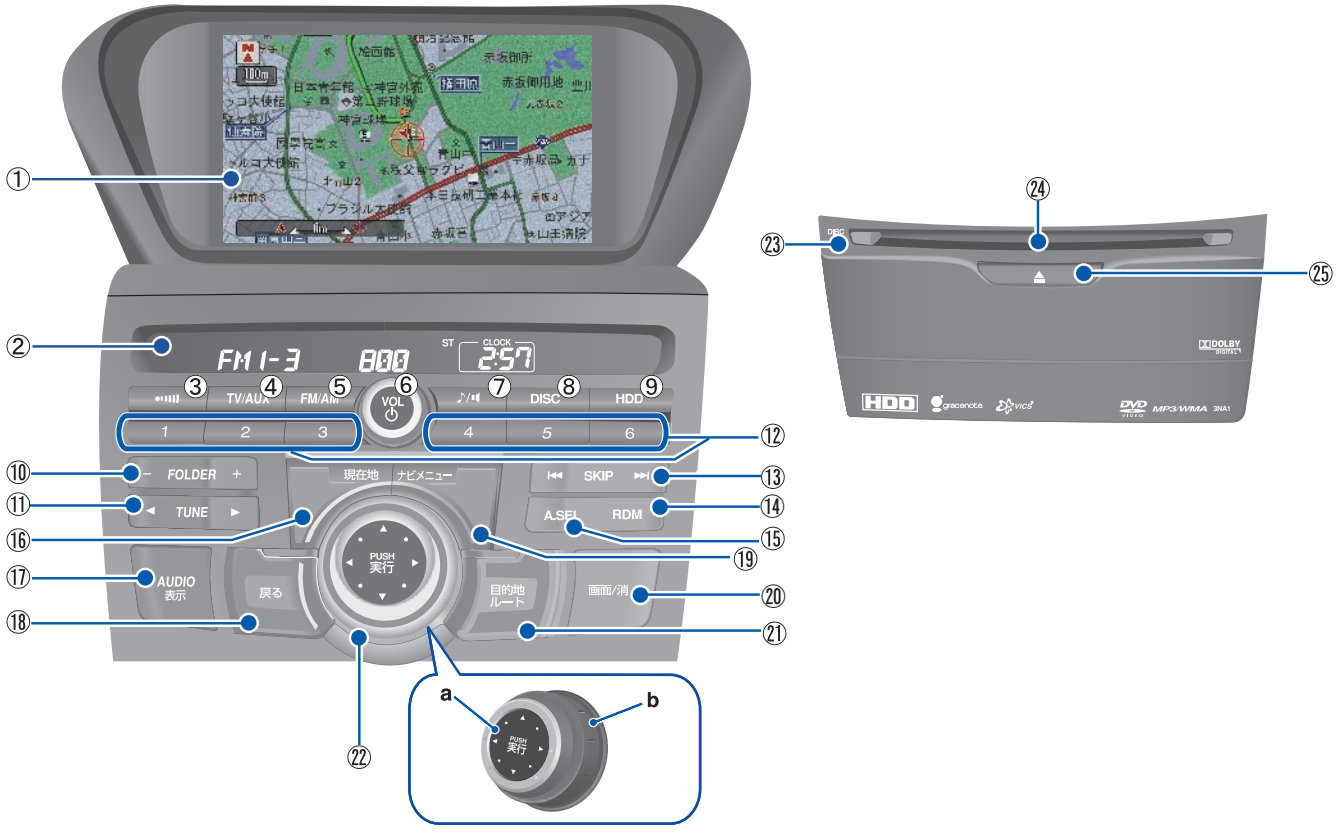
スマート全地図更新



地図更新にハードディスク交換は不要です。
DVD による地図更新だから、地図更新中も Honda インターナビシステムを使用することができます。

各部の名前とはたらき

Honda インターナビシステム本体の各部の名前とはたらきについて説明します。



① **液晶表示画面**

② **サブディスプレイ** *(→ P223)*

時刻オーディオ・テレビの情報を表示します。

③ **((•))))** *(→ P230)*

交通情報に切り換えるときに使います。

④ **TV/AUX** *(→ P249)*

テレビ、外部ビデオ機器に切り換えるときに使います。

⑤ **FM/AM** *(→ P225)*

FM ラジオまたは AM ラジオに切り換えるときに使います。

⑥ **VOL/⏻** *(→ P222)*

音量を調節します。また、オーディオ機能を ON または OFF にするときに使います。オーディオ機能が ON になると、最後に操作していたメディアに切り換わります。押すたびに、ON と OFF が切り換わります。

⑦ **♪/🔊**

音質調整の調節項目を切り換えるときに使います。

⑧ **DISC**

DVD ビデオを見るとき、音楽 CD をきくときに使います。

⑨ **HDD** *(→ P222)*

HDD サウンドコンテナに切り換えるときに使います。

⑩ **− FOLDER +** *(→ P234)*

テレビ、ラジオではプリセットスイッチを切り換えるときに、MP3/WMA/AAC ディスクでは前後のフォルダを選ぶときに、DVD ビデオでは前後のタイトルを選ぶときに、HDD サウンドコンテナでは前後のプレイリスト選ぶときに使います。

⑪ **◀ TUNE ▶**

テレビではチャンネルを、ラジオ、交通情報では周波数を変えるときに使います。

⑫ **プリセットボタン**

テレビ、ラジオのお好みの放送局をあらかじめ記憶することができます。希望のプリセット No. を選んでジョイスティックをピッと鳴るまで押すと、現在受信中の放送局を記憶することができます。

⑬ **⏮ SKIP ⏭** *(→ P225)*

音楽 CD または HDD サウンドコンテナでは曲を選ぶときに、DVD ビデオでは前後のチャプターを選ぶときに使います。

⑭ **RDM**

CD や MP3/WMA/AAC ディスク、USB メモリー、サウンドコンテナでランダム再生を行うときに使います。

⑮ **A.SEL**

テレビやラジオの一時的に受信状態の良い放送局を記録する「オートセレクト」を行うときに使います。

⑯ **現在地** *(→ P31)*

現在地の地図画面を表示します。

⑰ **AUDIO 表示** *(→ P221)*

ナビゲーション画面とオーディオ画面（映像画面を含む）を切り換えます。

⑱ **戻る** *(→ P28)*

操作をやめて前の画面に戻るときに使います。

⑲ **ナビメニュー** *(→ P58)*

各種情報を確認したり、環境の設定を変更するときなどに使います。

⑳ **画面／消** *(→ P59)*

画面表示に関するメニューを表示します。

㉑ **目的地／ルート** *(→ P56)*

目的地を探したり、ルートを設定するときに使います。

㉒ **プログレッシブコマンダー** *(→ P26)*

a ジョイスティック
地図画面では、8 方向に倒して地図をスクロールさせます。メニュー画面では、上下左右に倒して項目を選べます。選んだ項目を決定するときなどは、真ん中を押します（実行ボタン）。

b コマンドホイール
左右に回して項目を選ぶときに使います。

㉓ **ディスクインジケータ**

ディスクを挿入すると点灯します。

㉔ **ディスク挿入口** *(→ P217)*

㉕ **⏏** *(→ P217)*

ディスクを取り出すときに使います。

お願い

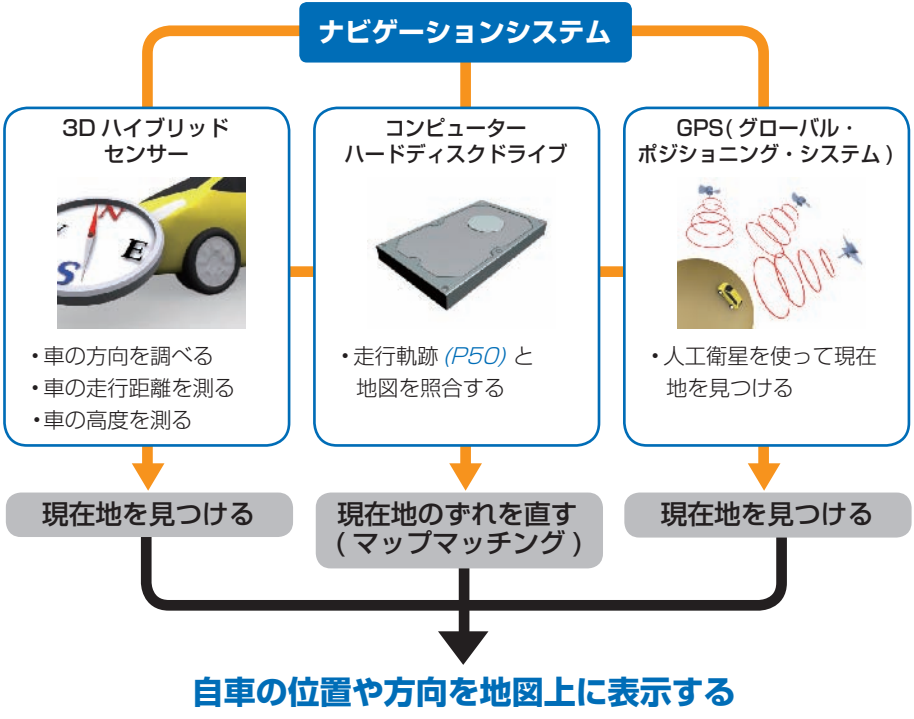
- 液晶表示画面やサブディスプレイの表面は、キズが付きやすいので、手で強く押したり、かたい布などでこすらないでください。
- 画面がよごれたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。
- ディスク挿入口にディスク以外のもの（コイン、針金、液体など）を入れないでください。故障の原因になります。

ナビゲーションシステムについて

ナビゲーションのしくみについて説明します。

ナビゲーションシステムのしくみ

ナビゲーションシステムは、自車のセンサーや人工衛星を利用して集めた情報を基に、自車位置や方向を地図上に表示するシステムです。



自車とは !?

この本機を装着しているお客様のお車のことです。

3D ハイブリッドセンサーとは !?

車の方向 (振動ジャイロセンサー)、車の高度差 (傾斜センサー)、車の走行速度 (車速センサー) を測定して、自車位置を決める部品です。

GPS とは !?

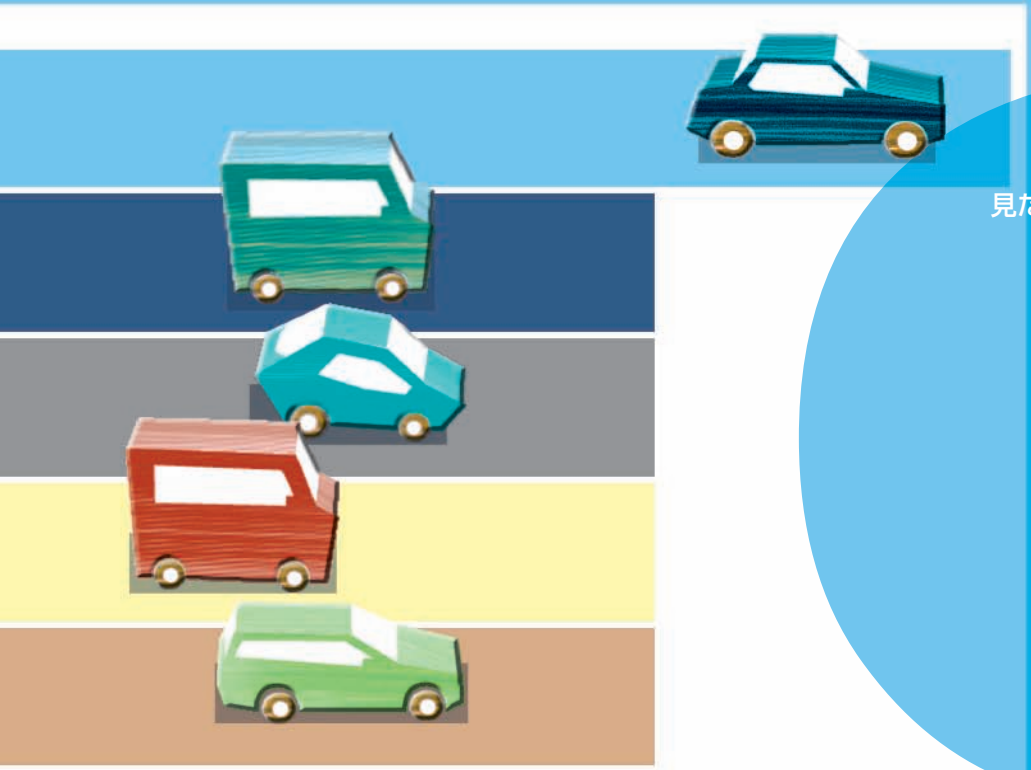
GPS は、Global Positioning System (グローバル・ポジショニング・システム) の略称です。GPS は、米国が開発運用しているシステムで、高度約 21,000km の宇宙空間で周回している 3 つ以上の GPS 衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

マップマッチングとは !?

測位システムが測位する位置をそのまま表示すると、実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークを表示するなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

覚えておきたい基本操作

必要となる操作を説明しています。



ボタンの使いかた 26
地図の縮尺を切り換える 29
見たい場所まで地図をスクロールする 31
案内の音量を調節する 33
文字入力のしかた 34

ボタンの使いかた

プログレッシブコマンダーと本体のボタンを使って Honda インターナビシステムの標準的な機能を操作します。

簡単操作 標準操作

プログレッシブコマンダーの操作

プログレッシブコマンダーは、ジョイスティックとコマンドホイールに分かれ、コマンドホイールを回す操作、ジョイスティックを押す操作、ジョイスティックを倒す（8方向）操作があります。

コマンドホイールを回す

メニュー画面やリスト画面の項目や機能の選択（カーソル移動）に使います。
また地図スケールの切り換えや音量や色合いなど、調節画面でも使います。

コマンドホイール

ジョイスティックを押す（実行）

メニュー画面などで選んだ項目や機能の実行に使います。

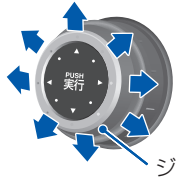
［施設ジャンル］が選ばれています。

ジョイスティック

施設ジャンルの画面に切り換わります。

ジョイスティックを倒す

地図のスクロール（8方向－上下·左右·右上·右下・左上・左下）に使います。



ジョイスティック

メニュー画面の切り換えがある場合、下に倒して使います。

三角の方向にジョイスティックを倒します。

ジョイスティック

▼

リストから項目を探すとき

メニュー画面を操作するとき

ボタンを押して表示されるメニューから、プログレッシブコマンダーで項目を選んで［実行］ボタンを押し、表示を切り換えていきます。

例：目的地の施設を探す

目的地／ルート を押す

▼

施設ジャンル を選んで 実行 を押す

▼

一覧から探す を選んで 実行 を押す

タブがあるとき

項目の上にタブが表示されているときはジョイスティックを左右に倒してタブを切り換えることができます。

例：ジョイスティックを右に倒す

他のページに情報があるとき

［次のページ］を選んで［実行］ボタンを押すと、次のページに切り換わります。［前のページ］を選んで［実行］ボタンを押すと前のページに戻ります。

例：

コマンドホイールを回して

次のページ を選んで 実行 を押す

続きのページがあるときは、［次のページ］が表示されます。

元の画面に戻すには［戻る］ボタンを押します。

前の画面に戻るとき

［戻る］ボタンを押して、ひとつ前の画面を表示します。

例：

目的地／ルート を押して 戻る を押す

ナビメニュー画面、目的地／ルート画面で［戻る］ボタンを押すと、地図画面に戻ります。

地図の縮尺を切り換える

10m ～ 500km までの範囲で地図の縮尺を変えることができます。

簡単操作 標準操作

地図を詳しく／広く見る

1 コマンドホイールを左右に回す

縮尺バーが表示され、縮尺レベルを確認できます。 ＊1 ◆1

左	地図が広域表示され、広い範囲を見ることができます。
右	地図が詳細表示され、詳しく見ることができます。

標準操作

2 画面で表示している場合

コマンドホイールを回すと、左画面のスケールのみ変わります。

右画面のスケールを変えるには

1 **ナビメニュー** を押して **マーク／地図変更** を選んで 実行 を押す

2 **右画面縮尺** を選んで 実行 を押す

3 コマンドホイールを回して縮尺を変更する ＊2

ポイント

＊1 ・駐車場マップ割込みの設定を ON にしていると、データが収録されている大きな駐車場に入ったときに、1 画面地図の駐車場マップ *（P51）* へ自動的に遷移します。駐車場マップに切り換わると、スケールは自動的に 4m になります。スケールは 8m に切り換えることができます。（それ以外の縮尺に切り換えた場合は、駐車場マップに切り換わる前のマップモードに戻ります。）

＊2 ・右画面にスケールバーが表示されている間のみ右画面のスケールを変えることができます。

アドバイス

◆1 ・コマンドホイールの操作方向は、左右を逆に設定することもできます。
→「ナビ機能の設定を変える」（P422）

簡単操作 標準操作

市街地図を表示させる

地図のスケールが、10m ～ 50m のときに詳細な市街地図を表示させることができます。 ＊1

2D マップでの市街地図

各施設の名称や細街路、一方通行などの詳しい情報が表示されます。 ＊2

標準操作

3D マップでの市街地図（ビル立体表示）

代表的なビルなどの建物が立体表示され、自車マークを隠す位置にある建物は、自車マークが見えるように透かし表示されます。（ある程度手前に来ると、表示されなくなります。） ＊3 ◆1

ポイント

＊1
- 地図をスクロールして市街地図を格納している領域から出ると、線図による地図を表示します。
- 市街地図を表示しているときに時速 80km 以上で走行すると、一時的に 50m スケールになります（時速 70km 以下の走行になると、再度、市街地図を表示します）。

＊2
- 市街地図が表示できる地域と表示できない地域の境では、地図表示が変わることをメッセージでお知らせします。

＊3
- すべての建物が立体表示されるわけではありません。
- 建物の外見は、実際とは異なる場合があります。
- 地図をスクロールすると、2D マップ表示となります。また、走行中は地図をスクロールできません。

アドバイス

◆1
- 「ビル立体表示」は、［する］／［しない］を選ぶことができます。
→「ナビ機能の設定を変える」(P422)

見たい場所まで地図をスクロールする 簡単操作 標準操作

地図をスクロールさせて、見たい場所の地図を探すことができます。

地図をスクロールする ※1 ◆1

1 ジョイスティックを倒す

ジョイスティックを倒している間、地図は動き続け、画面の上下左右にスクロール方面表示が表示されます。

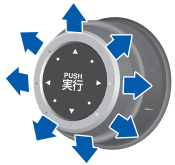
▼

ジョイスティックから手を離すと、現在地から直線距離などが表示されるスクロール画面になります。

遠くの場所を早く探す

1 コマンドホイールを左に回して広域の地図にする

2 ジョイスティックで場所を探す



・・・次ページ手順３につづく

ポイント

※1
- 同じ方向に約１秒以上動かし続けると、地図が速く動きます。約３秒以上動かし続けると、地図がさらに速く動きます。
- 3D マップ時にスクロールすると 2D マップになります。
- 行程ガイド、高速ガイドではスクロールできません。ドライビングマップの場合は、ジョイスティックをいずれかの方向に倒すと１画面の地図に切り換わり、スクロール操作が可能になります。
- 走行中はジョイスティックを動かした方向に、自動で画面の端までスクロールします。
- 走行中に市街地図を表示しているときは、スクロールできません。
- ［現在地］ボタンを押すと、現在地画面に戻ります。

アドバイス

◆1
- 地図の向きや表示を切り換えることができます。*(→ P46)*
- カーソルの周辺にある施設を探すことができます。*(→ P117)*
- 探した場所にマークをつけることができます。*(→ P98)*
- 探した場所を目的地にすることができます。*(→ P132)*
- 市街地図表示のときは、建物の情報を見ることができます。*(→ P64)*

3 コマンドホイールを右に回して詳細の地図にする

4 ジョイスティックで場所を探す

メニューを表示する

1 地図をスクロールして**場所**を探して 実行 を押す

画面の右半分にメニューを表示します。◆1

アドバイス

◆1 ・地図が現在地のときに［実行］ボタンを押して表示させるメニューは、よく使う項目など、お好みのメニューに変更することができます（カスタマイズメニュー）。
→「よく使う機能をまとめる」(P440)

案内の音量を調節する 簡単操作 標準操作

音声による案内の音量を調節できます。また、音声を消すこともできます。

1 簡単操作

ナビメニュー を押して **音声音量を変える** を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー を押して **音声音量設定** を選んで 実行 を押す

2 コマンドホイールを左右に回して音量を設定する ※1

3 実行 を押す

案内音の音量が設定されます。

ポイント

※1
- コマンドホイールで設定すると、設定した案内音が流れ、音量を確認できます。
- コマンドホイールを左にいっぱいに回して、バーの点灯がなくなると、案内音を消すことができます。音声認識機能を使用した場合は、音量１以下にしていても、応答する音声は音量２になります。

文字入力のしかた 簡単操作 標準操作

メニュー操作中に表示される、文字または数字の入力画面の操作のしかたについて説明します。
＊1

1. 文字種を切り換える

ジョイスティックを左右に倒して、**文字種**を選びます。

ジョイスティックを左右に倒すごとに、文字種は次のように切り換わります。◆1
かな → カナ → 英字 → 数字 → 記号 → 漢字

2. 全角／半角を切り換える

1 画面下部に「全角／半角切換」が表示されているときにジョイスティックを下に倒す

2 **全角／半角切換** を選んで 実行 を押す

切り換わった内容が表示されます。

ポイント

＊1
- 安全のため走行中は、文字入力操作は行えません。
- ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、漢字が利用できます。
  ただし、文字の入力を必要とする項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、施設マークやマーク情報の［読み］の場合、ひらがな入力以外は選べません。

アドバイス

◆1
- 英字は大文字／小文字も含みます。
- かなやカナは、大文字／小文字、濁音も含みます。

3. 文字を入力する

1 コマンドホイールを回して**入力したい文字や記号**を選んで 実行 を押す

▼

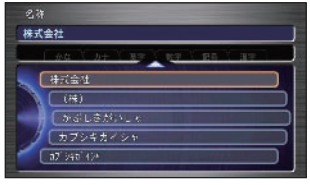
選んだ文字が入力されます。

4. 変換を行う

ひらがなを漢字に変換します。◆1

1 ジョイスティックを下に倒す

2 コマンドホイールを回転し、**変換する文字**を選んで 実行 を押す



▼

変換後の文字が入力されます。

5. 文字入力を終了する

1 **完了** を選んで 実行 を押す ＊1

▼

文字入力が終了します。

ポイント

＊1・機能によっては［完了］は表示されず［検索］などが表示されます。

アドバイス

◆1・変換範囲を指定するには、ジョイスティックを左右に倒します。

漢字表から入力する

JIS 第二水準の漢字の一覧表から漢字入力します。

1 ジョイスティックを左右に倒し、漢字 を選ぶ

2 コマンドホイールを回し、**入力したい漢字のある行**を選んで 実行 を押す

3 コマンドホイールを回し、**入力したい漢字**を選んで 実行 を押す

▼

選んだ漢字が入力されます。

文字を削除する

1 ジョイスティックを上に倒し、入力エリアを表示する

2 コマンドホイールを回し、削除したい文字の右にカーソルを移動させる ＊1

3 ジョイスティックを左に倒す ＊2

▼

カーソルの左の文字が削除されます。

ポイント

＊1
- カーソルは、周囲が青色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- カーソルを移動させなくても、カーソルの左の文字は削除できます。
- パスワードの入力画面などでは、カーソルを移動することはできません。
- ジョイスティックを左に 2 秒以上倒すと、カーソルより左にある周囲を青色で表示された文字をすべて削除することができます。

＊2
- カーソルが一番左にある場合、ジョイスティックを左に 2 秒以上倒すと、周囲が青色で表示されている文字を削除することができます。

スペースを空ける

1 文字種の「かな」を選び、**特殊** を選んで 実行 を押す

2 **空白** を選んで 実行 を押す

▼

スペースが空きます。

文字を挿入する

1 ジョイスティックを上に倒し、入力エリアを表示する

2 コマンドホイールを回し、文字を挿入したい場所にカーソルを移動させる ＊1

3 ジョイスティックを下に倒して文字を選んで 実行 を押す

→「3. 文字を入力する」（P35）

改行する ＊2

1 文字種の「かな」を選び、**特殊** を選んで 実行 を押す

2 **改行** を選んで 実行 を押す

▼

改行が入力され次の行が入力できるようになります。

ポイント

＊1 ・カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

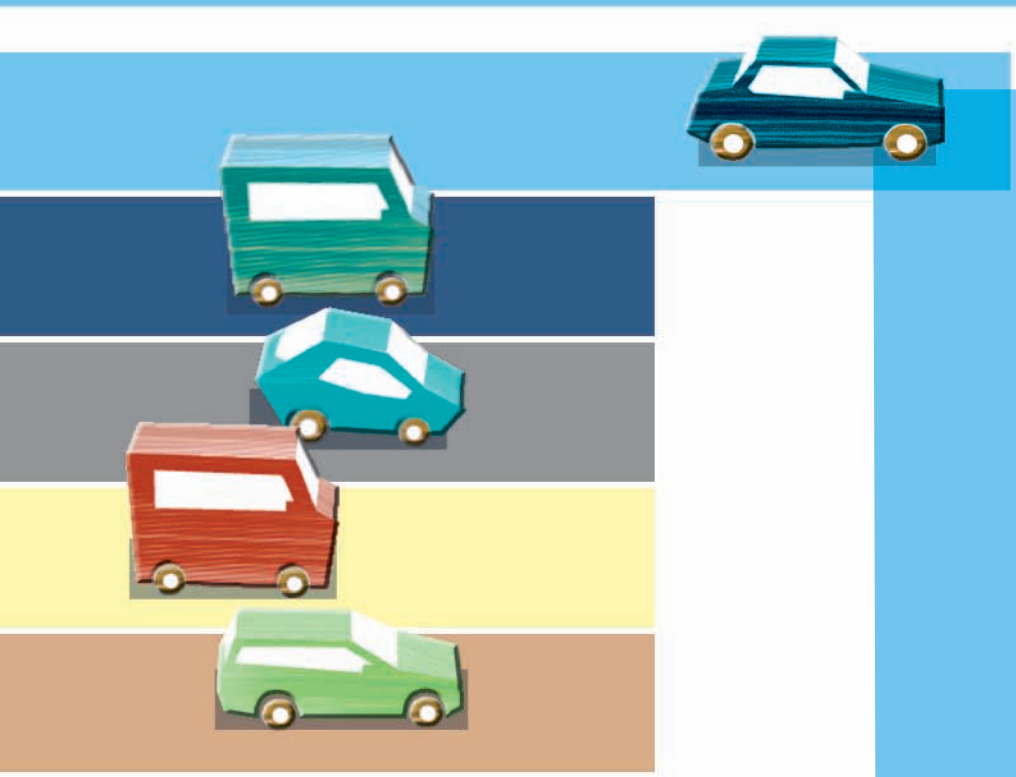
＊2 ・パスワードの入力画面などでは、カーソルを移動することはできません。

・［改行］は、マーク地点のメモを編集するときに使用できます。

M E M O

はじめにする基本操作

まず最初に次の３つの操作を行ってください。



Step1

操作モードを選ぶ　40

▼

Step2

自宅を登録する　42
自宅の位置を変更する　44

▼

Step3

地図の向きを決める　46

操作モードを選ぶ 簡単操作 標準操作

Honda インターナビシステムは2つの操作モードから選ぶことができます。 ※1

標準操作 から 簡単操作 へ
ナビが初めての方には

1 **ナビメニュー** →
簡単操作モード を選んで 実行 を押す

2 実行 を押す

▼

簡単操作モードに切り換わります。

簡単操作 から 標準操作 へ
いろんな機能を使いたい方へ

1 **ナビメニュー** →
標準操作モードにする を選んで 実行 を押す

2 実行 を押す

▼

標準操作モードに切り換わります。

ポイント

※1 ・すでに目的地を設定しているときは、操作モードを切り換えると目的地が解除されます。

標準操作

ヘルプモードに切り換える ◆1

1 操作がわからないメニュー画面で、ジョイスティックを連続で3回倒す。

2 より詳しいヒントを知りたい場合は、実行 を押す。

▼

より詳しい操作ガイドが表示されます。 ＊1

ポイント

＊1
- [前の説明]、[次の説明]を選び、[実行]ボタンを押すと、前または次の説明が表示されます。ただし、走行中は［前の説明］、［次の説明］が表示されません。
- ［終了］を選んで［実行］ボタンを押すと、手順1の画面に戻ります。

アドバイス

◆1
- ヘルプモードに切り換えられるのは、ナビメニュー画面、目的地／ルート画面です。
- ［ナビメニュー］ボタン→［設定］→［システム設定］→［操作ヘルプ］を選び、［実行］ボタンを押しても同様に操作することができます。

ヘルプモードとは !?

コマンドホイールやジョイスティックの使いかたを確認できます。

自宅を登録する 簡単操作 標準操作

あらかじめ自宅を登録しておくと行き先から帰ってくるとき、とても便利です。 ※1

1 簡単操作

目的地／ルート → **自宅を登録する** を選んで 実行 を押す ※2

2 地図をスクロールして自宅を登録したい位置にカーソルを合わせて、実行 を押す

3 **自宅セット** を選んで 実行 を押す

自宅が登録され、地図画面に戻ります。

マークが地図上に表示され登録が完了します。

ポイント

※1
- 自宅の登録後に［自宅に帰る］を選んで、［実行］ボタンを押すと、自宅までのルート計算が始まります。
- 自宅を登録すると、［自宅］という名前と［じたく］という読みが自動的に入力されます。
- 登録した自宅はあとで編集することができます。ただし、名称と読みは編集できません。
→［自宅の位置を変更する］（P44）

※2
- 自宅を登録すると、［自宅を登録する］は［自宅に帰る］に表示が変わります。

関連する機能

自宅に帰るとき……P134
自宅の位置を変更する……P44
自宅を消去する……P45

1 標準操作

目的地／ルート → **自宅登録** を選んで 実行 を押す ＊1

2 自宅を登録したい位置にカーソルを合わせて、実行 を押す

→「場所を探す」（P113）

3 **自宅セット** を選んで 実行 を押す

自宅が登録され、地図画面に戻ります。

マークが地図上に表示され登録が完了します。

ポイント

＊1
- 自宅の登録後に［自宅へ誘導］を選んで、［実行］ボタンを押すと、自宅までのルート計算が始まります。
- 自宅を登録すると、［自宅］という名前と［じたく］という読みが自動的に入力されます。
- 登録した自宅はあとで編集することができます。
→［自宅の位置を変更する］（P44）
- 自宅を登録すると、［自宅登録］は［自宅へ誘導］に表示が変わります。

関連する機能

自宅に帰るとき.....P134
自宅の位置を変更する.....P44
自宅を消去する.....P45

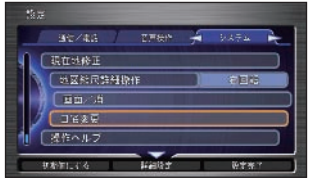
自宅の位置を変更する 簡単操作 標準操作

登録済みの自宅の位置を変更することができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **設定を変える** → **システム設定** を選んで 実行 を押す ◆1

2 **自宅変更** を選んで 実行 を押す



3 地図をスクロールして、変更したい位置にカーソルを合わせて、実行 を押す

→「場所を探す」(P113)

4 **自宅セット** を選んで 実行 を押す

▼

自宅の位置が変更され、地図画面に戻ります。

1 標準操作

ナビメニュー → **設定** → **システム設定** を選んで 実行 を押す

2 **自宅変更** を選んで 実行 を押す

3 変更したい位置を探し、カーソルを合わせて 実行 を押す

→「場所を探す」(P113)

4 **自宅セット** を選んで 実行 を押す

▼

自宅の位置が変更され、地図画面に戻ります。

アドバイス

◆1 ・標準操作モードでは自宅をよく行く地点リストから編集、確認、消去することもできます。ただし、名称、読み、マークは変更することができません。

→「よく行く地点を登録する」(P98)

自宅を消去する 簡単操作 標準操作

登録した自宅を消去することができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **設定を変える** → **システム設定** を選んで 実行 を押す

2 **自宅変更** を選んで 実行 を押す

3 実行 を押し **自宅消去** を選んで 実行 を押す ◆1

▼

自宅が消去され、地図画面に戻ります。

1 標準操作

目的地／ルート → **マーク／履歴** → **よく行く地点** を選んで 実行 を押す

2 **自宅** → **消去** を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

▼

自宅が消去され、地図画面に戻ります。

アドバイス

◆1 ・地図上で自宅にカーソルが合っている状態で［実行］ボタンを押します。

地図の向きを決める 簡単操作 標準操作

お客様が使いやすい地図の向きをあらかじめ決めておきます。◆1

基本画面を設定する

1 画面地図のときや 2 画面地図の左側に表示される地図の向きを切り換えることができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **マーク／地図を変える** → **地図向きを変える** を選んで 実行 を押す

2 **切り換えたい地図**を選んで 実行 を押す

（北を上）	北を上にして地図を表示します。
（進行方向を上） ＊1	進行方向を上にして地図を表示します。

ポイント

＊1
- スケールが 500km のときは［進行方向を上に表示］はできません。
- 簡単操作モードでは、3D マップを表示することはできません。
  3D マップ表示時に地図をスクロールすると北を上または進行方向を上の地図に切り換わります。

アドバイス

◆1
- 地図画面から［実行］ボタンを押して［地図向きを変える］または［地図方位］から切り換えることもできます。ただし、［地図方位］は、カスタマイズメニューの変更により、表示されない場合もあります。

1 標準操作

ナビメニュー → **マーク／地図変更** → **地図方位切換** を選んで 実行 を押す

2 **切り換えたい地図**選んで 実行 を押す

（北を上）	北を上にして地図を表示します。
＊1 （進行方向を上）	進行方向を上にして地図を表示します。
＊2 （3D マップ）	3D マップを表示します。

ポイント

＊1 ・スケールが 500km のときは［進行方向を上に表示］はできません。

＊2 ・簡単操作モードでは、3D マップを表示することはできません。
3D マップ表示時に地図をスクロールすると北を上または進行方向を上の地図に切り換わります。

・スケールが 200m 以下の詳細表示のとき有名施設を立体表示させることができます。

有名施設リアル表示は、［する］／［しない］を選ぶことができます。
→「地図表示設定」（P424）

右画面を設定する 標準操作

2 画面地図を表示し、画面右側に表示される地図を切り換えることができます。

1 **ナビメニュー** → **マーク／地図変更** → **地図モード切換** を選んで 実行 を押す

2 **右画面に表示するマップモード** を選んで 実行 を押す

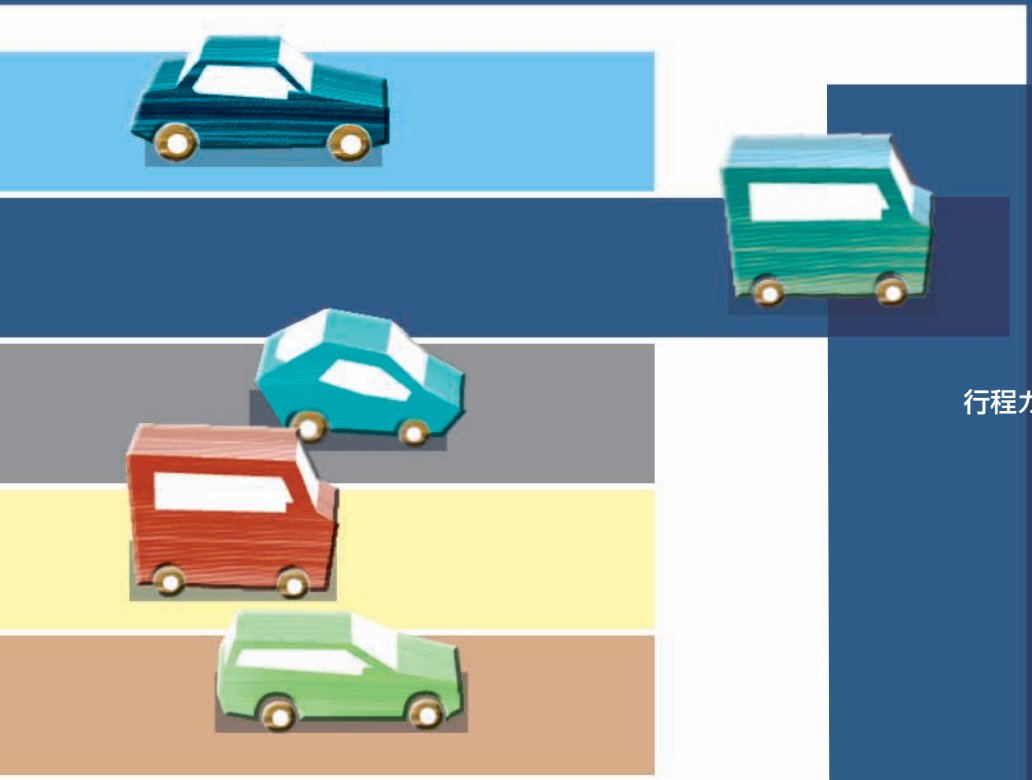
右画面に表示なし	1 画面地図（基本画面）を表示します。
北を上に表示	北を上にして地図を表示します。
進行方向を上に表示	進行方向を上にして地図を表示します。
ドライビングマップを表示	ドライバーの視線から見たような地図を表示します。
行程ガイド／高速ガイドを表示	高速道路以外では行程ガイド、高速道路では高速ガイドを表示します。＊1

ポイント

＊1
- 行程ガイド／高速ガイドのどちらも表示できなくなった場合は、行程ガイド／高速ガイドに設定する前のマップモードで表示します。
- 行程ガイド表示中、ルート以外を走行した場合、1 画面地図（基本画面の地図）に切り換わります。

表示に関すること

表示内容に関する見かたや変更方法について説明しています。



ナビゲーション画面の見かた 50
地図の見かた 52
いろいろなメニュー画面 56
地図の表示方法を変える 62
走行中に表示する案内 66
高速道路の施設を確認する 74
行程ガイドの案内（交差点）情報を見る 77
施設の詳細な情報を確認する 79
画面の表示を消す 82
画面の明るさを変える 83

ナビゲーション画面の見かた 簡単操作 標準操作

地図に自車位置を表示している画面をナビゲーション画面と言います。

ナビゲーション画面

※画面は標準操作モードのものです

① 方角マーク（ ）

地図の方角を示します。
進行方向を上にした場合、赤い三角が北を示します。*(→P46)*

② 走行軌跡 ★

今までに通った約 250km 分の走行軌跡が表示できます。車の速度が 5km/h 未満のときは赤、5km/h 以上 20km/h 未満のときは橙、20km/h 以上のときは白の点で表示されます。
走行軌跡は地図のスケールが 20km 以下のときに表示されます。◆1

③ スケール表示

下の ▬ がスケールの距離を示します。（2D マップのみ）プログレッシブコマンダーを左右に回転させて広域／詳細を調節します。

④ GPS アイコン

GPS 信号を受信したときに表示されます。

⑤ 到着予想時刻／残距離 ★

ルート案内時には、目的地へ到着する予想時刻と目的地までの残距離を表示します。

⑥ 自車位置マーク

○ は、現在の位置を示します。
▲ は、車の方向を示します。

⑦ 現在地の地名 ★

市区町村名が表示されます。◆2

⑧ ルートインフォメーション表示

次の案内地点までの距離と案内地点に関する情報を表示します。

⑨ レーン情報

交差点の手前 300m に近づくと表示します（レーン情報のデータがある交差点のみ）。

⑩ 方面看板表示 ★

交差点の手前 300m に近づくと表示します（データがある交差点のみ）。※1

★ は「ナビ機能の設定を変える」*(P422)* で［表示する］／［表示しない］などの設定変更が行える機能を示しています。

駐車場に入ると

データが収録されている大規模な駐車場に入ると、入口、出口、エレベーターの位置などがわかる駐車場マップが表示されます。 ＊2 ◆3

ポイント

＊1 ・方面看板表示は、実際の標識と異なる場合があります。

＊2 ・駐車場マップは、4m スケールで表示されます。コマンドホイールで 8m スケールに変更することもできます。

アドバイス

◆1 ・走行軌跡は消去することができます。
→「地図表示設定」（P424）

・自宅に到着したときに、走行軌跡を自動的に消去［する］／［しない］を選べます。
→「地図表示設定」（P424）

◆2 ・現在地情報表示は、［する］／［しない］を選べます。また、走行道路名（走行道路名称表示）に切り換えることもできます。
→「地図表示設定」（P424）

・市区町村名は地図のスケールが 10m ～ 50m で市街地図が表示されている場合、市区町村、丁目が表示されます。（市街地図が表示されていない場合は市区町村が表示され、ドライビングマップは都道府県と市区町村が表示されます。）（東京以外の指定都市の場合は市の次に区が表示されます。）

・市区町村名は地図のスケールが 100m ～ 1km の場合、都道府県と市区町村が表示されます。

・市区町村名は地図のスケールが 2km 以上の場合は表示されません。

・走行道路名が表示される場合、道路名、路線番号マークが表示されます。

・走行道路名が表示される場合、インターチェンジの出口から一般道合流地点までは、「ランプ道」と表示されます。

・道路名がデータベースにない道路を走行中は、現在地情報の表示で［路線名］を設定していても、市区町村名が表示されます。

・マップモードが行程ガイドまたは高速ガイドの場合は、現在地情報の表示で［地名］を設定していても、優先的に路線名が表示されます。

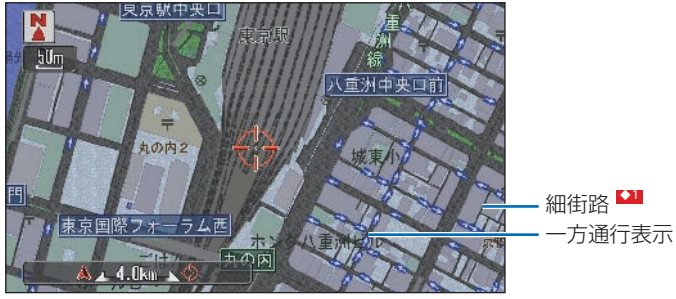
・場所によっては、市区町村名や走行道路名が表示されないところもあります。

◆3 ・駐車場マップの表示は、割込みを［する］／［しない］のいずれかに変更できます。
→「地図表示設定」（P424）

地図の見かた 簡単操作 標準操作

地図に表示する内容について説明します。

地図表示について



※画面は標準操作モードです

アドバイス

◆1 ・道幅 5m 未満の道路（細街路）以外を走行しているときは、細街路は表示されません。

お願い

・画面に表示される一方通行表示は、実際の道路と異なった表示をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

施設

- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ・ランプ
- トンネル出入口
- スマート IC ゲート
- 料金所
- 駐車場
- 道の駅
- ヘリポート
- 空港
- 港
- 灯台
- 公共施設
- 都道府県庁
- 市役所・区役所 (東京都のみ)
- 町、村役場、区役所 (東京都以外)
- 警察署・派出所・駐在所
- 消防署
- 病院・保健所
- 学校
- 大学・短期大学
- 図書館
- 郵便局
- 金融
- ホテル
- ショッピング
- 工場・工場敷地
- デパート・スーパー
- 美術館・博物館
- スポーツ施設
- 指示点
- 史跡
- 山
- タワー
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ゴルフ場・ゴルフ練習場
- 温泉・銭湯
- スキー場
- 海水浴場
- 遊園地
- キャンプ場
- 公園
- マリーナ・ヨットハーバー
- 競馬場
- 神社
- 寺
- 教会
- 墓地
- 城・城跡
- 自動車学校
- ホンダ店
- 交通教育センター
- オートテラス
- モータースポーツ
- マンション
- フェリー発着所・観光船乗り場
- NTT
- 乗馬クラブ
- ボウリング場
- 野球場、スタジアム
- 体育館
- テニスコート
- ホール劇場
- 牧場
- DIY ショップ

VICS 情報表示について

VICS センターから受信した道路交通情報を、渋滞の矢印や VICS 情報マークで地図上に表示します。*1

一般道路への表示			高速道路への表示		
VICS	Internavi VICS	状況	VICS	Internavi VICS	状況
		渋滞			渋滞
		混雑			混雑
*	*	順調	*	*	順調
	—	規制区間		—	規制区間
	—	通行止め（入口閉鎖）		—	通行止め（入口閉鎖）
	—	通行止め（入口閉鎖以外）		—	通行止め（入口閉鎖以外）

* 工場出荷時は、表示しない設定になっています。

ポイント

*1
- エンジンスイッチノブを “I” または “II” にしてから受信した VICS 情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→「VICS 放送局を選ぶ」(P388)
- 表示される VICS 情報提供時刻は 12 時間表示と 24 時間表示の選択ができます。→「ナビ機能の設定を変える」(P422)
- 情報受信後、VICS 設定で情報保持時間に設定した時間が経過しても、データが更新されない場合は VICS 情報は消去されます。
- 行程ガイドや高速ガイド（→ P65）を表示しているときは、行程ガイドや高速ガイドにも VICS 情報が表示されます。赤色は渋滞、橙色は混雑、青色は順調、灰色は情報なしまたは不明を表示します。
- 行程ガイドや高速ガイドでの VICS 情報は、各案内区間や施設間を 4 区間に区切って表示されます。
- VICS 情報は地図縮尺が 1 ｋｍスケール以下のときに表示されます。
- インターナビ情報センターで作成した交通情報を取得するには事前に準備が必要です。詳しくは「インターナビの通信サービスを使う」の「通信機能を使えるようにする」(P166)を参照してください。

VICS 情報マークの種類

VICS 情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。VICS 情報マークにカーソルを合わせて [実行] ボタンを押すと VICS 情報マークの詳細を見ることも可能です。

- 大型通行止め
- 作業
- チェーン規制
- 進入禁止
- 通行止め・閉鎖
- 工事中
- 片側交互通行
- 車線規制
- 速度規制 (数字は制限速度)
- 駐車場閉
- 駐車場 (空き：青)
- 駐車場 (混雑：橙)
- 駐車場 (満車：赤)
- 駐車場 (不明：黒)
- 故障車
- 路上障害
- 凍結
- 入口制限
- 事故
- 入口閉鎖
- オフランプ規制
- 対面通行
- 徐行
- 規制情報
- タイムズ24 (空き:青) ※
- タイムズ24 (混雑:橙) ※
- タイムズ24 (満車:赤) ※
- タイムズ24 (通常) ※

※ インターナビ情報センターから取得する情報です。

VICS 情報提供時刻について

受信した VICS 情報の提供時刻を表示します。

VICS 情報の提供時刻

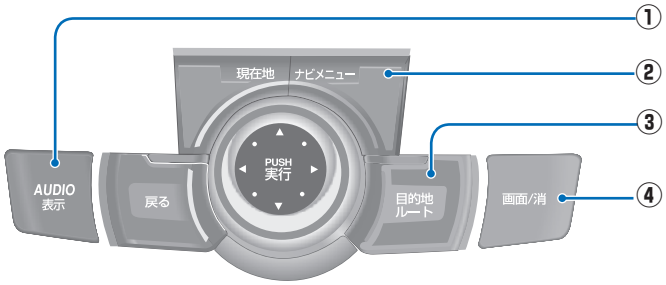
VICS 情報の提供時刻は、受信した情報に入っている時刻であり、情報を受信した時刻ではありません（おもに情報の収集や編集時の時刻のため、受信した時の時刻より数分前の時刻になります）。提供時刻は、ナビゲーションシステムが受信しているレベル 3 表示用の VICS 情報で画面内に表示されている情報の最新の提供時刻を表示しています。そのため、受信している情報の内容や場所によっては、表示している時刻より提供時刻が古い場合があります。また、地図のスケール変更時や、自車位置の移動にともなって提供時刻が変化する場合もあります。

2 つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

ナビゲーションシステムは、現在地周辺の VICS 情報（渋滞表示など）と別のエリア（隣接する都道府県など）の VICS 情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

いろいろなメニュー画面

各ボタンを押したときに表示するメニュー画面を説明します。



① **AUDIO 表示** *(→P59)*
選択中のオーディオソースの画面が表示されます。

② **ナビメニュー** *(→P58)*
ナビメニュー画面を表示するときに使います。

③ **目的地／ルート** *(→P56)*
目的地を選ぶときに使います。

④ **画面／消** *(→P59)*
画面を設定、調節するときに使います。

「目的地 / ルート」ボタンを押したとき

目的地やルートを設定するためのさまざまな検索メニューが選べます。

簡単操作

① **名称／番号で探す**
名称の一部分または施設の電話番号を入力して探します。
(→P115)

② **自宅を登録する**
自宅の位置を登録します。*(→P42)* 自宅登録後は、「自宅に帰る」にメニューが変わり自宅へのルートを設定します。
(→P134)

③ **施設のジャンルで探す**
コンビニやガソリンスタンドなど分類ごとに施設を探します。
(→P116)

④ **目的地を消去する**
設定した目的地を消去します。
(→P159)

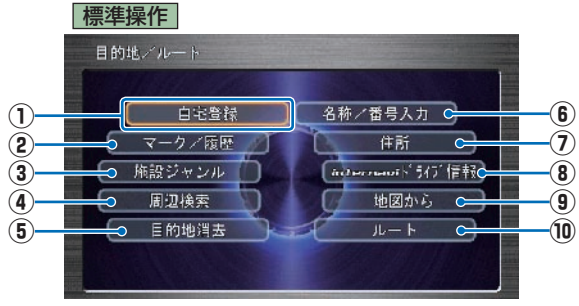
⑤ **住所で探す**
施設の住所を入力して探します。*(→P121、127)*

⑥ **internavi ドライブ情報** 通信
インターナビのドライブ情報からお好みのスポットを利用してルートを設定します。
(→P136)

⑦ **ルートを変える**
ルートの確認や計算条件の変更 *(→P148、151)*、誘導中止／再開 *(→P159)* を行います。

「目的地 / ルート」ボタンを押したとき（つづき）

標準操作



① **自宅登録**

自宅の位置を登録します。*（→P42）* 自宅登録後、「自宅へ誘導」にメニューが変わり自宅へのルートを設定します。*（→P134）*

② **マーク／履歴** *（→P134）*

あらかじめ登録しておいたマークや履歴を利用して、ルートを設定します。

③ **施設ジャンル** *（→P116）*

コンビニやガソリンスタンドなどの分類ごとに施設を探します。

④ **周辺検索** *（→P117）*

現在地周辺や目的地周辺、ルート周辺などの施設を探します。

⑤ **目的地消去** *（→P159）*

設定した目的地を消去します。

⑥ **名称／番号入力** *（→P115、127）*

施設名の一部分またはマップコード、電話番号、郵便番号を入力して探します。

⑦ **住所** *（→P121）*

施設の住所を入力して探します。

⑧ **internavi ドライブ情報** 通信 *（→P136）*

インターナビのトライブ情報からすきなスポットを利用してルートを設定します。

⑨ **地図から** *（→P128）*

地図をスクロールして探します。

⑩ **ルート**

ルートの確認や計算条件の変更 *（→P148、151）*、誘導中止／再開 *（→P159）* を行います。

「ナビメニュー」ボタンを押したとき

各種情報の確認や変更および環境の設定を変更することができます。

簡単操作

① **VICS 交通情報を見る**
VICS の情報 *(→ P382)* やインターナビ VICS *(→ P383)* の情報を確認します。

② **マーク／地図を変える**
地図の方位を切り換えます。 *(→ P46)*

③ **設定を変える** *(→ P422)*
Honda インターナビシステムの環境設定を変更します。

④ **音声音量を変える** *(→ P33)*
案内音声の音量を変更します。

⑤ **internavi 情報** 通信
通信機能を使ったカーカルテ *(→ P191)* や天気予報 *(→ P200)* を利用します。

⑥ **電話をかける**
ハンズフリー電話を使います。 *(→ P320)*

⑦ **ツール**
各種情報の確認・編集 *(→ P409)* やシークレットモード *(→ P412)* を利用します。

⑧ **標準操作モードにする** *(→ P40)*
Honda インターナビシステムを標準操作モードに切り換えます。

標準操作

⑨ **VICS**
VICS の情報 *(→ P382)* やインターナビ VICS *(→ P383)* の情報を確認します。

⑩ **マーク／地図変更**
マーク地点を登録したり、地図の方位やモードを切り換えます。 *(→ P46、102)*

⑪ **設定** *(→ P422)*
Honda インターナビシステムの環境設定を変更します。

⑫ **音声音量設定** *(→ P33)*
案内音声の音量を変更します。

⑬ **internavi 情報** 通信
通信機能を使ったカーカルテ *(→ P191)* や天気予報 *(→ P200)* を利用します。

⑭ **電話**
ハンズフリー電話を使います。 *(→ P320)*

⑮ **ツール**
各種情報の確認・編集 *(→ P414、415)* やシークレットモード *(→ P412)* を利用します。

⑯ **簡単操作モード** *(→ P40)*
Honda インターナビシステムを簡単操作モードに切り換えます。

「画面 / 消」ボタンを押したとき

画面の明るさや色合いを調節できます。

簡単操作 標準操作

① **画面の状態**

画面の状態を表示します。停車中に［画面／消］ボタンを押すたびに、昼画面→夜画面→画面消に切り換わります。

② **明るさ** *(→ P83)*

「明るさ」を調節します。

③ **コントラスト** *(→ P83)*

「コントラスト」を調節します。

④ **黒の濃さ** *(→ P83)*

「黒の濃さ」を調節します。

⑤ **画面 消** **設定完了**

ジョイスティックを下に倒すと画面を消したり、変更した設定を保存して元の画面に戻ります。

「AUDIO 表示」ボタンを押したとき

選択中のソースの画面が表示されます。

他のソースに切り換えるには、**•ıllll**、**TV/AUX**、**FM/AM**、**DISC**、**HDD**を押します。

画面が表示されない場合は、**VOL/⏻** を押して ON にしてください。

それぞれのソース画面については以下をご参照ください。

- ラジオ情報（FM/AM）*(→ P225)*
- 交通情報 *(→ P230)*
- 音楽 CD *(→ P231)*
- MP3/WMA/AAC *(→ P234)*
- USB メモリー *(→ P238)*
- iPod *(→ P242)*
- テレビ *(→ P249)*
- DVD ビデオ *(→ P257)*
- HDD サウンドコンテナ *(→ P272)*

地図をスクロールしたとき（ポイントメニューの表示）

地図をスクロールさせるとポイントメニューが表示され、カーソル地点を目的地に設定したりカーソル地点周辺の情報を確認することができます。

簡単操作

標準操作

① **目的地セット** *(→P132)*

カーソル地点を目的地に設定します。カーソル地点までのルートを計算したあと、案内開始画面を表示します。

② **周辺検索** *(→P117)*

カーソル地点周辺の施設を分類や種類ごとに探します。

③ **詳細情報** *(→P79)*

カーソル地点の施設に情報があるときに表示します。[情報] を選んで [実行] ボタンを押すと施設の情報を表示します。施設マークを選んでいたときには [非表示] を選んで [実行] ボタンを押すことで施設マークを個別に非表示にします。

④ **地図向きを変える**（**簡単操作**）
地図方位（**標準操作**）*(→P46)*

北が上、進行方向が上のいずれかに地図の向きを変更します。

⑤ **internavi ダイレクト** **通信** *(→P187)*

よく使う internavi 情報を登録しておくと *(→P188)*、複雑な操作なしで internavi の情報を簡単に確認できます。
全画面地図を表示します。

⑥ **経由地セット** *(→P154)*

カーソル地点を経由地に設定します。カーソル地点までのルートを計算したあと、案内開始画面を表示します。目的地を設定しているとき、選択できるようになります。

⑦ **マークセット** *(→P102)*

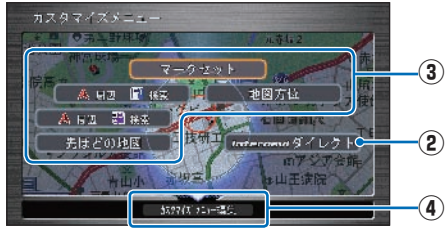
カーソル地点をマークリストに登録します。登録したマークの情報は後で編集することができます。

実行 を押したとき（ワンプッシュメニュー / カスタマイズメニューの表示）

よく使う機能を集めたメニューを表示します。
標準操作モードでは、自分の好みのメニューに変更できます。

簡単操作

標準操作



① **地図向きを変える** *（→P46）*
北が上、進行方向が上のいずれかに地図の向きを変更します。

② **internavi ダイレクト** 通信 *（→P187）*
よく使う internavi 情報を登録しておくと *（→P188）*、複雑な操作なしで internavi の情報を簡単に確認できます。

③ **カスタマイズできるメニュー** *（→P440）*
よく使う機能を集めて自分好みのメニューに変更します。

④ **カスタマイズメニュー編集** *（→P440）*
カスタマイズメニューを変更するときに使います。

地図の表示方法を変える 簡単操作 標準操作

標準操作モードでは、さまざまな状況に応じて、地図の表示方法（地図モード）を変更できます。

標準操作

地図モードを切り換える

1 **ナビメニュー** → **マーク／地図変更** → **地図モード切換** を選んで 実行 を押す

2 **表示方法**を選んで 実行 を押す

▼

地図画面に戻ります。 ◆1

簡単操作 標準操作

表示方法の種類

1 画面地図 簡単操作 標準操作

通常の地図（平面の地図）を表示します。

都市部では、10m ～ 50m スケールのときに詳細な市街地図を表示します。 ※1

都市高速道路を走行すると、都市高速マップに切り換わり、高速道路、有料道路、主要な道路、インターチェンジのみ表示します。 ※2

ポイント

※1 ・線図または市街地図共に 25m スケール以下の詳細地図表示中、85km/h を超えた場合は詳細地図規制になり、自動的に 50m スケールに切り換わります。

※2 ・都市高速マップの対象縮尺は、100m ～ 5km スケールです。対象外の縮尺になった場合、都市高速マップ表示前の地図に切り換わります。再度対象内の縮尺になった場合、都市高速マップに戻ります。

アドバイス

◆1 ・都市高速マップの表示は、[する]／[しない] を選ぶことができます。
→「地図表示設定」（P424）

・（右画面表示なし）を選ぶと、1 画面で表示されます。再度選んで選択を解除すると、2 画面で表示されます。

・（ドライビングマップ）を選ぶと、ドライビングマップに切り換わります。

・（行程ガイド／高速ガイド）を選ぶと、高速ガイド対応路線走行中は高速ガイドに、それ以外の道路を走行中は行程ガイドに切り換わります。

都市高速マップ

標準操作

2 画面地図 ＊1 ◆1

画面を左右に 2 分割して表示します。詳細地図と広域地図を同時に見たいときに便利です。

ポイント

＊1 ・右画面では、常に自車位置を表示します（右画面はスクロールできません）。

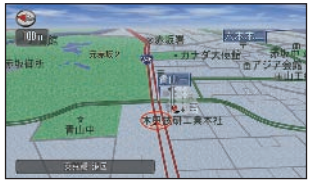
アドバイス

◆1 ・右画面のスケールの変更は、「地図のスケールを切り換える」（→ P29）で変更できます。

標準操作

3D マップ ＊1 ◆1

上空から見ているような地図を表示します。



都市部では、10m ～ 50m スケールのときに立体的な市街地図を表示します（ビル立体表示）。

標準操作

3D/2D マップ

画面を左右に 2 分割し、左画面には 3D マップ、右画面には 2D マップで地図を表示します。3D マップと 2D マップを同時に見たいときに便利です。＊2 ◆2

標準操作

ドライビングマップ

ドライバーの視線から見たような地図で信号やお店などの目印となる建物を立体的に表示します。（一部の地域では表示されないことがあります。）左側には地図を表示します。＊3

ポイント

＊1 ・線図または市街地図共に 25m スケール以下の詳細地図表示中、85km/h を超えた場合は詳細地図規制になり、自動的に 50m スケールに切り換わります。

・地図をスクロールすると、3D マップは 2D マップに切り換わります。

＊2 ・地図をスクロールすると、3D マップは 2D マップに切り換わります。

＊3 ・地図をスクロールすると、ドライビングマップは 2D マップに切り換わります。

・線図または市街地図共に 25m スケール以下の詳細地図表示中、85km/h を超えた場合は詳細地図規制になり、自動的に 50m 縮尺に切り換わります。

アドバイス

◆1 ・地図を見る角度は変更できます。
→「地図表示設定」（P424）

・ビル立体表示は、［する］／［しない］を選ぶことができます。
→「地図表示設定」（P424）

◆2 ・左画面の地図は、スクロール、地図向き、角度の変更などができます。

・右画面の地図には常に自車位置が表示され、地図の縮尺を変更できます。
→「地図の縮尺を切り換える」（P29）

標準操作

行程ガイド

ルート案内中は、右側に現在地より前方の案内地点と現在地からの距離を表示します。*1

簡単操作 標準操作

高速ガイド

高速道路走行時に表示される専用画面で、前方の高速道路施設の情報を表示します。*2

ポイント

*1
- ジョイスティックを上に倒すと、先の案内地点を表示することできます。[実行] ボタンを押すと、選んだ案内地点の地図が表示されます。案内地点のイラスト拡大図がある場合は、表示する対象を選べます。
- 「行程ガイド自動表示」が［する］に設定されている場合、自動的に行程ガイドが表示されます。
- 行程ガイドを表示中に手動で別のマップモードに切り換えることもできます。
- 一般道路を走行しているときは、次の交差点のレーン情報や、先の交差点の誘導方向が表示されます。
- 「都市高速マップ表示」を「する」に設定しているときは、高速道路や都市高速道路を走行中、左側の地図は高速道路、有料道路、主要な道路のみ表示されます。
→「地図表示設定」(P424)
- 高速道路を走行中は、料金所が近づくと料金が表示されます。
- VICS 情報表示を設定している場合は、VICS 情報センターから受信した道路交通情報が表示されます。
→「地図をスクロールして確認するとき」(P384)
- 行程ガイド表示中は、左地図のスクロールはできません。
- 高速ガイド対応道路走行中に行程ガイドが表示されている場合、ジョイスティックを左に倒すと、高速ガイドが表示されます。
- 入口、出口とならないインターチェンジや路線切換点とならないジャンクションの表示は［する］／［しない］を選ぶことができます。
→「地図表示設定」(P424)

*2
- 「高速ガイド自動表示」が［する］に設定されている場合、高速道路を走行すると自動的に高速ガイドに切り換わります。
- 標準操作モードのときは高速ガイド表示中に手動で別のマップモードに切り換えることもできます。
- 一般道路に入ると通常の地図表示に切り換わります。
- 高速道路の施設情報を見ることができます。
→「高速ガイドの施設情報を見る」(P74)
- 高速ガイドに表示される内容は、実際と異なる場合があります。
- 高速道路によっては、高速ガイドを表示できないことがあります。
- VICS 情報表示を設定している場合は、VICS 情報センターから受信した道路交通情報が表示されます。
→「地図上で VICS 情報を見る」(P384)
- 高速ガイド表示中は、画面左側地図のスクロールはできません。
- ルート案内中の高速ガイドが表示されている場合、ジョイスティックを右に倒すと、行程ガイドが表示されます。

走行中に表示する案内 簡単操作 標準操作

ここでは走行中に行われるさまざまな案内について説明します。

車のふらつきが大きくなると・・・

車両のふらつきを感知すると、メッセージと警告表示マークを表示し、音声で警告します。◆1

シートベルト警告

シートベルトを装着せずに走行しようとすると、音声で警告します。◆2

パーキングブレーキ警告

パーキングブレーキを解除せずに走行しようとすると、音声で警告します。◆3

速い速度でカーブに近づくと・・・

速い速度でカーブを走行しようとすると、メッセージと警告表示マークを表示し、音声で警告します。◆4

アドバイス

◆1 ・「ふらつき検知警報」は［する］／［しない］を選べます。
→「車両警告設定」(P435)

◆2 ・「シートベルト警告」は［する］／［しない］を選べます。
→「車両警告設定」(P435)

◆3 ・「パーキングブレーキ警告」は［する］／［しない］を選べます。
→「車両警告設定」(P435)

◆4 ・「カーブ警告」の設定は、[舗装路]/[圧雪路]/[しない] を選べます。
→「車両警告設定」(P435)

県境を過ぎると・・・

県境を過ぎると、入った都道府県を示すメッセージが表示されます。◆1

都市高速マップ

都市高速道を走行しているときは、高速道路、有料道路、主要幹線道路、インターチェンジのみの表示に切り換わります。（標準操作モードのみ）

ルート案内中の表示

ここではルート案内中に行われるさまざまな案内について説明します。

案内地点に近づくと・・・

案内地点の手前 300m に近づくと、拡大図となり、交差点の曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。◆3

拡大図

アドバイス

◆1 ・「県境案内」は、[する]/[しない] を選べます。
→「案内設定」(P429)

◆2 ・表示するには「直線誘導線表示」を [する]/[しない] を選べます。
→「地図表示設定」(P424)

◆3 ・拡大図の場合、通過したルートの誘導経路は消去します。

・[現在地] ボタンを押すと拡大図を解除します。再度 [現在地] ボタンを押すと拡大図を再表示します。
→「地図表示設定」(P424)

ドライビングマップ

地図情報に 3D イラスト表示、3D 立体交差点表示が登録されている交差点は、交差点のイラストが表示されます。

3D イラスト表示

3D 立体交差点表示

方面看板表示

案内地点の手前 700m に近づくと一般道方面看板を表示します。(一般道方面看板のデータがある交差点のみ) ◆1

方面看板表示

レーン情報

複数のレーンが存在する場合、レーン情報を表示します。

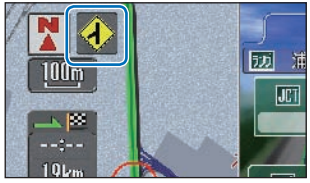
レーン情報

アドバイス

◆1
- 方面看板内の案内方面を示す方向は、色が変わります。
- 「方面看板表示」は [する]/[しない] を選べます。
→「地図表示設定」(P424)

合流地点に近づくと・・・

高速道路および都市高速を走行中、700m 前方に合流地点が存在する場合、音声とマーク表示で案内します。JCT 渡り路を走行中、300m 前方に合流地点が存在する場合、音声とマーク表示（◆、◆）で案内します。（合流案内）◆1



踏み切りに近づくと・・・

ルート案内中、300m 前方に踏み切りが存在する場合、音声とマーク表示（🚃）で案内します。（踏み切り案内）◆2

事故多発地点に近づくと・・・

ルート案内中、前方に事故多発地点が存在する場合、音声で案内します。（事故多発地点案内）◆3

都市高速入口に近づくと・・・

ルート上の都市高速入口の手前 300m に近づくと、イラストを表示します。
（データがある都市高速入口のみ）

アドバイス

◆1 ・「合流案内」は [する]/[しない] を選べます。
→「案内設定」(P429)

◆2 ・「踏み切り案内」は [する]/[しない] を選べます。
→「案内設定」(P429)

◆3 ・「事故多発地点案内」は [する]/[しない] を選べます
→「案内設定」(P429)

高速道路の分岐・出口に近づくと・・・

ルート上の高速道路分岐・出口の手前 1km に近づくと、都市高速・都市間高速ではイラストを表示します。(データがある高速道路分岐・出口のみ)

料金所に近づくと

行程ガイドと高速ガイドを表示中は、有料道路の料金所に近づくと、料金が表示されます。

行程ガイド

ルート案内中に［地図モード切換］で［行程ガイド］を選ぶと表示します。

→「地図モードを切り換える」(P62)

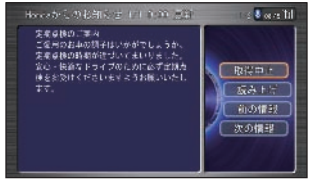
高速ガイド

高速道路を走行しているときに［地図モード切換］で［高速ガイド］を選ぶと表示します。◆1

Honda からのお知らせがあると 通信

重要なお知らせや地図更新時期などをお知らせします。また、豪雨や地震の際の警告も文字で表示します。◆2

→「Hondaからのお知らせを確認する」(P184)



新しい道路の情報があると 通信

ルート計算時にルート周辺に新しい道路が見つかったとき、新しい道路のデータも取得することができます。(新規道路データ配信)

→「新しい道路データを取得する」(P206)

アドバイス

◆1 ・「高速ガイド自動表示」は［する］に設定されている場合、高速道路を走行すると自動的に高速ガイドに切り換わります。

→「地図表示設定」(P424)

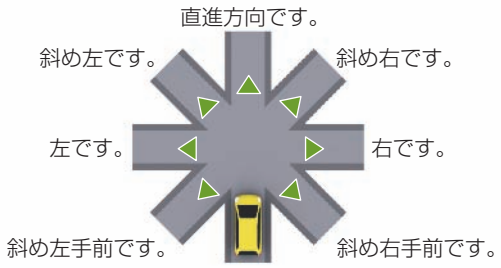
◆2 ・豪雨とは 1 時間に 30mm 以上の降雨・降雪を意味します。また、地震は震度 5 弱以上のときにお知らせします。

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、音声で道案内を行います。※1

進行方向案内

進行方向(7方向)は、音声で図のように案内します。



種類	案内例
側道案内	およそ○○ m 先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ○○ m 先、右方向です。右折レーンがあります。
方面案内	およそ○○m先、左方向、○○方面です。
高速(有料)道路入口/出口案内	およそ○○ m 先、○○インターチェンジ、左方向、出口です。
高速(有料)道路料金所案内	料金所です。※2
施設マーク音声案内	まもなく左折です。○○が目印です。

音声での案内をきき逃したとき

[現在地]ボタンを押すと、再度音声による案内をきくことができます。

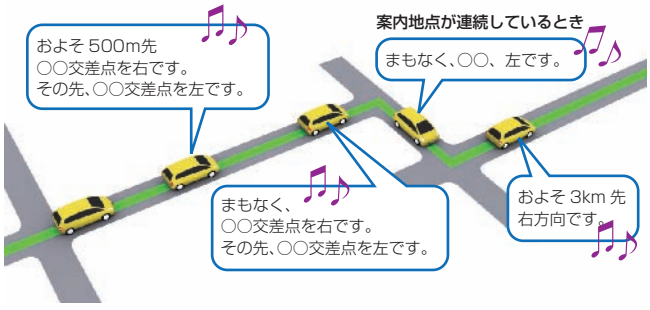
ポイント

※1
- 誘導される右左折の方向は実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 固有名を案内しない「シンプル案内」は［する］／［しない］を選べます。→「案内設定」(P429)
- 料金案内では、高速道路に入る前にルート設定した入口から出口までの料金を案内します。高速道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 都市高速・都市間高速・一部高速道路の料金案内は、データの作成時点のものです。正しくは料金窓口で確認してください。
- 交差点目印の音声案内は、「交差点目印案内」で[する]/[しない]を設定することができます。→「案内設定」(P429)

※2
- 有料道路を走行中、支払う料金がある場合は、金額が案内されることがあります。料金は実際と異なる場合があります。「料金所です。料金は○○円です。」

一般道路走行時の案内例

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大 4 回、音声の案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内を表示します。



経由地が近づいたら

2 回、音声で案内が流れます。
経由地の約 500m 手前に近づくと、「およそ 500m 先、経由地です」と案内が流れ、2 回目は経由地の約 10 m手前で「経由地に到着しました」と案内が流れます。

高速道路を走行しているときは

ルート上の高速道路分岐の手前 2km に近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また、都市高速・都市間高速ではイラストが表示されます。さらに、出口の料金所で料金とこれから進む方向が案内されます。
＊1

ポイント

＊1
- 料金案内では、高速道路に入る前にルート設定した、入口から出口までの料金が案内されます。高速道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 都市高速・都市間高速・一部高速道路の料金案内は、データ作成時点のものです。
  正しくは料金所窓口で確認してください。

案内について

走行中に踏み切り、県境や合流地点（高速道路走行中のみ）、直進レーンが右左折専用レーンになる地点、事故多発地点（高速道路走行中のみ）に近づくと、音声案内をさせるように設定することができます。また、交通状況が変化したときに音声案内をさせたり、2 時間連続使用でリフレッシュ案内をさせたりするように設定することもできます。◆1

ルートから外れた場合

案内中のルートから外れた場合、状況に合わせて自動的にルートを計算しなおすことができます。(オートリルート *(→P161)*)

ルート再計算の判断は、オートリルートを繰り返した回数およびルートから外れた場所の進入角度、走行している道路の有効性などをもとに行われます。

自車位置がルートから外れた場合は、一般道路では約 30m 以上、高速道路では約 100m 走行したところでオートリルートが働きます。◆2

アドバイス

◆1 ・踏み切り案内、合流案内、県境案内、右左折専用レーン案内、事故多発地点案内、交通状況変化時案内、リフレッシュ案内は［する］／［しない］を選べます。
→「案内設定」(P429)

◆2 ・手動で行うこともできます。
→「ルートを計算しなおす」(P153)

高速道路の施設を確認する 簡単操作 標準操作

高速ガイドは、前方のインターチェンジやサービスエリアまでの距離や施設情報などを確認できます。

走行中の高速道路の施設を見る

高速道路を走行すると自動的に高速ガイドに切り換わります。 ※1

施設の情報を見る

画面にサービスエリアやパーキングエリアなどの施設情報が表示されているときは、施設の詳細情報を見ることができます。

1 ジョイスティックを上に倒す

倒すごとに次の高速道路施設が表示されます。

▼

左の地図に、選ばれている施設周辺の地図が表示されます。 ※2

ポイント

※1
- 「高速ガイド自動表示」は、[する]/[しない] を設定できます。→「地図表示設定」(P424)
- 複雑なジャンクションにおいては、同じ名称の施設や路線が表示される場合があります。
- 画面に表示されている施設の情報のみ見ることができます。通過した施設は見ることができません。
- ジャンクションやインターチェンジなどの高速道路に併設されている施設を通過して高速道路を降りる場合は、高速道路を降りるまで高速ガイドで表示されます。
  一般道に入ると、通常の地図表示に戻ります。標準操作モードで「行程ガイド自動表示」が［する］に設定されている場合は、行程ガイドが表示されます。→「地図表示設定」(P424)

※2
- 通過した施設を見ることはできません。
- ルート案内中の高速ガイド表示は自車位置から出口施設までです。
- VICS 情報表示を設定している場合は VICS センターから受信した道路交通情報が表示されます。→「地図をスクロールして確認するとき」(P384)

2 **確認したい施設**を選んで 実行 を押す

選んだ施設によって表示される画面が異なります。
［全画面表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、選んだ施設周辺の地図が表示されます。 ※1

出口施設を選んだ場合

［拡大図表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、選んだ出口施設のイラスト拡大図が表示されます。

▼

ジャンクションを選んだ場合

ルートを設定しないで走行中にジャンクションに接続する路線を選んで［実行］ボタンを押すと、選んだ路線の高速ガイドが表示されます。 ※2 ◆1

▼

ポイント

※1 ・走行中または表示している施設を通過した場合は、［全画面地図］は選択できません。

※2 ・自車位置からおよそ 120 施設先まで見ることができます。

アドバイス

◆1 ・分岐路線がない場合は、地図が表示されます。

・「出口施設を選んだ場合」と同じ画面が表示されることもあります。

サービスエリア／パーキングエリアを選んだ場合 *1

［詳細情報］を選んで［実行］ボタンを押すと、選んだ施設の詳細情報が表示されます。

▼

▼

施設の詳細情報が表示されます。 ◆1

サービスエリアやパーキングエリアの案内表示に表示される施設情報 *2

以下の施設情報が表示されます。

	ガソリンスタンド 例：出光興産
	身障者トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	FAX
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

ポイント

*1 • 高速道路に乗ったICから降りるICまでのルート上の施設を表示します。
• ［現在地］ボタンを押すと、移動したカーソルを戻すことができます。

*2 • 施設情報のアイコンは、最大３種類までで、左表の並び順で優先表示します。

アドバイス

◆1 • 施設の詳細情報がない場合は、地図が表示されます。
• 「出口施設を選んだ場合」、「ジャンクションを選んだ場合」と同じ画面が表示されることもあります。

料金表示について

- 高速道路上でルートを指定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金表示が可能なのは、都市高速・都市間高速・一部の有料道路です。表示される料金は、地図データ作成時点によるもので、表示が出ない場合があります。
- 実際の料金とは異なる場合があります。

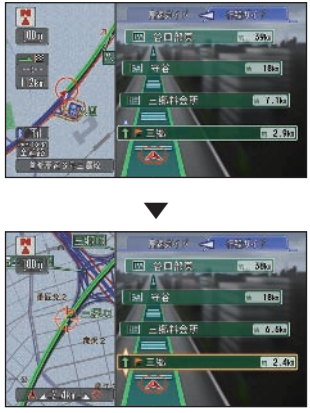
行程ガイドの案内（交差点）情報を見る 標準操作

ルート案内中に地図モードを行程ガイドに切り換えると、行程ガイドが表示されます。 ＊1

次の案内地点（交差点）の情報を見る

ルート案内中に次の案内地点を確認することができます。ルートが設定されていない場合は、行程ガイドを表示できません。

1 ジョイスティックを上に倒す



左の地図に、選ばれている案内地点（または交差点）の地図が表示されます。＊2

2 **案内地点（または交差点）**を選んで 実行 を押す ◆1

・・・次ページにつづく

ポイント

＊1
- 「行程ガイド自動表示」を［する］に設定していると、高速道路に対応していない道路を走行すると、行程ガイドが自動的に表示されます。
→「地図表示設定」（P424）
- 「行程ガイド自動表示」を［する］に設定して、高速ガイド自動表示を［しない］に設定していると、高速道路走行時にも、行程ガイドが自動的に表示されます。
→「地図表示設定」（P424）

＊2
- 通過した案内地点（または交差点）を見ることはできません。
- 行程ガイド表示は自車位置から目的地までです。
- VICS 情報表示を設定している場合は VICS センターから受信した道路交通情報が表示されます。
→「地図をスクロールして確認するとき」（P384）

アドバイス

◆1
- 拡大図がない場合は、地図が表示されます。

［全画面地図］を選んで［実行］ボタンを押すと、選んだ地点の周辺地図が表示されます。

［拡大図表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、選んだ施設のイラスト拡大図が表示されます。

施設の詳細な情報を確認する 簡単操作 標準操作

検索した施設の詳細情報を見ることができます。

1 施設を探す

→「場所を探す」(P113)

2 詳細情報 を選んで 実行 を押す

▼

施設の詳細情報を表示します。 *1

建物の絵に合わせたとき

を表示する施設は詳細な情報を確認することができます。

1 **確認したい施設**にカーソルを合わせて 実行 を押す *2

2 詳細情報 を選んで 実行 を押す

3 建物内の施設を選んで 実行 を押す

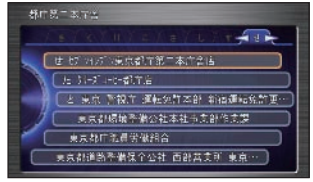
▼

建物の詳細情報を表示します。

詳細情報

建物内に複数の施設があったとき・・・

建物内に複数の会社、店などがある場合、建物内にある店舗リストを表示します。店舗を選択してください。



ポイント

*1
- [画像表示]を選択すると、その施設に設定された画像を表示します。
- [次のページ]が表示されているときは、施設情報に続きがあることを示しています。続きを見るときは、[次のページ]を選んで[実行]ボタンを押してください。前ページに戻るときは、[戻る]ボタンを押してください。
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、[発信]を選んで[実行]ボタンを押してください。→「地図に登録された電話番号にかける」(P325)
- [全画面地図]を選んで[実行]ボタンを押すと、詳細情報を表示している地点の地図が表示されます。

*2
- カーソルを合わせた建物に名称の情報がある場合、画面に名称を表示します。
- 建物の施設が表示されるのはスケールが 50m 以下の場合になります。

施設マーク / ユーザー施設マークに合わせたとき

施設マークまたはユーザー施設マークの詳細情報を確認することができます。

1 **施設マーク**または**ユーザー施設マーク**にカーソルを合わせて 実行 を押す

2 **詳細情報** を選んで 実行 を押す

▼

詳細情報を表示します。 ※1

ポイント

※1
- 選ばれている施設マークを表示させなくすることができます。表示させなくするには、[非表示] を選択します。非表示にした施設マークは [非表示設定データ] で確認することができます。
→「不要な施設マークを消す」(P91)
- ユーザー施設マークの情報画面から、名称の読み、マークなどの情報を変更することができます。
→「ユーザー施設マークの情報を見る／編集する」(P94)

自宅やよく行く地点、マークに合わせたとき

自宅やよく行く地点、マークの詳細情報を確認することができます。

1 **自宅やよく行く地点または マーク**にカーソルを合わせて 実行 を押す

2 **詳細情報** を選んで 実行 を押す

▼

自宅やよく行く地点、マークの詳細情報を表示します。[*1]

VICS 情報マーク *(P55)* に合わせたとき

VICS 規制情報の詳細情報を確認することができます。

1 **VICS 情報マーク**にカーソルを合わせて 実行 を押す

2 **詳細情報** を選んで 実行 を押す

▼

VICS 規制情報の詳細情報を表示します。

ポイント

[*1] ・標準操作モードでは各情報画面から、各情報を変更することができます。
→「よく行く地点を編集する」(P99)
→「マークを編集する」(P103)

画面の表示を消す 簡単操作 標準操作

画面の表示を消し、まっ暗にします。※1

ナビゲーション／オーディオ画面を消す

ナビゲーションやその他の画面を消すことができます。※2

1 画面／消 を押す

2 ジョイスティックを下に倒し、画面／消 を選んで 実行 を押す

▼

画面が消えます。◆1

ポイント

※1
- 表示画面に液晶を採用しているため、画面が明るくなるまで時間がかかることがあります。また、極低温のときや急激な温度上昇で装置が結露したときなどは、画面の表示に特に時間がかかることがあります。
- ナビゲーション本体の温度が高温または低温になると、画面に動作不可能の旨のメッセージが出たり、画面が部分的に黒ずんだり、ハードディスクが読めなくなったりすることがありますが、温度が常温になれば元通り操作できるようになります。
- 画面表示の中には小さな黒点・輝点がありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。
- オーディオ画面からナビゲーション画面に変えるときは、［AUDIO 表示］ボタンまたは［現在地］ボタンを押してください。
- 初期画面が表示されたあとに大切なメッセージが出ます、必ずお読みください。

※2
- 再度画面を表示させるときは、［現在地］ボタン、［ナビメニュー］ボタン、［目的地／ルート］ボタン、［画面／消］ボタン、［AUDIO 表示］ボタンのいずれかを押します。
- オーディオ画面では［画面／消］ボタン→［画面 消］を選んで［実行］ボタンを押してください。

アドバイス

◆1
- ［画面／消］ボタンを 2 秒以上押すか、［画面／消］ボタンを繰り返し押しても、画面を消すことができます。

画面の明るさを変える 簡単操作 標準操作

画面の明るさ、コントラスト、黒の濃さを調節することができます。 ※1 ◆1

1 画面／消 ボタンを押す

2 **設定する項目**を選んで 実行 を押す

3 コマンドホイールを左右に回して調節し、実行 を押す

4 ジョイスティックを下に倒して 設定完了 を選んで 実行 を押す

▼

手順 1 のときの画面に戻ります。

ポイント

※1
- 画面の調節は地図色が昼の場合と夜の場合で、別々に設定することができます。
- テレビ、DVD、ビデオ、ナビゲーション画面ごとに設定することができます。
- メーターのイルミネーションコントロールで車幅灯点灯時の減光を解除すると、画面の明るさが昼間の設定に戻ります。また、画面調整中はイルミネーションコントロールを操作しても変化しません。

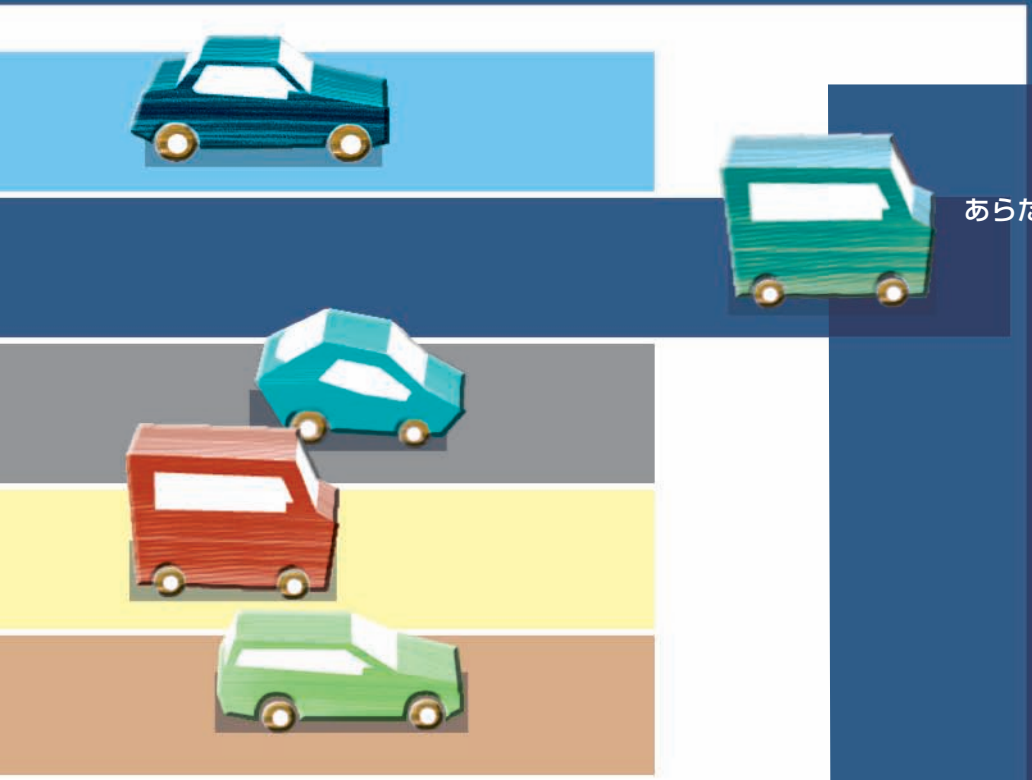
アドバイス

◆1
- 地図の色の設定は、*「地図表示設定」(→ P424)* で設定します。ここで行う明るさの設定とあわせて、お好みの画面でご利用ください。

M E M O

施設マークに関すること

コンビニやファーストフード店、ガソリンスタンドの
マークを地図上に表示できます。



表示する施設マークを選ぶ　86
不要な施設マークを消す　91
あらたにユーザー施設マークを追加する　93

表示する施設マークを選ぶ 簡単操作 標準操作

簡単操作 標準操作

施設マークを分類ごとに選ぶ

1 簡単操作

ナビメニュー →
マーク／地図を変える →
施設マーク表示 を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー →
マーク／地図変更 →
施設マーク表示 を選んで 実行 を押す

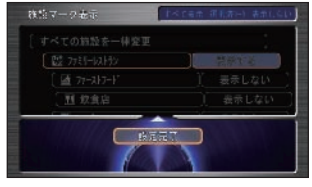
2 簡単操作

施設マークを**表示させたいジャンル**を選んで 実行 を押す ＊1 ◆1

標準操作

施設マークを**表示させたいジャンル**を選んで 実行 を押し、**表示する**／**表示しない** を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを下に倒して **設定完了** を選んで 実行 を押す



▼

マーク／地図変更画面に戻ります。
走行中は、設定したとおりに施設マークが表示された地図画面に戻ります。

ユーザー施設マークとは何が違うの？

施設マークとは、ナビゲーション本体が用意しているものです。特別な設定をしなくてもナビゲーション本体に記憶されています。任意の地点の情報を記憶して、独自の施設マークとして登録したものがユーザー施設マークです。
ユーザー施設マークは、任意の地点を登録する必要があります。→「ユーザー施設マークを登録する」(P93)

ポイント

＊1 ・簡単操作モードでは、[表示する]と[表示しない]（何も表示されません。）の切り換えになります。

◆1 ・[すべての施設を一律変更]を選んで[実行]ボタンを押たびに、施設マーク表示が[すべて表示]→[選択済マーク]→[表示しない]→[すべて表示]の順に切り換わります。
[すべて表示]の場合は、すべての施設マークを表示します。
[選択済マーク]の場合は、選択した施設マークだけを表示します。
[表示しない]の場合は、すべての施設マークが非表示になります。

標準操作

施設マークの種類を詳細に選ぶ

各ジャンルごとに３つまでに限定して表示することができます。

「施設マークを分類ごとに選ぶ」(P86) の手順 1 の操作をした後に・・・

1 **詳細設定したいジャンル**を選んで 実行 を押す

施設マークの表示方法を選択するメニューが表示されます。

2 マーク選択 を選んで 実行 を押す

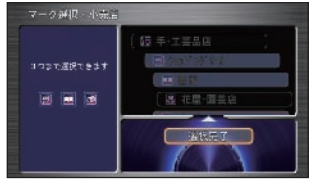
3 **施設マークを表示させたい詳細施設**を選んで 実行 を押す

選んだ施設

表示する設定がされるとリストの項目の色が変わります。また、選んだ施設のマークが左に表示されます。※1

引き続き選ぶことができます。

4 ジョイスティックを下に倒して 実行 を押す



▼

施設マーク表示画面に戻り、選んだ施設マークが表示設定欄に表示されます。

5 ジョイスティックを下に倒して 設定完了 を選んで 実行 を押す

▼

マーク／地図変更画面に戻ります。
走行中は、設定したとおりに施設マークが表示された地図画面に戻ります。

ポイント

※1 ・すでに表示されるよう選択された詳細施設を非表示にしたい場合は、再度詳細施設を選んで［実行］ボタンを押してください。

関連する機能

施設マークを分類ごとに選ぶ 86
あらたにユーザー施設マークを追加する 93
不要な施設マークを消す 91

簡単操作 標準操作

施設マークをすべて表示／非表示にする

すべての施設マークを表示／非表示することができます。

「施設マークを分類ごとに選ぶ」(P86) の手順 1 の操作をした後に・・・

1 すべての施設を一律変更 を選ぶ

2 簡単操作 標準操作

実行 を押して、**いずれかの項目**を選ぶ ＊1

簡単操作

標準操作

[すべて表示]	すべての施設マークが表示されます。
標準操作 [選択済マーク]	詳細表示設定したマークだけが表示されます。→*「施設マークの種類を詳細に選ぶ」(P87)*
[表示しない]	すべての施設マークが表示されません。

3 ジョイスティックを下に倒して 設定完了 を選んで 実行 を押す

▼

マーク／地図変更画面に戻ります。

ポイント

＊1 ・［実行］ボタンを押すごとに項目が切り換わります。

関連する機能

施設マークを分類ごとに選ぶ 86
あらたにユーザー施設マークを追加する 93

標準操作

施設マークの位置を修正する

ナビゲーション本体が用意している施設マークの位置を修正することができます（最大 200 件）。
移転した施設の位置を修正したいときなどに、この操作をします。修正した施設マークは元の位置に戻すことができます。

施設マークの位置を修正する

1 **位置を修正したい施設マーク**にカーソルを合わせて 実行 を押す ＊1
メニューが表示されます。

2 詳細情報 を選んで 実行 を押す

詳細情報画面が表示されます。

3 位置修正 を選んで 実行 を押す

4 **変更したい位置**にカーソルを合わせて 実行 を押す

施設マークの位置が修正され、地図画面に戻ります。

ポイント

＊1 ・あらかじめ施設マークを表示させておいてください。
→「表示する施設マークを選ぶ」（P86）

標準操作

修正した施設マークの位置を元に戻す

修正した施設マークの位置を元の位置に戻します。

1 **ナビメニュー** → **ツール** を選んで 実行 を押す

ツールメニューが表示されます。

2 **施設マーク編集** を選んで 実行 を押す

データ編集のメニューが表示されます。

3 **位置修正データ** を選んで 実行 を押す

位置修正データのメニューが表示されます。

4 **位置を元に戻したい施設マーク** を選んで 実行 を押す ◆1

5 **解除** を選んで 実行 を押す ◆2

6 実行 を押す

▼

選んだデータの位置修正が解除されます。
位置修正データがない場合は、データ編集のメニューに戻ります。
位置修正データがある場合は、位置修正データのメニューに戻ります。

アドバイス

◆1 ・ジョイスティックを下に倒して［複数データ解除］を選んで［実行］ボタンを押し、さらにジョイスティックを下に倒して［決定］を選ぶと複数のデータを選んで位置修正を解除することができます。

・すべての位置修正を解除したい場合は、ジョイスティックを下に倒し［複数データ解除］を選んで［実行］ボタンを押し、さらにジョイスティックを下に倒して［全解除］を選びます。

・ジョイスティックを下に倒し、［マーク順に表示］または［登録順に表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、位置修正データの施設マークを並び順を切り換えることができます。

◆2 ・［全画面地図］を選んで［実行］ボタンを押すと、地図上に位置を修正した施設マークが表示されます。

不要な施設マークを消す 標準操作

施設の開業、閉業、移転などに合わせて、地図画面に表示される施設マークを登録したり、編集したりすることができます。

施設マークについて、次の操作ができます。

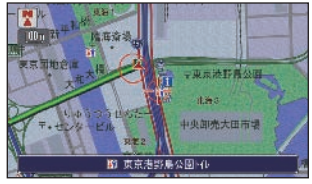
- 表示させなくする（非表示にする）（→ P88、91）
- 非表示にした施設マークを再び表示させる（→ P88、92）
- 位置を修正する（→ P89）
- 修正した施設マークの位置を元に戻す（→ P90） ◆1

標準操作

施設マークを非表示にする

ナビゲーション本体が用意している施設マークを表示させなくする（非表示にする）ことができます（最大 200 件）。
閉業した施設マークを消したいときなどに、この操作をします。非表示にした施設マークは再び表示させることができます。 ＊1

1 **非表示にしたい施設マーク**にカーソルを合わせて 実行 を押す ＊2



2 詳細情報 を選んで 実行 を押す

3 非表示 を選んで 実行 を押す

▼

選んだ施設マークが非表示に設定され、地図画面に戻ります。

ポイント

＊1 ・ユーザー施設マークに表示／非表示の設定をすることはできません。

＊2 ・あらかじめ施設マークを表示させておいてください。
→「表示する施設マークを選ぶ」(P86)

アドバイス

◆1 ・ナビゲーション本体が用意している施設マークとは別に、独自の施設マークを登録・編集する場合は、「ユーザー施設マーク」を登録・編集することになります。
→「あらたにユーザー施設マークを追加する」(P93)

関連する機能

「非表示にした施設マークを再び表示させる」..P92

標準操作

非表示にした施設マークを再び表示させる

非表示にした施設マークを再び表示させます。

1 **ナビメニュー** → **ツール** を選んで 実行 を押す

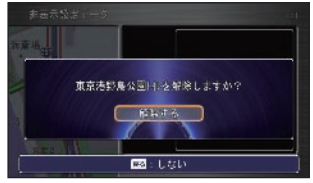
2 **施設マーク編集** を選んで 実行 を押す

3 **非表示設定データ** を選んで 実行 を押す

4 **施設マーク**を選んで 実行 を押す

5 **解除** を選んで 実行 を押す

6 実行 を押す



▼

選んだデータの非表示が解除されます。
非表示データがない場合は、施設マーク編集のメニューに戻ります。
非表示設定データがある場合は、非表示設定データ画面に戻ります。

関連する機能

「施設マークを非表示にする」.....P91

あらたにユーザー施設マークを追加する 標準操作

ナビゲーション本体が用意している施設マークとは別に、ユーザー施設マークを登録することができます（最大 200 件）。

標準操作

ユーザー施設マークを登録する

1 **ナビメニュー** → **ツール** を選んで 実行 を押す

2 **施設マーク編集** を選んで 実行 を押す

施設マーク編集のメニューが表示されます。

3 **ユーザー施設マーク** を選んで 実行 を押す

ユーザー施設マークのメニューが表示されます。

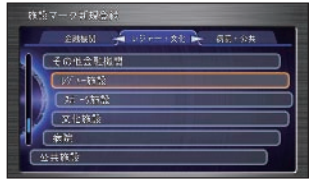
4 **新規登録** を選んで 実行 を押す

5 場所を探して 実行 を押す

→「場所を探す」（P113）

6 **施設マークセット** を選んで 実行 を押す

7 **ジャンル**を選んで 実行 を押す



選んだジャンルによっては、さらに詳細なブランドを選ぶことができます。

▼

ユーザー施設マークが登録され、ユーザー施設マーク画面に戻ります。

施設マークとは何が違うの？

施設マークとは、ナビゲーション本体が用意しているものです。任意の地点の情報を記憶して、独自の施設マークとして登録したものがユーザー施設マークです。あらたに開業した施設など、ナビゲーション本体内にない施設マークを地図上に表示させたい場合に便利です。

関連する機能

場所を探す P113

標準操作

登録したユーザー施設マークを確認する

登録したユーザー施設マークを地図画面で確認することができます。

「ユーザー施設マークを登録する」（→P93）
の手順３までの操作をした後に・・・

1 確認したい**ユーザー施設マーク**を選んで 実行 を押す

2 **全画面地図** を選んで 実行 を押す

▼

地図画面に施設マークが表示されます。

標準操作

ユーザー施設マークを編集する

登録したユーザー施設マークの情報を確認したり、編集することができます。

「ユーザー施設マークを登録する」（→P93）
の手順３までの操作をした後に・・・

1 **情報を見たい／編集したいユーザー施設マーク**を選んで 実行 を押す ◆1

2 **施設マーク情報** を選んで 実行 を押す

▼

施設マーク情報が表示されます。

名称	ユーザー施設マークの名称を変更できます。全角で 35 文字（半角で 70 文字）まで入力することができます。
読み	名称の読みを入力できます。全角かなで 35 文字まで入力できます。入力した読みは、「ユーザー施設マーク名称読み上げ」や「接近音声」*（→P99）* で使用できます。
マーク	地図上に表示されるユーザー施設マークのイラストを変更することができます。*→「ユーザー施設マークを登録する」（P93）*
位置修正	全画面地図が表示され、ユーザー施設マークの位置を修正できます。
電話番号	設定しておくと、電話番号から場所を探したり、携帯電話を接続していれば、ユーザー施設マークの場所に電話をかけられます。

以降の操作手順は、*「マークを編集する」（→P103）* と同じです。

アドバイス

◆1 ・ジョイスティックを下に倒し、［マーク順に表示］または［登録順に表示］を選んで、ユーザー施設マークの並び順を切り換えることができます。

関連する機能

ユーザー施設マークを登録する P93
ユーザー施設マークを消去する P95

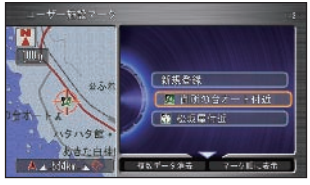
標準操作

ユーザー施設マークを消去する

登録した施設マークは消去することができます。

「ユーザー施設マークを登録する」(→P93)
の手順３までの操作をした後に・・・

1 **消去したい施設マーク**を選んで 実行 を押す ◆1



2 消去 を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

▼

選んだデータが消去され、ユーザー施設マークのリスト画面に戻ります。

アドバイス

◆1
- ジョイスティックを下に倒し、［マーク順に表示］または［登録順に表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、ユーザー施設マークの並び順を切り換えることができます。
- ジョイスティックを下に倒し、［複数データ消去］を選んで［実行］ボタンを押し、さらにジョイスティックを下に倒して［決定］を選んで［実行］ボタンを押すと複数のデータを選んで消去することができます。
- すべてのユーザー施設マークを消去したい場合は、ジョイスティックを下に倒し［複数データ消去］を選んで［実行］ボタンを押し、さらにジョイスティックを下に倒して［全消去］を選んで［実行］ボタンを押します。

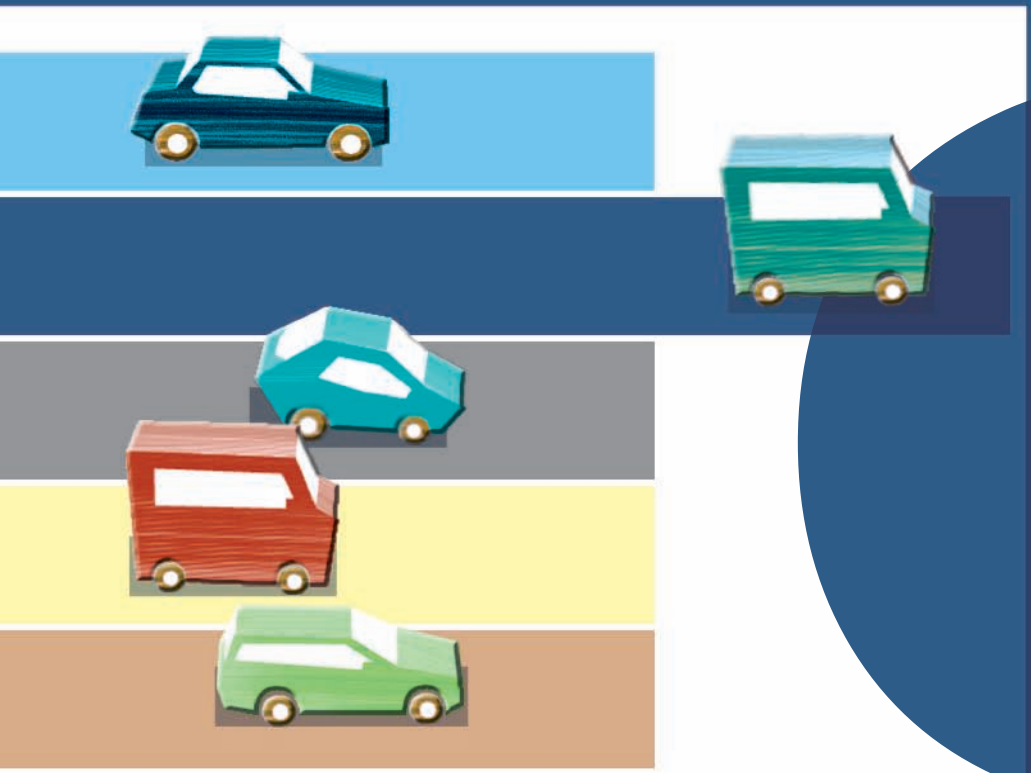
関連する機能

ユーザー施設マークを登録する P93
ユーザー施設マークを確認する P94
ユーザー施設マークを編集する P94

M E M O

場所を登録する

目的地や経由地の設定に利用できるよく行く地点や
目印になる場所を登録することができます。



よく行く場所を登録する　98
好みのマークで場所を登録する　102
通りたくない地域を登録する　109

よく行く場所を登録する 標準操作

頻繁に目的地や経由地に設定する場所は登録しておきましょう。 ＊1

標準操作

よく行く地点を登録する

あらかじめ気に入った場所を探して、「よく行く地点」として登録することができます。

1 **目的地／ルート** → **マーク／履歴** → **よく行く地点** を選んで 実行 を押す

2 **未登録の番号**を選んで 実行 を押す

3 場所を探して 実行 を押す

→「場所を探す」（P113）

4 **地点○セット** を選んで 実行 を押す ◆1

探した場所が、よく行く地点のリストに登録されます。

マークとは何が違うの？

「よく行く地点」は、「マーク」に比べ簡単な操作で目的地や経由地に設定することができます。また、登録できるのが「自宅」を除き、最大５件ということもあり、リストから探し出すことが容易に行えます。

→「よく行く地点に行くとき」（P134）

ポイント

＊1 ・よく行く地点は５ヶ所まで登録できます。

・登録すると登録番号のマークが地図上に表示されます。

アドバイス

◆1 ・よく行く地点の名称などは変更することができます。

→「よく行く地点を編集する」（P99）

関連する機能

よく行く地点を編集する P99
よく行く地点を消去する P101
自宅やよく行く地点を確認する P101

標準操作

よく行く地点を編集する

よく行く地点に関する情報（名称、読み、接近音声、方向設定、距離、地図上に表示、位置修正、電話番号、メモ、画像）の設定、変更をすることができます。 ＊1 ◆1

よく行く地点の編集方法

よく行く地点の情報は、次の手順で編集することができます。

1 **目的地／ルート** → **マーク／履歴** → **よく行く地点** を選んで 実行 を押す

▼

よく行く地点のリストが表示されます。

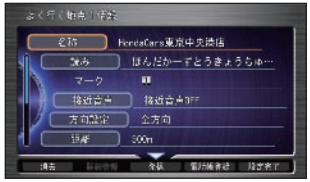
2 **変更したい地点**を選んで 実行 を押す

3 **編集** を選んで 実行 を押す

▼

よく行く地点の編集画面が表示されます。

4 **編集したい項目**を選んで 実行 を押し、設定する



名称	よく行く地点の名称を変更できます。全角で 35 文字（半角で 70 文字）まで入力することができます。
読み	名称の読みを入力できます。全角かなで 35 文字まで入力できます。入力した読みは、「よく行く地点の名称読み上げ」や「接近音声」で使用できます。
マーク ＊1	地図上に表示されるよく行く地点のイラストです。
接近音声 ＊2	よく行く地点の場所に自車が接近したときに鳴る音声を変更できます。
方向設定 ＊3	よく行く地点の場所に自車が近づくときの方向を変更できます。指定した方向から近づくと接近音声が鳴ります。
距離	よく行く地点の場所に何メートルまで自車が近づくと接近音声を鳴らすかを変更できます。
地図上に表示	[しない] に設定すると、地図上のよく行く地点を非表示にします。
位置修正	全画面地図が表示され、よく行く地点の位置を修正できます。
電話番号	設定しておくと、電話番号から場所を探したり、携帯電話を接続していれば、よく行く地点の場所に電話をかけられます。
メモ	よく行く地点に関するメモを入力できます。全角で 32 文字（半角で 64 文字）まで入力することができます。すでにメモが入力されている場合は、ジョイスティックを下に倒して [メモ編集] を選び、[実行] ボタンを押すと、入力画面が表示されます。
画像	USB メモリー内の画像をよく行く地点に登録することができます。[消去] を選び [実行] ボタンを押すと、登録した画像を解除することができます。

▼

よく行く地点の情報が編集されます。

・・・次ページにつづく

お願い

画像の設定（または変更）操作をした直後は、エンジンスイッチを “0” にしたり、USB メモリーを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、USB メモリーのデータが壊れることがあります。

ポイント

＊1 ・マークは変更することができません。

＊2 ・［音声を確認］を選んで［実行］ボタンを押すと、選んだ音声が鳴ります。

・登録地が［距離］で設定された範囲（100m、300m、500m）に近づくと、接近音声が鳴ります。

・よく行く地点の登録時に選択した道路（種別）と走行中の道路（種別）が一致した場合に接近音声案内をします。

＊3 ・接近音声が［接近音声 OFF］に設定してある場合は、指定した方向から近づいても接近音声は鳴りません。

・接近音声が［接近音声 OFF］に設定してある場合は、指定した距離まで近づいても接近音声は鳴りません。

・［全方向］を選んだときは、手順 4 に進んでください。よく行く地点に、どの方向から接近しても音声が鳴ります。

アドバイス

◆1 ・［詳細情報］から編集画面を表示させることもできます。

・シークレットモードが ON になっている場合には、編集画面を表示させることができません。

・編集画面を表示できるのは、標準操作モードの場合のみになります。

標準操作

自宅やよく行く地点を確認する

登録した地点の位置を地図画面で確認することができます。

「よく行く地点を登録する」（P98）の手順 1 の操作をした後に・・・

1 **確認したい地点**を選んで 実行 を押す

よく行く地点のメニューが表示されます。

2 全画面地図 を選んで 実行 を押す

▼

登録した地点の位置が全画面地図で表示されます。

標準操作

よく行く地点を消去する

よく行く地点を消去することができます。

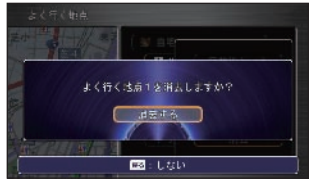
「よく行く地点を登録する」（P98）の手順 1 の操作をした後に・・・

1 **消去したい地点**を選んで 実行 を押す

メニューが表示されます。

2 消去 を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す



▼

よく行く地点が消去され、よく行く地点のリスト画面に戻ります。

好みのマークで場所を登録する 標準操作

友人宅やお気に入りの場所にマークを付けて登録／編集することができます。 ※1 ◆1

標準操作

マークを新規登録する

お好みの場所をマークに登録する場合は、以下のような操作で行います。

1 **ナビメニュー** → **マーク／地図変更** → **マーク地点登録** を選んで 実行 を押す

2 **場所**を探して、実行 を押す
→「場所を探す」(P113)

3 **マークセット** を選んで 実行 を押す

マークが登録され、マーク情報編集画面が表示されます。

4 実行 を押し、マーク情報を編集します。

→ 各データの編集方法は、「マークを編集する」(→P98) と同じです。

よく行く場所とは何が違うの？

45 種類のマーク（アイコン）で用途別に最大 400 件まで登録することができます。また、パーソナル・ホームページにアクセスすることによって、ご自宅のパソコンから新しいマーク地点を追加することができます。詳しくは→「登録した情報をパーソナル・ホームページと同期する」(P189) を参照してください。

ポイント

※1
- 走行中にマーク情報編集画面は表示されません。
- マークの登録は、最大 400 件（インターナビのマークと合わせた件数です）までできます。それを超えて登録しようとしたときは、メッセージが表示されますので、いらないマークを消去してください。(→P105)
- シークレットモードを［ON］にしていると、マーク情報は表示されません。→「シークレットモードを使う」(P412)

アドバイス

◆1
- 登録したマークの名称やマーク、電話番号などの情報は、変更することができます。→「マークを編集する」(P103)
- 登録したマークは、お客様がパソコンなどで登録したパーソナル・ホームページの情報と同期させて、最新情報に更新することができます。→「マークリストをパーソナルホームページと同期する」(P107)
- スクロール画面で［実行］ボタンを押してメニューを表示し、［マークセット］を選んで登録することもできます (→P60)。また、カスタマイズメニューに［マークセット］が登録されている場合 (→P440) も、同様の手順で現在地を登録することができます。

関連する機能

場所を探す P113

標準操作

マークを編集する

マークに関する情報（名称、読み、マーク、接近音声、方向設定、距離、地図上に表示、位置修正、電話番号、メモ、画像）の設定／変更をすることができます。 *1

標準操作

マークの編集方法

マークの情報は、次の手順で編集することができます。

1 **ナビメニュー** → **マーク／地図変更** を選んで 実行 を押す

2 **マーク地点リスト** を選んで 実行 を押す

3 **編集するマーク**を選んで 実行 を押す ◆1

4 **マーク情報** を選んで 実行 を押す

▼

マーク情報の画面が表示されます。

・・・次ページ手順５につづく

ポイント

*1 ・インターナビから取得した情報は、設定／変更できないものがあります。

アドバイス

◆1 ・ジョイスティックを下に倒すと、リストの表示を登録順とマーク順で切り換えることができます。

・マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

5 **編集したい項目**を選んで 実行 を押し、編集する ◆1

名称	マークの名称を変更できます。全角で35文字(半角で70文字)まで入力することができます。
読み	名称の読みを入力できます。全角かなで35文字まで入力できます。入力した読みは、「マーク名称読み上げ」や「接近音声」で使用できます。
マーク	地図上に表示されるマークのイラストを変更することができます。→『選べるマークの種類』(P104)
接近音声	マークの場所に自車が接近したときに鳴る音声を変更できます。
方向設定	マークの場所に自車が近づくときの方向を変更できます。指定した方向から近づくと接近音声が鳴ります。
距離	マークの場所に何メートルまで自車が近づくと接近音声を鳴らすかを変更できます。
地図上に表示	[しない]に設定すると、地図上のマークを非表示にします。
位置修正	全画面地図が表示され、マークの位置を修正できます。
電話番号	設定しておくと、電話番号から場所を探したり、携帯電話を接続していれば、マークの場所に電話をかけられます。
メモ	マークに関するメモを入力できます。全角で32文字(半角で64文字)まで入力することができます。すでにメモが入力されている場合は、ジョイスティックを下に倒して[メモ編集]を選び、[実行]ボタンを押すと、入力画面が表示されます。
画像	USBメモリー内の画像をマークに登録することができます。[消去]を選び[実行]ボタンを押すと、登録した画像を解除することができます。

▼

マーク情報が編集されます。

選べるマークの種類

地図画面に表示できるマークは45種類あります。◆2

アドバイス

◆1 ・接近音声、方向設定、距離の設定方法は、『よく行く地点を編集する』(P99)を参考にしてください。

◆2 ・このマーク( )を選択したときだけ、登録したマーク名称を地図上に表示します。

関連する機能

マークを新規登録する……P102
マークを確認する……P105
マークを消去する……P105
マークリストをパーソナル・ホームページと同期する……P107
自宅を登録する……P42
自宅の位置を変更する……P44
よく行く地点を登録する……P98
よく行く地点を編集する……P99

標準操作

マークを確認する

登録したマークの位置を地図画面で確認することができます。

「マークの編集方法」(P103) の手順 2 までの操作をした後に・・・

1 **確認したいマーク**を選んで 実行 を押す ◆1

2 全画面地図 を選んで 実行 を押す

▼

マークが登録された地点の地図が表示されます。

標準操作

マークを消去する

登録したマークを消去することができます。

マークを選んで消去する

「マークの編集方法」(P103) の手順 2 までの操作をした後に・・・

1 **消去したいマーク**を選んで 実行 を押す

2 消去 を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

▼

選んだマークが消去され、マークリスト画面に戻ります。

アドバイス

◆1
- ジョイスティックを下に倒すと、リストの表示を登録順とマーク順で切り換えることができます。
- マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

関連する機能

マークを新規登録する P102
マークを編集する P103
マークリストをパーソナル・ホームページと同期する P107

標準操作

複数のマークを消去する

登録した複数のマークをまとめて消去することができます。

「マークの編集方法」(P103) の手順２までの操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して 複数データ消去 を選んで 実行 を押す

2 消去したいマークを選んで 実行 を押す ◆1

3 ジョイスティックを下に倒して 決定 を選んで 実行 を押す ※1 ◆2

4 実行 を押す

選んだ地点またはすべての地点が消去されます。

ポイント

※1 ・すべての地点を消去する場合は、［全消去］を選んで、［実行］ボタンを押す。

アドバイス

◆1 ・［実行］ボタンを押すたびに地点を選択／選択解除できます。

・表示方法をマーク順に切り換えた場合、ジョイスティックを左右に倒して、マークを切り換えることができます。

◆2 ・［登録順に表示］／［マーク順に表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、リストの表示を切り換えることができます。

標準操作

マークリストをパーソナルホームページと同期する 通信

登録していたマークリストと、お客様がパソコンなどで登録したパーソナル・ホームページの情報を最大 400 件まで同期させて、最新情報に更新します。*1

「マークの編集方法」(P103) の手順 2 までの操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して 設定 を選んで 実行 を押す

2 パーソナル HP と同期 を選んで 実行 を押す *2

サーバーとの同期が始まります。同期が完了すると、マークリスト画面に戻ります。*3

お願い

同期中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、携帯電話やデータ通信 USB を取り外さないでください。

ポイント

1 • パーソナル・ホームページと同期するには事前に準備が必要です。詳しくは、「通信機能を使えるようにする」(→P166)* を参照してください。

• サービス内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

*2 • [同期設定] を選び [実行] ボタンを押し、「画像の同期」を [する] に設定しておくと、パーソナル・ホームページとの同期時に画像の同期も行います (初期設定では [しない] に設定されています)。

*3 • パーソナル・ホームページと同期した日付が画面の上部に表示されます。マークリストを編集すると最終同期日の日付が赤色で表示されます。パーソナル・ホームページと同期すると通常の表示に戻ります。

• マークリストの同期は、ナビゲーションシステム本体とパーソナル・ホームページで日付の新しい情報に更新されます。

• 現在時刻が GPS から受信されていない状態では、正しく同期できない場合があります。

パーソナル・ホームページとは !?

インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けサービスです。自宅のパソコンからルート計算をしたり、車のメンテナンス状況を管理することができます。インターナビ・プレミアムクラブについては、「通信機能を使う」の *「インターナビ・プレミアムクラブとは」(→P164)* を参照してください。

標準操作

マークの詳細情報を見る

インターナビから登録したマークでは、情報や写真を確認することができます。 ＊1 ◆1

「マークの編集方法」(P103) の手順 2 までの操作をした後に・・・

1 **情報を見たいマーク**を選んで 実行 を押す

2 **マーク情報** を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを下に倒して **詳細情報** を選んで 実行 を押す

▼

詳細情報が表示されます。 ＊2

ポイント

＊1
- インターナビに関しては、*「インターナビの通信サービスを使う」(→P163)* をご覧ください。
- インターナビから取得した同じマーク（位置、名称、取得者）の場合は、その情報の作成日の古いものから順に自動的に上書きされます。

＊2
- 電話番号が登録されている場合は、[発信] を選んで [実行] ボタンを押すと、電話をかけることができます。 *→「地図に登録された電話番号にかける」(P325)*
- インターナビから取得した写真を確認するには、マーク情報の [画像] を選んで [実行] ボタンを押します。

アドバイス

◆1
- USB メモリーを接続していると、USB メモリー内のマークのデータをハードディスクに読み込んだり、ハードディスクの情報を USB メモリーに保存したりできます。詳しくは「USB メモリーを使う」の *「USB メモリーでマーク地点リストを取り扱う」(→P298)* をご覧ください。

通りたくない地域を登録する 標準操作

標準操作

回避エリアを登録する

回避エリアを登録しておくと、回避エリアを通らないようにルートを計算させることができます。◆1

1 ナビメニュー → 設定 → 案内設定 を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して 詳細設定 を選んで 実行 を押す

3 回避エリア を選んで 実行 を押す

▼

回避エリアのリストが表示されます。

4 未登録 を選んで 実行 を押す

5 場所を探して 実行 を押す

→「場所を探す」(P113)

6 ジョイスティックで場所を合わせて 実行 を押す

7 コマンドホイールを回して範囲を指定し、実行 を押す ※1

8 実行 を押す ◆2

▼

回避エリアが登録され、回避エリアのメニューに戻ります。

ポイント

※1
- 指定範囲の中央付近の地名などが、回避エリアの名称として登録されます。
- 回避エリアは紫色で表示されます。
- 最大で 800m 四方を回避エリアとして登録できます。
- ルート計算時に他に適切な道路の候補がない場合、回避エリアを通るルートが計算されることがあります。

アドバイス

◆1
- 工事中の道路や渋滞しがちな道路などの通りたくない場所（回避エリア）を、5 か所まで登録しておくことができます。

◆2
- 名称は自動的に登録されますが、あとで変更することができます。
  →「回避エリアを編集する」(P110)
- 回避エリアの設定は［する］／［しない］を選べます。
  →「案内設定」(P429)
- internavi ルートを案内中は回避エリアの情報を考慮しません。回避エリアを通らないルートを計算させたい場合は internavi ルート以外のルートを選択してください。

関連する機能

場所を探す P113

標準操作

回避エリアを編集する

回避エリアの名称、読み、範囲、曜日指定、時間指定、位置を変更することができます。

「回避エリアを登録する」(P109) の手順 3 までの操作をした後に・・・

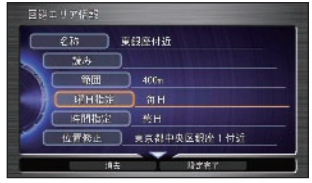
1 **情報を確認／編集したい回避エリア**を選んで 実行 を押す

2 **回避エリア情報** を選んで 実行 を押す ＊1

▼

回避エリア情報が表示されます。

3 **編集したい項目**を選んで 実行 を押し、設定する



名称	回避エリアの名称を変更できます。全角で 35 文字まで入力することができます。
読み	名称の読みを入力できます。全角かなで 35 文字まで入力できます。入力した読みは、「メニュー音声読み上げ」で使用できます。
範囲	コマンドホイールを回して、100 ～ 800m 四方の範囲を指定して変更できます。
曜日指定	[毎日] または曜日を選べる [曜日指定] を設定できます。◆1
時間指定	[終日] または 0 時 0 分～ 23 時 59 分までの時間を設定できる [時間指定] を設定できます。◆2
位置修正	全画面地図が表示され、回避エリアの位置を修正できます。

▼

回避エリアの情報が編集されます。

ポイント

＊1 ・［全画面地図］を選び［実行］ボタンを押すと、選んだ回避エリア周辺の地図が全画面で表示されます。
→「回避エリアを確認する」(P111)

アドバイス

◆1 ・曜日指定を解除する場合は、［毎日］を選んで［実行］ボタンを押します。

・曜日指定で［曜日指定］を選ぶと、曜日を複数選ぶ画面が表示されます。選んだ曜日は色が変わります。

・曜日の指定を解除したい場合は、再度曜日を選んで［実行］ボタンを押します。

◆2 ・時間指定を解除する場合は、［終日］を選んで［実行］ボタンを押します。

関連する機能

回避エリアを登録する P109
回避エリアを確認する P111
回避エリアを消去する P111

標準操作

回避エリアを確認する

回避エリアを地図画面で確認できます。

「回避エリアを登録する」(P109) の手順３までの操作をした後に・・・

1 回避エリアのリスト画面で、確認したい回避エリアを選んで 実行 を押す

2 全画面地図 を選んで 実行 を押す

▼

▼

地図画面に回避エリアが表示されます。

標準操作

回避エリアを消去する

回避エリアを消去できます。

「回避エリアを登録する」(P109) の手順３までの操作をした後に・・・

1 回避エリアのリスト画面で、消去したい回避エリアを選んで 実行 を押す

2 消去 を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

▼

回避エリアが消去され、回避エリアのリスト画面に戻ります。

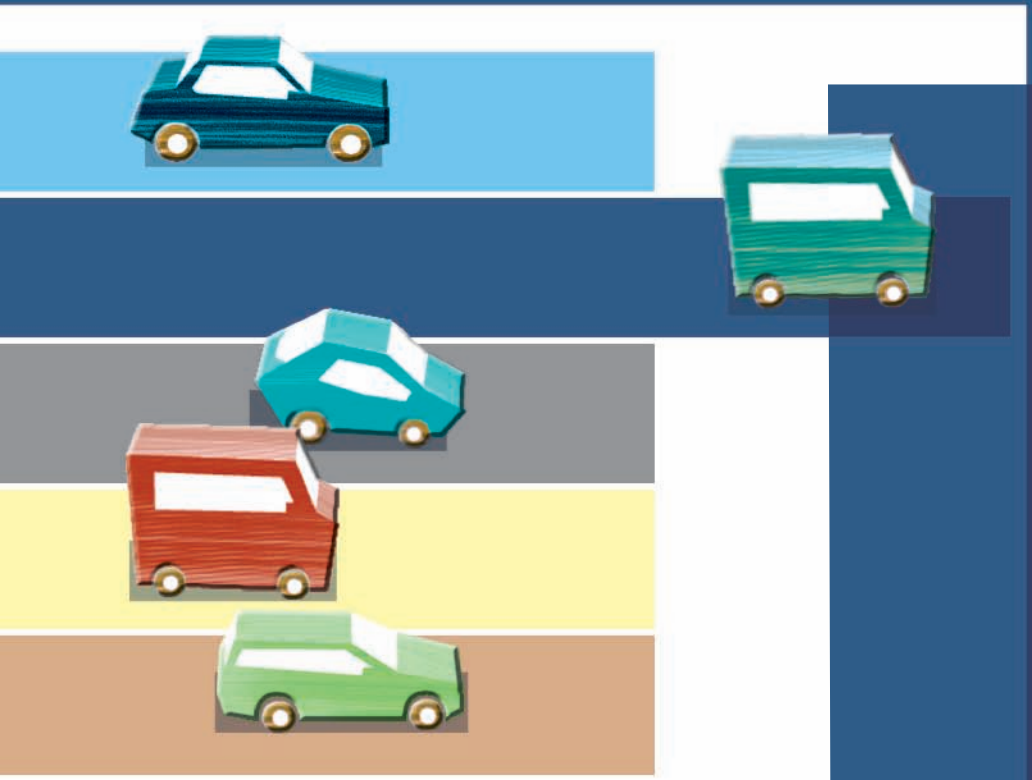
関連する機能

回避エリアを登録する.....P109

M E M O

場所を探す

ルートを設定するときや場所を登録するときの
場所の探しかたを説明しています。



特定の施設を探す　114
近くの施設を探す　117
友人・知人宅を探す　121
駐車場を探す　122
その他の方法で探す　127
場所を探した後にできること　129

特定の施設を探す 簡単操作 標準操作

施設の名称や電話番号がわかっているとき、簡単に探せます。

簡単操作 標準操作

施設名がわかっているとき

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 簡単操作

目的地／ルート →
名称／番号で探す →
施設の名前で探す を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート →
名称／番号入力 → **施設名** を選んで 実行 を押す

2 施設の**名称**を入力する ＊1

3 **検索** を選んで 実行 を押す

▼

入力文字の検索結果の候補がリスト表示され、画面左側には選択された施設を中心に地図が表示されます。＊2

4 **探している施設**を選んで 実行 を押す

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降は*「場所を探した後にできること」(→P129)* を参照してください。

ポイント

＊1
- 名称は、ひらがなで 14 文字まで入力できます。（ひらがな以外の文字種には切り換えられません。漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで読みを入力します。）
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索できます（キーワード検索）。
- 名称に空白（特殊を選んで、空白を選択する）を入力すると、2 つのキーワードを検索できます。（施設名 AND 検索）
  例：はねだくうこう　ちゅうしゃじょう
- 濁音「゛」や半濁音「゜」の入力は省略できます。また、促音「ょ」などは「よ」などで代用できます。
- 名前による絞り込みの結果、検索対象が、1 万件以下になると検索が可能になります。
- 部分一致検索（入力文字を含む場所をすべて検索）では、検索対象が多すぎて絞り込めるまでの間は、自動的に完全一致検索（入力文字と完全に一致する場所を検索）を行います。
- 部分一致、完全一致の区別および絞り込まれている件数は、画面の右上に表示されます。
- ある程度検索対象が絞り込まれると、自動的にリストが表示されます。

＊2 • ジョイスティックを下に倒すと絞り込みができます。

• ［ジャンルで絞る］を選んで［実行］ボタンを押すと、ジャンルによる絞り込みができます。

• ［地域で絞る］を選び［実行］ボタンを押すと、エリア選択のリストが表示され、地域（都道府県名、市区町村名）による絞り込みができます。選んだ項目の都道府県内のすべての市区町村を選びたい場合は、ジョイスティックを下に倒します（例：［青森県全て］）。

関連する機能

文字入力のしかた.....P34

簡単操作 標準操作

電話番号がわかっているとき

探している施設の電話番号がわかっているときに便利です。＊1

1 簡単操作

目的地／ルート → **名称／番号で探す** → **電話番号で探す** を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート → **名称／番号入力** → **電話番号** を選んで 実行 を押す

2 **電話番号**を入力する ＊2

3 **検索** を選んで 実行 を押す

▼

該当する地図とメニューが表示されます。以降は*「場所を探した後にできること」（→ P129）*を参照してください。

ポイント

＊1 • 検索結果に複数の施設がある場合は、施設のリストが表示されます。施設を選んで［実行］ボタンを押すと該当する地図とメニューが表示されます。

＊2 • IP 電話でも探すことができます。

• 市外、市内局番は、必ず入力してください。その他の番号は、すべて入力しなくても検索できます。

• 該当する電話番号がない、または番号をすべて入力しなかった場合は、局番に該当する市区町村の代表地点の地図が表示されます。

• 個人宅の電話番号は検索できません。

• ユーザー施設マークは検索できません。

• 登録したマークは検索できます。

関連する機能

文字入力のしかた.....P34

簡単操作 標準操作

ジャンルから施設を探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設をジャンルで探すことができます。

1 簡単操作

目的地／ルート →
施設のジャンルで探す を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート →
施設ジャンル を選んで 実行 を押す

2 **探している施設のジャンル**を選んで 実行 を押す ＊1

3 **施設の所在地域（都道府県名）**を選んで 実行 を押す ＊2

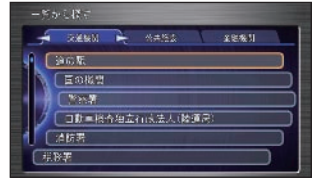
4 **探している施設**を選んで 実行 を押す

施設付近の地図とメニューが表示されます。＊3

以降は*「場所を探した後にできること」(→P129)* を参照してください。

ジャンル一覧について

手順 2 の画面で［一覧から探す］を選んで［実行］ボタンを押すと最初に表示されているジャンルとは別のジャンルを選ぶことができます。



ポイント

＊1 ・学習機能により、過去に目的地や経由地として設定した回数が多いジャンルが表示されます。

＊2 ・施設によって所在地域の選択画面は表示されない場合があります。

＊3 ・地図上の位置と検索後に表示される位置が異なることがあります。（例えば、高速道路の上下線でそれぞれのサービスエリアが離れている場合は、各サービスエリアの間地点が検索結果として採用されます。）このような場合でも、走行する道路や進行方向に合わせて、その施設を通るルートが正しく計算されます。（ルート計算時の位置データが表示用の位置データとは別に用意されている場合があります。）
したがって、その施設を目的地にしたり、登録したりする場合は、表示された位置から地図をスクロールさせずに次のメニューにお進みください。

近くの施設を探す 簡単操作 標準操作

現在地やルート周辺、探した場所からさらに周辺の施設を探すことができます。

簡単操作 標準操作

近くにある施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やカーソル周辺の施設、またはルート案内中はルート周辺や目的地、経由地周辺の施設を探すことができます。 ＊1

近くにある施設を探す

ポイントメニュー（→P60）から周辺の施設を探すことができます。

1 場所を探して 実行 を押す
→「場所を探す」（P113）

2 周辺検索 を選んで 実行 を押す

3 探している施設のジャンルを選んで 実行 を押す ＊2

4 探している施設を選んで 実行 を押す

▼

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降は「場所を探した後にできること」（→P129）を参照してください。

ポイント

＊1
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設（例：P）と利用できない施設（例：）が区別されて表示されます。
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- 駐車場は車両の情報が考慮され、検索されます。利用できない駐車場は（）と表示されます。（実際の車両制限と異なる場合があります。また、VICS 情報による駐車場については、車両情報は考慮されません。）
- 提携駐車場のあるデパートなどを検索すると、提携駐車場も同時に探せます。
- コンビニでは、酒（酒）・タバコ（）を取り扱う店が詳細情報に表示されます。
- ファーストフードでは、ドライブスルー（）を取り扱う店が詳細情報に表示されます。
- 自車位置またはカーソルから半径約 30km の範囲にある最大 50 件が検索されます。

＊2
- 使用頻度が高いジャンル 6 つと「一覧から探す」が選択できます。探している施設のジャンルが見つからない場合は、「一覧から探す」を選んでジャンルを選択してください。

標準操作

ルート周辺の施設を探す ＊1

1 **目的地／ルート** → **周辺検索** を選んで 実行 を押す

2 探したい場所として **現在地周辺**、**目的地周辺**、**経由地周辺**、**ルート周辺** のいずれかを選んで 実行 を押す

3 **ジャンル**を選んで 実行 を押す
ジャンルのリストが表示されます。

4 **探している施設**を選んで 実行 を押す
施設付近の地図とメニューが表示されます。以降は*「場所を探した後にできること」(→P129)* を参照してください。

ポイント

＊1
- [経由地周辺]、[目的地周辺]、[ルート周辺] は、それぞれルートや経由地が設定されている場合に選ぶことができます。
- 経由地が複数設定されている場合は、[経由地周辺] を選ぶと、経由地を選ぶ画面が表示されます。その中から経由地を選んでその周辺の検索をすることができます。
- 周辺検索画面右側には、よく使う周辺検索設定が表示されます。検索方法と検索対象がアイコンで表示されています。よく使う周辺検索設定を選んで[実行] ボタンを押すと、検索結果が表示されます。よく使う周辺検索設定は、登録・編集・消去することができます。*→「よく使う周辺検索設定を登録・編集する」(P119)、「よく使う周辺検索設定を消去する」(P120)*
- 現在地、経由地および目的地周辺で探す場合は、自車位置またはカーソルから半径約 30km の範囲にある最大 50 件が検索されます。
- ルート周辺で探す場合は、案内中のルート沿い約 10km 先までの左右両側 100m 以内の施設最大 50 件が検索されます。
- ルート案内中で高速道路を走行しているときにルート周辺で施設を探すと、自車位置から約 50km 先までの高速道路施設が検索されます。出口までの距離が 50km 未満の場合は、出口までの施設が検索対象となります。ただし、走行中の高速道路施設が目的地として設定されている場合や走行中の高速道路から一般道に抜けるルートを設定した場合は、走行中の高速道路施設は検索の対象外となります。

標準操作

よく使う条件で周辺の場所を探す

あらかじめ周辺検索の条件をよく使う周辺検索設定として登録しておくと、後から呼び出して場所を探すことができます。◆1

1 **目的地／ルート** → **周辺検索** を選んで 実行 を押す

2 **よく使う周辺検索設定**を選んで 実行 を押す

3 **探している施設**を選んで 実行 を押す

▼

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降は*「場所を探した後にできること」（→P129）*を参照してください。

標準操作

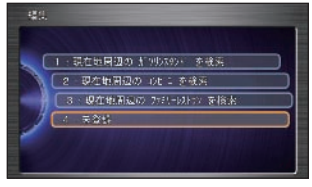
よく使う周辺検索設定を登録・編集する

よく使う周辺検索設定を登録・編集することができます。周辺検索設定は、4 件まで登録できます。

1 **目的地／ルート** → **周辺検索** を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して 実行 を押す

3 **登録・編集したい周辺検索設定**を選んで 実行 を押す



4 **検索方法** を選んで 実行 を押す

5 **探す場所**を選んで 実行 を押す

6 **検索対象** を選んで 実行 を押す

・・・次ページ手順 7 につづく

アドバイス

◆1・よく使う周辺検索の登録方法は*「よく使う周辺検索を登録・編集する」（→P119）*を参照してください。

7 **検索対象ジャンル**を選んで 実行 を押す ◆2

8 ジョイスティックを下に倒して、**設定完了** を選んで 実行 を押す

▼

よく使う周辺検索が登録・編集され、よく使う周辺検索設定の編集画面に戻ります。

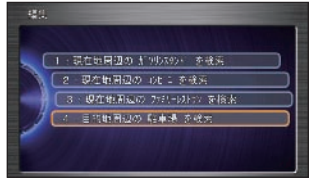
標準操作

よく使う周辺検索設定を消去する

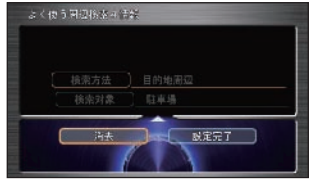
よく使う周辺検索設定を消去することができます。

「よく使う周辺検索設定を登録・編集する」の手順２までの操作をした後に・・・

1 **消去したいよく使う周辺検索設定**を選んで 実行 を押す



2 ジョイスティックを下に倒して **消去** を選んで 実行 を押す



3 実行 を押す

▼

選んだよく使う周辺検索設定が消去され、よく使う周辺検索設定の編集画面に戻ります。

アドバイス

◆2
- ブランドの情報があるジャンルを選んだ場合は、ブランドを選ぶ画面が表示されます。
- ジョイスティックを左右に倒すと、ジャンルのカテゴリを切り換えることができます。

友人・知人宅を探す 簡単操作 標準操作

住所や地名がわかっていると、友人や知人宅を探すことができます。

簡単操作 標準操作

住所や地名がわかっているとき

住所や地名で探すことができます。

1 簡単操作

目的地／ルート → **住所で探す** を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート → **住所** を選んで 実行 を押す

2 **都道府県名**を選んで 実行 を押す ◆1

3 **市区町村名**を選んで 実行 を押す ＊1 ◆2

4 **地名（丁目）**を選んで 実行 を押す

5 引き続き**番地**および**号**を選んで 実行 を押す ＊2

6 ジョイスティックを下に倒して **地図表示** を選んで 実行 を押す

▼

入力した住所を中心とする地図とメニューが表示されます。以降は*「場所を探した後にできること」（→ P129）*を参照してください。 ＊3

ポイント

＊1 ・ジョイスティックを下に倒して、［地図表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、カーソルがある場所の代表地点（役所）の地図とメニューが表示されます。

＊2 ・ジョイスティックを下に倒して［数字入力］を選び［実行］ボタンを押すと、番地を数字入力することができます。→*「文字入力のしかた」（P34）*

＊3 ・ジョイスティックを下に倒して、［地図表示］を選び［実行］ボタンを押すと、地図メニューが表示されます。

・入力した番地がデータにない場合は、主要部の代表地点が表示されます。

アドバイス

◆1 ・ジョイスティックを左右に倒すと地方を切り換えてリスト表示することができます。

◆2 ・ジョイスティックを左右に倒すと、市区町村名を 50 音送りができます。

駐車場を探す 簡単操作 標準操作

さまざまな機能を使って駐車場を探します。

簡単操作 標準操作

都道府県別に探すとき

指定する地域の駐車場を探すことができます。

1 簡単操作

目的地／ルート → 施設のジャンルで探す を選んで 実行 を押す

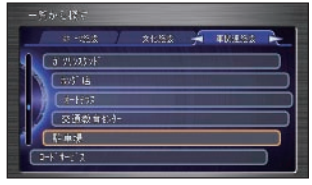
標準操作

目的地／ルート → 施設ジャンル を選んで 実行 を押す

施設ジャンルの画面が表示されます。

2 一覧から探す を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを左右に倒して 車関連施設 を選んで、駐車場 を選び 実行 を押す



4 **駐車場の所在地域（都道府県、市区町村）を選んで 実行 を押す** ＊1

▼

駐車場のリスト画面が表示されます。

5 探している**駐車場**を選んで 実行 を押す

駐車場付近の地図とメニューが表示されます。

以降の操作手順は*「場所を探した後にできること」（→P129）*を参照してください。

ポイント

＊1 • ジョイスティックを左右に倒すと地方を切り換えてリストを表示することができます。

簡単操作 標準操作

近くの駐車場を探すとき（駐車場セレクト）通信

インターナビ VICS の情報から現在地周辺やルート沿いの駐車場を探すことができます。◆1

1 現在地画面で 実行 を押す

2 internavi ダイレクト → 駐車場セレクト を選んで 実行 を押す

▼

推奨する駐車場周辺の地図が表示されます。◆2

簡単操作 標準操作

自動で駐車場を指定するとき

自動的に推奨の駐車場までのルートを案内させることができます（駐車場オートガイド）。

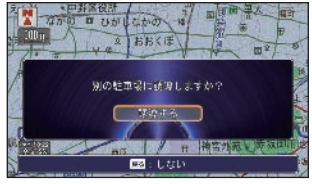
「近くの駐車場を探すとき（駐車場セレクト）」（P123）の操作をした後に・・・

1 オートガイド を選んで 実行 を押す

▼

推奨の駐車場までのルート案内が開始されます。

最初の駐車場候補に到着すると、メッセージが表示されます。



案内された駐車場に車を停めるときは…

2 戻る を押す

別の駐車場を選ぶ場合は、［誘導する］を選んで［実行］ボタンを押し、手順 1 に戻ります。

▼

駐車場オートガイドが終了します。

アドバイス

◆1・「駐車場セレクトを設定する」（→ *P124*）であらかじめ条件を設定しておくと、駐車場セレクトで表示される駐車場の表示条件を決めることができます。

◆2・［前の候補］または［次の候補］を選んで［実行］ボタンを押すと、他の駐車場を選ぶことができます。

駐車場セレクトとは !?

インターナビ VICS の駐車場情報をあらかじめ設定しておいた条件で表示することができる機能です。駐車場セレクト設定で、表示する表示条件を決めることができます。インターナビシステムを装着した車両のサイズに関する情報は、あらかじめ設定されており、入れる駐車場が絞り込まれます。

駐車場オートガイドとは !?

推奨する駐車場を自動的に案内する機能です。［駐車場セレクト設定］が［なし］に設定されているときは、現在地から駐車場までの距離、駐車場から目的地までの距離などを考慮した駐車場を推奨します。

簡単操作 標準操作

手動で駐車場を指定するとき

リストを表示して、利用したい駐車場を指定することができます。

「近くの駐車場を探すとき（駐車場セレクト）」（P123）の操作をした後に・・・

1 **リスト表示** を選んで 実行 を押す ◆1

2 お好みの**駐車場**を選んで 実行 を押す

▼

該当する地図とメニューが表示されます。以降は*「場所を探した後にできること」（→P129）*を参照してください。

標準操作

駐車場セレクトを設定する

駐車場セレクトでは、インターナビ情報センターから取得する駐車場情報の条件を設定することができます（駐車場セレクト設定）。 *1

設定した条件で取得した駐車場情報は、*「近くの駐車場を探すとき（駐車場セレクト）」（→P123）*で確認することができます。

1 **ナビメニュー** → **VICS** を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して **インターナビ／VICS 設定** を選んで、 実行 を押す

3 **駐車場セレクト設定** を選んで 実行 を押す

4 **並び替え条件○** を選んで 実行 を押す

5 優先したい条件を選んで 実行 を押す ◆2

必要があれば、手順4、5を繰り返します。

6 ジョイスティックを下に倒して、**設定完了** を選んで 実行 を押す

▼

駐車場セレクト設定が変更されます。

ポイント

1 ・インターナビ情報センターに接続するには、あらかじめ設定が必要になります。詳しくは「インターナビの通信サービスを使う」（→P163）*を参照してください。

アドバイス

◆1 ・［前の候補］または［次の候補］を選んで［実行］ボタンを押すと、他の駐車場を選ぶことができます。

◆2 ・設定内容については、「インターナビ／VICS 設定」*（→P433）*を参照してください。検索条件にあてはまる駐車場がない場合は表示されません。

標準操作

詳細に駐車場セレクトの条件を設定する

「駐車場セレクトを設定する」（P124）の手順３までの操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **詳細条件設定** を選んで 実行 を押す

2 設定したい**条件**を選んで 実行 を押す

3 条件の内容を設定する

▼

条件が変更されます。
必要があれば手順１～３を繰り返します。

4 ジョイスティックを下に倒して **設定完了** を選んで 実行 を押す

▼

詳細な条件の設定が完了します。

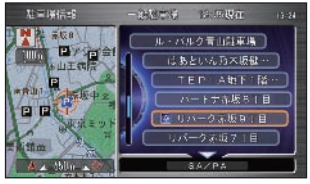
標準操作

VICS 駐車場を確認する

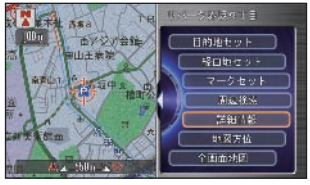
VICS やインターナビ情報センターから受信した駐車場情報を見ることができます。[*1]

1 **ナビメニュー** → **VICS** → **駐車場情報** を選んで 実行 を押す

2 情報を見たい駐車場を選んで 実行 を押す



3 **詳細情報** を選んで 実行 を押す



▼

選んだ駐車場の情報が表示されます。

ポイント

[*1]
- インターナビ情報センターに接続するには、あらかじめ設定が必要になります。詳しくは*「インターナビの通信サービスを使う」（→ P163）*を参照してください。
- VICS およびインターナビ VICS については、*「VICS とは」（→ P378）*を参照してください。
- 自車位置から近い順に一般道路の駐車場、続けて SA/PA（サービスエリア／パーキングエリア）がリストで表示されます。
- リストの駐車場名の左には、駐車場の利用状況を示すアイコンが表示されます。アイコンについては、*「VICS 情報マークの種類」（→ P55）*を参照してください。
- 安全のため走行中は、2 件分のリストが表示されます。
- ジョイスティックを下に倒して項目を選び［実行］ボタンを押すと、一般道路の駐車場リストと SA/PA（サービスエリア／パーキングエリア）のリストを切り換えることができます。

その他の方法で探す 簡単操作 標準操作

標準操作

郵便番号で場所を探す

目的地の郵便番号を入力して探すことができます。

1 目的地／ルート → 名称／番号入力 を選んで 実行 を押す

2 郵便番号 を選んで 実行 を押す

3 **郵便番号**を入力する ＊1
→「文字の入力のしかた」（P34）

4 検索 を選んで 実行 を押す

5 **地名または施設名**を選んで 実行 を押す

▼

該当する地図とメニューが表示されます。＊2
以降は「場所を探した後にできること」（→P129）を参照してください。

標準操作

マップコードで場所を探す

目的地のマップコードを入力して探すことができます。

1 目的地／ルート → 名称／番号入力 を選んで 実行 を押す

2 マップコード を選んで 実行 を押す

3 **マップコード**を入力する

4 検索 を選んで 実行 を押す

▼

マップコードに該当する地図と、メニューが表示されます。以降は「場所を探した後にできること」（→P129）を参照してください

ポイント

＊1 • 郵便番号は7桁まで入力してください。

＊2 • 検索結果に複数の施設がある場合は、施設のリストが表示されます。施設を選んで［実行］ボタンを押すと該当する地図とメニューが表示されます。

マップコードとは !?

- マップコードは、日本全国さまざまな場所の位置データを最大10桁（標準マップコードの場合）の数字で特定するものです。住所などでは特定することが困難な場所も、マップコードでは特定することができます。
- 本機は、最大10桁の数字で位置を特定する「標準マップコード」と＊マークと数字2桁を加えた「高精度マップコード（マップコードHR）」に対応しています。
- 「標準マップコード」で特定できる位置は最大約30m四方の範囲があり、検索された位置はピンポイントではありません。

＊マークと数字2桁を加えた「高精度マップコード（マップコードHR）」で特定できる位置は3.3m四方です。

- マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。
  株式会社デンソー
  マップコードプロジェクト
  電話番号 0566-61-4210
  受付時間 10：00 ～ 12：00
  13：00 ～ 16：00
  （土・日、会社休日を除く）
  ホームページ
  http://guide2.e-mapcode.com/
- マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。 MAPCODE®

簡単操作 標準操作

地図をスクロールして探す

地図をスクロールして、場所を探すことができます。
現在地から近い場所を目的地や経由地、登録地にするときに便利です。

1 ジョイスティックで地図をスクロールし、目的地にカーソルを合わせる

2 実行 を押す

メニューが表示されます。以降は*「場所を探した後にできること」（→P129）*を参照してください。

場所を探した後にできること 簡単操作 標準操作

目的地など、探していた場所が決まったら、状況によってさまざまな操作が可能になります。

目的地セット (→P132) ※1
探した場所を目的地に設定し、ルート計算を開始します。

経由地セット (→P143)
探した場所を経由地に設定します。

マークセット (→P102)
マークをつけて登録します。再度同じ場所を探すときに使用したり、地図上にマークを表示したり、リストで管理します。また登録情報に電話番号があれば、電話することもできます。

周辺検索 (→P117)
現在地またはスクロール地点 (地図上のカーソルの位置) などの周辺から、施設を検索します。

internavi ダイレクト 通信 (→P188)
インターナビウェザーや駐車場セレクト情報など、インターナビの各種情報を取得します。

Internavi ルート 通信 (→P145)
ルートを設定した後に、インターナビの情報を取得して、最適なルートを設定します。

詳細情報 (→P79)
選んだ施設や地点に詳細情報があれば、情報や地図を表示します。

地図方位 (→P46)
地図の表示方法を切り換えます。

全画面地図
地図を全画面で表示します。場所をさらに細かく探すことができます。

マーク情報 (→P103)
マークの編集画面を表示します。マークの情報を編集することができます。

編集 (→P99)
よく行く地点の情報を編集することができます。

消去 (→P101、P105)
マークやよく行く地点、目的地履歴を消去します。

提携駐車場 (→P123)
選んだ施設に提携駐車場がある場合は、リストと地図を表示します。

出入口リスト
駅や高速道路施設を検索したとき、選んだ駅や高速道路施設に出入り口がある場合はリストと地図を表示します。

地点○セット (→P98)
よく行く地点の登録時や位置修正時に表示します。「○」には「1」～「5」の数字が入ります。

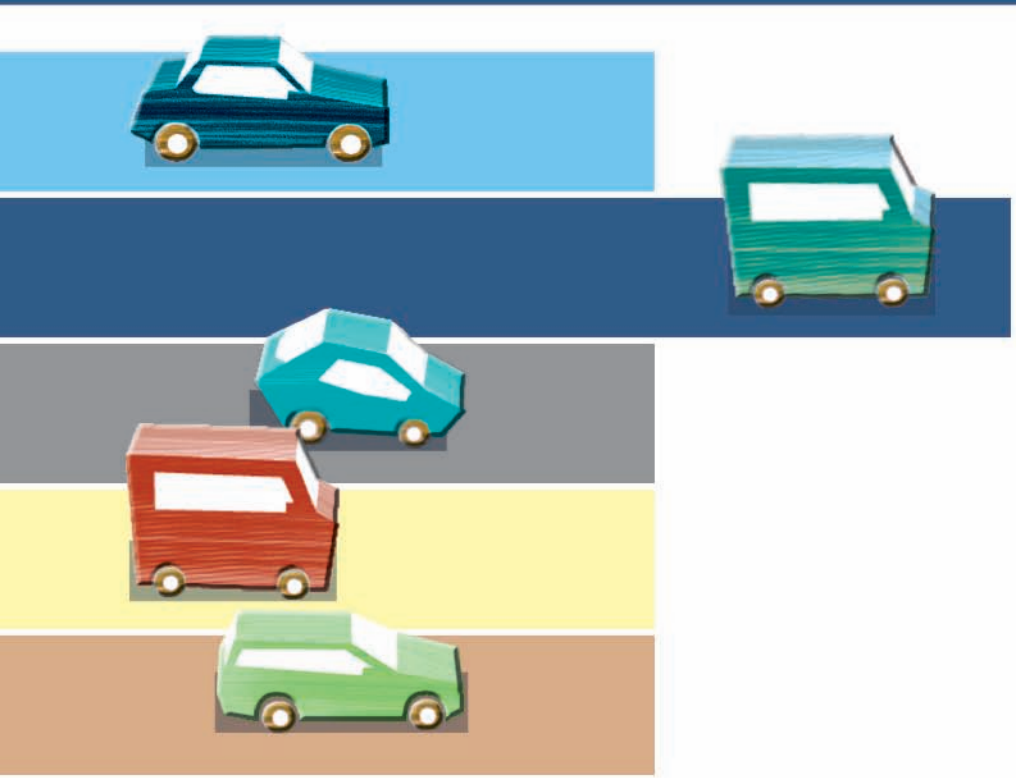
ポイント

※1 ・目的地が高速道路付近にあるときは、高速道路と一般道路のどちらかにセットするか確認する画面が表示されることがあります。
コマンドホイールを回して［一般道上にセット］または［高速道上にセット］を選んで［実行］ボタンを押してください。

M E M O

ルートを設定する

さまざまな方法で目的地（経由地）を設定し、
ルート計算を行います。



探した場所に行く　132
登録した場所に行く　134
どこかおすすめの場所はない？　136
「案内開始」の前にできること　140

探した場所に行く 簡単操作 標準操作

検索した場所を目的地として設定すると、現在地から目的地までのルートが計算され、ルート案内開始画面が表示されます。*1

簡単操作 標準操作

目的地を設定するには

「場所を探す」(P113) の方法で場所が見つかったらそのまま目的地に設定することができます。

1 **目的地**を探して 実行 を押す
→*「場所を探す」(P113)*

2 目的地セット を選んで 実行 を押す

▼

目的地までのルート計算が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。◆1

簡単操作

標準操作

▼

「案内開始」を選んで［実行］ボタンを押すと、ルート案内を開始します。

ポイント

*1 • 出発地、目的地、経由地付近では、道幅 5.5m 未満の細街路を含めてルート計算し、道塗りを行います。

- 目的地設定後、[internavi ルート] からルートを取得すると [6 ルート表示] はできなくなります。
- 高速道路によっては、料金が表示されないことがあります。
- サービスエリアなどの高速道路施設を目的地とした場合、料金が表示されないことがあります。

アドバイス

◆1 • ［6 ルート］を選んで［実行］ボタンを押すと、6 本のルートから選ぶことができます *(→P142)*。
ただし、以下の場合は複数のルートは計算できません。(［ルート計算条件］*(→P430)* ［高速道優先］*(→P429)* に従い、ルートが 1 本だけ計算されます。)
  - 経由地を設定した *(→P143)*
  - 乗り降り IC（インターチェンジ）を指定した *(→P144)*
  - 音声操作でルート計算を行ったとき *(→P345)*
- ［ルート計算条件］*(→P430)*、［高速道優先］*(→P429)* に従い、1 本のルートが計算されます。

標準操作

最近行った場所にもう一度行くとき

目的地や経由地を設定した場合、その場所が履歴として最大 100 件保存されます。その履歴の中から場所を探すことができます。 ＊1

1 **目的地／ルート** → **マーク／履歴** を選んで 実行 を押す

2 **目的地履歴** を選んで 実行 を押す

3 **探している施設** を選んで 実行 を押す

4 **目的地セット** を選んで 実行 を押す

5 **案内開始** を選んで 実行 を押す

▼

ルート案内を開始します。

標準操作

履歴を消去する

「最近行った場所にもう一度行くとき」(P133) **の手順 2 までの操作をした後に・・・**

1 **消去したい履歴** を選んで 実行 を押す ◆1

2 **消去** を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

▼

選んだ履歴が消去されます。

ポイント

＊1 ・履歴は 100 件を超すと古いものから上書きされます。

アドバイス

◆1 ・ジョイスティックを下に倒し、［全消去］を選んで［実行］ボタンを押すと、すべての履歴を消去することができます。

登録した場所に行く 簡単操作 標準操作

自宅やよく行く場所、マークなどあらかじめ登録した場所を目的地に設定します。

簡単操作 標準操作

自宅に帰るとき

自宅が登録されている場合は、すばやく自宅を目的地に設定し、ルート案内することができます。

1 簡単操作

目的地／ルート → **自宅に帰る** を選んで 実行 を押す ※1

標準操作

目的地／ルート → **自宅へ誘導** を選んで 実行 を押す ※1

▼

自動的にルート計算が開始されます。
以降は「目的地を設定するには」（→ P132）を参照してください。

標準操作

よく行く地点に行くとき

［よく行く地点］として登録された場所がある場合は、そのリストから目的地・経由地を設定することができます。※2

1 **目的地／ルート** → **マーク／履歴** → **よく行く地点** を選んで 実行 を押す

2 **行きたい地点**を選んで 実行 を押す

3 **目的地セット** を選んで 実行 を押す

4 **案内開始** を選んで 実行 を押す

▼

ルート案内を開始します。

ポイント

※1 ・自宅が登録されていない場合は、［自宅登録］または［自宅を登録する］のメニューが表示されます。
→「自宅を登録する」（P42）

※2 ・よく行く地点には、5 件までの地点を登録することができます。詳しくは「よく行く場所を登録する」（→ P98）を参照してください。

標準操作

マークの場所に行くとき

地図につけたマークやインターナビからマークリストに追加したデータから目的地・経由地を設定することができます。

1 **目的地／ルート** → **マーク／履歴** → **マーク地点リスト** を選んで 実行 を押す

2 **行きたい地点**を選んで 実行 を押す ◆1

3 **目的地セット** を選んで 実行 を押す

4 **案内開始** を選んで 実行 を押す

▼

ルート案内を開始します。

アドバイス

◆1 ・ジョイスティックを下に倒すと、［登録順に表示］／［マーク順に表示］でリストの表示を切り換えることができます。

・マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

どこかおすすめの場所はない？ 簡単操作 標準操作 通信

日本の観光コースを探し、ルートに設定します。

簡単操作 標準操作

インターナビドライブ情報で探した場所やお勧めコースに行く 通信

インターナビ情報センターに接続して、お勧めの場所やコースを調べたり、お好みの場所をジャンルから探したりできます。 ＊1

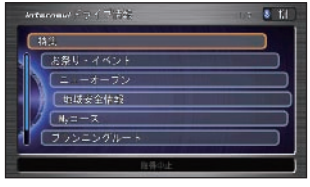
簡単操作 標準操作

internavi ドライブ情報画面を見る

1 目的地／ルート → internaviドライブ情報 を選んで 実行 を押す

▼

internavi ドライブ情報画面が表示されます。



ポイント

＊1 ・サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。ここでは、特集スポットから目的地を探す方法を代表例として説明します。

簡単操作 標準操作

特集スポットから選ぶ

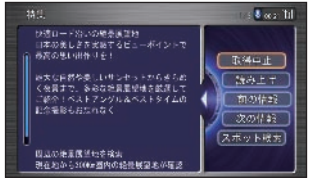
季節やイベントに合わせた特集スポット情報をインターナビから取得して、場所を探すことができます。

「internavi ドライブ情報画面を見る」（P136）の操作をした後に・・・

1 **特集** を選んで 実行 を押す

2 **お好みの項目**を選んで 実行 を押す

▼



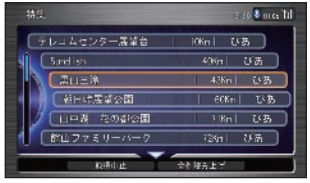
特集の内容を読むことができます。

3 **スポット検索** を選んで 実行 を押す

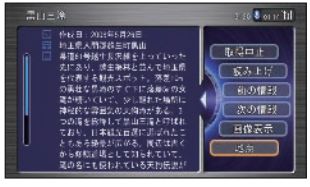
特集のテーマに沿ったスポットのリストが表示されます。

4 **お好みのスポット**を選んで 実行 を押す

▼



5 **地点** を選んで 実行 を押す



▼

選んだスポットの地図画面が表示されます。

以降の操作手順は*「場所を探した後にできること」（→P129）*を参照してください。◆1

アドバイス

◆1
- サーバーとの接続を切断する場合は、［取得中止］を選んで［実行］ボタンを押します。
- 音声で読み上げる場合は、［読み上げ］を選んで［実行］ボタンを押します。
- ほかの情報を見る場合は、［前の情報］［次の情報］を選んで［実行］ボタンを押します。
- スポットに画像が登録されている場合は、［画像表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、スポットの画像を見ることができます。
  →「スポットの画像を見る」（P137）
- 走行中は［画像表示］を選ぶことができません。
- スポットに電話番号が登録されている場合は、［発信］を選んで［実行］ボタンを押すと、スポットに電話をかけることができます。
  →「ハンズフリー電話を使う」（P320）

簡単操作 標準操作

お祭り・イベントから選ぶ

お祭り・イベント情報をインターナビから取得して、場所を探すことができます。

「internavi ドライブ情報画面を見る」(P136) の操作をした後に・・・

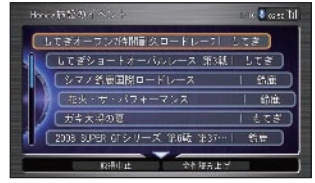
1 お祭り・イベント を選んで 実行 を押す

2 **お好みの項目**を選んで 実行 を押す

▼

各種お祭り・イベントが表示されます。 ＊1

3 **お好みのお祭り・イベント**を選んで 実行 を押す



▼

詳細画面が表示されます。

4 地点 を選んで 実行 を押す

▼

選んだお祭り・イベントの地図画面が表示されます。

以降の操作手順は*「場所を探した後にできること」(→P129)* を参照してください。 ◆1

ポイント

＊1
- コースを変更したい場合は、地点を選んで［実行］ボタンを押します。［消去］または［順序変更］を選んで［実行］ボタンを押すと、コースを変えることができます。
- 経由地や目的地を詳しく知りたい場合は、地点を選んで［実行］ボタンを押します。［本文表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、地点の詳しい内容が表示されます。［読み上げ］を選んで［実行］ボタンを押すと、地点情報の読み上げが開始されます。

アドバイス

◆1
- サーバーとの接続を切断する場合は、［取得中止］を選んで［実行］ボタンを押します。
- 音声で読み上げる場合は、［読み上げ］を選んで［実行］ボタンを押します。
- ほかの情報を見る場合は、［前の情報］［次の情報］を選んで［実行］ボタンを押します。
- スポットに画像が登録されている場合は、［画像表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、スポットの画像を見ることができます。
  →「スポットの画像を見る」(P137)
- 走行中は［画像表示］を選ぶことができません。
- スポットに電話番号が登録されている場合は、［発信］を選んで［実行］ボタンを押すと、スポットに電話をかけることができます。
  →「ハンズフリー電話を使う」(P320)

簡単操作 標準操作

ニューオープンから選ぶ

新規開店情報をインターナビから取得して、場所を探すことができます。

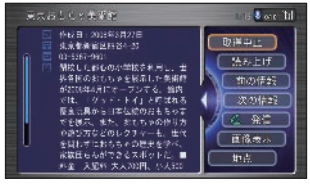
「internavi ドライブ情報画面を見る」（P136）の操作をした後に・・・

1 **ニューオープン** を選んで 実行 を押す

2 **お好みの項目**を選んで 実行 を押す

▼

ニューオープンの情報が表示されます。



3 **地点** を選んで 実行 を押す

▼

選んだニューオープンの地図画面が表示されます。

以降の操作手順は*「場所を探した後にできること」（→P129）*を参照してください。

「案内開始」の前にできること 簡単操作 標準操作

ルート計算後、「案内開始」をする前にできる操作を説明します。

ルート案内開始画面の見かた

① **計算条件**
現在選ばれているルートの計算条件が表示されます。

② **情報表示**
現在選ばれているルートの総距離、所要時間、料金が表示されます。

③ **推奨ルート（インターチェンジ）**
利用する高速道路の最初の IC と最後の IC が表示されます。

④ **ルート表示**
現在選ばれているルートが概略表示されます。

⑤ **案内開始**
選ばれているルートで案内を開始します。

⑥ **ルート情報** *1
選ばれているルートの道路名や距離、料金などを確認します。

⑦ **経由地設定** *1
選ばれているルートに経由地を追加・変更・消去します。

⑧ **IC 指定** *1
高速道路を使うルートが選ばれているときは、入口と出口のインターチェンジを指定します。

⑨ **6 ルート**
異なる条件で 6 つのルートを計算します。 *2

⑩ **新規道取得** 通信
道路開通情報がある場合は、インターナビから情報を取得して、新規道路が表示されます。

⑪ **internavi ルート** 通信
インターナビ情報センターを利用してお好みに合ったルートを選んで取得します。

ポイント

*1 ・簡単操作モードでは［ルート情報］、［経由地設定］、［IC 指定］は表示されません。

*2 ・1 本のみのルート計算 *(→P132)* では、［6 ルート］は選べません。

計算条件とは !?

最初にルート計算させる条件は、［ルート計算条件］*（→ P430）*や［高速道優先］*（→ P429）*で設定された条件となります。
［6 ルート］の場合は、［ルート計算条件］、［高速道優先］で設定された条件で 2 本、［高速道優先］の異なる設定で 2 本、［ルート計算条件］で設定されていない条件で 2 本が、計算条件となります。*→「別のルートに変更する」（P152）*

ルート学習とは !?

いつも通る道をルート計算に考慮させることができます。※1 ◆1

VICS 情報を考慮したルート計算（渋滞考慮オートリルート）とは !?

VICS 情報をもとに渋滞や交通規制を考慮したルート計算ができます。*→「VICS を使ったルート計算について」（P393）*また、インターナビ VICS で情報取得後にルート計算を行えば、渋滞予測情報を活用することができます。◆1
internavi ルートを案内中には渋滞考慮オートリルート機能が停止しますが、次回にインターナビ VICS を取得した際に交通情報を考慮したルートを計算します。

回避エリアを考慮したルート計算とは !?

回避エリアを登録すると、その場所をなるべく通らないようにルート計算します。*→「回避エリアを登録／編集する」（P109）*◆1

時間曜日規制を考慮したルート計算とは !?

地図データに含まれる時間曜日規制を考慮したルート計算ができます。◆1

ポイント

※1 ・学習した道が必ず使われるとは限りません。

アドバイス

◆1 ・ルート学習、渋滞考慮オートリルート、回避エリアを考慮したルート計算、および時間曜日規制を考慮したルート計算は、［する］／［しない］を選べます。*→「案内設定」（P429）*

簡単操作 標準操作

条件の違う別のルートから選ぶ

通常のルート計算では、異なる条件によって6本のルートが計算されます。この中から、お好みのルートを選ぶことができます。

「探した場所に行く」(P132) または「どこかおすすめの場所はない？」(P136) の操作をした後に・・・

1 6ルート を選んで 実行 を押す *1

2 **設定したいルート**を選んで 実行 を押す

▼

ルートが変更され、ルート案内開始画面に戻ります。 *2

選べる計算条件ついて

標準	目的地まで機能設定の計算条件に従ったルートを案内します。
一般道 **一般道2**	目的地まで一般道を優先して使うルートを案内します（高速道路を使う場合もあります）。
距離	目的地までできるだけ距離の短いルートを案内します。
道幅	目的地まで道幅の広い道路を優先して使うルートを案内します。
別ルート	目的地まで［標準］とは別のルートを案内します。
高速道 **高速道2**	目的地まで高速道路や幹線道路を優先して使うルートを案内します。

ポイント

*1 ・経由地、乗り降りIC（インターチェンジ）を設定した場合は、ルートは1本のみ計算され、［6ルート］は選択できません。

*2 ・道路の状況によっては［距離］が最短とならない場合があります。
・計算条件が異なっても、同じルートを案内することがあります。
・渋滞考慮オートリルートを使って、渋滞を考慮してルートを再計算するよう設定できます。
→「ナビ機能の設定を変える」(P422)
・各ルートの計算条件は、［ルート計算条件］(→P430)、［高速道優先］(→P429)の設定により変わります。

標準操作

ルート情報を確認する

設定されたルート情報をリスト形式で表示できます。
現在地（出発地）から目的地までの道路名や区間距離、高速道路の料金などの情報を確認できます。

「探した場所に行く」(P132) または「どこかおすすめの場所はない？」(P136) の操作をした後に・・・

1 **ルート情報** を選んで 実行 を押す

▼

ルート情報画面が表示されます。◆1

標準操作

立ち寄る場所を追加する

目的地までのルートの途中に立ち寄りたい場所（経由地）を設定します。＊1

「探した場所に行く」(P132) または「どこかおすすめの場所はない？」(P136) の操作をした後に・・・

1 **経由地設定** を選んで 実行 を押す

2 **未設定** を選んで 実行 を押す ◆2

3 **経由地**を探して 実行 を押す
→「場所を探す」(P113)

4 **経由地○（1～5）セット** を選んで 実行 を押す ＊2
さらに経由地を追加したいときは、手順2～4を繰り返します。

5 ジョイスティックを下に倒して **設定完了** を選んで 実行 を押す
経由地を通るルート計算が始まり、ルート案内が開始されます。＊3 ◆3

ポイント

＊1 ・ルートを詳細に設定すると、ルートは1本のみ計算され、［6 ルート］は選べません。

＊2 ・経由地を設定すると［IC 指定］は自動的に解除されます。

＊3 ・複数の経由地を指定した場合は、リストの並び順に経由地を通るように、ルート計算されます。

・複数の経由地を出発地から近い順に並べ換える場合は、ジョイスティックを下に倒して［自動入換え］を選び、［実行］ボタンを押します。

アドバイス

◆1 ・ルート案内中に詳しくルートを確認することができます。
→「ルートを確認する」(P148)

◆2 ・経由地はお好みの場所（［1 未設定］～［5 未設定］）に設定できます。

◆3 ・経由地を選んで［実行］ボタンを押すと、経由地を編集できます。
→「立ち寄る場所を追加する」(P154)
また、通過した経由地は次のような編集ができます。
・消去
・順序変更（通過済みのまま）
・地点変更（未通過に変更）

簡単操作 標準操作

入口、出口インターチェンジを指定する

高速道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。*1

「探した場所に行く」(P.132) または「どこかおすすめの場所はない？」(P.136) の操作をした後に・・・

1 IC 指定 を選んで 実行 を押す

2 **入口**（または**出口**）を選んで 実行 を押す

3 **入口**（または出口）となるインターチェンジを選んで 実行 を押す *2

乗り降り IC 変更画面に戻ります。

4 ジョイスティックを下に倒して 実行 を押す

▼

指定したインターチェンジを通るルート計算が始まり、ルート案内が開始されます。*3

ポイント

*1
- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初と最後の入口または出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

*2
- 入口、出口インターチェンジは、現在指定されているインターチェンジを除いて前後 3 つの中から指定できます。ただし、ジャンクション（JCT）は含まれません。
「案内設定」の「スマート IC 案内」が［する］に設定されている場合、スマート IC も指定できるようになります。
→「案内設定」(P.429)
- ジャンクション（JCT）を選ぶと、分岐先の高速道路の路線リストが表示されます。
- 複雑なジャンクション付近では、候補として表示されないインターチェンジ、ジャンクションがある場合があります。
- 入口、出口 IC の指定を解除する場合は、ジョイスティックを下に倒して［IC 指定解除］を選び［実行］ボタンを押します。

*3
- 再計算後、指定した IC を解除する場合は、[目的地／ルート]ボタン→[ルート] → ［IC 指定］から解除してください。

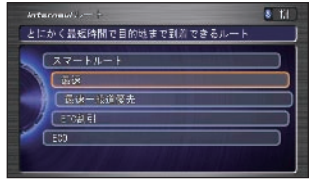
インターナビからお好みのルートを取得する 通信

インターナビ情報センターを利用して、目的地までの総燃料消費を最小にしたり、ETC 割引を活用したりするルートなど、インターナビ・サーバー側で計算します。
インターナビ情報センターに目的地や経由地などの情報を送信し、お好みに合ったルートを選んで取得することができます。 ※1

「探した場所に行く」(P 132) または「どこかおすすめの場所はない？」(P 136) の操作をした後に・・・

1 ルート案内開始画面で
internavi ルート を選んで 実行 を押す

2 目的に沿ったルートを選んで 実行 を押す ※2



▼

ルートが設定され、案内が開始されます。 ※3

ポイント

※1 ・インターナビ情報センターに接続するには、あらかじめ設定が必要になります。詳しくは*「インターナビの通信サービスを使う」(→ P163)* を参照してください。

※2 ・表示される最適なルートは、インターナビ情報センターの更新により、内容が変わることがあります。
提供されるルートの種類や特徴は、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
http://premium-club.jp/
まれに internavi ルートが取得できない場合があります。その場合は、機器設定で設定したルート計算条件のルートで案内されます。

※3 ・通信を開始しインターナビ情報センターより internavi ルートを取得します。目的地が遠い場合など、通信終了後、取得した internavi ルートで案内が開始されるまで時間がかかる場合があります。(それまでは標準ルートで案内します。)

関連する機能

場所を探す P113
情報センターに接続して情報を確認する P186

簡単操作 標準操作

新しい道路の情報があったとき

ルート計算時にルート周辺に新しい道路が見つかったとき、新しい道路のデータを取得することができます（新規道路データ配信）。*1

ルート計算時に新しい道路が見つかったとき…

1 新規道路取得 を選んで 実行 を押す

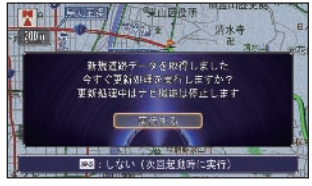
ルート周辺の新しい道路が強調表示されます。*2

2 ダウンロードする道路を選んで 実行 を押す

▼

認証が行われます。認証後、新規道路データのダウンロードが行われます。

3 実行する を選んで 実行 を押す



ルート周辺の新しい道路が強調表示されます。*2

▼

新しいデータの取得が完了します。

▼

新しい道路を考慮したルート計算が行われ、ルート案内が開始されます。*3

ポイント

*1 ・インターナビ情報センターに接続するには、あらかじめ設定が必要になります。詳しくは「インターナビの通信サービスを使う」（→P163）を参照してください。

*2 ・縮尺によっては、新しい道路が強調表示されない場合があります。

*3 ・新規高速道路の料金はルート計算に反映されません。
ルート計算後の料金表示が実際のものと異なる場合があります。

ルート設定後にできること

ルートを設定し、案内開始後にルートの確認や計算条件の変更、
経由地の追加などができます。

ルートを確認する　148
ルートを変更する　151
ルート案内を終了する　159
設定されたルートについて　160

ルートを確認する 簡単操作 標準操作

ルート案内開始後に、設定されたルートに関するいろいろな情報を確認できます。

標準操作

目的地や経由地周辺の地図を確認する

ルート設定後、目的地や経由地の位置を確認するため、周囲の地図を表示できます。

1 目的地／ルート → ルート を選んで 実行 を押す

2 経由地リスト を選んで 実行 を押す

3 **確認したい目的地または経由地** を選んで 実行 を押す

4 地図表示 を選んで 実行 を押す

▼

選んだ地点周辺の地図が表示されます。

簡単操作 標準操作

ルートの全体を表示する

全ルートを 1 つの画面内で表示します。

1 簡単操作

目的地／ルート → ルートを変える を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート → ルート を選んで 実行 を押す

2 ルート全体表示 を選んで 実行 を押す

▼

簡単操作

標準操作 ◆1

全ルート画面が表示されます。 ＊1

ポイント

＊1 ・internavi ルートの取得中はルート全体表示ができません。

アドバイス

◆1 ・ルート全体を全画面に表示する場合は、［全画面地図］を選んで［実行］ボタンを押します。

関連する機能

ルートに沿って地図を動かし確認する…P149
区間表示する……P150
ルートを変更する……P151

標準操作

ルート情報を表示する

目的地までの行程を表示します。

「ルート全体を表示する」（P148）の操作をした後に・・・

1 ルート情報 を選んで 実行 を押す

ルート情報画面が表示されます。

標準操作

ルートに沿って地図を動かし確認する

目的地までのルートをなぞるように地図をスクロールして、設定されたルートを確認できます。

「ルート全体を表示する」（P148）の操作をした後に・・・

1 ルートスクロール を選んで 実行 を押す

▼

ルートを自動スクロールします。◆1

アドバイス

◆1・ルートスクロール画面で、［実行］ボタンを押すと、ルートスクロールを操作する項目が表示されます。操作を実行するには、コマンドホイールを回して項目を選んで［実行］ボタンを押します。

- ▲：目的地方向に自動でスクロールします。
- ▼：現在地方向に自動でスクロールします。
- ▲▲：次が経由地の場合、次の経由地からスクロールを開始します。次が目的地の場合は目的地を表示します。
- ▼▼：前が経由地の場合、前の経由地からスクロールを開始します。前が自車位置の場合、自車位置を表示します。
- ■：スクロールが停止します。

標準操作

区間表示する

現在地から経由地、経由地から目的地などの区間地図を表示します。

「ルート全体を表示する」（P148）の操作をした後に・・・

1 区間表示 を選んで 実行 を押す

▼

最初の区間を表示します。

2 ▲▲ または ▼▼ を選んで 実行 を押す

▼

前の区間または次の区間を表示します。

ルートを変更する 簡単操作 標準操作

計算条件の変更や経由地の設定を行うことでルート変更ができます。

標準操作

迂回するルートに変更する

走行中に、現在地から2km、5km、10km先（高速道路走行中は10km、20km、30km）までを迂回して、元のルートに戻ることができます。

1 目的地／ルート → ルート を選んで 実行 を押す

2 迂回距離指定 を選んで 実行 を押す

3 一般道路走行時

迂回したい距離を選んで 実行 を押す

高速道路走行時

迂回したい条件／距離を選んで 実行 を押す ※1

▼

ルートが再計算され、迂回したルートを表示します。

ポイント

※1
- 高速道路走行時に [高速を一時回避] を選択すると、数箇所先のインターチェンジまでの区間を回避したルートを再計算します。
- 高速道路走行時に [高速を利用しない] を選択すると、一番近くのインターチェンジで降りるルートで再計算します。

関連する機能

ルートを確認する.....P148

簡単操作 標準操作

別のルートに変更する

計算条件の異なるルート候補（最大６本）から、お好みのルートに変更することができます。[*1]

1 簡単操作

目的地／ルート → ルートを変える → ルート全体表示 → ６ルート を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート → ルート → ６ルート表示 を選んで 実行 を押す

2 **お好みの計算条件**を選んで 実行 を押す

▼

選んだ条件で計算されたルート案内を開始します。

選べる計算条件について [*2]

標準	目的地まで機能設定の計算条件に従ったルートを案内します。
一般道 一般道２	目的地まで一般道を優先して使うルートを案内します。（高速道路を使う場合もあります）[*3]
距離	目的地までできるだけ距離の短いルートを案内します。
道幅	目的地まで道幅の広い道路を優先してルートを案内します。
別ルート	目的地まで［標準］とは別のルートを案内します。
高速道 高速道２	目的地まで高速道路や幹線道路を優先して使うルートを案内します。[*3]

ポイント

[*1] ・以下の場合は、［６ルート］または［６ルート表示］は選ぶことができません。
- 立ち寄る場所を設定したとき *(→P154)*
- 入口／出口インターチェンジを指定したとき *(→P157)*
- Internavi ルートで案内中 *(→P145)*

[*2] ・６本のルートの計算条件は、［案内設定］*(→P429)* の［ルート計算条件］［高速道優先］の設定によって変わります。

・道路の状況によっては［距離］が最短とならない場合があります。

・計算条件が異なっても、同じルートを案内することがあります。

・渋滞情報を考慮してルートを再計算する［渋滞考慮オートリルート］は［する］／［しない］を設定することができます。*→「案内設定」(P429)*

[*3] ・［一般道２］［高速道２］は［一般道］［高速道］と可能な限り違う道を使った２番目に適したルートです。

関連する機能

計算条件を変更するとき……P153
ルートを計算しなおす……P153
ルートを確認する……P148

標準操作

計算条件を変更するとき

設定されているルートを、計算条件を変えて再計算させることができます。

1 目的地／ルート → ルート を選んで 実行 を押す

ルートのメニューを表示します。

2 ルート条件変更 を選んで 実行 を押す

3 お好みの計算条件を選んで 実行 を押す

高速道 標準	高速道路や幹線道路を優先して使うルートを計算します。
高速道 距離優先	高速道路や幹線道路を優先して、目的地までできるだけ距離の短いルートを計算します。
高速道 道幅優先	高速道路や幹線道路を優先して、目的地まで道幅の広い道路を優先してルートを計算します。
一般道 標準	できるだけ高速道路を使わないルートを計算します。
一般道 距離優先	できるだけ高速道路を使わず、目的地までできるだけ距離の短いルートを計算します。
一般道 道幅優先	できるだけ高速道路を使わず、目的地まで道幅の広い道路を優先してルートを計算します。

▼

選んだ条件で計算されたルート案内を開始します。 ＊1

簡単操作 標準操作

ルートを計算しなおす

設定されているルートを、もう一度同じ計算条件で計算しなおします。

1 簡単操作

目的地／ルート →
ルートを変える →
ルート再計算 を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート → ルート →
ルート再計算 を選んで 実行 を押す

▼

ルートの再計算が始まります。

ポイント

＊1
- ルートを走行中でも、再計算できます。ただし、走行中のルートと同じルートが設定されることがあります。
- すでに通過した経由地は、ルートを再設定しても考慮されません。

関連する機能

別のルートに変更する……P152
ルートを確認する……P148

標準操作

立ち寄る場所を追加する

目的地までのルートの途中に立ち寄りたい場所 (経由地) を設定します。[*1]

1 **目的地／ルート** → **ルート** を選んで 実行 を押す

2 **経由地リスト** を選んで 実行 を押す

経由地リスト画面を表示します。

3 **未設定** を選んで 実行 を押す

4 **立ち寄りたい場所**を探す
→「場所を探す」(P113)

5 **経由地○（1 ～ 5）セット** を選んで 実行 を押す

さらに経由地を追加したいときは、手順 3 ～ 5 を繰り返します。

6 ジョイスティックを下に倒して **設定完了** を選んで 実行 を押す

ルート案内を開始します。[*2]

ポイント

[*1] ・ポイントメニューの［経由地セット］から経由地を追加することもできます。(→ P60)

[*2] ・複数の経由地を指定した場合は、リストの並び順に経由地を通るように、ルート計算されます。

・複数の経由地を現在地から近い順に並び替える場合は、ジョイスティックを下に倒して［自動入換え］を選び［実行］ボタンを押します。

関連する機能

立ち寄る場所を変更／消去する P155
ルートを確認する P148

標準操作

立ち寄る場所を変更／消去する

立ち寄りたい場所（経由地）を追加したあと、立ち寄る順番や場所の変更などが行えます。

1 **目的地／ルート** → **ルート** を選んで 実行 を押す

ルートのメニューが表示されます。

2 **経由地リスト** を選んで 実行 を押す

3 **変更／消去したい経由地**を選んで 実行 を押す ※1

4 **いずれかの項目**を選んで 実行 を押す ※2

変更	選んだ経由地とは別の場所を経由地にするため、地点を探しなおします。
消去	選んだ経由地を消去します。
順序変更	選んだ経由地の並び順を変更できます。
地図表示	選んだ経由地周辺の地図を確認できます。*→「目的地や経由地周辺の地図を確認する」（P148）*

▼

変更が完了します。

ポイント

※1
- ジョイスティックを下に倒して［自動入換え］を選び［実行］ボタンを押すと、複数の経由地を現在地から近い順に並べ換えることができます。
- 乗り降り IC（インターチェンジ）が指定されているときは、［自動入換え］は選べません。

※2
- 乗り降り IC（インターチェンジ）が指定されている場合、「変更」「消去」「順序変更」のいずれかの操作を行うと自動的に解除します。

関連する機能

立ち寄る場所を追加する……P154
ルートを確認する……P148

簡単操作 標準操作

走行中に経由地を通らないようにする

次の経由地に立ち寄る必要がなくなったときなどに、次の経由地を通過済みしてルートを再計算することができます。

1 簡単操作

目的地／ルート → **ルートを変える** を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート → **ルート** を押す

2 **経由地○スキップ** を選んで 実行 を押す ＊1

▼

次の経由地がスキップされ、ルートが再計算されます。

ポイント

＊1
- ［経由地○スキップ］は、以下の場合に表示されます。
  - 簡単操作モードで未通過の経由地がある
  - 標準操作モードで未通過の経由地があって走行中

標準操作

インターチェンジを指定する

高速道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。*1

標準操作

入口 / 出口のインターチェンジを指定する

1 目的地／ルート → ルート を選んで 実行 を押す

2 IC 指定 を選んで 実行 を押す *2

3 入口 IC（または出口 IC）を選んで 実行 を押す

4 指定したいインターチェンジを選んで 実行 を押す *3

5 設定完了 を選んで 実行 を押す

▼

再計算されたルートの案内を開始します。

標準操作

入口 / 出口のインターチェンジ指定を解除する

「入口 / 出口のインターチェンジを指定する」（P157）の手順 3 までの操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して IC 指定解除 を選んで 実行 を押す *1

▼

再計算されたルートの案内を開始します。

ポイント

*1 ・指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初と最後の入口または出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

*2 ・入口、出口 IC を指定済みで走行中の場合は、[IC 指定] は [入口 IC 指定解除] や [出口 IC 指定解除] と表示します。

・internavi ルートを選択しているときは [IC 指定] を選択できません。

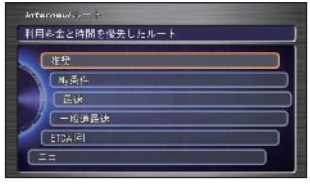
*3 ・［スマート IC 案内］を［する］に設定してある場合は、スマート IC を指定することができます。
→「案内設定」（P429）

お好みのルートを取得する 通信

目的地や経由地を設定した後に、インターナビからお好みに合ったルートを取得して、ルートを再計算することができます。*1

1 目的地／ルート → ルート → internavi ルート取得 を選んで 実行 を押す

2 目的に沿ったルートを選んで 実行 を押す *2



▼

ルートが再計算され、案内が開始されます。

ポイント

*1 ・インターナビ情報センターに接続するには、あらかじめ設定が必要になります。詳しくは「インターナビの通信サービスを使う」（→ P163）を参照してください。

*2 ・表示される最適なルートは、インターナビ情報センターの更新により、内容が変わることがあります。
まれに internavi ルートが取得できない場合があります。その場合は、設定したルート計算条件のルートで案内されます。

ルート案内を終了する 簡単操作 標準操作

ルート案内が不要になった場合は、案内の一時中止や目的地の消去をすることができます。

ルート案内を一時中止する

目的地を設定したままルート案内を中止することができます。

1 簡単操作

目的地／ルート → ルートを変える → 誘導一時中断 を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート → ルート → 誘導一時中断 を選んで 実行 を押す

▼

ルート案内を一時中止します。[*1]

案内を再開する

*「ルート案内を一時中止する」（本ページ）*の手順でルート案内を一時中止した場合は、中止前に設定した目的地や経由地のままで、再度ルート案内を開始することができます。

1 簡単操作

目的地／ルート → ルートを変える → 誘導再開 を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地／ルート → ルート → 誘導再開 を選んで 実行 を押す

▼

ルートの再計算が行われ、ルート案内を再開します。

目的地を消去する

設定した経由地や目的地を消去して、ルート案内を終了させるときに行います。

1 目的地／ルート を押す

2 簡単操作

目的地を消去する を選んで 実行 を押す

標準操作

目的地消去 を選んで 実行 を押す

▼

目的地が消去され、地図画面に戻ります。

ポイント

[*1]
- ルート案内を中止しても、設定した目的地や経由地は消えません。
- 目的地を消去する場合は、*「目的地を消去する」（本ページ）*を参照してください。

設定されたルートについて

ナビゲーション機能で計算したルートについてのおことわりです。

ルート計算の仕様

交通規制情報はルート計算した時刻のものを反映します。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

計算されたルートは道路種別や交通規制などを考慮した道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。

ルート計算 (学習ルートを含む) は 100m スケールの地図に表示されている道路を対象としています。市街地図にだけ表示されている道路は対象となりません。なお、市街地図に表示されない道路でも、100m スケールの地図に表示されていれば、市街地図にルートを表示します。

本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます。(本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが計算されます。)

フェリー航路に関してはルート計算の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。

フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。

冬期通行止めなどにより通行できない道路をルート計算すると、エラーメッセージを表示します。

案内地点には、右左折や高速道路出口などを案内する音声を自動的に設定します。

ルート計算のしかた

出発地 (自車位置) から最も近い、道路前方の交差点が第 1 案内地点となります。

最終案内地点は、目的地に設定した場所から最も近い道路にある直近の 2 つの交差点のうち、どちらか一方になります。目的地付近に道路が見つからないときは、目的地から最も近い、道路との交差点が最終案内地点になります。

進行方向に進むとあまりにも遠回りになる場合、現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。

河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。

回避エリアを登録しても、その場所が回避されない場合があります。

渋滞考慮オートリルート、高速道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。

通常のルート計算では条件の違う 6 本のルートを計算しますが、推奨できるルートが 5 本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。

経由地、入口 / 出口 IC の指定、および自宅ルート計算を行った場合、ルートは 1 本のみ計算します。

最長5,000km程度までルート計算できます。

出発地から道塗り開始点まで、道塗り終了点から目的地までの距離が遠い場合があります。場所によってはルート計算できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に経由地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路 (100m スケールでグレー表示の細い道) 以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

幹線道路などの幅の広い道路や上下線分離道路、山道などの曲がりくねった道路では、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。

出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。このため、経由地付近でルートが途切れたように見えることがあります。(音声での案内は継続します。)

音声での案内について

オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。

高速道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は案内されないことがあります。

交差点拡大図について

2D 交差点拡大図は、交差点とその 30m 手前の地点を結んだ線が上になるように表示します。道路が直交する交差点では、交差点拡大図の下から自車マークが交差点内に現れます。交差点手前で道路がカーブしている場合は、自車マークは道路に沿って交差点拡大図の横方向から現れます。

第 1 案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

施設マーク音声案内は、交差点によっては行われない場合があります。

ルート候補選択画面での高速料金について

特殊な料金体系の高速道路では、正しい料金が表示されない場合があります。

一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。

高速道路上およびランプ上からルートを計算したときや高速道路上に目的地を設定したときは、高速道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく表示されないことがあります。

一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。

高速料金は改定される場合がありますので、あくまでも目安としてお使いください。

高速道路をまったく使用しないときは、「0 円」と表示します。

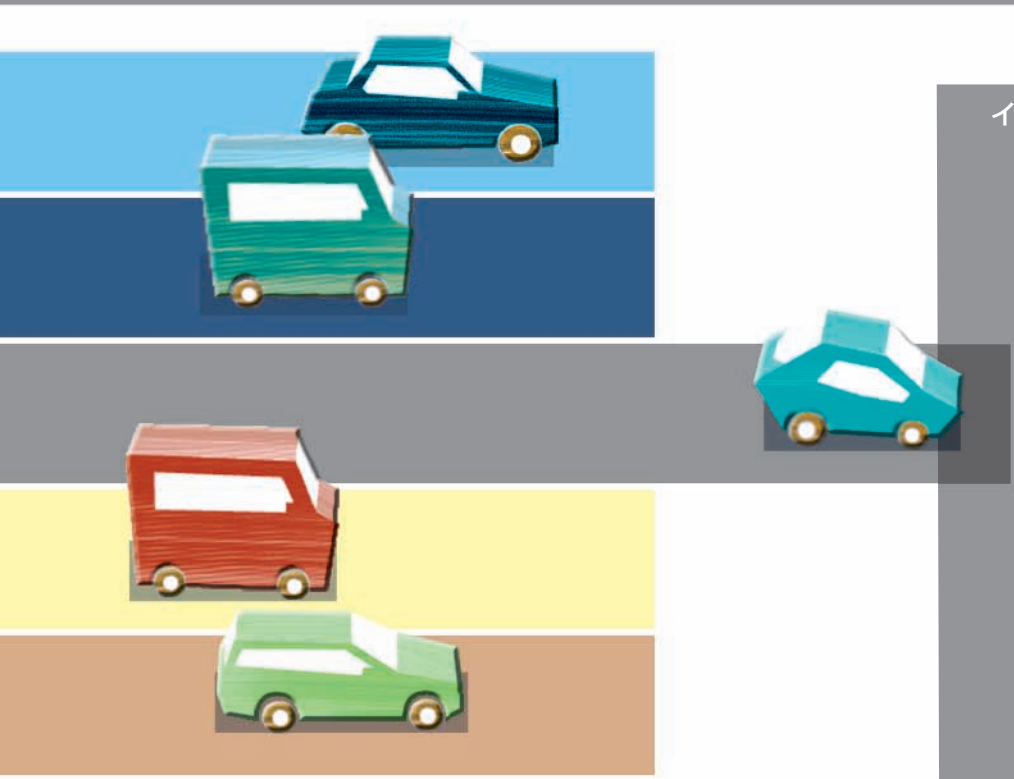
オートリルートについて

目的地、経由地付近に時間規制があり、ルート設定時は通行できたが、走行中に通行不可となることがあります。このときオートリルートをすると、規制を無視して再計算するかどうかを確認するメッセージが表示されます。ただし、このメッセージが表示されるのは、ルート案内中 1 回のみです。

M E M O

インターナビの通信サービスを使う

Hondaからのお知らせや気象情報を確認するなどの
サービスを利用できます。



インターナビ・プレミアムクラブとは 164
通信機能を使えるようにする 166
通信機器・USBメモリー接続方法 167
Hondaからのお知らせを確認する 184
最新のニュースなどを確認する 186
音声による読み上げ機能について 190
各パーツの交換時期を管理する 191
気象情報を確認する 200
新しい道路データを取得する 206

インターナビ・プレミアムクラブとは

インターナビ・プレミアムクラブとは、より安全で快適なカーライフを実現する、
Honda 車オーナーのための新しいドライブ情報サービスネットワークです。

インターナビ・プレミアムクラブの
最新情報は http://premium-club.jp/
をご覧ください。

進化・充実した交通情報

- インターナビ VICS *(→P381)*
- 駐車場セレクト *(→P123)*
- インターナビ・ルート配信 *(→P145)*

インターナビ情報受信後

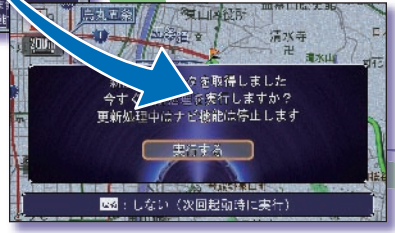
安心のドライブ支援

- インターナビウェザー *(→P200)*

最新の地図情報提供

- 新規道路データ配信 *(→P206)*
- スマート全地図更新（1 回無料）

新規道路データ配信



新規道路データ取得

パーソナル・ホームページ

- スポット情報の同期 *(→P137)*
- マークリストの同期 *(→P107)*
- ドライブプランニング
- メンテナンス情報

通信機能をご利用になる前に

インターナビ・プレミアムクラブへのご入会

通信機能を使って、インターナビ・プレミアムクラブの各種サービスをご利用いただくためには、インターナビ・プレミアムクラブへのご入会があらかじめ必要となります。詳しくは Honda 販売店にご相談ください。

携帯電話について

以下の通信方式の携帯電話に対応しています。

- CDMA 1X WIN
- FOMA
- Bluetooth Hands Free Phone

Bluetooth 方式以外の携帯電話では市販のアダプターを装着することで Bluetooth 接続が可能なものもあります。詳しくは、Honda 販売店にご相談ください。

ウィルコム　インターナビ・データ通信 USB との接続が可能です。詳しくは、Honda 販売店にご相談ください。

携帯電話の対応機種や設定方法については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。

サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。最新のサービス内容は、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
http://www.premium-club.jp/

Bluetooth とは !?

パソコン、ミュージックプレーヤー、デジタルカメラなどの電子機器どうしをワイヤレスで通信できる最先端のテクノロジー規格です。

Bluetooth®

Honda インターナビシステムでは、Bluetooth 対応の携帯電話をケーブルを使わずに接続し、通信機能を使用することができます。

※ Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG,Inc. の所有であり、本田技研工業株式会社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

通信機能を使えるようにする

インターナビを使う前に通信機能の設定や携帯電話の接続を行います。

操作の流れ

お客様

インターナビ・プレミアムクラブ
入会登録申込書の記入

▼

Honda 販売店

申込書をもとにオンライン登録
（車台番号を本機に登録）

▼

インターナビ情報センター

登録完了のご案内、
使いかたブックを郵送

▼

お客様

ケーブルによる携帯電話の接続 *(本ページ)*

Bluetooth による携帯電話の接続 *(P170)*

▼

Honda インターナビシステムへの通信設定 *(P178)*

▼

パーソナル・ホームページへの接続

▼

サービスをご利用いただけます。

簡単操作 標準操作

接続ケーブルで携帯電話を接続する

別売の接続ケーブルを使って携帯電話を本機に接続します。

お願い

- 携帯電話の接続ケーブルを頻繁に抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 接続ケーブルは携帯電話を使用していないときに抜き差ししてください。

携帯電話を接続する *1

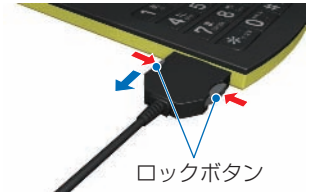
1 携帯電話の接続端子カバーを外し、接続ケーブルを「カチッ」と音がするまで押し込む *2

この操作の後、以下を行ってください。

「ケーブル接続した携帯電話の接続先を設定する」（→P178）

携帯電話を外す

1 左右のロックボタンを押しながら接続ケーブルを取り外す



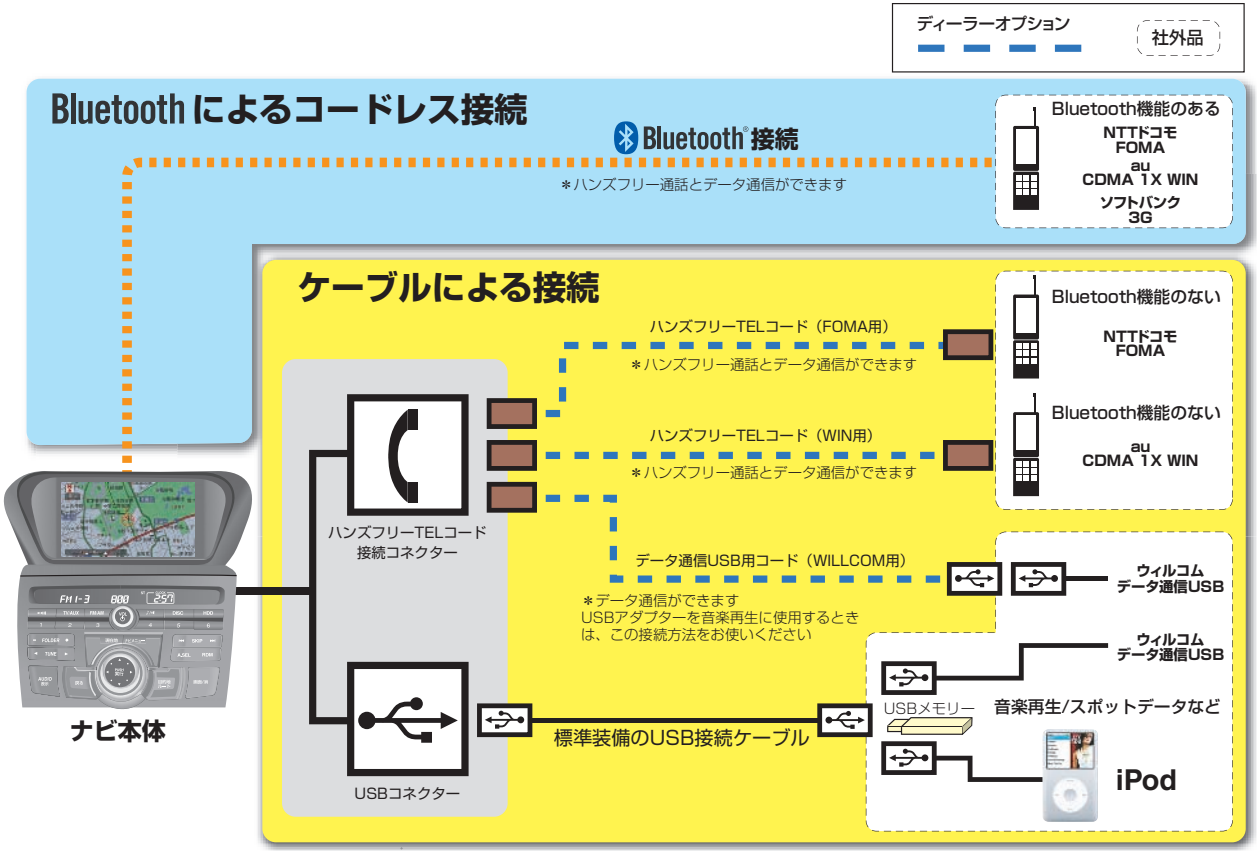
ポイント

*1
- エンジンスイッチを“I”にする前に携帯電話および接続ケーブルを接続コネクターに接続してください。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。
- 接続ケーブルの場所については、Honda 販売店へご確認ください。
- Bluetooth 対応機の接続方法については *「Bluetooth で携帯電話を接続する」（→P170）* を参照してください。

*2
- 携帯電話の接続コネクターからは、携帯電話の電源は供給されていません。
- Honda インターナビシステムに携帯電話を接続すると、携帯電話の電源がOFF の場合、自動的に ON になります。
- Honda インターナビシステムに接続ケーブルで携帯電話を接続すると、携帯電話の電源ボタンは働かなくなります。(cdma1X WIN の携帯電話の電源は、エンジンスイッチの位置に連動します。)

通信機器・USB メモリー接続方法 簡単操作

インターナビは以下のような組み合わせで通信機器や USB メモリーとの接続ができます。



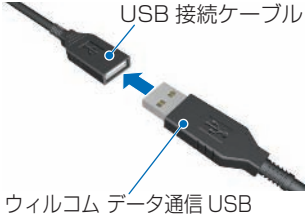
簡単操作 標準操作

データ通信 USB で接続する

別売の USB 接続ケーブルを使ってウィルコムインターナビ・データ通信 USB を本機に接続します。

携帯電話を接続する ※1

1 USB 接続ケーブルにウィルコムインターナビ・データ通信 USB を差し込む ※2



携帯電話を外す

1 USB 接続ケーブルとウィルコムインターナビ・データ通信 USB のコネクター部を取り外す

データ通信 USB の接続設定

携帯電話でハンズフリー通話を行いながら、ウィルコム社製「インターナビ・データ通信 USB」でデータ通信を行う際は、以下のように設定します。データ通信を定額で行いながら、ハンズフリー通話を行うことができます。

P177 から P182 までの方法で、携帯電話の設定を行っておきます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **電話をかける**（または **設定を変える**）を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **電話**（または **設定**）を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒し、**通信／電話設定** を選んで 実行 を押す ※3

3 **電話接続設定** を選んで 実行 を押す

4 **ケーブル /USB 接続設定** または **Bluetooth 接続設定** を選んで 実行 を押す

5 登録した携帯電話を選択し、**編集** を選んで 実行 を押す ※4

6 **通信接続先** を選んで 実行 を押す

7 **WILLCOM USB タイプ / 専用接続** を選んで 実行 を押す

8 **決定** を選んで 実行 を押す

9 通信接続先が **WILLCOM USB タイプ / 専用接続**となっていることを確認し、**設定完了** を選んで 実行 を押す

※「インターナビ・データ通信 USB」の使用方法は、製品に同梱の「データ通信 USB 接続ガイド」を参照ください

ポイント

＊1 ・エンジンスイッチを“I”にする前に USB 接続ケーブルにウィルコム インターナビ・データ通信 USB を接続してください。

・USB 接続ケーブルの接続する場所については、「データ通信 USB 接続ガイド」を参照ください。

＊2 ・コネクターの上下方向を間違えないように注意してください。

＊3 ・手順 1 で［設定］または［設定を変える］を選んだ場合は、ジョイスティックを下に倒さず、［通信／電話設定］を選んで［実行］ボタンを押します。

＊4 ・画面は手順 4 で［Bluetooth 接続設定］を選んだ場合の例です。［ケーブル /USB 接続設定］を選んだ場合も同様に操作してください。

簡単操作 標準操作

Bluetooth で携帯電話を接続する

お手持ちの携帯電話の Bluetooth 機能を使って、Honda インターナビシステムに接続します。

1 簡単操作

ナビメニュー → **電話をかける**（または **設定を変える**）を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **電話**（または **設定**）を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒し、**通信／電話設定** を選んで 実行 を押す ＊1

3 **電話接続設定** を選んで 実行 を押す

4 **電話接続方法** を選んで 実行 を押す

5 **Bluetooth** を選んで 実行 を押す

▼

電話の接続方法が設定され、電話接続設定画面に戻ります。
この後、以下の設定を行ってください。

- パスキーの設定 （→P171）
- 携帯電話の登録 （→P172）
- 携帯電話の選択 （→P173）
- 通信接続の設定 （→P178）

ポイント

＊1
- 手順 1 で［設定］または［設定を変える］を選んだ場合は、ジョイスティックを下に倒さず、［通信／電話設定］を選んで［実行］ボタンを押します。
- Bluetooth 対応の携帯電話の登録方法について、詳しくはインターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  http://www.premium-club.jp/
- Bluetooth 接続が完了すると、画面の右上に Bluetooth マークを表示します。また、地図画面の場合は画面の左下に表示します。
  Bluetooth マークは Honda インターナビシステムと Bluetooth 対応の携帯電話との接続状況（無線接続）を示すもので、電話回線の接続状況を示したものではありません。
- この操作は最初の 1 回だけです。以降は登録した Bluetooth 携帯電話を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。

パスキーを設定する

お手持ちの携帯電話と、Honda インターナビシステムを無線接続するためのパスキー（暗証番号）を設定します。◆1

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順 3 までの操作をした後に・・・

1 パスキー を選んで 実行 を押す

2 パスキーとして **4 桁の数字**を入力する

3 完了 を選んで 実行 を押す

▼

パスキーが設定されます。

この操作の後、以下を行ってください。

- 携帯電話の登録 *(→P172)*
- 携帯電話の選択 *(→P173)*
- 通信接続の設定 *(→P178)*

アドバイス

◆1 ・初期状態のパスキーは、「1212」です。通常は変更する必要はありません。

関連する機能

文字入力のしかた.....P34

携帯電話を登録する

Bluetooth 対応の携帯電話を Honda インターナビシステムに登録し、無線接続できるように設定します。携帯電話は、最大 5 台まで登録することができます。*1

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順 3 までの操作をした後に・・・

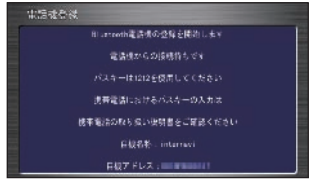
1 Bluetooth 接続設定 を選んで 実行 を押す

2 未登録 を選んで 実行 を押す

3 登録 を選んで 実行 を押す

4 機種 を選んで 実行 を押す

5 画面に表示されたパスキーをお手持ちの携帯電話に設定する *2



お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧になり、携帯電話にパスキーを設定してください。

▼

携帯電話の登録および Bluetooth 接続が完了します。

この操作の後、以下を行ってください。

- 携帯電話の選択 *(→P173)*
- 通信接続の設定 *(→P178)*

ポイント

*1
- Honda インターナビシステムに設定したパスキーを携帯電話に設定すると、Bluetooth 接続ができるようになります。
- 携帯電話を登録し、Bluetooth 接続が完了すると、再度以下の操作を行う必要はありません。

*2
- Bluetooth 対応の携帯電話の登録方法について、詳しくはインターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス :
  http://www.premium-club.jp/
- パスキーの初期値は「1212」です。パスキー（暗証番号）を変更する場合は、*「パスキーを設定する」(→P171)* を参照してください。
- パスキーを変更する場合は、携帯電話側のパスキーも同じ数字に設定してください。

登録した携帯電話を選択する

Honda インターナビシステムに Bluetooth 対応の携帯電話を複数登録している場合は、使用する携帯電話を選ぶ必要があります。 ※1

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順 3 までの操作をした後に・・・

1 Bluetooth 接続設定 を選んで 実行 を押す

2 使用する携帯電話を選んで 実行 を押す ※2

3 接続 を選んで 実行 を押す

▼

接続する携帯電話の選択が完了します。
Bluetooth 接続が完了するまで時間がかかることがありますので、しばらくお待ちください。 ※3
この操作の後、通信接続の設定 *(→P178)* を行ってください。

ポイント

※1 ・登録している Bluetooth 対応の携帯電話が 1 台のときは、操作は必要ありません。

※2 ・接続中の携帯電話は選択状態の色で表示されます。

※3 ・異なる携帯電話を選択した場合で、接続先を設定していないときは、接続先を設定する必要があります。
→「接続先 (プロバイダ) を選ぶ」(P178)

関連する機能

Bluetooth で携帯電話を接続する ...P170

登録した携帯電話名称を変更する

Bluetooth 携帯電話のリストに表示されている携帯電話の名称を変更することができます。

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順 3 までの操作をした後に・・・

1 **Bluetooth 接続設定** を選んで 実行 を押す

2 携帯電話のリスト画面で変更したい携帯電話を選んで 実行 を押す

3 **編集** を選んで 実行 を押す

4 ジョイスティックを下に倒し、**機種名称編集** を選んで 実行 を押す

5 携帯電話の名称を入力する ※1

6 **完了** を選んで 実行 を押す

7 ジョイスティックを下に倒し、**設定完了** を選んで 実行 を押す

▼

携帯電話の名称が変更されます。

ポイント

※1 ・名称は、全角で最大 6 文字 (半角で最大 12 文字) まで入力することができます。

関連する機能

Bluetooth で携帯電話を接続する ...P170
文字入力のしかた.....P34

登録した携帯電話の設定を消去する

Honda インターナビシステムに登録した Bluetooth 携帯電話設定を消去します。

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順 3 までの操作をした後に・・・

1 Bluetooth 接続設定 を選んで 実行 を押す

2 消去したい携帯電話の設定を選んで 実行 を押す

3 削除 を選んで 実行 を押す

4 削除する を選んで 実行 を押す

▼

選択した携帯電話の設定が消去されます。

Bluetooth 接続を無効にする

Bluetooth 接続を無効にしたいときに設定してください。

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順 3 までの操作をした後に・・・

1 Bluetooth 接続設定 を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して、BT 出力停止 を選んで 実行 を押す

▼

Bluetooth 出力が停止されます。 ※1

ポイント

※1 ・Bluetooth 接続を再度有効にしたい場合は、手順 2 で［Bluetooth 出力開始］を選んで［実行］ボタンを押します。

Honda インターナビシステムの名称、アドレスを確認する

Bluetooth の携帯電話側から、接続先 (Honda インターナビシステム) を探すときの機器名称、機器アドレスを確認することができます。

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順 3 までの操作をした後に・・・

1 **自機情報** を選んで 実行 を押す

▼

Honda インターナビシステムの機器名称および機器アドレスが表示されます。

機器名称を変更する場合に…

機器名称を変更することができます。 ※1

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順 3 までの操作をした後に・・・

1 **自機情報** を選んで 実行 を押す

2 **機器名称** を選んで 実行 を押す

3 機器名称を入力する ※2

4 **完了** を選んで 実行 を押す

▼

機器名称が変更されます。

ポイント

※1 ・[機器アドレス] を編集することはできません

※2 ・名称は、半角で最大 20 文字まで入力することができます。

関連する機能

文字入力のしかた.....P34
Bluetooth で携帯電話を接続する ...P170

簡単操作 標準操作

接続方法を切り換える

携帯電話の Honda インターナビシステムへの接続方法をケーブル接続 (有線接続) か Bluetooth 接続 (無線接続) に切り換えます。 ※1

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) **の手順 3 までの操作をした後に・・・**

1 電話接続方法 を選んで 実行 を押す

2 ケーブル または Bluetooth を選んで 実行 を押す

▼

接続方法の切り換えが完了します。 ※2

ポイント

※1 ・Bluetooth 対応携帯電話を *「携帯電話を登録する」(→P172)* で Honda インターナビシステムに登録したあとは、自動的に Bluetooth 接続に設定されますので操作は必要ありません。

・Bluetooth 対応携帯電話からケーブル接続の携帯電話に切り換えるときに、操作を行ってください。

※2 ・異なる携帯電話を選択した場合で、接続先を設定していないときは、接続先を設定する必要があります。
→「接続先（プロバイダ）を選ぶ」(P178)

簡単操作 標準操作

接続先（プロバイダ）を選ぶ

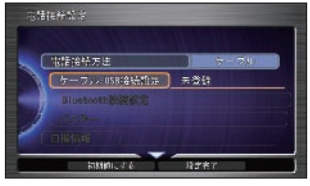
通信機能の設定方法には、あらかじめ用意されている接続先を選ぶだけで簡単に通信機能の設定を行うことができる方法（本ページ）と新たな接続先を追加したり、設定内容を変更するのに便利な「ケーブル接続時に接続先を追加する」（→P180、181）があります。 ＊1

ケーブル接続した携帯電話の接続先を設定する

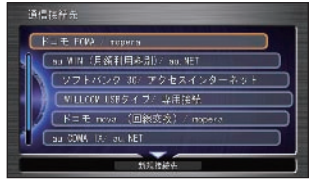
「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順３までの操作をした後に・・・

1 電話接続設定画面で、**ケーブル／USB 接続設定** を選んで 実行 を押す ＊2

→「電話接続設定画面を表示する」(P168)



2 プロバイダを選んで 実行 を押す



3 **決定** を選んで 実行 を押す ＊3

▼

接続先のプロバイダが変更され、電話接続設定画面に戻ります。

ポイント

＊1 ・あらかじめ用意されている接続先（プロバイダ）のアクセスポイントが変更された場合は、インターナビ情報センターに接続しコンテンツを閲覧することで自動的に更新されます。「ケーブル接続時に接続先を追加する」（→P180、181）で新規に追加した接続先は更新されません。

＊2 ・［Bluetooth 接続設定］と表示されている場合は、接続先を［ケーブル］に変更する必要があります。
→「接続方法を切り換える」（P177）

＊3 ・［詳細］を選んで［実行］ボタンを押すと、通信先の詳しい設定が表示されます。

・［編集］を選んで［実行］ボタンを押すと、お客様が追加した接続先を編集することができます。編集内容は、「ケーブル接続時に接続先を追加する」（→P180）を参照してください。

関連する機能

Bluetooth で携帯電話を接続する ...P170

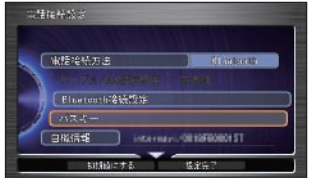
プロバイダとは !?

インターネットをするための接続業者のことです。インターネットをするためには必ずプロバイダと契約が必要になります。

Bluetooth 接続した携帯電話の接続先を設定する

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順３までの操作をした後に・・・

1 Bluetooth 接続設定 を選んで 実行 を押す ※1

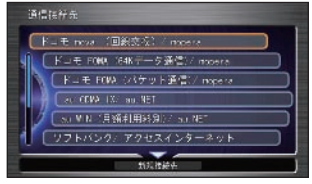


2 接続されている携帯電話を選んで 実行 を押す

3 編集 を選んで 実行 を押す ※2

4 通信接続先 を選んで 実行 を押す

5 プロバイダを選んで 実行 を押す



6 決定 を選んで 実行 を押す ※2

ポイント

※1 ・[ケーブル／USB 接続設定] と表示されている場合は、Bluetooth 接続に変更し、Bluetooth により携帯電話を接続する必要があります。→*「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170)*

※2 ・[編集] を選ぶと、お客様が追加した接続先を編集することができます。編集内容は、*「Bluetooth 接続時に接続先を追加する」(→P181)* を参照してください。

関連する機能

Bluetooth で携帯電話を接続する ...P170

簡単操作 標準操作

ケーブル接続時に接続先を追加する

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順 3 までの操作をした後に・・・

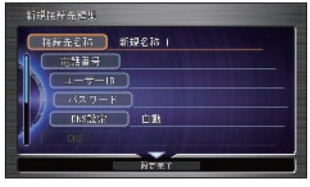
お願い

・[ケーブル /USB 接続設定]を選んで[実行] ボタンを押す前に携帯電話またはデータ通信 USB を接続してください。

1 **ケーブル／ USB 接続設定** を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒し、**新規接続先** を選んで 実行 を押す ※1

3 **設定する項目**を選んで 実行 を押し、設定する ※2



接続先名称	接続するプロバイダの名称を設定･変更できます。
電話番号	アクセスポイントの電話番号を入力します。
ユーザー ID	プロバイダ入会時に発行されたユーザー ID を入力します。
パスワード	プロバイダ入会時に発行されたパスワードを入力します。
DNS 設定	[自動] または [手動] を選びます。[手動] を選ぶと、「DNS1」「DNS2」が入力できるようになります。
DNS1/ DNS2	DNS(IP アドレス) を入力します。
通信手段	[携帯（回線交換)]、[携帯（パケット)]、または [USB 通信機器] から選びます。
Proxy 設定	プロキシを使用するかしないかを選びます。[使用する] を選ぶと、「Proxy アドレス」「Proxy ポート」が入力できるようになります。
Proxy アドレス	接続するプロキシサーバーの IP アドレスを入力します。
Proxy ポート	接続するプロキシサーバーのポート番号を入力します。

4 手順 3 を繰り返し、必要な項目をすべて設定する

5 ジョイスティックを下に倒し、**設定完了** を選んで 実行 を押す

▼

接続先のプロバイダリスト画面に接続先が追加されて表示されます。※3

ポイント

※1 ・接続先を編集する場合は、接続先を選んで［実行］ボタンを押し､さらに［編集]を選んで[実行]ボタンを押します。

※2 ・第三者に車を譲渡する場合は、新規に登録した接続先を消去しておいてください。
→「接続先を消去する」(P182)

・接続先は 20 か所まで追加できます。

・設定項目でわからないときは、ご利用になっているプロバイダにご確認ください。

※3 ・新しく追加した接続先を選んで接続するには、リストから追加した接続設定を選んで［実行］ボタンを押します。
→「接続先（プロバイダ）を選ぶ」(P178)

簡単操作 標準操作

Bluetooth 接続時に接続先を追加する

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) の手順 3 までの操作をした後に・・・

1 電話接続設定画面で、Bluetooth 接続設定 を選んで 実行 を押す

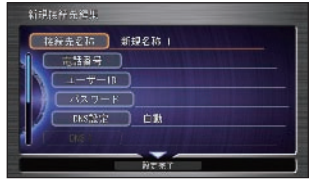
2 接続先を指定したい携帯電話設定、または 未登録 を選んで 実行 を押す

3 登録 を選んで 実行 を押す

4 通信接続先 を選んで 実行 を押す

5 ジョイスティックを下に倒し、新規接続先 を選んで 実行 を押す *1

6 設定する項目を選んで 実行 を押し、設定する *2



接続先名称	接続するプロバイダの名称を設定・変更できます。
電話番号	アクセスポイントの電話番号を入力します。
ユーザー ID	プロバイダ入会時に発行されたユーザー ID を入力します。
パスワード	プロバイダ入会時に発行されたパスワードを入力します。
DNS 設定	[自動] または [手動] を選びます。[手動] を選ぶと、「DNS1」「DNS2」が入力できるようになります。
DNS1/DNS2	DNS(IP アドレス) を入力します。
通信手段	[携帯（回線交換)]、[携帯(パケット)]、または [USB 通信機器] から選びます。
Proxy 設定	プロキシを使用するかしないかを選びます。[使用する] を選ぶと、「Proxy アドレス」「Proxy ポート」が入力できるようになります。
Proxy アドレス	接続するプロキシサーバーの IP アドレスを入力します。
Proxy ポート	接続するプロキシサーバーのポート番号を入力します。

・・・次ページ手順 7 につづく

ポイント

*1 • 接続先を編集する場合は、接続先を選んで [実行] ボタンを押し、さらに [編集] を選んで [実行] ボタンを押します。

*2 • 第三者に車を譲渡する場合は、新規に登録した接続先を消去しておいてください。
→「接続先を消去する」(P182)

• 接続先は 20 か所まで追加できます。

• 設定項目でわからないときは、ご利用になっているプロバイダにご確認ください。

関連する機能

Bluetooth で携帯電話を接続する ...P170
文字入力のしかた.....P34

7 手順 6 を繰り返し、必要な項目をすべて設定する

8 ジョイスティックを下に倒し、設定完了 を選んで 実行 を押す

▼

接続先のプロバイダリスト画面に接続先が追加されて表示されます。※1

接続先を消去する

お客様が追加した接続先が不要になったときは、接続先を消去できます。※2

「ケーブル接続時に接続先を追加する」（P180）の手順 1 までまたは「Bluetooth 接続時に接続先を追加する」（P181）の手順 4 までの操作をした後に・・・

1 接続先のプロバイダのリスト画面で接続先を選んで 実行 を押す

2 消去 を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

▼

登録されていた接続先が消去されます。

ポイント

※1 ・新しく追加した接続先を選んで接続するには、リストから追加した接続設定を選んで［実行］ボタンを押します。
→「接続先（プロバイダ）を選ぶ」（P178）

※2 ・あらかじめ用意されている接続先を消去することはできません。

関連する機能

ケーブル接続時に接続先を追加する.....P180
Bluetooth 接続時に接続先を追加する..P181

簡単操作 標準操作

設定内容を初期値に戻す

お客様が登録された通信機能の登録内容を消去する場合は、初期値に戻します。

「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170) **の手順 3 までの操作をした後に・・・**

1 電話接続設定画面で
ジョイスティックを下に倒して
初期値にする を選んで 実行 を押す

2 実行 を押す

▼

接続先の設定が初期の状態に戻ります。

関連する機能

Bluetooth で携帯電話を接続する ...P170

Honda からのお知らせを確認する 簡単操作 標準操作

新しい地図データや製品に関する重要な情報などを Honda からお知らせします。

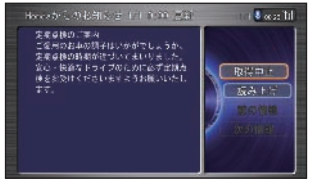
Honda からのお知らせがあったとき

新しい地図データや Honda 販売店の情報など、状況の変化があれば Honda からお知らせします。

Honda からのお知らせがあると・・・

1 表示する を選んで 実行 を押す

▼



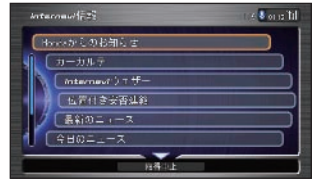
詳細な情報を表示します。 ※1

履歴を確認する

Honda からのお知らせはあとで確認することができます。
最大 100 件まで履歴として残っています。 ※2

1 ナビメニュー → internavi 情報 を選んで 実行 を押す

2 Honda からのお知らせ を選んで 実行 を押す

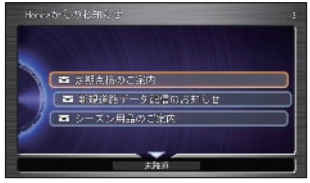


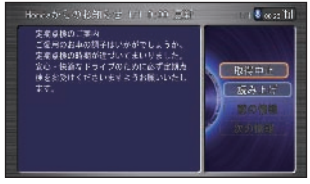
ポイント

※1
- [戻る] ボタンを押すと、このときは内容を表示せずに、*「履歴を確認する」(→本ページ)* で後から確認することができます。
- お知らせ内容が複数ある場合、[表示する] を選んで [実行] ボタンを押したあと、表示する詳細情報を選ぶ画面が表示されることがあります。
- [読み上げ] を選んで [実行] ボタンを押すと、表示中の内容を読み上げます。
- お知らせ内容が複数ある場合、[前の情報] または [次の情報] を選んで [実行] ボタンを押すと、他の情報に切り換えることができます。

※2
- 履歴が 100 件以上になると既読の古いものから自動的に消去されます。

3 確認したい情報を選んで 実行 を押す ◆1





選んだ情報の詳細な内容が表示されます。 ＊1

ポイント

＊1
- ［読み上げ］を選んで［実行］ボタンを押すと、表示中の内容を読み上げます。
- ［前の情報］または［次の情報］を選んで［実行］ボタンを押すと、他の情報に切り換えることができます。
- 情報の内容によっては、［画像表示］や［地点］を選んで［実行］ボタンを押すと、画像や地点情報を表示することができます。

アドバイス

◆1
- 未確認の情報には マークが表示されています。

最新のニュースなどを確認する

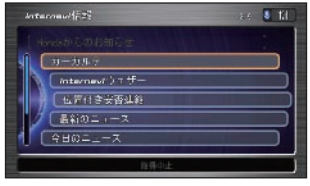
インターナビ情報センターに接続すると、最新のニュースや交通情報などを確認できます。 ※1

簡単操作 標準操作

情報センターに接続して情報を確認する

1 ナビメニュー → internavi 情報 を選んで 実行 を押す

▼

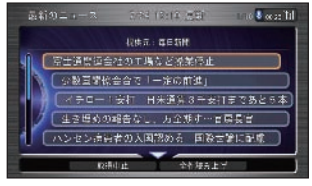


インターナビ情報画面が表示されます。 ◆1

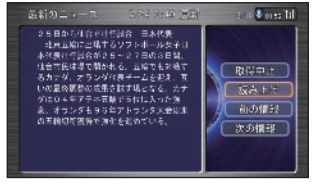
2 最新のニュース を選んで 実行 を押す

3 最新の総合ニュース を選んで 実行 を押す

4 お好みのニュースを選んで 実行 を押す



▼



選んだニュースの表示が完了します。 ※2

ポイント

※1 ・インターナビ情報を見るには、事前に準備が必要です。詳しくは、*「インターナビ・プレミアムクラブとは」(→P164)*、*「通信機能を使えるようにする」(→P166)* を参照してください。

・インターナビ・プレミアムクラブが用意するコンテンツは随時更新されますので、コンテンツメニューなどは、本書に記載のものと変わることがあります。

※2 ・［読み上げ］を選んで［実行］ボタンを押すと、表示中の内容を読み上げます。

・［前の情報］または［次の情報］を選んで［実行］ボタンを押すと、他の情報に切り換えることができます。

・コンテンツ画面で［画像表示］や［地点］を選んで［実行］ボタンを押すと、画像や地点情報を表示することができます。

・［電話］を選んで［実行］ボタンを押すと、表示されている番号に電話をかけることができます。
→「ハンズフリー電話を使う」(P320)

アドバイス

◆1 ・internavi ダイレクトを使ってインターナビ情報センターに接続することができます。*→「internavi ダイレクトから接続する」(P187)*

簡単操作 標準操作

internavi ダイレクトから接続する

カスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー) から、インターナビ情報センターに接続し、よく使うインターナビ情報をすばやく呼び出すことができます。

1 ナビゲーションの現在地画面で 実行 を押す

2 internavi ダイレクト を選んで 実行 を押す

▼

internavi ダイレクトのメニューが画面右側に表示されます。 ※1
このメニューから［internavi VICS］*(→P384)* や［internavi ウェザー］*(→P203)*、［駐車場セレクト］*(→P123)* を選ぶことでインターナビ情報センターに接続し、各情報を取得することができます。

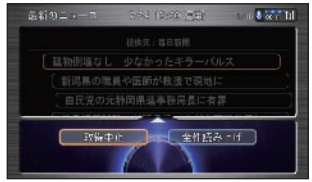
簡単操作 標準操作

接続を終了する

インターナビ情報画面やカスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー) からインターナビ情報センターとの接続を終了します。

インターナビ情報画面から終了するとき

1 インターナビ情報画面で ジョイスティックを下に倒し、取得中止 を選んで 実行 を押す



▼

インターナビ情報センターとの接続が終了します。

ポイント

※1
- インターナビ情報センターに接続すると、［internavi ダイレクト］の項目は［取得中止］に変わります。
  →「接続を終了する」(本ページ)
- internavi ダイレクトのメニューは、お好みの内容に設定することができます。(標準操作モードのみ)
  →「internavi ダイレクトを設定する」(P188)

カスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）から終了するとき

1 ナビゲーションの現在地画面で 実行 を押す

カスタマイズメニュー（標準操作モード）、ワンプッシュメニュー（簡単操作モード）が表示されます。

2 取得中止 を選んで 実行 を押す

簡単操作

標準操作

▼

インターナビ情報センターとの接続が終了します。

標準操作

internavi ダイレクトを設定する

internavi ダイレクトのメニューは、お好みの内容に設定することができます。よく使う項目を登録しておくと便利です。 ＊1

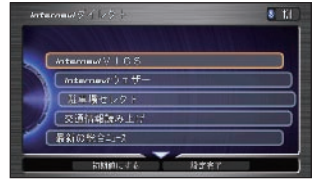
1 ナビメニュー → ツール を選んで 実行 を押す

2 カスタマイズ を選んで 実行 を押す

3 internavi ダイレクト を選んで 実行 を押す

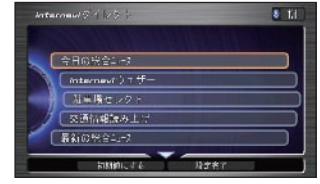
現在の internavi ダイレクトのメニューを表示します。

4 **変更したい項目**を選んで 実行 を押す ◆1



5 **新たに登録したい項目**を選んで 実行 を押す

▼



internavi ダイレクトのメニューを変更します。 ＊1

ポイント

＊1 ・簡単操作モードの場合は、標準操作モードで行った設定を反映します。

アドバイス

◆1 ・メニュー項目を初期状態に戻す場合は、［初期値にする］を選び［実行］ボタンを押します。

関連する機能

情報センターに接続して情報を確認する P186

簡単操作 標準操作

登録した情報をパーソナル・ホームページと同期する

カーカルテ *(→P191)* やマーク地点リスト *(→P103)* の情報を、お客様がパソコンなどで登録したパーソナル・ホームページの情報と同期させて、最新情報に更新します。*1

1 **ナビメニュー** → **internavi 情報** を選んで 実行 を押す

2 **すべての情報を情報センターと同期する** を選んで 実行 を押す

▼

情報の同期が完了します。*2

ポイント

*1
- 入れ換え可能な項目は、インターナビ情報センターからダウンロードした項目です。なお、[読み上げ再開] は変更できません。
- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けのサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「インターナビ・プレミアムクラブとは」* を参照してください。*(→P164)*

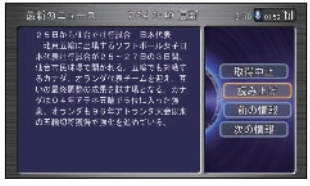
*2
- 情報の同期は、Honda インターナビシステムとパーソナル・ホームページで、日付の新しい情報に更新します。
- 現在時刻が GPS から受信されていない状態では、正しく同期できない場合があります。

音声による読み上げ機能について 簡単操作 標準操作

最新ニュースなどの対応したコンテンツは音声による読み上げができます。 ※1

最新のニュースなどを読み上げるには

1 コンテンツ表示画面で
読み上げ を選んで 実行 を押す



▼

読み上げ画面が表示され、自動的に読み上げが開始します。※2

再度読み上げるには

直前に読み上げた情報画面の内容を再度読み上げることができます。

1 ナビゲーションの現在地画面で
実行 を押す

2 internavi ダイレクト を選んで
実行 を押す

3 読み上げ再開 を選んで 実行 を押す

▼

読み上げ画面が表示され、直前の内容が読み上げられます。※3

ポイント

※1
- 読み上げる内容が表示されている内容と若干異なる場合があります。
- 安全のため走行中は、コンテンツ画面の文字情報は画面に表示されません。

※2
- ［停止］を選んで［実行］ボタンを押すと、読み上げを終了します。再度読み上げる場合は、［再生］を選んで［実行］ボタンを押します。
- ［前の情報］または［次の情報］を選んで［実行］ボタンを押すと、読み上げる内容を選ぶことができます。
- 音量を調節する場合は、［音量調整］を選んで［実行］ボタンを押し、コマンドホイールを回して音量を選んで［実行］ボタンを押します。
- 元の情報画面に戻る場合は、［本文表示］を選んで［実行］ボタンを押します。

※3
- 読み上げた内容がない場合、［読み上げ再開］は表示されません。
- 読み上げた内容は、エンジンスイッチを“0”にするまで消えません。
- 読み上げが自動的に開始されない場合があります。［再生］を選んで［実行］ボタンを押すと、読み上げが開始されます。

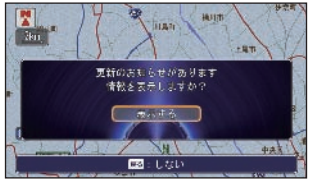
関連する機能

internavi ダイレクトから接続する…P187

各パーツの交換時期を管理する 簡単操作 標準操作

お車の各パーツの交換時期を管理できる「カーカルテ」を利用できます。

インターナビ・プレミアムクラブが提供するパーソナル・ホームページのカーカルテと登録情報を同期させて使用します。
「メンテナンス記録」で部品 (パーツ) の交換時期を管理したり、「愛車メモ」に車検や保険の期限など、お車に関する重要な情報を登録して、更新時期を管理したりできます。



お知らせ機能により、更新時期が近づくと画面に表示することができるので、重要な更新を見逃しません。 ※1

スケジュールとは何が違うの？

「スケジュール」機能 *(P404)* は通信機能を使わなくてもお客様が自由に予定を設定できるのに対して、「カーカルテ」は愛車の各パーツに関する情報に特化し、通信機能を利用してパーソナル・ホームページとの連携を行い管理することができる機能です。

パーソナル・ホームページと同期する

カーカルテのメンテナンス情報や愛車メモ情報をパーソナル・ホームページと同期することにより、自宅からパソコンなどを使ってメンテナンス記録や愛車メモの情報を確認できます。 ※2

1 **ナビメニュー** → **internavi 情報** を選んで 実行 を押す

2 **カーカルテ** を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを下に倒し、**パーソナル HP と同期** を選んで 実行 を押す

▼

同期が完了すると、カーカルテ画面に戻ります。 ※3

ポイント

※1 ・カーカルテを利用するには、通信機能が必要です。通信機能をご利用になるには事前に準備が必要です。詳しくは、「インターナビの通信サービスを使う」の *「通信機能を使えるようにする」(P166)* を参照してください。
・サービス内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※2 ・ナビゲーションシステムを使ってメンテナンス記録や愛車メモを編集したあとには、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。
・パーソナル・ホームページとの同期が必要なときは、画面右上の最終同期日の日付を以下のように表示します。

※3 ・現在時刻が GPS から受信されていない状態では、正しく同期できない場合があります。

各パーツの記録を見る

1 **ナビメニュー** → **internavi 情報** を選んで 実行 を押す

2 **カーカルテ** を選んで 実行 を押す

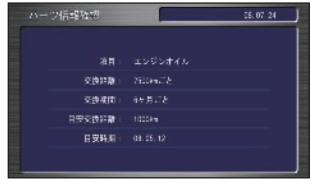
3 **メンテナンス記録** を選んで 実行 を押す

4 **確認したいパーツ**を選んで 実行 を押す

パーツは次の 4 種類のアイコンで分類しています。[*1]

	Honda 指定パーツ
	Honda 指定パーツ (メンテナンス期限切れ)
	お客様の登録したパーツ
	お客様の登録したパーツ (メンテナンス期限切れ)

5 **パーツ情報確認** 選んで 実行 を押す



パーツ情報確認画面を表示します。
登録された各パーツの情報を見ることができます。[*2]

ポイント

[*1] ・交換項目 (パーツ) は、パーソナル・ホームページとの同期を行うと表示できます。

[*2] ・Honda 指定のパーツ以外に自由にパーツを追加することができます。追加したパーツは編集や消去も行えます。
→「パーツを追加するには」(P193)
→「パーツの交換サイクルを変更するには」(P195)
→「パーツを消去するには」(P195)

パーツを追加するには

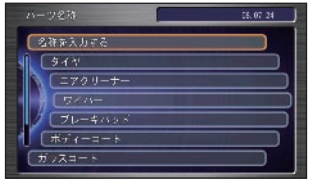
メンテナンス記録にパーツを追加できます。

「各パーツの記録を見る」（P192）の手順３までの操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒し、**交換項目の追加** を選んで 実行 を押す

2 **パーツ名称** を選んで 実行 を押す

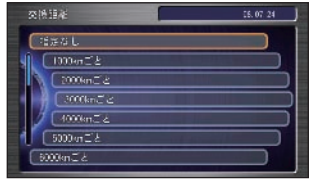
3 **登録したいパーツ**を選んで 実行 を押す



リストにないパーツを登録する場合は、[名称を入力する] を選んで [実行] を押すと作成することができます。

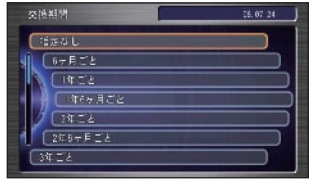
4 **交換距離** を選んで 実行 を押す

5 **登録したい距離**を選んで 実行 を押す



6 **交換期間** を選んで 実行 を押す

7 **交換したい期間**を選んで 実行 を押す



8 ジョイスティックを下に倒し、**設定完了** を選んで 実行 を押す

▼

パーツの追加が完了します。 ※1

ポイント

※1
- あらかじめ Honda が指定するパーツを除き、登録できるパーツは 20 個までです。
- 「交換距離」および「交換期間」で共に [指定なし] を設定することはできません。
- [パーツ名称]、[交換距離]、[交換期間] 以外の項目は設定できません。
- パーツを追加したあとは、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。*「パーソナル・ホームページと同期する」（→P191）*

パーツの交換した情報を記録するには

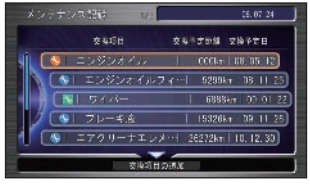
各パーツを交換したときに行う操作です。

かんたんに記録するとき

パーツを交換した当日に日付や走行距離をかんたんに記録することができます。

「各パーツの記録を見る」（P192）の手順３までの操作をした後に・・・

1 **記録したいパーツ**を選んで 実行 を押す



2 交換記録を付ける（今日の日付・走行距離）または **記録をする** を選んで 実行 を押す ※1

3 **記録する** を選んで 実行 を押す

▼

日付と走行距離の記録が完了します。※2

詳細に記録するとき

パーツを交換した日付や走行距離をお客様ご自身で指定して記録することができます。※3

「各パーツの記録を見る」（P192）の手順３までの操作をした後に・・・

1 **記録したいパーツ**を選んで 実行 を押す

2 交換記録を付ける（日付・走行距離を指定）を選んで 実行 を押す

3 **交換時走行距離** を選んで 実行 を押す

4 **距離**を入力し、**完了** を選んで 実行 を押す

5 **交換実施日** を選んで 実行 を押す

6 交換した日付を入力する

7 **完了** を選んで 実行 を押す

▼

日付と走行距離の記録が完了します。※2

ポイント

※1 ・お客様の指定パーツを選んでいた場合は、［記録をする］を選んで［実行］ボタンを押します。

※2 ・パーツの交換した情報を記録したあとは、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。*「パーソナル・ホームページと同期する」（→P191）*

※3 ・Honda 指定のパーツのみの操作です。

関連する機能

各パーツの記録を見るには P192
文字入力のしかた P34

パーツの交換サイクルを変更するには

お客様が追加登録したパーツは、記録されている交換サイクルを変更することができます。*1

「各パーツの記録を見る」（P192）の手順３までの操作をした後に・・・

1 **変更したいパーツ**を選んで 実行 を押す

2 交換サイクルの変更 を選んで 実行 を押す

3 **変更したい項目**を選んで 実行 を押す

▼

以降の操作手順は、*「パーツを追加するには」(P193)* の手順７以降と同じです。*2

パーツを消去するには

お客様が追加登録したパーツは、リストから消去することができます。*3

「各パーツの記録を見る」（P192）の手順３までの操作をした後に・・・

1 **消去したいパーツ**を選んで 実行 を押す

2 交換項目の消去 を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

▼

パーツの消去が完了します。*4

ポイント

*1 ・変更できるのは、お客様が追加登録したパーツのみで、あらかじめ Honda が指定するパーツは変更できません。

2 ・パーツの交換サイクルを変更したあとは、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。「パーソナル・ホームページと同期する」（→P191）*

*3 ・消去できるのは、お客様が追加登録したパーツのみで、あらかじめ Honda が指定するパーツは消去できません。

4 ・パーツを消去したあとは、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。「パーソナル・ホームページと同期する」（→P191）*

関連する機能

各パーツの記録を見るには P192

パーツの交換時期のお知らせ設定

パーツ交換時期が近づいたことを知らせる方法について設定します。交換時期のおよそ30日前にHondaインターナビシステムの起動時のメッセージで通知させることができます。

「各パーツの記録を見る」（P192）の手順2までの操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒し、**お知らせ設定**を選んで 実行 を押す

2 **カーカルテ起動時通知**を選んで 実行 を押す

3 **する**を選んで 実行 を押す
[しない] に設定すると、メッセージを表示しません。

▼

お知らせの設定が完了します。 ※1

愛車プロフィールを設定する

適切なメンテナンス時期をお知らせするために、普段のお車の利用状態を設定します。 ※2

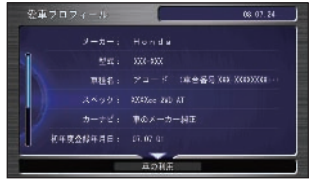
1 **ナビメニュー** → **internavi 情報**を選んで 実行 を押す

2 **カーカルテ**を選んで 実行 を押す

3 **愛車メモ**を選んで 実行 を押す

4 **愛車プロフィール**を選んで 実行 を押す

▼



愛車プロフィール画面を表示します。 ※3

ポイント

※1 ・パーツの交換時期のお知らせを設定したあとは、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。*「パーソナル・ホームページと同期する」（→P191）*

※2 ・愛車プロフィールをご利用になるには、パーソナル・ホームページとの同期が必要です。*「パーソナル・ホームページと同期する」（→P191）*

※3 ・[車の利用] 以外の項目は、本機の操作で編集できません。パーソナル・ホームページで編集してください。

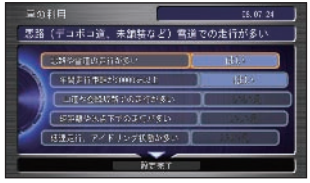
車の利用状態を設定する

普段のお車の利用状態について条件を設定します。

「愛車プロフィールを設定する」（→P196）
の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **車の利用** を選んで 実行 を押す

2 **該当する項目**を選んで 実行 を押す



3 **はい** または **いいえ** を選んで 実行 を押す

4 ジョイスティックを下に倒して **設定終了** を選んで 実行 を押す

▼

車の利用状態の設定が完了します。 ※1

ポイント

※1 ・愛車プロフィールの車の利用状況を設定したあとは、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。*「パーソナル・ホームページと同期する」（→P191）*

緊急時の連絡先を登録する

緊急時の連絡先として Honda 販売店の担当者や保険会社、ロードサービスの電話番号などを登録します。 ＊1

「愛車プロフィールを設定する」(P196) の操作をした後に・・・

1 緊急連絡先 を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを左に倒し、My ディーラー → 担当者 を選んで 実行 を押す ＊2

3 名前を入力し、完了 を選んで 実行 を押す

4 ジョイスティックを左右に倒し、任意保険 を選んで設定する項目を選んで 実行 を押す

5 文字や数字を入力し、完了 を選んで 実行 を押す

6 ジョイスティックを右に倒し、ロードサービス を選んで設定する項目を選んで 実行 を押す

7 文字や数字を入力し、完了 を選んで 実行 を押す

▼

緊急連絡先の登録が完了します。 ＊3 ＊4

ポイント

＊1 ・緊急連絡先を設定するには、パーソナル・ホームページとの同期が必要です。詳しくは、*「登録した情報をパーソナル・ホームページと同期する」(→P191)* を参照してください。

＊2 ・My ディーラーの [担当者] 以外の項目は、本機の操作で編集できません。パーソナル・ホームページで編集してください。

＊3 ・緊急連絡先画面から電話をかける場合は、ジョイスティックを下に倒して [発信] を選び、[実行] ボタンを押します。

・電話のメニューから緊急連絡先に電話をかけることもできます。
→「緊急連絡先に電話する」(P330)

＊4 ・緊急時の連絡先を登録したあとは、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。*「パーソナル・ホームページと同期する」(→P191)*

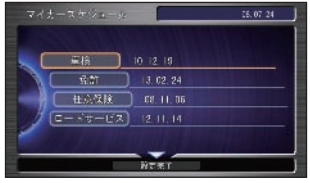
マイカースケジュールを設定する

マイカースケジュールに設定しておくと、車検や免許更新時期が近づいたときなどに画面のメッセージで教えてくれます。

「愛車プロフィールを設定する」(P196) の操作をした後に・・・

1 マイカースケジュール を選んで 実行 を押す

2 **設定したい項目**を選んで 実行 を押す



3 **設定したい予定**を選んで 実行 を押す

[日付入力] を選んで [実行] ボタンを押すと、日付入力画面が表示され、直接日付を指定することができます。

4 手順 2 ～ 3 を繰り返し、必要な項目すべてに予定を設定する

5 ジョイスティックを下に倒し、実行 を押す ※1

ポイント

※1 ・マイカースケジュールを設定したあとは、必ずパーソナル・ホームページとの同期を行ってください。*「パーソナル・ホームページと同期する」(→P191)*

気象情報を確認する 簡単操作 標準操作

気象情報や災害情報を取得して、画面に表示させることができます。 ＊1

画面表示について

気象情報

気象情報は、目的地または任意の地点の気象情報を見るための操作を行ったときや目的地を設定して最初のルート計算を行うときなどに取得できます。

受信時の天気 ＊2
3 時間後の天気予報

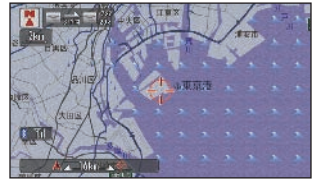
現在地やカーソル地点周辺が気象情報の取得エリア外のときは、何も表示されません。

気象情報のデータの取得が終わったあとに現在地画面で [現在地] ボタンを押すか、スクロールすると、自車位置周辺または、カーソル地点周辺の天気を気象予報アイコンで画面左上に表示します。

3D マップ、ドライビングマップ表示時は、気象情報に応じて空の色が変化します。

気象警戒エリアの表示 ＊3

地図内に、降雨・降雪、津波の気象情報がある気象警戒エリアを含んでいれば、そのエリアに対して各マークを表示します。



降雨・降雪

降水量によって変わります。

降水量	地図スケール			
	1km 以下		2km ～ 20km	
	雨	雪	雨	雪
1 ～ 4mm				
5 ～ 29mm				
30mm 以上※				

津波

予報の規模によって表示が変わります。

津波注意報	津波警報	大津波警報

ポイント

＊1
- インターナビ・ウェザーを見るには、通信機能が必要です。通信機能をご利用になるには事前に準備が必要です。詳しくは、「インターナビの通信サービスを使う」の *「通信機能を使えるようにする」(→ P166)* を参照してください。
- サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- インターナビ・ウェザーの表示案内などの設定については *「ナビの機能を変更する」(→ P422)* を参照してください。

＊2
- 気象予報アイコンは、天気情報を受信した時の天気および 3 時間後の天気予報を示しています。

＊3
- 地図上に降雨・降雪、津波のマークは以下のすべての状態がそろっているとき表示できます。
  - 20km 以下のスケールのとき
  - 「気象警戒エリア表示」が [する] のとき *(→ P425)*
- 津波の現況情報は取得後 60 分、降雨・降雪は最大 1 時間 30 分を期限として表示します。
- 気象情報は、要求に応じて専用サーバーから取得します。データが取得できていないときは、気象情報は表示されません。
- 専用サーバーによる天気予報サービスは、予告なく中断、停止される場合があります。

地震

震度 5 弱以上の地震があった場合、該当するエリアが地図画面上に半透明のカラータイルの重ねあわせで表示されます。[※1]

天気予報表示

受信した気象情報に天気予報の情報が含まれているときは、「今日・明日の天気」または「週間天気予報」を見ることができます。[※2]

今日・明日の天気

今日・明日の天気アイコン

快晴		
晴れ		
薄曇り		
曇り		
弱い雨 (10mm/h 未満)		
強い雨 (10mm/h 以上)		
みぞれ		
弱い湿雪 (5mm/h 未満)		
強い湿雪 (5mm/h 以上)		
弱い乾雪 (5mm/h 未満)		
強い乾雪 (5mm/h 以上)		

ポイント

[※1]
- 地震のカラータイルは必ずしもすべての震度 5 弱以上のエリアを表示するわけではありません。震度 5 弱以上のエリアが広範囲に及ぶ場合には表示されない場合もあります。
- 地震のカラータイルが表示されている場合、インターナビ・ウェザーの降雨、降雪、津波のマークは地図上に表示されません。
- 地震情報の配信の ON/OFF 設定はパーソナル・ホームページで行うことができます。
- カラータイル表示は、洪水などの災害時にも表示されます。

[※2]
- ［マーク説明］を選んで［実行］ボタンを押すと、天気アイコンの説明を表示させることができます。

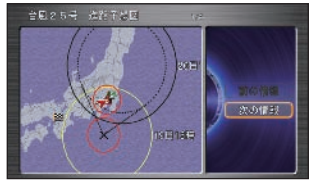
週間天気予報

週間天気予報のアイコン

晴れ		雨	
晴れのち曇り		雨のち晴れ	
晴れのち雨		雨のち曇り	
晴れのち雪		雨のち雪	
晴れ時々曇り		雨時々晴れ	
晴れ時々雨		雨時々曇り	
晴れ時々雪		雨時々雪	
曇り		雪	
曇りのち晴れ		雪のち晴れ	
曇りのち雨		雪のち曇り	
曇りのち雪		雪のち雨	
曇り時々晴れ		雪時々晴れ	
曇り時々雨		雪時々曇り	
曇り時々雪		雪時々雨	

台風情報

受信した気象情報に台風の情報が含まれているときは、進路や詳細情報を表示します。



警報・注意報

受信した気象情報に警報・注意報の情報が含まれているときは、発表時刻、該当地域、内容を表示します。

雨雪の動き

受信した気象情報に降雨・降雪情報が含まれているとき、現在から 1 時間おきに 3 時間後までの雨雪の動きの予報が確認できます。

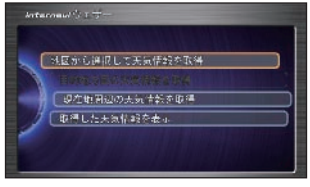
気象情報を確認するには

目的地や任意の地点の気象情報を見ることができます。

1 **ナビメニュー** → **internavi 情報** を選んで 実行 を押す

2 **internaviウェザー** を選んで 実行 を押す ◆1

3 **確認したい項目**を選んで 実行 を押す



[目的地方面の天気情報を取得] または [現在地周辺の天気情報を取得] を選んだ場合は、気象情報をすぐに取得します。
[地図から選択して天気情報を取得] を選んだ場合は、手順 4 へ進みます。
[取得した天気情報を表示] を選んだ場合は、取得済みの天気情報の履歴を確認できます。→「履歴を確認する」(P205)

4 **気象情報が知りたい地点**にカーソルを合わせて 実行 を押す ◆2

5 **天気情報取得** を選んで 実行 を押す ◆3

▼

気象情報を取得します。

アドバイス

◆1 • 地図画面で［実行］ボタンを押し、［internavi ダイレクト］→［internavi ウェザー］を選び、［実行］ボタンを押しても同様の操作です。

◆2 • ルート案内中に、カスタマイズメニューから [internavi ダイレクト] → [internavi ウェザー] を選んで［実行］ボタンを押すと、目的地周辺の気象情報を表示させることができます。→「internavi ダイレクトから接続する」(P187)

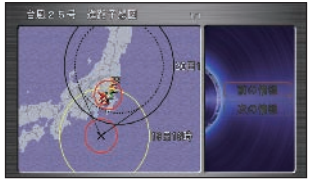
• 「ルート案内時連動取得」を [すべての情報] (→ P433) に設定しておくと、目的地設定後の最初のルート計算時に自動的に気象情報を取得します。→「履歴を確認する」(P205)

◆3 • ［全画面地図］を選んで［実行］ボタンを押すか、ジョイスティックを左に倒すと、再度地図をスクロールして地点を選ぶことができます。

• ［地図方位］を選んで［実行］ボタンを押すと、地図方位を切り換えることができます。

台風情報があるとき

取得した気象情報に台風情報が含まれていて、案内中のルートが台風の予想進路にあたる場合には、台風情報の画面を表示します。[*1]



警報・注意報があるとき

取得した気象情報に警報・注意報が含まれていると、警報・注意報情報の画面を表示します。[*1]

雨雪の動き

取得した気象情報に降雨・降雪情報が含まれているとき、現在から 1 時間おきに 3 時間後までの雨雪の動きの予報が確認できます。[*1]

詳細な情報について

インターナビ VICS の簡易図形を受信した場合は、気象情報の前に表示します。

取得した気象情報に台風情報や警報・注意報、雨雪の動きが含まれる場合は、天気予報画面の前にこれらの情報を表示します。

ルート計算時、自動的に取得した気象情報に台風情報や警報・注意報、雨雪の動きなどが含まれていても、台風進路予測図しか表示されません。
他の取得した情報は*「履歴を確認する」(→ P205)* で確認することができます。

ポイント

[*1] ・[天気情報割込み] を [する] に設定しておく必要があります。
→「インターナビ /VICS 設定」(P433)

履歴を確認する

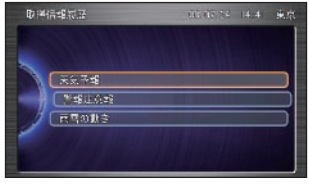
これまで取得した気象情報を 20 件まで表示することができます。

1 **ナビメニュー** → **internavi 情報** を選んで 実行 を押す

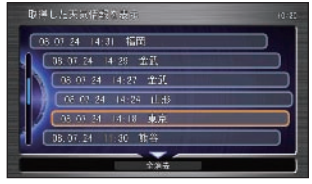
2 **internavi ウェザー** を選んで 実行 を押す

3 **取得した天気情報を表示** を選んで 実行 を押す

4 **確認したい履歴**を選んで 実行 を押す ＊1



5 **確認したい情報**を選んで 実行 を押す



▼

過去に取得した天気情報を表示します。

ポイント

＊1 ・履歴を消去するときは、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選んで［実行］ボタンを押します。

新しい道路データを取得する 簡単操作 標準操作

インターナビ情報センターに新しい道路のデータがあれば取得することができます。 ※1

簡単操作 標準操作

ルート周辺に新しい道路があったときには

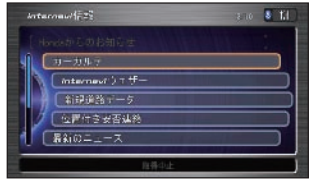
ルート計算時に、ルート周辺に新しい道路の情報が配信されているときには、その道路のデータを取得し、インターナビの地図データを更新することができます（新規道路データ配信）。

詳しくは、「新しい道路の情報があったとき」*（→P146）* を参照してください。

新しい道路のデータがないかを確認する

ルート計算中、ルート周辺に新しい道路があれば *（→P146）* 取得することができます。また、ルート設定前でもあらかじめ道路データの有無を確認することができます。

1 **ナビメニュー** → **internavi 情報** を選んで 実行 を押す



internavi 情報画面のリストが表示されます。道路のデータがある場合、メニュー内に [新規道路データ] が表示されるようになります。

ポイント

※1 ・インターナビ情報センターに接続するには、あらかじめ設定が必要になります。詳しくは、*「インターナビ・プレミアムクラブとは」（→P164）*、*「通信機能を使えるようにする」（→P166）* を参照してください。

関連する機能

新しい道路の情報があったとき P146
地図データを更新する P444

簡単操作 標準操作

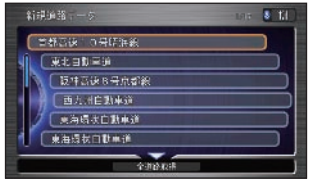
一覧から新しい道路のデータを取得するには

配信されている道路のデータを一覧から選んで取得することができます。
ただし、全国道路データとの不整合を防ぐために、以前に配信されたデータも同時に取得します。

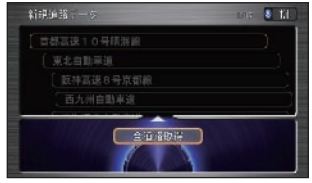
1 **ナビメニュー** → **internavi 情報** を選んで 実行 を押す

2 **新規道路データ** を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを下に倒して **全道路取得** を選んで 実行 を押す ＊1



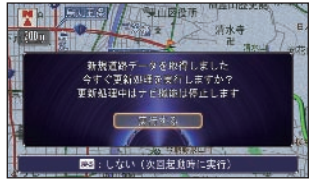
4 実行 を押す



▼

データを更新するための認証が行われます。
認証後、新規道路データのダウンロードが行われます。

5 **実行する** を選んで 実行 を押す



▼

新しい道路データの更新を行います。＊2
[しない] に選択した場合は次の起動時に新しい道路データの更新を行います。

ポイント

＊1・道路を選んで［実行］ボタンを押すと、あらかじめ追加される道路の情報を確認できます。新しい道路のデータが複数ある場合、［前の道路］または［次の道路］を選んで［実行］ボタンを押すと、他の情報に切り換えることができます。

＊2・新しい道路データの更新には時間がかかります。しばらくお待ちください。

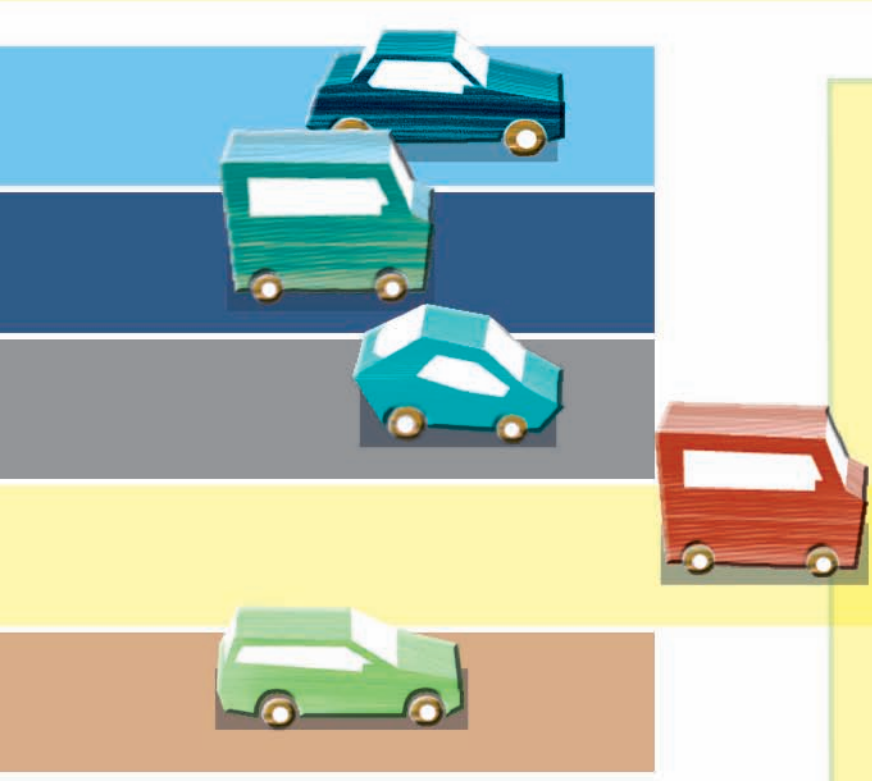
関連する機能

新しい道路の情報があったとき P146
地図データを更新する P444

M E M O

オーディオ・テレビ

音楽 CD やテレビ、DVD ビデオなどの操作方法を
わかりやすく説明しています。



ディスクの取り扱いについて　210
オーディオ・テレビの基本操作　221
ラジオをきく　225
交通情報をきく　230
音楽 CD をきく　231
MP3/WMA/AAC ディスクをきく　234
USB メモリーの曲をきく　238
iPod の曲をきく　242
テレビを見る　248
DVD ビデオを再生する　256
ビデオに切り換える　266

ディスクの取り扱いについて

Honda インターナビシステムはオーディオ機器としてもお楽しみいただけます。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- ハート型などの異型のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクを持つときは、記録面 (虹色に光っている面) を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。
- CD シングル (8cmCD) はアダプターを付けないで挿入します。アダプターは使用しないでください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。
- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

保管上のご注意

- ディスクは、インストルメントパネル上など直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 長時間使用しないときは、本機から取り出し、ディスクがそらないように必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り換えが遅くなることがあります。)
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。(結露 (→ P486))
  このようなときは、1 時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

ディスクの操作について

- DVD ビデオでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル / チャプターの構成上一部の操作ができないことがあります。このような場合、画面に「禁止マーク」を表示します。
  (ディスクによっては、表示されないこともあります。)

禁止マーク

- ディスクをゴミやほこりから保護するため、ディスクが排出されたまましばらくすると、自動的に内部に引き込まれます。

お願い

- ディスク挿入口にディスク以外のもの(コイン、針金、液体など) を入れないでください。故障の原因になります。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのレーベル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ / 再生	最大再生時間
DVD ビデオ	12cm/ 片面 12cm/ 両面	133 分 (1 層)/242 分 (2 層) 266 分 (1 層)/484 分 (2 層) (MPEG2 方式)
	8cm/ 片面 8cm/ 両面	41 分 (1 層)/75 分 (2 層) 82 分 (1 層)/150 分 (2 層) (MPEG2 方式)
DVD-R	12cm/ 片面	――
DVD-RW	12cm/ 片面	――
CD CD-TEXT	12cm/ 片面	74 分
	8cm/ 片面 (CD シングル)	20 分
CD-R	12cm/ 片面	――
CD-RW	12cm/ 片面	――

お願い

DTS-CD（5.1ch Music Disc）は、録音 / 再生できません。本機に挿入しても音が出ませんので挿入しないでください。

DVD ビデオに関して

- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD ビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。リージョン番号については「DVD ビデオに表示されているマークの意味」を参照してください。

DVD ビデオに表示されているマークの意味

DVD ビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに書き込まれている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
2	音声言語の数
2	字幕言語の数
3	アングルの数
16:9 LB	画面サイズ (アスペクト比 : 横と縦の比率) の種別
2 ALL	再生可能な地域を限定する番号。本機で再生可能なリージョン番号 (地域番号) は、「2」を含んだもの、または「ALL」です。
NTSC	日本で対応している映像方式です。この方式以外は再生できません。

CD-R/RW、DVD-R/RW ディスクに関して

- Mixed Mode CD や CD-Extra などの音楽 / データ混在ディスクの場合は、音楽 CD として再生できないことがあります。
- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかります。
- CD-R/RW ディスク、DVD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- ファイナライズしていない CD-R/RW ディスク、DVD-R/RW ディスクは再生できません。
- ディスククローズしていないディスク (追記可能なディスク) は再生が始まるまで時間がかかります。
- PC(パソコン) で書き込んだディスクは、正しいフォーマットで書き込まれたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト販売元にお問い合わせください。)
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れなどにより、再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RW ディスク、DVD-R/RW ディスクは再生できなくなる場合があります。
- DDCD(Double Density CD) 形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

CD-TEXT とは !?

CD のタイトルやアーティストなどの文字情報が収録されている CD です。表示できる文字情報は、アルファベットや数字、記号です。

MP3 ファイルについて

本機ではパソコンから CD-R/RW ディスク、DVD-R/RW ディスクに書き込まれた MP3 形式ファイルを再生できます。お手持ちの CD-R/RW ドライブ、DVD-R/RW ドライブやレコーディングソフトの取扱説明書もよくお読みになり正しくご使用ください。

MP3 とは !?

「MPEG-1 Audio Layer3」の略称です。MPEG とは「Moving Pictures Experts Group」の略でビデオ CD などに採用された映像圧縮規格です。MP3 は MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の一つで、人間の耳できこえない範囲の音や大きい音に埋もれてきき取れない音を処理することにより高音質で少ないデータ容量のファイルを作れます。音楽 CD の内容を約 1/10 のデータ容量に圧縮できるため、約 10 枚分の音楽 CD を 1 枚の CD-R/RW へ記録できます。

お願い

ファイルの最後には必ず拡張子「.mp3」を追記してください。MP3 以外のファイルに拡張子「.mp3」を付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると本機やスピーカーなどが故障する原因となります。

再生できる MP3 ファイルの仕様

以下の仕様に基づいて、CD-R/RW、DVD-R/RW、および USB メモリーに記録された MP3 ファイルを再生できます。

項目		対応メディア	
		CD-R/RW,DVD-R/RW	USB メモリー
規格		MPEG1 AUDIO LAYER Ⅲ	
		MPEG2 AUDIO LAYER Ⅲ	MPEG2 AUDIO LSF LAYER Ⅲ
		MPEG2.5 AUDIO LAYER Ⅲ	
サンプリング周波数 [Hz]	MPEG1	32k/44.1k/48k	
	MPEG2	MPEG2：16/22.05/24k　MPEG2.5：8/11.025/12k	
ビットレート [kbps]	MPEG1	32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320	32/40/48/56/64/80/96/112/128/144/160/192/224/256/320
	MPEG2 MPEG2.5	8/16/24/32/40/48/56/64/80/96/112/128/144/160	8/16/24/32/40/48/56/64/80/96/112/128/144/160
VBR(可変ビットレート)		対応	
マルチセッション		対応	—
ファイルシステム		ISO9660 レベル 1/ レベル 2 Joliet/Romeo	FAT16/32
チャンネルモード		ステレオ / ジョイントステレオ / デュアルチャンネル / モノラル	
最大階層数		255 階層 (ルートディレクトリを含む)	8 階層 (ルートディレクトリを含む)
最大フォルダ数		255 フォルダ	700 フォルダ
最大ファイル数		DVD-R/RW：3500 ファイル、CD-R/RW：999 ファイル (ディスク内合計数、mp3、wma、m4a ファイル以外は含まず)	65535 ファイル
ID3 タグ		ID3v1(v2.2/v2.3)	ID3v1(v1.0/v1.1)、ID3v2(v2.2/v2.3/v2.4)
ソースプレートに表示可能な文字数		フォルダ名：最大 17 文字 (全角) ファイル名：最大 10 文字 (全角)	
文字情報		最大 15 文字 (全角)	最大 32 文字 (全角)

WMA ファイルについて

本機ではパソコンから CD-R/RW ディスク、DVD-R/RW ディスクに書き込まれた WMA 形式ファイルを再生できます。
お手持ちの CD-R/RW ドライブ、DVD-R/RW ドライブやレコーディングソフトの取扱説明書もよくお読みになり正しくご使用ください。

WMA とは !?

Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。
WMA は、著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、著作権で保護された WMA ファイルの再生は、ライセンスキーが発行されたプレイヤーに限定されます。本機では著作権で保護された WMA ファイルを再生できません。
※ Microsoft、Windows Media、は米国 MicrosoftCorporation の米国およびその他の国における登録商標です。

お願い

ファイルの最後には必ず拡張子「.wma」を追記してください。WMA 以外のファイルに拡張子「.wma」を付けないでください。そのようなファイルを再生すると本機やスピーカーなどが故障する原因となります。

再生できる WMA ファイルの仕様

以下の仕様に基づいて、CD-R/RW、DVD-R/RW、および USB メモリーに記録された WMA ファイルを再生できます。

項目	対応メディア	
	CD-R/RW,DVD-R/RW	USB メモリー
規格	Windows Media Audio Version9.0	Windows Media Audio Version9.2
サンプリング周波数 [Hz]	8/11.025/16/22.05/32/44.1/48k	32/44.1/48k
ビットレート [kbps]	5/6/8/10/12/16/20/22/32/36/40/44/48/64/80/96/128/160/192/256/320	48/56/64/80/96/112/128/144/160/192/224/256/320
VBR(可変ビットレート)	対応	
マルチセッション	対応	—
ファイルシステム	ISO9660 レベル 1/ レベル 2 Joliet/Romeo	FAT16/32
チャンネルモード	ステレオ / モノラル	
最大階層数	255 階層 (ルートディレクトリを含む)	8 階層 (ルートディレクトリを含む)
最大フォルダ数	255 フォルダ	700 フォルダ
最大ファイル数	DVD-R/RW : 3500 ファイル、CD-R/RW : 999 ファイル (ディスク内合計数、mp3、wma、m4a ファイル以外は含まず)	65535 ファイル
WMA タグ	ASF TOP-LEVEL HEADER OBJECT 形式 曲名、アーティスト名、フォルダ名のみ対応 ただし、アルバム名は Windows Media Player 形式に限る	
ソースプレートに表示可能な文字数	フォルダ名 : 最大 17 文字 (全角) ファイル名 : 最大 10 文字 (全角)	

AAC ファイルについて

本機ではパソコンから CD-R/RW のディスクに書き込まれた AAC 形式ファイルを再生できます。
お手持ちの CD-R/RW ドライブ、DVD-R/RW ドライブやレコーディングソフトの取扱説明書もよくお読みになり正しくご使用ください。

AAC とは !?

AAC(エー・エー・シー) とは Advanced Audio Coding の略で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3 よりも約 1.4 倍圧縮効率が高く、音質はほとんど変わりません。AAC ファイル内には曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名などの情報が“ID3 Tag”や“MPEG-4 header”と呼ばれるデータで記録されており、ディスプレイなどでその情報を表示することができます。

お願い

ファイルの最後には必ず拡張子「.m4a」を追記してください。AAC 以外のファイルに拡張子「.m4a」を付けないでください。そのようなファイルを再生すると本機やスピーカーなどが故障する原因となります。

再生できる AAC ファイルの仕様

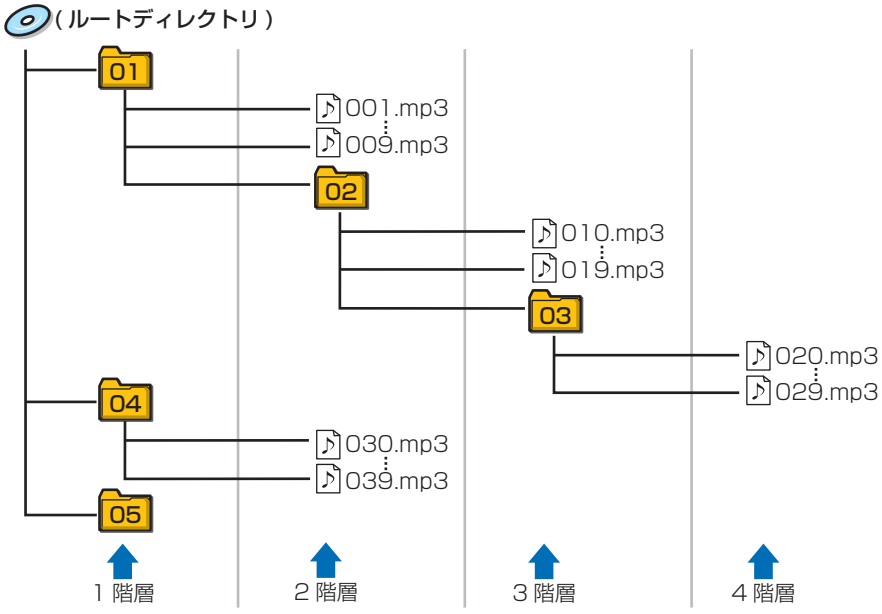
以下の仕様に基づいて、CD-R/RW、DVD-R/RW、および USB メモリーに記録された AAC ファイルを再生できます。

項目	対応メディア	
	CD-R/RW,DVD-R/RW	USB メモリー
規格	MPEG-4/AAC LC(Low Complexity)	MPEG-2/AAC LC(Low Complexity)
サンプリング周波数 [Hz]	8/11.025/12/16/24/32/48/22.05/44 iTunes でエンコード可能な範囲	
ビットレート [kbps]	8/16/20/24/28/32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320	
VBR(可変ビットレート)	対応	
ファイルシステム	ISO9660 レベル 1/ レベル 2 Joliet/Romeo	FAT16/32
チャンネルモード	ステレオ / モノラル	
最大階層数	255 階層 (ルートディレクトリを含む)	8 階層 (ルートディレクトリを含む)
最大フォルダ数	255 フォルダ	700 フォルダ
最大ファイル数	DVD-R/RW : 3500 ファイル、CD-R/RW : 999 ファイル (ディスク内合計数、mp3、wma、m4a ファイル以外は含まず)	65535 ファイル
対応タグ	iTunes で登録したもの（※）	
ソースプレートに表示可能な文字数	フォルダ名 : 最大 17 文字 (全角) ファイル名 : 最大 10 文字 (全角)	
文字情報	最大 15 文字 (全角)	

※「iTunes」で作成されたファイルが対象です。
※「iTunes」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

フォルダと MP3/WMA/AAC ファイルについて

MP3/WMA/AAC ファイルが CD-R/RW や DVD-R/RW に書き込まれているイメージを下図に示します。
フォルダについている番号は演奏順番です。



お知らせ

- MP3/WMA/AAC ファイルは、左図の例では、ファイル名に示される順番 (001.mp3・・・、009.mp3、・・・) で再生します。
- MP3/WMA/AAC ファイルを含まないフォルダ (サブフォルダも含む) は認識されません。
- Mixed Mode CD のデータトラックの音声は再生されないことがあります。
- 255 段階 (ルートディレクトリ含む) まで MP3/WMA/AAC ファイルの再生に対応していますが、フォルダがたくさんあるディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。
- CD-R/RW や DVD-R/RW に MP3/WMA/AAC ファイルを記録する際にご使用のソフトによって演奏順番が異なります。
- ディスクに含まれるフォルダは 255 個まで再生できます。

簡単操作 標準操作

ディスクを入れる / 取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

ディスクを入れるには

1 ディスク挿入口に、レーベル面を上にしてディスクを差し込む

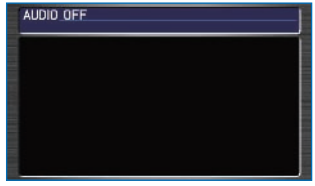
自動的に再生が始まります。

お願い

ディスクを差し込む前に、すでにディスクが入っていないかどうかをディスクインジケータで確認してください

再生を止めるには

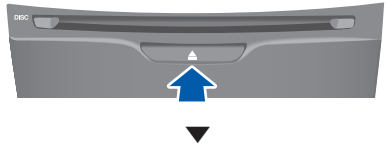
1 ⏻ を押す



再生が停止します。

ディスクを取り出すには

1 ⏏ を押す



自動的にディスクを排出します。ディスクを抜いてください。
ディスクを抜かず、しばらくするとディスクが自動で挿入されます。

ディスク挿入後の動作について

音楽 CD の場合

HDD サウンドコンテナへの録音が行われます。
また、CD-TEXT や内蔵のデータベースからタイトル情報を取得できた場合は、その情報を表示します。取得できなかった場合は、「No Title」と表示します。
情報が複数取得できたときは、最も正しいと思われる 1 件を自動的に選択します。
Honda インターナビシステムのハードディスクに内蔵しているタイトル情報は Gracenote データベースを使用しています。
→「Gracenote サービスについて」(P521)

MP3 ディスクの場合

MP3 ファイルの ID3 Tag からタイトル情報を取得できた場合は、その情報を表示します。取得できなかった場合は、MP3 のファイル名とフォルダ名を表示します。

WMA ディスクの場合

WMA ファイルの WMA タグからタイトル情報を取得できた場合は、その情報を表示します。取得できなかった場合は、WMA のファイル名とフォルダ名を表示します。

AAC ディスクの場合

AAC ファイルの ID3 Tag や MPEG-4 header からタイトル情報を取得できた場合は、その情報を表示します。取得できなかった場合は、AAC のファイル名とフォルダ名を表示します。

DVD ビデオの場合

タイトル No. やチャプター No. を表示します。

HDD サウンドコンテナへの録音について

再生した音楽 CD は、自動的に HDD サウンドコンテナに録音します。
→「録音する」(P270)

音楽 CD などをデジタル録音 (MP3/WMA など) した記録媒体 (CD-R/RW/USB/iPod など) から、HDD サウンドコンテナへ録音することはできません。
これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の働きによるものです。

音楽 CD を HDD サウンドコンテナに録音中に他のメディアに切り換えた場合でも、CD の自動録音を継続します。

HDD サウンドコンテナに録音した曲を別のメディア (CD-R/RW など) に複製することはできません。

DVD ビデオやテレビなど、音楽 CD 以外の音声は録音できません。
USB メモリーおよび iPod に録音することはできません。

CD 規格外ディスクについて

本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DRM により保護されているファイルについて

WMA ファイルまたは AAC ファイルが DRM（デジタル著作権保護機能）保護されている場合は、再生できない旨のメッセージが表示され、読み飛ばされて次のファイルが再生されます。

USB アダプターについて 簡単操作 標準操作

USB 接続ケーブルを USB アダプターに接続することで、USB 端子を持つフラッシュメモリーや iPod に録音されている音楽ファイル（MP3/WMA/AAC のみ）を再生できます。 *1

対応機器について

使用できる USB メモリー /iPod の種類や使用方法には以下のような制限があります。

使用できる USB メモリー /iPod

機器名	対応可否 / 条件
USB フラッシュメモリー	容量が 256Mbyte 以上
ハードディスク	**対応していません。**
カードリーダーやメモリーリーダー	
CD/DVD/FD ドライブ	
USB ハブ	
USB 延長ケーブル	
インターナビプレミアムクラブデータ通信 USB	Honda の指定するデータ通信 USB *2
iPod touch/iPod	F/W Ver.1.0 以降
iPod classic	F/W Ver.1.0 以降
iPod（第 5 世代）	F/W Ver.1.2 以降
iPod nano（第 1 世代）	F/W Ver.1.2 以降
iPod nano（第 2 世代）	F/W Ver.1.1.2 以降
iPod nano（第 3 世代）	F/W Ver.1.0 以降

Honda の指定するデータ通信 USB を接続して、インターナビのデータ通信を行うことができます。 *2

USB メモリーは USB 端子を持つフラッシュメモリー、CD/DVD ドライブ、iPod などの機器のことで、USB アダプターはこれらの機器と USB ケーブルで接続してインターナビシステムのオーディオとして使用可能にする機器です。

ポイント

*1
- 「iPod touch」「iPod classic」「iPod」「iPod nano」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPod や USB メモリーを車内に放置しないでください。
- 最新のファームウェアにした iPod を使用してください。
- iPod はエンジンスイッチが “I” または “II” のとき USB 接続ケーブルに接続することで充電が可能です。充電時間が通常よりも長くなる場合があります。
- USB メモリーの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合はエンジンスイッチを “0” にしてから取り外してください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。

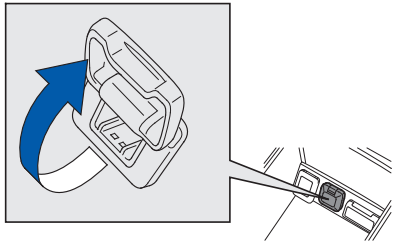
*2
- 対応機器や設定方法については、インターナビプレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  http://www.premium-club.jp

USB アダプターに接続する

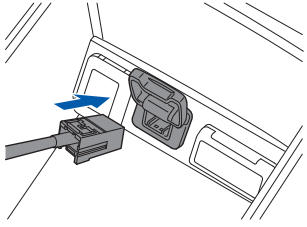
付属の USB 接続ケーブルを USB アダプターに接続します。

USB 接続ケーブルを接続する ※1

1 USB アダプターのカバーを開ける



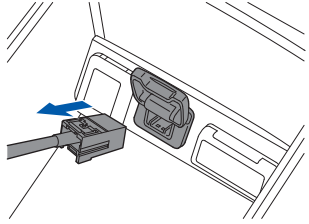
2 付属の USB 接続ケーブルを「カチッ」と音がするまで押し込む



3 各機器と USB 接続ケーブルを接続する

USB 接続ケーブルを外す ※2

1 ロックボタンを押しながら USB 接続ケーブルを取り外す



2 カバーを閉める

ポイント

※1 • エンジンスイッチを“0”にして USB 接続ケーブルを接続してください。

※2 • エンジンスイッチを“0”にしてから外してください。

• USB アダプターの場所については、車両本体の取扱説明書をご覧ください。

• ロックボタンの位置を確認してください。

関連する機能

USB メモリーの曲をきく P238
iPod の曲をきくには P242

オーディオ・テレビの基本操作 簡単操作 標準操作

すべてのメディアに対応した共通の操作を説明しています。

お願い

- 車外の音がきこえる程度の音量でお使いください。車外の音がきこえない状態では、安全運転のさまたげになります。
- 運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 本機は、専用のパワーアンプを装着しています。アンプは消費電力が大きいのでエンジンが停止しているときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- テレビや DVD ビデオ、ビデオは安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけがきこえます。

メディアとは !?

本書では、CD、ラジオ、テレビ、HDD サウンドコンテナなどの視聴覚情報のことを総称して「メディア」と表現し説明しています。

ナビゲーション画面とオーディオ画面の切り換え

1 **AUDIO 表示** を押す

ナビゲーション画面

オーディオ画面

オーディオ機能が ON になり、最後に操作していたメディアに切り換わります。
ボタンを押すたびに、オーディオ画面とナビゲーション画面が切り換わります。

各メディアに切り換える

各ボタンを押すことで、各メディアに切り換えることができます。

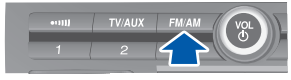
テレビ、USB メモリー、iPod、外部ビデオ機器に切り換える

1 **TV/AUX** を押す

さらにボタンを押すごとに TV1、TV2 に切り換わります。USB メモリー、iPod、外部ビデオ機器を接続している場合は、ビデオの再生を開始します。

ラジオに切り換える

1 **FM/AM** を押す



さらにボタンを押すごとに FM1、FM2、AM に切り換わります。

CD/DVD、MP3/WMA/AAC に切り換える

1 DISC を押す

挿入しているディスクの曲が再生されます。

HDD サウンドコンテナに切り換える

1 HDD を押す

HDD サウンドコンテナの曲が再生されます。

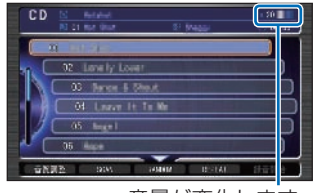
音量を調節するには

オーディオ機能の音量を調節します。

1 オーディオ再生中に VOL ダイヤルを回して調節する

右に回す：	音量を大きくするとき
左に回す：	音量を小さくするとき

▼

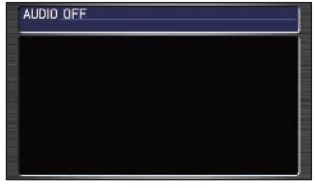


音量が変化します。

オーディオ機能を終了するには

1 ⏻ を押す

▼

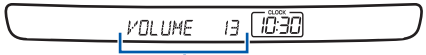


すべてのオーディオ機能が終了します。

サブディスプレイの表示について

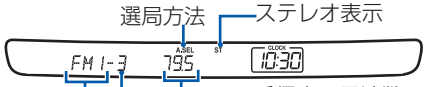
オーディオやテレビなどの動作状態が表示されます。画面表示がナビゲーションのときでもオーディオやテレビなどの状態を確認することができます。

通常表示 ※1

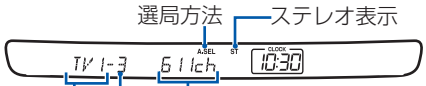


音量調節時に点灯

ラジオ受信時の表示

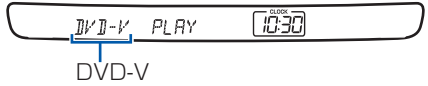


テレビ使用時の表示

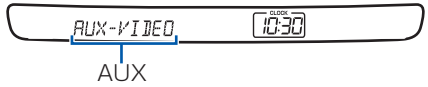


CD/MP3/WMA/AAC 再生時の表示

DVD ビデオ再生時の表示



AUX 再生時の表示

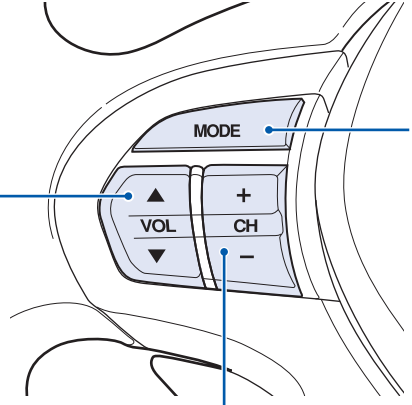


ポイント

※1
- 現在時刻は、GPS 衛星から受信した電波に基づいて表示します。時刻を合わせる必要はありません。
- メーターのイルミネーションコントロールで車両灯点灯時の減光を解除すると、サブディスプレイの減光も解除されます。
- 車幅灯を点灯中に、メーターのイルミネーションコントロールで明るさを最小にすると、サブディスプレイの明るさも最小になります。

オーディオリモートコントロールスイッチについて

ハンドルにあるオーディオリモートコントロールスイッチで音量や音源などを操作することができます



音量調節スイッチ
▲を押す…音量が大きくなります。
▼を押す…音量が小さくなります。

MODEスイッチスイッチを押すたびに、以下の順に切り換わります。

→ FM1 → FM2 → AM → ディスク（CD/DVD）→ CDチェンジャー（CDチェンジャー装備車）[*1]
← ビデオ ← TV2 ← TV1 ← AUX（iPod/USBメモリー） ← HDD サウンドコンテナ

CH（チャンネル）スイッチ
ラジオまたはテレビを視聴しているとき
＋を押す・・・プリセットされている次の放送局を選局します。
－を押す・・・プリセットされている前の放送局を選局します。
＋または－を1秒以上押すと、受信感度の良い周波数を自動選局します。

ディスクを再生しているとき
＋を押す・・・次の曲を選びます。
－を押す・・・前の曲／再生中の曲の始めを選びます。
＋または－を1秒以上押すと、次のディスク／前のディスクを選びます。
MP3/WMA/AACディスクを再生しているときは、次のフォルダ／前のフォルダを選びます。

ポイント

[*1] ・ディスクがセットされているときに切り換わります。

ラジオをきく 簡単操作 標準操作

AM や FM ラジオのききかたについて説明します。

ラジオをきくには

1 FM/AM を押す ◆1

ラジオの音声が流れます。

2 FM1、FM2、または AM を選択する ◆2

ジョイスティックを左右に倒すことにより FM1、FM2、AM が切り換わります。

3 ◀ TUNE ▶ または ⏮ SKIP ⏭ を押し選局する

▼

選局した周波数の音声が流れます。

ラジオの操作画面の見かた

① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および周波数、放送局名を表示します。

② FM1 , FM2 , AM

[FM1],[FM2],[AM] に各 6 局までお気に入りの放送局を記憶させることができます。ジョイスティックを左右に倒すと、[FM1]、[FM2] または [AM] を選ぶことができます。

③ プリセットスイッチ

お好みの放送局をあらかじめ記憶することができます。希望のプリセット番号に、現在受信中の放送局を記憶することができます。

→「お好みの放送局を記憶するには」(P227)

④ サブメニュー

ジョイスティックを下に倒すとサブメニュー *(次ページ参照)* を表示します。

「音質調整」、「AUTO SELECT」、「SCAN」、「エリア選局」、「スケジュール設定」が選べます。

− FOLDER +

押すたびに、プリセットスイッチを切り換えることができます。

＋：次のプリセットスイッチを選ぶとき

－：前のプリセットスイッチを選ぶとき

◀ TUNE ▶

押すたびに 1 ステップずつ周波数が変化します。

◀：低い周波数を選ぶとき

▶：高い周波数を選ぶとき

⏮ SKIP ⏭

押すと自動選局が始まります。

⏮：低い周波数を選ぶとき

⏭：高い周波数を選ぶとき

ラジオのサブメニュー画面の見かた

① **音質調整**
4 つの基本的な音質（BASS、TREBLE、FADER、BALANCE）および車速連動音量を調節します。
→「音質を調節するには」(P446)

② **AUTO SELECT**
現在地周辺の地域で受信できる放送局を、自動的にプリセットスイッチに記憶します。
再度、「AUTO SELECT」を選ぶと元の状態に戻ります。
→「自動的に記憶するとき (AUTO SELECT)」(P229)

③ **SCAN**
現在地周辺の地域で受信できる放送局を探します。受信できた放送局は 10 秒間だけ音声を流し次の放送局を探します。ききたい放送局が受信できたら [実行] ボタンを押します。
→「まとめて探すとき (スキャン)」(P228)

④ **エリア選局**
自車位置の移動にともない、その地域の放送局を自動的にプリセットスイッチにリストアップします。
再度、[エリア選局] を選ぶと元の状態に戻ります。
→「地域によって変えるとき (エリア選局)」(P229)

⑤ **スケジュール設定**
スケジュールを新規作成して、設定した日時にオーディオを視聴、再生します。
→「スケジュールを管理する」(P404)

アドバイス

◆1 ・ラジオの受信は、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

◆2 ・FM を 12 局、AM を 6 局まで記憶させることができます。
→「お好みの放送局を記憶するには」(P227)
→「受信状態の良い放送局を探すには」(P228)

関連する機能

交通情報をきく.....P230

記憶された放送局を呼び出す

あらかじめ記憶させた放送局を呼び出すことができます。

1 FM/AM を押す
ラジオの音声が流れます。 ※1

2 FM/AM を押して、FM1、FM2 または AM を選ぶ
押すたびに、FM1、FM2、AM が切り換わります。

3 1 ～ 6 のプリセット No. に設定された、**聞きたい放送局**を選ぶ

▼

選ばれている放送局の色が変わり、画面上部にも表示されます。

- オーディオ画面表示時は、コマンドホイールで放送局を選んで［実行］ボタンを押して放送局を呼び出すこともできます。

お好みの放送局を記憶するには

お好みの放送局を FM1 に 6 局、FM2 に 6 局、AM に 6 局まで記憶することができます。

「ラジオをきくには」(P225) の操作をした後に・・・

1 **記憶させたい放送局**を受信する ※1

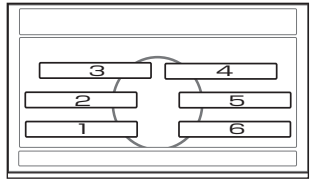
2 1 ～ 6 の記憶させたいプリセット No. を選んで 実行 を“ピッ”と鳴るまで押す

▼

選んだプリセット No. に選局した放送局を記憶します。

プリセットNo.とは！？

放送局を記憶する記憶番号です。記憶番号は以下のように割り振られています。



ポイント

※1 ・ナビゲーション画面が表示されている場合は、［AUDIO 表示］ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

受信状態の良い放送局を探すには

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに、一時的に受信状態の良い放送局を記憶させたり、自動的にその地域の放送局に変更させることができます。

まとめて探すとき（スキャン）

現在地周辺の地域で受信できる放送局を探すことができます。

「ラジオをきくには」(P225) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して SCAN を選んで 実行 を押す ※1

▼

スキャン中の表示

受信できた放送局から順に 10 秒間だけ音声を流します。◆1

2 きたい放送局を受信したら、実行 を押す

▼

選んだ放送局を受信します。

スキャンを解除するには

スキャンを解除する場合は、再度ジョイスティックを下に倒して [SCAN] を選び [実行] ボタンを押します

AUTO SELECT とは何が違うの？

「AUTO SELECT」では受信状態の良い放送局を自動的にプリセットスイッチに記憶しますが、「スキャン」では記憶しません。

エリア選局とは何が違うの？

「エリア選局」では現在地周辺で受信できると思われる放送局があらかじめ本機に記憶されており、それをプリセットスイッチに表示しますが、「スキャン」では受信状態の良い放送局を実際に探します。

ポイント

※1 ・ナビゲーション画面が表示されている場合は、［AUDIO 表示］ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

アドバイス

◆1 ・記憶できなかったプリセットスイッチには“0”を表示します。

自動的に記憶するとき (AUTO SELECT)

一時的に滞在する地域の放送局を記憶するためにあります。(FM1、FM2 の各 6 局と AM の 6 局) 現在地周辺の地域で受信できる放送局を自動的にプリセットスイッチに記憶することができます。
AUTO SELECT を解除すれば、元の状態に戻ります。※1

「ラジオをきくには」(P225) を操作した後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して AUTO SELECT を選んで 実行 を押す

▼

AUTO SELECT 中の表示

放送局を探し始めます。
終了すると、放送局リストを表示します。◆1

AUTO SELECT を解除するには

AUTO SELECT を解除する場合は、再度ジョイスティックを下に倒して [AUTO SELECT] を選び［実行］ボタンを押します。

地域によって変えるとき (エリア選局)

移動にともない、その地域で受信できる放送局を FM1 に 6 局、FM2 に 6 局、AM に 6 局まで自動的にリストアップします。
エリア選局を解除すれば、元の状態に戻ります。※2

「ラジオをきくには」(P225) を操作した後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して エリア選局 を選んで 実行 を押す ※3

▼

エリア選局中の表示

現在いる地域で、受信できる放送局のリストを表示します。◆1

エリア選局を解除するには

エリア選局を解除する場合は、再度ジョイスティックを下に倒して [エリア選局] を選び［実行］ボタンを押します。

ポイント

※1 ・AUTO SELECT で選局された放送局をお好みのプリセットスイッチに手動で記憶し直すこともできます。
→「お好みの放送局を記憶するには」(P227)

※2 ・エリア選局で選局された放送局をお好みのプリセットスイッチに手動で記憶し直すことはできません。

※3 ・ナビゲーション画面が表示されている場合は、［AUDIO 表示］ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

アドバイス

◆1 ・記憶できなかったプリセットスイッチには“0”を表示します。

スキャンとは何が違うの？

「スキャン」では受信状態の良い放送局をプリセットスイッチに記憶することなく探していきますが、「AUTO SELECT」では記憶します。また、「エリア選局」では現在地周辺で受信できると思われる放送局があらかじめ本機に記憶されているので受信状態の良い放送局を探すことはありません。

交通情報をきく 簡単操作 標準操作

交通情報のききかたについて説明します。 ※1

交通情報をきくには

1 を押して交通情報に切り換える

2 ◀ TUNE ▶ または ⏮ SKIP ⏭ を押して、周波数を切り換える

［TUNE/SKIP］ボタンの ⏮ または ⏭ を押すたびに 1620kHz と 1629kHz が切り換わります。 ◆1

▼

選んだ周波数の交通情報を受信します。

受信を中止するには

もう一度 ボタンを押すと、交通情報を受信する前の音源に戻ります。

交通情報の操作画面の見かた

① ソースプレート
現在選ばれているメディア名および周波数を表示します。

② 1620 , 1629
1620kHz もしくは 1629kHz を選ぶときに選択します。

③ 音質調整
ジョイスティックを下に倒すとサブメニューが表示されます。［実行］ボタンを押して、4 つの基本的な種類の音質（BASS、TREBLE、FADER、BALANCE）および車速連動音量を調節します。
→「音質を調節するには」(P446)

ポイント

※1 ・この機能は、ラジオ以外が選ばれていても、またはオーディオ機能が OFF でも操作できます。

・ナビゲーション画面が表示されている場合は、［AUDIO 表示］ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

アドバイス

◆1 ・コマンドホイールで周波数を選び、［実行］ボタンを押して切り換えることもできます。

音楽 CD をきく 簡単操作 標準操作

音楽 CD のききかたについて説明します。

音楽 CD をきくには

1

ディスクが未挿入のとき・・・

AUDIO 表示 → ディスクを入れる

ディスクを挿入しているとき・・・

AUDIO 表示 → DISC を押す

▼

自動的に再生が始まります。 *1

2

⏮ SKIP ⏭ を押して、**ききたい曲**を選ぶ

▼

選んだ曲が再生されます。 *2

音楽 CD の操作画面の見かた

① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および再生中のディスク名、アーティスト名、曲名、曲の経過時間を表示します。 *3

② リストスイッチ

選択した曲を再生します。
オーディオ画面表示時は、コマンドホイールを回しても曲を選ぶことができます。

③ サブメニュー

ジョイスティックを下に倒すとサブメニュー *(次ページ参照)* を表示します。
「音質調整」、「SCAN」、「RANDOM」、「REPEAT」、「録音開始 (録音停止)」、「スケジュール設定」が選べます。

⏮ SKIP ⏭

曲を選ぶときに使います。
⏮ : 前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
⏭ : 次の曲を選ぶとき
早戻しする場合は、⏮ を押し続けます。
早送りする場合は、⏭ を押し続けます。

音楽 CD のサブメニュー画面の見かた

① **音質調整**

4 つの基本的な種類の音質（BASS、TREBLE、FADER、BALANCE）および車速連動音量を調節します。
→「音質を調節するには」(P446)

② **SCAN**

ディスク内のすべての曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。(スキャン再生) →「スキャン再生」(P233)
ききたい曲を探すときに便利です。

③ **RANDOM**

ディスク内の曲を順不同にて再生します。(ランダム再生)
→「ランダム再生」(P233)

④ **REPEAT**

再生中の曲を繰り返して再生します。（リピート再生）
→「リピート再生」(P233)

⑤ **録音停止** / **録音開始**

録音を停止／開始します。

⑥ **スケジュール設定**

スケジュールを新規作成して、設定した日時にオーディオを視聴、再生します。
→「スケジュールを管理する」(P404)

ポイント

＊1
- HDD サウンドコンテナに録音中の曲はトラックタイトルリストのトラック No. の左に Ⓡ を表示し、未録音の曲は Ⓡ を表示します。
- サウンドコンテナへの録音は約 4 倍速で行われます。また、録音中の場合は、HDD サウンドコンテナに録音されたデータで再生します。
- サウンドコンテナに録音された曲を再生する場合、サウンドコンテナで取得または編集したタイトルが表示されます。

＊2
- ディスクの判別や録音準備を行うため、再生するまでに時間がかかります。

＊3
- 走行中はリストスイッチに曲名は表示されません。
- 内蔵のデータベースからタイトル情報が複数取得できたときは、最も正しいと思われる 1 件を自動的に選択します。
- CD-TEXT や内蔵のデータベースからタイトル情報が取得できなかった場合は、タイトルは「No Title」アーティストは「No Name」と表示します。

再生方法を変えるには

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。

リピート再生

再生中の曲を繰り返しきくことができます。

「音楽 CD をきくには」(P231) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して REPEAT を選んで 実行 を押す

▼

リピート再生中の表示

リピート再生します。

リピート再生を解除するには

再度ジョイスティックを下に倒して［REPEAT］を選び［実行］ボタンを押すと、リピート再生を解除します。

スキャン再生

曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつきくことができます。ききたい曲を探すときに便利です。

「音楽 CD をきくには」(P231) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して SCAN を選んで 実行 を押す

▼

スキャン再生中の表示

スキャン再生します。

2 ききたい曲が再生されたら、実行 を押す

▼

選んだ曲を再生します。

スキャン再生を解除するには

再度ジョイスティックを下に倒して［SCAN］を選び［実行］ボタンを押すと、スキャン再生を解除します。
また、スキャン再生は始めた曲まで戻ると自動的に解除します。

ランダム再生

再生中の CD を、順不同に曲順を変えて再生することができます。

「音楽 CD をきくには」(P231) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して RANDOM を選んで 実行 を押す

▼

ランダム再生中の表示

ランダム再生します。

ランダム再生を解除するには

再度ジョイスティックを下に倒して［RANDOM］を選び［実行］ボタンを押すと、ランダム再生を解除します。再生中の曲が選ばれている状態で［実行］ボタンを押した場合でも解除します。

MP3/WMA/AAC ディスクをきく 簡単操作 標準操作

ディスクに書き込まれた MP3/WMA/AAC ファイルのききかたについて説明します。※1

MP3/WMA/AAC ディスクをきくには

1 ディスクが未挿入のとき・・・

AUDIO 表示 →ディスクを入れる ※2

ディスクを挿入しているとき・・・

AUDIO 表示 → HDD を押す

▼

自動的に再生が始まります。

2 − FOLDER +、⏮ SKIP ⏭ を押して、**ききたい曲**を選ぶ

▼

選んだ曲が再生されます。※3

MP3/WMA/AAC ディスクの操作画面の見かた

① ソースプレート
現在選ばれているメディア名 / 圧縮方式および再生中のディスク名、アーティスト名、曲名、曲の経過時間を表示します。

② フォルダの階層
ディスク内のフォルダの位置を示します。
(画面は 2 階層目を展開した状態)

③ リストスイッチ ※4
ファイル名またはフォルダ名を表示します。選択した曲の再生や選択したフォルダ内のリストを表示します。
オーディオ画面表示時は、コマンドホイールを回しても曲やフォルダを選ぶことができます。ジョイスティックを左に倒すとフォルダリスト（フォルダー覧）が、右に倒すと選んだフォルダ内のトラックリスト（トラック一覧）を表示します。

④ サブメニュー
ジョイスティックを下に倒すとサブメニュー *(次ページ参照)* を表示します。
「音質調整」、「SCAN」、「RANDOM」、「REPEAT」、「スケジュール設定」が選べます。

− FOLDER +
前後のフォルダの最初の曲を再生します。
＋：次のフォルダの最初の曲を選ぶとき
－：前のフォルダの最初の曲を選ぶとき

⏮ SKIP ⏭
曲を選ぶときに使います。
⏮：前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
⏭：次の曲を選ぶとき
早戻しする場合は、⏮ を押し続けます。
早送りする場合は、⏭ を押し続けます。

MP3/WMA/AAC ディスクのサブメニュー画面の見かた

① **音質調整**

4 つの基本的な種類の音質（BASS、TREBLE、FADER、BALANCE）および車速連動音量を調節します。

→「音質を調節するには」(P446)

② **SCAN**

曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。(スキャン再生)
再生中のフォルダ内にあるすべての曲かディスク内の全フォルダの先頭曲かを選ぶことができます。

→「スキャン再生」(P236)

ききたい曲を探すときに便利です。

③ **RANDOM**

順不同にて再生します。
(ランダム再生)
再生中のフォルダ内にあるすべての曲かディスク内のすべての曲かを選ぶことができます。

→「ランダム再生」(P237)

④ **REPEAT**

再生中の曲やフォルダ内の曲を繰り返して再生します。(リピート再生)

→「リピート再生」(P236)

⑤ **スケジュール設定**

スケジュールを新規作成して、設定した日時にオーディオを視聴、再生します。

→「スケジュールを管理する」(P404)

ポイント

＊1 ・本書は主に MP3 の再生での説明を記載しておりますが、WMA および AAC の再生についても同様の操作方法となります。

＊2 ・ディスクは正しい向きに差し込んでください。

＊3 ・CD-RW ディスクはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかります。

＊4 ・走行中はリストスイッチにフォルダ名またはファイル名は表示されません。

・タイトル情報を取得できなかった場合は、MP3、WMA、または AAC のフォルダ名、ファイル名をソースプレートに表示します。その時、アーティスト名は表示されません。

・再生できない MP3 ファイル、WMA ファイル、または AAC ファイルだけのフォルダもリスト表示します。MP3 ファイル、WMA ファイル、または AAC ファイルを含まないフォルダ（サブフォルダも含む）は表示されません。

・トラックタイトルリストは ID3Tag *(→ P213)* WMA タグ *(→ P214)* のタイトル情報に関係なく、フォルダ名またはファイル名のリストになります。

再生方法を変えるには

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。

リピート再生

再生中の曲を繰り返しきくことができます。

「MP3/WMA/AAC ディスクをきくには」(P234) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して REPEAT を選んで 実行 を押す

2 再度 REPEAT を選んで 実行 を押す

選択するたびに、[REPEAT] → [FOLDER-REPEAT] → [OFF] と切り換わります。

[REPEAT]	再生中の曲を繰り返して再生します。
[FOLDER-REPEAT]	再生中のフォルダ内の曲を繰り返して再生します。
[OFF]（表示なし）	リピート再生を解除します。

▼

リピート再生中の表示

スキャン再生

曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつきくことができます。ききたい曲を探すときに便利です。

「MP3/WMA/AAC ディスクをきくには」(P234) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して SCAN を選んで 実行 を押す

2 再度 SCAN を選んで 実行 を押す

選択するたびに、[SCAN] → [FOLDER-SCAN] → [OFF] と切り換わります。

[SCAN]	再生中のフォルダ内にあるすべての曲を約 10 秒間ずつ再生します。
[FOLDER-SCAN]	全フォルダの先頭曲を約 10 秒間ずつ再生します。
[OFF]（表示なし）	スキャン再生を解除します。

▼

スキャン再生中の表示

3 ききたい曲が再生されたら、実行 を押す

▼

選んだ曲を再生します。
スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除します。

ランダム再生

再生中のフォルダ内にある曲を、順不同に曲順を変えて再生することができます。

「MP3/WMA/AAC ディスクをきくには」(P234) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して RANDOM を選んで 実行 を押す

2 再度 RANDOM を選んで 実行 を押す

選択するたびに、[FOLDER-RANDOM] → [RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

[RANDOM]	全フォルダのすべての曲を順不同で再生します。
[FOLDER-RANDOM]	再生中のフォルダ内にあるすべての曲を順不同で再生します。
[OFF]（表示なし）	ランダム再生を解除します。

▼

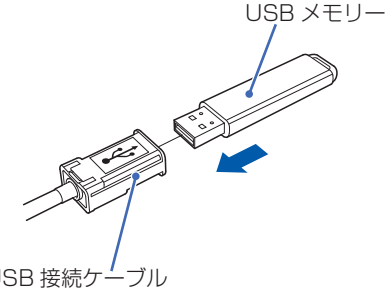
ランダム再生中の表示

USB メモリーの曲をきく 簡単操作 標準操作

USB メモリーに録音された MP3 ファイル、WMA ファイル、または AAC ファイルのききかたについて説明します。 ＊1

USB メモリーの曲をきくには

1 USB 接続ケーブル *(→ P220)* に USB メモリーを接続する ＊2



2 TV/AUX を押して USB メモリーに切り換える

3 − FOLDER ＋ または ⏮ SKIP ⏭ を押して、ききたい曲を選ぶ

▼

選んだ曲が再生されます。 ＊3

USB メモリーの操作画面の見かた

① ソースプレート
現在選ばれているフォルダ名、アーティスト名、再生中の曲名、曲の経過時間を表示します。

② グループ選択タグ
ジョイスティックを左右に倒しグループのタブを選んでリストスイッチの表示（左：上位フォルダ　右：下位フォルダ）を切り換え、曲を探すことができます。

③ リストスイッチ ＊4
ファイル名またはフォルダ名を表示します。選択した曲の再生や選択したフォルダ内のリストを表示します。オーディオ画面表示時は、コマンドホイールを回しても曲やフォルダを選ぶことができます。

④ サブメニュー
ジョイスティックを下に倒すとサブメニュー *(次ページ参照)* を表示します。「音質調整」、「SCAN」、「RANDOM」、「REPEAT」、「スケジュール設定」が選べます。

− FOLDER ＋
前後のフォルダの最初の曲を再生します。
＋：次のフォルダの最初の曲を選ぶとき
−：前のフォルダの最初の曲を選ぶとき

⏮ SKIP ⏭
曲を選ぶときに使用します。
⏮：前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
⏭：次の曲を選ぶとき
早戻しする場合は、⏮ を押し続けます。
早送りする場合は、⏭ を押し続けます。

USB メモリーのサブメニュー画面の見かた

① **音質調整**

4 種類の音質（BASS、TREBLE、FADER、BALANCE）および車速連動音量を調節します。

→「音質を調節するには」(P446)

② **SCAN**

曲の始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。(スキャン再生)
再生中のフォルダ内にあるすべての曲か USB メモリー内の全フォルダの先頭曲かを選ぶことができます。

→「スキャン再生」(P240)

ききたい曲を探すときに便利です。

③ **RANDOM**

順不同にて再生します。
(ランダム再生)
再生中のフォルダ内にあるすべての曲かディスク内のすべての曲かを選ぶことができます。

→「ランダム再生」(P241)

④ **REPEAT**

再生中の曲やフォルダ内の曲を繰り返して再生します。(リピート再生)

→「リピート再生」(P240)

⑤ **スケジュール設定**

スケジュールを新規作成して、設定した日時にオーディオを視聴、再生することができます。

→「スケジュールを管理する」(P404)

ポイント

＊1 • 本書は主に MP3 の再生での説明を記載しておりますが、WMA および AAC の再生についても同様の操作方法となります。

＊2 • USB のコネクターは正しい向きに差し込んでください。

＊3 • 記録されたファイルの種類によっては再生までに時間がかかる場合があります。

• USB メモリー内が複数のパーティションに分けられている場合は、先頭のパーティションのみ再生可能です。

• USB メモリー内のフォルダ（ディレクトリ）は 8 階層（ルートディレクトリを含む）まで認識できます。

＊4 • 走行中はリストスイッチにフォルダ名またはファイル名は表示されません。

• ID3 Tag（→P213）、WMA タグ（→P214）、AAC の対応タグ（→P215）からタイトル情報を取得できなかった場合は、フォルダ名がアルバムタイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてリスト上部に表示されます。アーティストは表示されません。

• トラックタイトルリストは ID3 Tag（→P213）/WMA タグ（→P214）、AAC の対応タグ（→P215）のタイトル情報に関係なく、フォルダ名またはファイル名のリストになります。

• 再生できない音楽ファイル（MP3/WMA/AAC）のみが入ったフォルダもリスト表示されます。音楽ファイルを含まないフォルダは表示されません。

再生方法を変えるには

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。

リピート再生

再生中の曲を繰り返しきくことができます。

「USB メモリーの曲をきくには」(P238) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **REPEAT** を選んで 実行 を押す

2 再度 **REPEAT** を選んで 実行 を押す

選択するたびに、[REPEAT] → [FOLDER-REPEAT] → [OFF] と切り換わります。

[REPEAT]	再生中の曲を繰り返して再生します。
[FOLDER-REPEAT]	再生中のフォルダ内の曲を繰り返して再生します。
[OFF]（表示なし）	リピート再生を解除します。

▼

リピート再生中の表示

スキャン再生

曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつきくことができます。ききたい曲を探すときに便利です。

「USB メモリーの曲をきくには」(P238) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **SCAN** を選んで 実行 を押す

2 再度 **SCAN** を選んで 実行 を押す

選択するたびに、[SCAN] → [FOLDER-SCAN] → [OFF] と切り換わります。

[SCAN]	再生中のフォルダ内にあるすべての曲を約 10 秒間ずつ再生します。
[FOLDER-SCAN]	全フォルダの先頭曲を約 10 秒間ずつ再生します。
[OFF]（表示なし）	スキャン再生を解除します。

▼

スキャン再生中の表示

3 **ききたい曲**が再生されたら、実行 を押す

▼

選んだ曲を再生します。
スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除します。

ランダム再生

再生中のフォルダ内にある曲を、順不同に曲順を変えて再生することができます。

「USB メモリーの曲をきくには」(P238) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して RANDOM を選んで 実行 を押す

2 再度 RANDOM を選んで 実行 を押す

選択するたびに、[FOLDER-RANDOM] → [RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

[RANDOM]	全フォルダのすべての曲を順不同で再生します。
[FOLDER-RANDOM]	再生中のフォルダ内にあるすべての曲を順不同で再生します。
[OFF]（表示なし）	ランダム再生を解除します。

▼

ランダム再生中の表示

USB メモリーの終了のしかた

1 ⏻ を押す

オーディオ機能が終了します。

2 USB メモリーを USB 接続ケーブル *（→ P220）* から外す

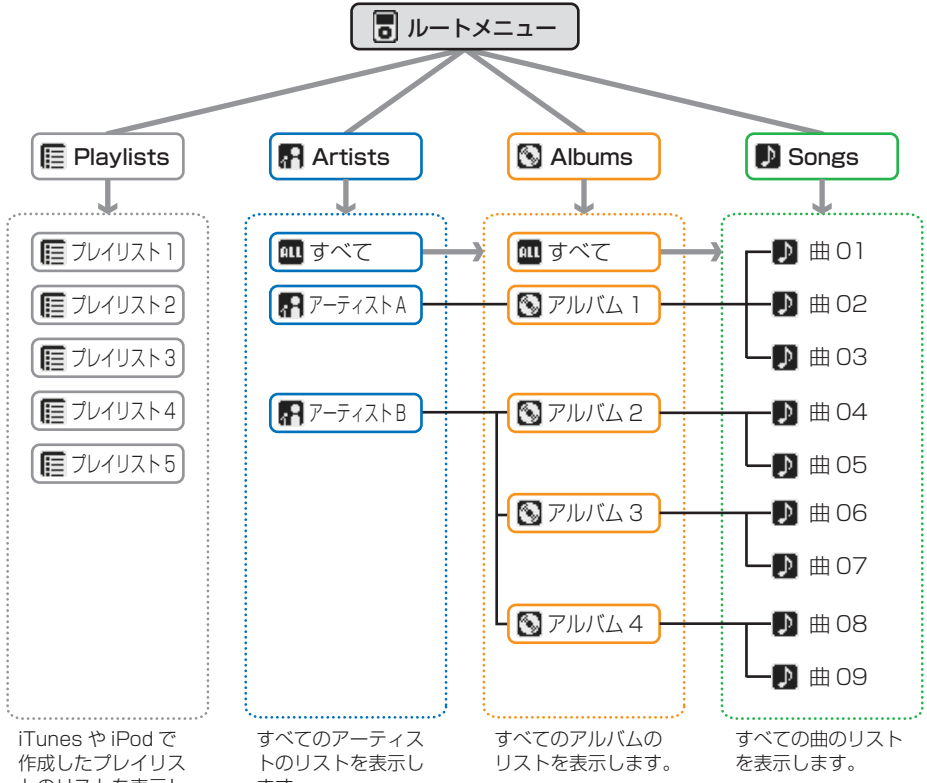
iPod の曲をきく 簡単操作 標準操作

iPod に録音された曲のききかたについて説明します。

iPod の階層について

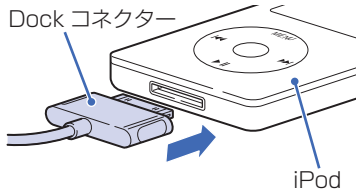
iPod はルートメニューを先頭に右のように Playlists（プレイリスト）、Artists（アーティスト）、Albums（アルバム）、Songs（曲）に分かれています。
お手持ちの iPod と同じイメージで選んでいくことができます。
※「iPod」「iTunes」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

お願い
USB コネクターは必ず iPod 付属または別売のアップル純正「iPod Dock コネクター (USB ケーブル用)」を使用してください。

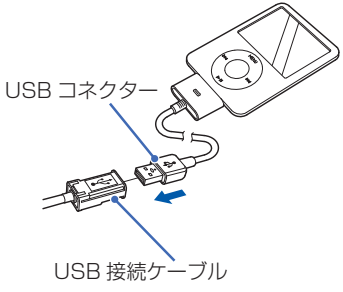


iPod の曲をきくには

1 iPod 本体に Dock コネクターを接続する ※1



2 USB 接続ケーブル *(→ P220)* に iPod の USB コネクターを接続する ※1



3 TV/AUX を押して iPod に切り換える

▼

自動的に再生が始まります。※2

iPod の操作画面の見かた

① ソースプレート ※3
現在選ばれているアルバム名、アーティスト名、再生中の曲名を表示します。

② グループ選択タグ ※3
ジョイスティックを左右に倒しグループのタブ（左から並び順、アーティストまたはアルバム、曲）を選んでリストスイッチの表示を切り換え、曲を探すことができます。

③ リストスイッチ ※4
曲名を表示します。選択した曲の再生や選択したアルバム内のリストを表示します。オーディオ画面表示時は、コマンドホイールを回しても曲を選ぶことができます。

④ サブメニュー
ジョイスティックを下に倒すとサブメニュー *(次ページ参照)* を表示します。
「音質調整」、「REPEAT」、「RANDOM」、「スケジュール設定」が選べます。

|◀◀ SKIP ▶▶|
曲を選ぶときに使用します。
|◀◀：前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
▶▶|：次の曲を選ぶとき
早戻しする場合は、|◀◀ を押し続けます。
早送りする場合は、▶▶| を押し続けます。

iPod のサブメニュー画面の見かた

① **音質調整**

4 種類の音質（BASS、TREBLE、FADER、BALANCE）および車速連動音量を調節します。

→「音質を調節するには」(P446)

② **RANDOM**

順不同にて再生します。(ランダム再生)

→「ランダム再生」(P247)

③ **REPEAT**

再生中の曲やフォルダ内の曲を繰り返して再生します。（リピート再生）

→「リピート再生」(P246)

④ **スケジュール設定**

スケジュールを新規作成して、設定した日時にオーディオを視聴、再生することができます。

→「スケジュールを管理する」(P404)

ポイント

＊1
- 各コネクターは正しい向きに差し込んでください。
- iPod 接続中は、iPod 本体からの操作はできません。
- iPod の接続および取り外しはいつでもできます。

＊2
- iPod を接続してもサブディスプレイに iPod の表示が出ない時は、再度、接続を行ってください。もし、何度か接続し直しても認識しない時は iPod がフリーズしている場合も考えられます。その時は、iPod を取り外し iPod の取扱説明書にしたがってリセット操作を行ってください。

＊3
- 曲の経過時間は表示されません。

＊4
- 走行中はリストスイッチにアルバム名またはトラック名、アーティスト名、プレイリスト名は表示されません。

ルートメニューから曲を選ぶ

iPod を接続した直後は、階層表示ができません。一度ルートメニューを表示させると階層を表示することができます。ここでは、ルートメニューから曲を選ぶ一例を説明します。

「iPod の曲をきくには」(P243) の操作をした後に・・・

1 接続直後のオーディオ画面でジョイスティックを左に倒す ＊1
ルートメニューが表示されます。

2 アーティスト を選んでジョイスティックを右に倒す（または 実行 を押す）

▼

すべてのアーティストのリストが表示されます。

3 **きけたいアーティスト**を選んで 実行 を押す ＊2

選んだアーティストのすべてのアルバムがリスト表示されます。

4 **きけたいアルバム**を選んで 実行 を押す ＊3

▼

選んだアルバムのすべての曲がリスト表示されます。

5 **きけたい曲を**選んで 実行 を押す

▼

選んだ曲が再生されます。

ルートメニューの項目について

項目	内容
[Playlists]	お客様が iTunes や iPod で作ったプレイリストの内容が表示されます。
[Artists]	iPod 内すべてのアーティストのリストが表示されます。
[Albums]	iPod 内すべてのアルバムのリストが表示されます。
[Songs]	iPod 内すべての曲のリストが表示されます。

ポイント

＊1 ・ナビゲーション画面が表示されている場合は、［AUDIO 表示］ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

＊2 ・すべてのアーティストを選ぶときは ALL ALL を選びます。すべてのアーティストのアルバムがリスト表示されます。

＊3 ・ここで表示されるすべてのアルバムを選ぶときは ALL ALL を選びます。すべてのアルバムの曲がリスト表示されます。

階層を戻すときは

階層を戻すときはジョイスティックを左に倒します。

階層アイコンの見かた

	プレイリストを選んでいます。
	アーティストを選んでいます。
	アルバムを選んでいます。
	曲を選んでいます。

再生方法を変えるには

リピート再生、ランダム再生が行えます。

リピート再生

再生中の曲を繰り返しきくことができます。 ※1

「iPod の曲をきくには」(P243) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して REPEAT を選んで 実行 を押す

▼

リピート再生中の表示

リピート再生が始まります。

リピート再生を解除するには

再度 [REPEAT] を選んで 実行 を押すと、リピート再生が解除されます。

ポイント

※1 ・iPod 本体のリピート設定が「オフ」のとき、USB アダプターに接続すると自動的に iPod 本体のリピート設定が「すべて」に変更されます。

ランダム再生

再生中の階層内にある曲を、順不同に曲順を変えて再生することができます。 ＊1

「iPod の曲をきくには」(P243) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して RANDOM を選んで 実行 を押す

2 再度 RANDOM を選んで 実行 を押す

選択するたびに、[RANDOM] → [ALBUM-RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

[RANDOM]	再生中の階層内にあるすべての曲を順不同で再生します。
[ALBUM-RANDOM] ＊2	再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に選び再生します。(アルバム内の曲順は変わりません。)
[OFF] (表示なし)	ランダム再生を解除します。

▼

ランダム再生中の表示

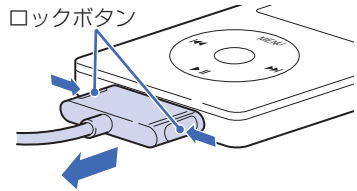
iPod の終了のしかた

1 ⏻ を押す

オーディオ機能が終了します。

2 USB コネクターを USB 接続ケーブル *(→ P220)* から抜く

3 iPod から Dock コネクターを左右のロックボタンを押しながら外す



ポイント

＊1 ・事前にリピート再生を解除しておいてください。リピート再生中の場合、リストのみランダム切り換えが行われ、選択中の曲のリピート再生が継続されます。

＊2 ・再生中の階層内に複数のアルバムが含まれない時、[ALBUM RANDOM] を行っても曲順は変わりません。

テレビを見る 簡単操作 標準操作

テレビの見かたについて説明します。

お願い

- テレビは安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけがきこえます。
- テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

テレビの受信について

テレビの受信は、車の走行にともない受信状態が変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサイン、ラジオ放送、アマチュア無線用の送信アンテナ、鉄塔などの近くでは画像が乱れたり音が途切れることがあります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となり、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。

テレビを見るには

はじめてテレビを見るとき

本機ではじめてテレビを見るときは、最初に「初期スキャン」を行う必要があります。現在地周辺の地域で受信できるワンセグテレビ放送のチャンネルを調べてプリセットスイッチに記憶する操作です。

1 TV/AUX を押す

初期スキャンを促す画面を表示します。

2 実行 を押す

初期スキャンを開始します。

初期スキャン完了後、現在地周辺の地域で受信できる放送局を自動的にプリセットスイッチに記憶します。 ※1 ◆1

本書で記載するテレビの映像および番組名は、説明用に作成した架空のものです。実際にある放送局とは一切関係ありません。

ポイント

※1 • TV1、TV2 それぞれ 6 局まで“3 桁チャンネル番号”の数字の小さい順で、記憶します。

アドバイス

◆1 • 記憶できなかったプリセットスイッチには“0”を表示します。

ワンセグとは !?

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルテレビ放送のことです。
別名「1seg」「1 セグメント放送」「1 セグ放送」で、地上デジタル放送の 1 つのチャンネルを 13 個のセグメントに分割し、そのうち 1 つのセグメントを使用していることから、「1 セグ＝ワンセグ」と呼ばれています。
ワンセグは放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

ワンセグ 1SEG

ハイビジョン放送 (HDTV) の地上デジタルテレビ放送は 12 セグメント使用されています。

放送局を選ぶには

「初期スキャン」で記憶した放送局を選びます。

1 TV/AUX を押す

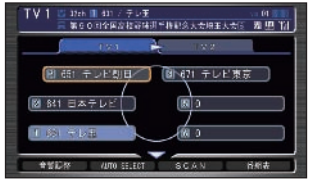
テレビに切り換わります。ナビゲーション画面が表示されているときは音声のみ流れます。

2 コマンドホイールを回す

テレビの操作画面が表示されます。

3 ジョイスティックを左右に倒して、TV1 または TV2 を選ぶ

4 **見たい放送局**を選んで 実行 を押す



▼

選ばれた放送局は色が変わり、画面上部にも表示されます。

テレビの操作画面の見かた

① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および放送中の物理チャンネル番号、プリセット番号、3 桁チャンネル番号、放送局名、番組名を表示します。

② TV1 , TV2

「TV1」、「TV2」のプリセットスイッチを表示します。

③ プリセットスイッチ

お好みの放送局をあらかじめ記憶することができます。希望のプリセット番号に現在受信中の放送局を記憶することができます。→ *「お好みの放送局を記憶するには」(P252)*

④ サブメニュー

ジョイスティックを下に倒すとサブメニュー *(次ページ参照)* を表示します。

「音質調整」、「AUTO SELECT」、「音声切換」、「SCAN」、「番組表」、「サービス切換」、「表示サイズ切換」、「初期スキャン」が選べます。

− FOLDER +

押すたびに、プリセットスイッチを切り換えます。
＋：次のプリセットスイッチを選ぶとき
－：前のプリセットスイッチを選ぶとき

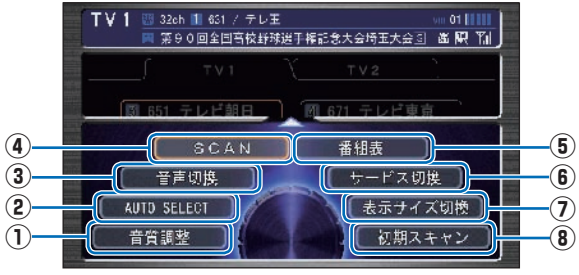
◀ TUNE ▶

押すたびに 1 チャンネルずつ変化します。
◀：低いチャンネルを選ぶとき
▶：高いチャンネルを選ぶとき

⏮ SKIP ⏭

押すと次の受信可能な局へ移ります。
⏮：低いチャンネルへ移るとき
⏭：高いチャンネルへ移るとき

テレビのサブメニュー画面の見かた



① **音質調整**

4 つの基本的な種類の音質（BASS、TREBLE、FADER、BALANCE）および車速連動音量を調節します。

→「音質を調節するには」(P446)

② **AUTO SELECT**

現在地周辺の地域で受信できる放送局を、自動的にプリセットスイッチに記憶します。選局された放送局を別の放送局に手動で記憶し直すこともできます。

再度、「AUTO SELECT」を選択すると元の状態に戻ります。

→「自動的に記憶するとき (AUTO SELECT)」(P252)

③ **音声切換**

複数の音声がある番組放映中に音声を切り換えることができます。

→「複数の音声を切り換えるには」(P253)

④ **SCAN**

現在地で受信できる放送局を探します。受信できた放送局は 10 秒間だけ放送を流します。見たい放送局が受信できたら [実行] ボタンを押します。

→「まとめて探すとき (スキャン)」(P251)

⑤ **番組表**

電子番組表 (EPG) を表示します。

→「番組表を見るには」(P253)

⑥ **サービス切換**

マルチ編成サービス番組の放映中にサービスを切り換えます。

→「マルチサービス放送を切り換えるには」(P254)

⑦ **表示サイズ切換**

映像の表示サイズを切り換えます。

→「表示サイズを切り換えるには」(P254)

⑧ **初期スキャン**

初期スキャンをやり直し、プリセットスイッチの放送局を記憶しなおします。

→「初期スキャンをやり直すには」(P255)

EPG とは !?

Electronic Program Guide の略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

リモコン番号とは !?

放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。

物理チャンネル番号とは !?

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているチャンネル番号 (13ch ～ 62ch まで) のことを言います。

3 桁チャンネル番号とは !?

マルチ編成でそれぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号のことです。

例) リモコン番号が “5” のとき
ワンセグでは 600 番台から始まり、
1 つ目の番組は「651」、
2 つ目の番組は「652」、
3 つ目の番組は「653」となります。

リモコン番号が “10” のとき
「701」、「702」、「703」となります。

受信状態の良い放送局を探すには

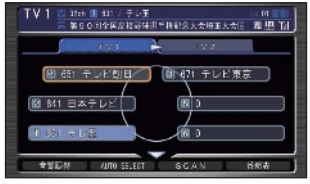
1 局ずつ探すとき

「放送局を選ぶには」（P249）の操作をした後に・・・

1 コマンドホイールを回す

テレビの操作画面が表示されます。

▼



2 ジョイスティックを左右に倒して、TV1 または TV2 を選ぶ

3 SKIP を押して、選局する ※1

「ピッ！」と鳴るまで [◀◀] または [▶▶] を押すと自動選局を開始します。

まとめて探すとき（スキャン）

現在地周辺の地域で受信できる放送局を探すことができます。

「放送局を選ぶには」（P249）の操作をした後に・・・

1 コマンドホイールを回す

テレビの操作画面が表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒して、SCAN を選んで 実行 を押す

▼

SCAN 中の表示

受信できた放送局から順に 10 秒間だけ映像を流します。

3 見たい放送局を受信したら、実行 を押す

▼

選んだ放送局を受信します。

スキャンを解除するには

スキャンを解除する場合は、再度 [SCAN] を選び [実行] を押します。

ポイント

※1 ・受信できる物理チャンネルは、13ch ～ 62ch です。

自動的に記憶するとき (AUTO SELECT)

一時的に滞在する地域の放送局を記憶するためにあります。(TV1、TV2 の各 6 局)
現在地周辺の地域で受信できる放送局を自動的にプリセットスイッチに記憶することができます。AUTO SELECT を解除すれば、元の状態に戻ります。 ※1

「放送局を選ぶには」(P249) の操作をした後に・・・

1 コマンドホイールを回す
テレビの操作画面が表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒して、AUTO SELECT を選んで 実行 を押す

▼

放送局を探し始めます。
終了すると、放送局リストを表示します。 ※2 ◆1

AUTO SELECT を解除するには

再度 [AUTO SELECT] を選んで [実行] を押します。

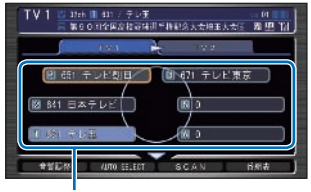
お好みの放送局を記憶するには

お好みの放送局を TV1 に 6 局、TV2 に 6 局まで記憶することができます。

「1 局ずつ探すとき」(P251) の操作をした後に・・・

1 **記憶させたい放送局**を受信する

2 画面に表示されているお好みのプリセット No. を選んで 実行 を“ピッ”と鳴るまで押す



プリセットスイッチ

▼

選択したプリセットスイッチに選局した放送局を記憶します。

ポイント

※1 ・選局された放送局を別の放送局に手動で記憶し直すこともできます。
→「お好みの放送局を記憶するには」(本ページ)

※2 ・TV1、TV2 それぞれ 6 局まで“3 桁チャンネル番号”の数字の少ない順で、記憶します。

・ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO 表示] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

・一度電源が切れた場合(バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)は、記憶した放送局が消えます。初期スキャン(→ P255) を行った後、再度放送局を記憶させてください。

アドバイス

◆1 ・記憶できなかったプリセットスイッチには“0”を表示します。

初期スキャンとは何が違うの?

「初期スキャン」は長期的に滞在する地域での放送局を記憶するためにあります。すぐに解除できる「AUTO SELECT」は一時的に滞在する地域での使用をおすすめします。

番組表を見るには

電子番組表 (EPG) を表示させて、見たい番組の情報が確認できます。[*1]

「放送局を選ぶには」（P249）の操作をした後に・・・

1 コマンドホイールを回す
テレビの操作画面が表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒して
番組表 を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを下に倒して、
番組を選んで 実行 を押す

番組の詳細情報が表示されます。

複数の音声を切り換えるには

複数の音声がある番組で主音声、副音声を切り換えることができます。
(主音声 + 副音声に切り換えることはできません。)

「放送局を選ぶには」（P249）の操作をした後に・・・

複数音声の番組放送中・・・

1 コマンドホイールを回す
テレビの操作画面が表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒して
音声切換 を選んで 実行 を押す [*2]

音声が次のように切り換わります。

▼

主音声 1 ／副音声 1 ／主音声 2 ／副音声 2

ポイント

[*1] ・番組表から直接番組を選ぶことはできません。

[*2] ・二ヶ国語放送ではない番組や複数の音声がない番組では、[音声切換] を選ぶことはできません。

二ヶ国語放送とは !?

ひとつのチャンネルで同時に「主音声」と「副音声」に分けた 2 種類の言語を放送しているものを言います。
例）主音声＝日本語、副音声＝英語

表示サイズを切り換えるには

映像の表示サイズを「中」→「拡大」の２段階に切り換えることができます。

「放送局を選ぶには」（P249）の操作をした後に・・・

1 コマンドホイールを回す
テレビの操作画面が表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒して **表示サイズ切換** を選んで 実行 を押す

▼

表示サイズが切り換わります。

3 再度、ジョイスティックを下に倒して **表示サイズ切換** を選んで 実行 を押す

▼

元のサイズに戻ります。

マルチサービス放送を切り換えるには

ひとつのチャンネルで同時に２～３つの番組を放送しているマルチ編成サービスの番組を切り換えることができます。 *1

「放送局を選ぶには」（P249）の操作をした後に・・・

マルチサービス放送中・・・

マルチサービス放送中のマーク

1 コマンドホイールを回す
テレビの操作画面が表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒して **サービス切換** を選んで 実行 を押す

▼

マルチサービスの番組に切り換わります。
元の番組に戻すときは同じ操作を行います。

ポイント

*1 ・マルチサービス放送中（ マーク表示中）でなければ、［サービス切換］を選ぶことはできません。

マルチサービスとは !?

１つのチャンネルで複数の番組を放送できるサービスです。

初期スキャンをやり直すには

初期スキャンをやり直し、プリセットスイッチの放送局を記憶し直します。受信する地域が長期的に変わったときに行うと便利です。

「放送局を選ぶには」（P249）の操作をした後に・・・

1 コマンドホイールを回す
テレビの操作画面が表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒して 初期スキャン を選んで 実行 を押す

▼

初期スキャン完了後、現在地周辺の地域で受信できる放送局を自動的にプリセットスイッチに記憶します。 ＊1 ◆1

ポイント

＊1 ・TV1、TV2 それぞれ 6 局まで“3 桁チャンネル番号”の数字の少ない順で、記憶します。

アドバイス

◆1 ・記憶できなかったプリセットスイッチには“0”を表示します。

DVD ビデオを再生する 簡単操作 標準操作

DVD ビデオの見かたについて説明します。 *1

お願い

- DVD ビデオは安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけがきこえます。
- DVD ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

DVD ビデオを見るには

1 DVD ビデオが未挿入のとき・・・

AUDIO 表示 → DVD ビデオを入れる

DVD ビデオを挿入しているとき・・・

AUDIO 表示 → DISC/HDD を押す

▼

再生が始まります。

DVD ビデオの操作画面を表示する

DVD ビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 再生中にコマンドホイールを回す

▼

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 コマンドホイールを回して項目を選んで 実行 を押す

ポイント

*1
- ディスクによっては、ディスクに書き込まれたメニュー画面を表示するものがあります。ディスクメニューが表示された場合は、ジョイスティックを上下左右に倒して項目を選び、[実行] ボタンを押してください。
- DVD ビデオによってはディスクメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。
  また、DVD ビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップ等の操作ができない場合があります。
  そのようなときは、🚫 マークを表示します。
- DVD ビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアから DVD ビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。
- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- 両面仕様の DVD ビデオディスクの場合は、A/B 面をよくお確かめのうえディスクを挿入してください。

DVD ビデオの操作画面（DVD VIDEO 再生中）の見かた

再生中、コマンドホイールを回したときに表示する操作画面について説明します。

① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル No、チャプター No、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

▶	再生中
⏸	一時停止中
▶▶	早送り中
◀◀	早戻し中

② 停止

再生を停止し、黒画面に切り換わります。停止中は操作画面が変わります。

→「DVD ビデオの操作画面（停止中）の見かた」（P259）

③ メニュー

DVD ビデオ側で書き込まれているチャプターメニューを表示します。

④ トップメニュー

DVD ビデオ側で書き込まれているトップメニューを表示します。

⑤ 再生／一時停止

一時停止の状態を解除して通常の再生に戻ります。または、通常再生時に選択すると映像が表示された状態で停止します。

⑥ 音声／字幕

ジョイスティックを上下に倒して音声または字幕を選択します。

コマンドホイールを回して音声の言語を切り換えることができます。コマンドホイールを回して字幕の言語を切り換えることができます。

⑦ サーチ

ジョイスティックを上下に倒してタイトルまたはチャプターを選択します。

コマンドホイールを回してタイトル番号を切り換えます。コマンドホイールを回してチャプター番号を切り換えます。

→「タイトルやチャプターを選ぶとき」(P263)

⑧ サブメニュー

ジョイスティックを下に倒すとサブメニュー（*次ページ参照*）を表示します。

DVD ビデオの操作画面（DVD VIDEO サブメニュー）の見かた

DVD ビデオの操作画面表示中に、ジョイスティックを下に倒したときに表示する操作画面について説明します。

① **音質調整**

4 つの基本的な種類の音質（BASS、TREBLE、FADER、BALANCE）および車速連動音量を調節します。

→「音質を調節するには」(P446)

② **REPEAT**

選択するたびに CHAPTER-REPEAT → TITLE-REPEAT → OFF の順で切り換わります。

③ **数字入力**

DVD ビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選べます。

→「数字入力でメニューを選ぶとき」(P263)

④ **アングル**

マルチアングルに対応していれば、コマンドホイールを回して場面や視点を変えた映像に切り換えます。

⑤ **ワイド切換**

ビデオのワイド画面をノーマル、ワイド、フル、ズームの 4 画面に切り換えます。

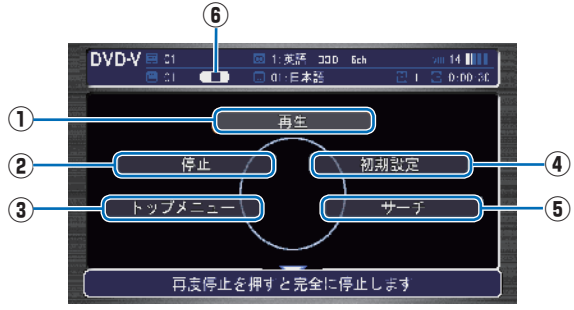
⑥ **スケジュール設定**

スケジュールを新規作成して、設定した日時にオーディオを視聴、再生します。

→「スケジュールを管理する」(P404)

DVD ビデオの操作画面 (DVD VIDEO 停止中) の見かた

停止中、コマンドホイールを回したときに表示する操作画面について説明します。



① 再生

状態アイコン ▶ が点滅状態であれば、続き再生します。
状態アイコンが ■ であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

② 停止

再生中から停止にしたとき（状態アイコン ▶ が点滅状態）は続き再生 (レジューム再生) します。
再度 [停止] を選択すると状態アイコンが ■ になり続き再生ができなくなります。

③ トップメニュー

DVD ビデオ側で書き込まれているトップメニューを表示します。

④ 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行います。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。
→「DVD ビデオの初期設定を変更するには」(P447)

⑤ サーチ

タイトルを選択します。(チャプターは再生時のメニューでのみできます。)
「タイトルやチャプターを選ぶとき」(P263) と同様の操作となります。

⑥ 状態アイコン

▶ (点滅)	停止中 (続き再生可能)
■	停止中 (続き再生不可)

DVD ビデオの操作画面（DVD-VR 再生中）の見かた

再生中、コマンドホイールを回したときに表示する操作画面について説明します。

① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル No、チャプター No、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

▶	再生中
⏸	一時停止中
▶▶	早送り中
◀◀	早戻し中

② 停止

再生を停止し、黒画面に切り換えます。停止中は操作画面が変わります。

→「DVD ビデオの操作画面（DVD-VR 停止中）の見かた」（P262）

③ コマ送り

選択するたびに映像が 1 コマずつ送られます。

④ タイトルリスト表示

プレイリストを表示します。

⑤ 再生順切換

プレイリストの再生順序を切り換えます。

⑥ 再生／一時停止

一時停止の状態を解除して通常の再生に戻ります。または、通常再生時に選択すると映像が表示された状態で停止します。

⑦ 音声／字幕

ジョイスティックを上下に倒して音声または字幕を選択します。

コマンドホイールを回して音声の言語を切り換えることができます。コマンドホイールを回して字幕の言語を切り換えることができます。

⑧ サーチ

ジョイスティックを上下に倒してタイトルまたはチャプターを選択します。

コマンドホイールを回してタイトル番号を切り換えます。コマンドホイールを回してチャプター番号を切り換えます。

→「タイトルやチャプターを選ぶとき」(P263)

⑨ サブメニュー

ジョイスティックを下に倒すとサブメニュー（次ページ参照）を表示します。

DVD ビデオの操作画面（DVD-VR サブメニュー）の見かた

DVD-VR の操作画面表示中に、ジョイスティックを下に倒したときに表示する操作画面について説明します。

① **音質調整**

4 つの基本的な種類の音質（BASS、TREBLE、FADER、BALANCE）および車速連動音量を調節します。

→「音質を調節するには」(P446)

② **REPEAT**

選択するたびに CHAPTER-REPEAT → TITLE-REPEAT → OFF の順で切り換わります。

③ **主副切換**

コマンドホイールを回して、主音声／副音声／主＋副音声を切り換えます。

④ **ワイド切換**

ビデオのワイド画面をノーマル、ワイド、フル、ズームの 4 画面に切り換えます。

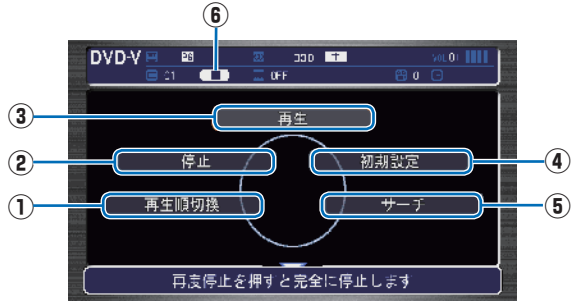
⑤ **スケジュール設定**

スケジュールを新規作成して、設定した日時にオーディオを視聴、再生します。

→「スケジュールを管理する」(P404)

DVD ビデオの操作画面 (DVD-VR 停止中) の見かた

停止中、コマンドホイールを回したときに表示する操作画面について説明します。



① **再生順切換**
プレイリストの再生順序を切り換えます。

② **停止**
再生中から停止にしたとき（状態アイコン が点滅状態）は続き再生 (レジューム再生) します。
再度 [停止] を選択すると状態アイコンが になり続き再生ができなくなります。

③ **再生**
状態アイコン が点滅状態であれば、続き再生します。
状態アイコンが であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

④ **初期設定**
音声言語や字幕言語などの初期設定を行います。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。
→「DVD ビデオの初期設定を変更するには」(P447)

⑤ **サーチ**
タイトルを選択します。(チャプターは再生時のメニューでのみできます。)
「タイトルやチャプターを選ぶとき」(P263) と同様の操作となります。

⑥ **状態アイコン**

(点滅)	停止中 (続き再生可能)
	停止中 (続き再生不可)

タイトルやチャプターを選ぶとき

「DVD ビデオを見るには」（P256）の操作をした後に・・・

1 コマンドホイールを回す

2 **サーチ** を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを下に倒して **タイトル** または **チャプター** を選んでコマンドホイールを回して**タイトル番号**または**チャプター番号**を切り換える

コマンドホイールを回すと、タイトルやチャプターの番号が切り換わります。

4 実行 を押す

▼

選んだタイトルまたはチャプターから再生します。

数字入力でメニューを選ぶとき

DVD ビデオのメニューを数字入力で選びます。*1

「DVD ビデオを見るには」（P256）の操作をした後に・・・

1 コマンドホイールを回す

2 ジョイスティックを下に倒して **数字入力** を選んで 実行 を押す

3 **メニューの番号**を入力する

4 **決定** を選んで 実行 を押す

▼

指定したメニューを実行します。

ポイント

*1 ・DVD-VR 再生中は、この機能を使えません。

ビデオのワイド画面を切り換える

ビデオのワイド画面を切り換えることができます。

「DVD ビデオを見るには」（P256）の操作をした後に・・・

1 コマンドホイールを回す

2 ジョイスティックを下に倒して **ワイド切換** を選んで 実行 を押す

3 **切り換える画面の種類**を選んで 実行 を押す

選べる表示サイズは、次のとおりです。

	ノーマル	映像が 4:3 の比率で表示され、両端に黒い帯が付きます。元の映像が 16:9 の比率の場合は、4:3 の比率に収縮して表示されます。
	ワイド	元の映像が 4:3 の標準サイズの場合、中心部はそのままで両端が横方向に引き伸ばされた映像が表示されます。 元の映像が 16:9 の比率の場合は、中心部が中心方向に圧縮され、両端を横方向に引き伸ばした映像が表示されます。
	フル	映像が画面全体に表示されます。
	ズーム	映像が上下方向に引き伸ばして表示されます。 4:3 または 16:9 の比率の映像は、上下を切って表示されます。

▼

画面の表示方法が切り換わります。

視聴制限のある DVD ビデオを再生したとき ＊1

視聴制限の設定 *(P449)* で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のある DVD ビデオを再生すると、視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。また、DVD ビデオディスクによっては、視聴制限のあるシーンにさしかかるとパスワードを入力する画面を表示する場合があります。ここでは、パスワードを入力する画面が表示された場合の説明をします。

視聴制限のあるシーンにさしかかり、パスワードを入力する画面が表示されたら・・・

1 **戻る** を押す ＊2

▼

視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。

ポイント

＊1 ・ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、いったんディスクを取り出して、視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

＊2 ・ディスクによっては、[戻る] ボタンを押しても継続して再生することができない場合があります。

・パスワードを入力する画面で、*「DVD ビデオの視聴制限のレベルを変更するには」(P449)* で設定したパスワードを入力すると視聴制限のあるシーンを飛ばすことなく再生することができます。

ビデオに切り換える 簡単操作 標準操作

AV 入力端子に接続したビデオ機器での見かたについて説明します。

お願い

- ビデオは安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけがきこえます。
- ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- ビデオ機器を接続する場合は、別売の VTR コードが必要になります。ビデオ機器のご使用については、Honda 販売店にご相談ください。
- AV 入力端子の音声入力は、ステレオ方式です。

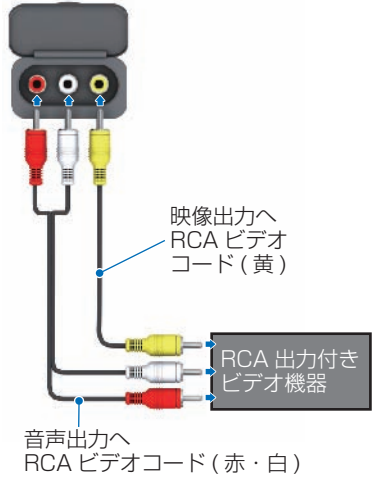
ビデオ機器の接続について

お手持ちのビデオ機器を接続します。 *1

1 **AV 入力端子のカバー**を開ける

AV 入力端子の位置については、車両本体の取扱説明書をご覧ください。

2 **ビデオ機器のジャック**を、AV 入力端子の同色の端子に差し込む



ビデオの見かた

接続したビデオ機器の出力する映像を見ることができます。

1 TV/AUX を押す

▼

ビデオ機器の映像に切り換わります。 *2

ポイント

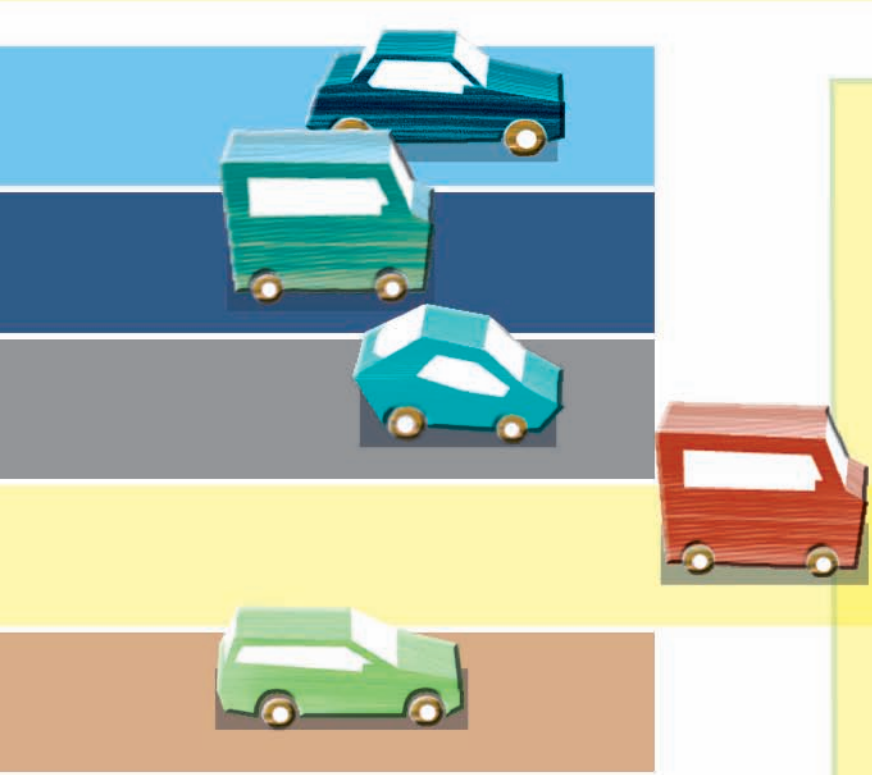
*1 ・ビデオ機器の映像出力は必ず NTSC に切り換えてからお使いください。

*2 ・[TV/AUX] ボタンを押すごとに USB メモリー、iPod や外部接続された機器に切り換わります。左上に「ビデオ」と表示された画面が表示されるまで、[TV/AUX] ボタンを数回押します。

・ビデオの操作は、ビデオ機器本体で行います。
ビデオ映像画面で、コマンドホイールを回すと、操作できる項目が表示されます。
→「ビデオのワイド画面を切り換える」(P264)
→「音質を調節するには」(P446)
→「スケジュールを管理する」(P404)

HDD サウンドコンテナ

音楽 CD を Honda インターナビシステムの
ハードディスク (HDD) に録音して、再生する機能です。

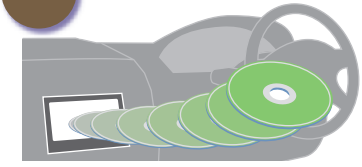


HDD サウンドコンテナとは 268
プレイリストについて 269
録音する 270
HDD サウンドコンテナできく 272
曲を探す 276
新しくプレイリストを作る 280
プレイリストの情報を編集する 282
プレイリスト、トラックを消去する 287
タイトル情報を取得する 289
HDD サウンドコンテナの空き容量を見る 294

HDD サウンドコンテナとは

HDD に録音

P270



CD を録音します。
ハードディスクを搭載しており、お気に入りの CD を録音できます。

曲を検索

P276

検索機能も充実。
録音した曲名やアーティスト名などを利用して曲がすぐに見つかります。

お気に入りの曲を集める

P280

お気に入りの曲がその場で簡単登録。
好みの曲が再生されれば、その場で簡単に登録できます。

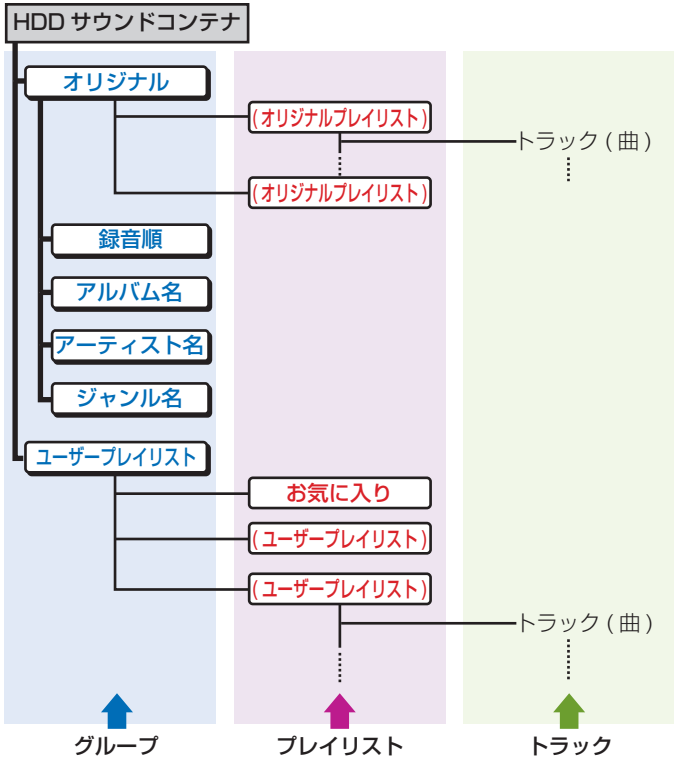
操作の流れ

音楽 CD を挿入して録音する
↓
曲やアルバムを探す
↓
きく *(P272)*

プレイリストについて

グループ、プレイリストの役割・関係について説明します。

HDD サウンドコンテナの階層イメージ



オリジナルプレイリストとは

CD から録音した曲が収録されている場所です。

ユーザープレイリストとは

お客様ご自身がオリジナルプレイリストの曲を利用して、お好みの曲や再生順を登録した場所です。

プレイリストとは

オリジナルプレイリストとユーザープレイリストを含めた総称で、複数の曲を収録することができる場所です。

グループとは

複数のプレイリストを収録することができる場所です。

グループの種類

オリジナル	オリジナルプレイリストのみが収録される場所。グループの名称変更や削除はできません。
ユーザープレイリスト	お客様が作成したユーザープレイリストを収録する場所。

録音する 簡単操作 標準操作

録音方法について説明します。 ※1

録音するとき

CD を挿入すると、自動的に HDD サウンドコンテナへの録音が始まります。

1 CD を入れる

▼

録音中の表示 (赤色)

CD の録音が始まります。 ◆1

▼

すべての曲の録音が終了すると REC 00% が消えます。

録音を停止するとき

CD の操作画面で・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **録音停止** を選び 実行 を押す

▼

録音が停止します。

録音を再開するとき

CD の操作画面で・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **録音開始** を選び 実行 を押す

▼

録音を再開します。

ポイント

※1
- 音楽 CD から HDD サウンドコンテナへの録音は約 4 倍速で行われます。
- 録音中の状態でも、録音済みの曲は再生することができます。
- お客様の録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音した曲は、原音とは音質が異なったり、ノイズが発生する可能性があります。
- 著作権保護のため、法人登録車では HDD サウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。

アドバイス

◆1
- 録音されていない曲は、録音待機状態を示す R になります。
- HDD サウンドコンテナへの録音は自動録音になります。手動録音は、録音をいったん中止してから再開する機能のみです。

CD 録音の制限について

- 録音中の曲は CD の音声（原音）できくことができません。（録音中は、オーディオ画面が CD になっていても録音済みの HDD サウンドコンテナの音声で再生されています。）
- HDD サウンドコンテナで録音中の曲をきくことができますが、録音開始直後は再生までに若干時間がかかります。
- 録音中は早送り / 早戻しはできません。
- 録音中はリピート再生、ランダム再生、スキャン再生はできません。
- CD 以外の音源が選択されても、HDD サウンドコンテナは CD の録音を継続します。
- 録音中は Honda インターナビシステムの操作に時間がかかることがあります。
- 音飛びしてエラーが検出された場合は、その曲の始めに戻り録音を再開します。
- HDD サウンドコンテナの録音可能時間（ハードディスク容量）が CD の演奏時間より短い場合は、録音できません。（録音機能は働きません。）
- 地図画面のときは、左の中段に録音中の マークが表示されます。
- DVD ビデオやテレビなど、音楽 CD 以外の音声は録音できません。
- 本オーディオシステムは音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- 音楽 CD などをデジタル録音（MP3/WMA/AAC など）した記録媒体（CD-R/RW）から、HDD サウンドコンテナに録音（コピー）することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）の働きによるものです。
- HDD サウンドコンテナに録音した曲を別のメディア（CD-R/RW、ハードディスクなど）に複製することはできません。
- 「録音が完了しました。」のメッセージが表示されたあと、または R が消えたあと、約 10 秒間は最後に録音していた曲を処理／保存しています。そのため、すぐにエンジンスイッチを“0”にすると、最後の曲が録音されません。エンジンスイッチを“0”にするときは、しばらく待ってから行ってください。
- すでに録音済みの曲は、同じ CD から重複して録音できません。
- エンジンスイッチを“0”にすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンスイッチを“I”または“II”にすると、エンジンスイッチを“0”にしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。
- 録音中に CD を取り出すと、録音中だった曲は消去されます。
- 選曲すると、録音中の曲が消去され、次の未録音の曲から録音を開始します。
- 録音可能な音源は Honda インターナビシステム内蔵のディスクプレイヤーのみです。

HDD サウンドコンテナできく 簡単操作 標準操作

収録されている曲を再生します。

HDD サウンドコンテナできくには

1 AUDIO 表示 → DISC/HDD を押す

▼

自動的に再生が始まります。

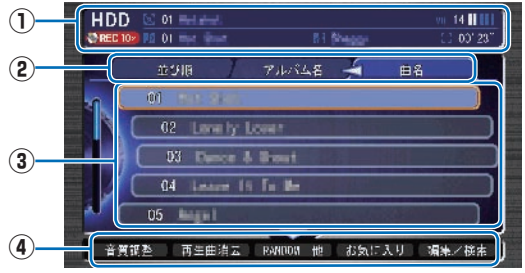
2 − FOLDER +、または ⏮ SKIP ⏭ を押して、**ききたい曲**を選ぶ

HDD サウンドコンテナの終了のしかた

1 ⏻ を押す

HDD サウンドコンテナの再生が停止します。

HDD サウンドコンテナの操作画面の見かた



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名および再生中のプレイリスト名、アーティスト名、曲名、曲の経過時間を表示します。

② グループ選択タグ

ジョイスティックを左右に倒しグループのタブを選んで、リストスイッチの表示を切り換えます。曲を探すことができます。

→「リスト画面から探すには」(P276)

③ リストスイッチ ※1

選択した曲の再生や各グループリストの表示を行います。オーディオ画面表示時は、コマンドホイールを回しても曲を選ぶことができます。

→「リスト画面から探すには」(P276)

④ サブメニュー

ジョイスティックを下に倒してサブメニュー(*次ページ参照*)を表示します。「音質調整」、「再生曲消去」、「SCAN」、「RANDOM」、「REPEAT」、「お気に入りに追加」、「編集／検索」、「スケジュール設定」が選べます。

− FOLDER +

前後のプレイリストの最初の曲を再生します。
＋：次のプレイリストの最初の曲を選ぶとき
－：前のプレイリストの最初の曲を選ぶとき

⏮ SKIP ⏭

曲を選ぶときに使います。
⏮：前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
⏭：次の曲を選ぶとき
早戻しする場合は、⏮を押し続けます。
早送りする場合は、⏭を押し続けます。

HDD サウンドコンテナのオーディオメニュー画面の見かた

① **音質調整**

4 つの基本的な種類の音質（BASS、TREBLE、FADER、BALANCE）および車速連動音量を調節します。

→「音質を調節するには」(P446)

② **再生曲消去**

現在再生中の曲を消去します。オリジナルデータは消去されません。オリジナルプレイリスト内の曲を再生中に選ぶと、再生中の曲のオリジナルデータが消去されます。

③ **SCAN**

曲の始め部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。(スキャン再生) 再生中のプレイリスト内にあるすべての曲か、再生中のグループ内にある全プレイリストの先頭曲かを選ぶことができます。

→「スキャン再生」(P275)

ききたい曲を探すときに便利です。

④ **RANDOM**

再生中のプレイリスト内にあるすべての曲もしくは、録音されたすべての曲を順不同にて再生します。(ランダム再生)

→「ランダム再生」(P275)

⑤ **REPEAT**

再生中の曲やプレイリスト内の曲を繰り返して再生します。(リピート再生)

→「リピート再生」(P274)

⑥ **お気に入りに追加**

再生中の曲を「お気に入り」プレイリストに登録します。→「プレイリストに曲を追加するには」(P285)

⑦ **編集／検索**

選択すると編集／検索メニュー(次ページ参照)を表示します。

「検索」、「編集」、「No Title リスト」、「新規プレイリスト作成」、「サウンドコンテナ容量」、「サウンドコンテナ全消去」が選べます。

⑧ **スケジュール設定**

スケジュールを新規作成して、設定した日時にオーディオを視聴、再生します。

ポイント

＊1 ・走行中はリストスイッチにタイトルは表示されません。

編集／検索メニュー画面の見かた

[サブメニュー] → [編集／検索] で表示する編集／検索メニューについて説明します。＊1

① **サウンドコンテナ全消去**

HDD サウンドコンテナ内のデータをすべて消去します。

→「HDD サウンドコンテナの曲をすべて消去する」(P288)

② **サウンドコンテナ容量**

HDD サウンドコンテナの空き容量を確認します。

→「HDD サウンドコンテナの空き容量を見る」(P294)

③ **編集**

プレイリストやトラックの再生順を変更したり、選択したプレイリストへトラックを追加します。

→「プレイリストの情報を編集する」(P282)

④ **検索**

さまざまな条件を指定して曲を探します。

→「検索機能を使うには」(P277)

⑤ **新規プレイリスト作成**

ユーザープレイリストを新しく作ります。

→「新しくプレイリストを作る」(P280)

⑥ **No Title リスト**

ここに登録されたプレイリストのタイトル情報を通信機能を使って取得します。

→「「No Title リスト」のタイトル情報を取得する」(P291)

ポイント

＊1 ・走行中は、編集／検索メニューのすべてのスイッチを選べません。

再生方法を変えるには

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。

リピート再生

再生中の曲、またはその曲を含むプレイリスト内のすべての曲を繰り返しきくことができます。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272) **の操作をした後に・・・**

1 ジョイスティックを下に倒して **REPEAT** を選んで 実行 を押す

2 再度 **REPEAT** を選んで 実行 を押す

選択するたびに、[REPEAT] → [PLAYLIST-REPEAT] → [OFF] と切り換わります。

[REPEAT]	再生中の曲を繰り返して再生します。
[PLAYLIST-REPEAT]	再生中のプレイリストを繰り返して再生します。
[OFF]（表示なし）	リピート再生を解除します。

▼

リピート再生中の表示

スキャン再生

再生中のプレイリスト内の曲、または再生中のグループ内にある全プレイリストの先頭曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつきくことができます。ききたい曲を探すときに便利です。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して SCAN を選んで 実行 を押す

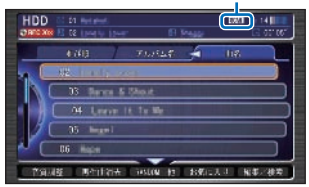
2 再度 SCAN を選んで 実行 を押す

[実行] ボタンを押すたびに、[SCAN] → [PLAYLIST-SCAN] → [OFF] と切り換わります。

[SCAN]	再生中のプレイリスト内にあるすべての曲を約 10 秒間ずつ再生します。
[PLAYLIST-SCAN]	再生中のグループ内にあるすべてのプレイリストの先頭曲を約 10 秒間ずつ再生します。
[OFF]（表示なし）	スキャン再生を解除します。

▼

スキャン再生中の表示



3 ききたい曲が再生されたら、実行 を押す

▼

選んだ曲を再生します。

スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除します。

ランダム再生

再生中のプレイリスト内の曲順、または [オリジナル] グループ内のプレイリストの順番とリスト内の曲順を変えて再生することができます。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して RANDOM を選んで 実行 を押す

2 再度 RANDOM を選んで 実行 を押す

[実行] ボタンを押すたびに、[PLAYLIST RANDOM] → [RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

[RANDOM]	再生中のグループ内にあるすべての曲を順不同で再生します。
[PLAYLIST-RANDOM]	再生中のリスト内にあるすべての曲を順不同で再生します。
[OFF]（表示なし）	ランダム再生を解除します。

▼

ランダム再生中の表示

曲を探す 簡単操作 標準操作

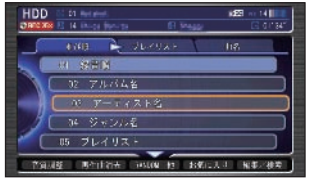
たくさんある曲の中からききたい曲を探します。

リスト画面から探すには

ききたい曲が収録されているグループやプレイリスト、曲を選んで再生することができます。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272)
の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを左に倒し、**ききたい曲が収録されているグループ**を選ぶ ＊1



2 ジョイスティックを右に倒し、**ききたい曲が収録されているプレイリスト**を選ぶ

3 **ききたい曲**を選んで 実行 を押す

▼

選んだ曲を再生します。

ポイント

＊1
- [録音順]、[アルバム名]、[アーティスト名]、[ジャンル名]、[ユーザープレイリスト] のいずれかを選ぶことができます。
- [録音順]、[アルバム名]、[アーティスト名]、[ジャンル名] を選ぶと、オリジナルプレイリストがそれぞれの条件で表示されます。
- [ユーザープレイリスト] を選ぶと、HDD サウンドコンテナで作成したユーザープレイリストが表示されます。→*「新しくプレイリストを作る」(P280)*

検索機能を使うには

HDD サウンドコンテナでは、大量に録音された曲を探すため、さまざまな条件を指定してできる検索機能があります。アーティスト名、アルバム名、トラック名から曲を探すことができます。名前の一部を入力して探すこともできます。

条件を選んで一覧から探す

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272)
の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **編集／検索** を選んで 実行 を押す

2 **検索** を選んで 実行 を押す

▼

検索メニューが表示されます。

3 **設定したい条件**を選んで 実行 を押す

アーティスト名で探す	指定したアーティスト名に該当するアーティストの曲を探します。
アルバム名で探す	指定したアルバム名に該当するアルバムの曲を探します。
トラック名で探す	指定したトラック名に該当する曲を探します。

4 **ききたい曲に該当する項目**を選んで 実行 を押す ◆1

5 **アルバムを開く** または **トラックを開く** を選んで 実行 を押す

6 必要があれば手順 4 ～ 5 を繰り返し、**ききたい曲**を選んで 実行 を押す

▼

検索結果のサブメニューが表示されます。

以降は*「曲を探したら」(→ P279)*を参照してください。

アドバイス

◆1 ・ジョイスティックを左右に倒してひらがなを選ぶと、選んだひらがなで始まる項目が表示されます。

関連する機能

文字入力のしかた.....P34

名前を入力して探す

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272)
の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **編集／検索** を選んで 実行 を押す

2 **検索** を選んで 実行 を押す

3 **設定したい条件**を選んで 実行 を押す

アーティスト名で探す	入力したアーティスト名に該当するアーティストの曲を探します。
アルバム名で探す	入力したアルバム名に該当するアルバムの曲を探します。
トラック名で探す	入力したトラック名に該当する曲を探します

4 ジョイスティックを下に倒して **キーボード入力** を選んで 実行 を押す

5 **アーティスト名**、または**アルバム名**、**トラック名**を入力して **検索** を選んで 実行 を押す

6 **聞きたい曲**がある項目を選んで 実行 を押す

▼

検索結果のサブメニューが表示されます。
以降は*「曲を探したら」(→ P279)* を参照してください。
検索した結果から、曲を再生または消去したり、お気に入りやプレイリストに追加することができます。

関連する機能

文字入力のしかた.....P34

曲を探したら

検索機能を使って探した項目を選ぶと、サブメニューが表示されます。サブメニューから以下の項目を選択できます。サブメニューに表示される項目は設定したい条件により異なります。

「アーティスト名で探す」で検索した場合

項目	内容
再生開始	選んだアーティストの最初に録音した曲が再生されます。
消去	選択したアルバムを消去できます。
お気に入りに追加	お気に入りに追加できます。
プレイリストに追加	プレイリストを選んで追加できます。プレイリストが作成されていない場合は、プレイリストを新規作成する画面が表示されます。プレイリストのタイトルを入力し、［完了］を選んで［実行］ボタンを押します。
アルバムを開く	アーティストのアルバムリストが表示されます。
トラックを開く	アーティストのトラックリストが表示されます。

「アルバム名で探す」で検索した場合

項目	内容
再生開始	選んだアルバムの最初に録音した曲が再生されます。
消去	アルバムのすべてのトラックを消去できます。
お気に入りに追加	お気に入りに追加できます。
プレイリストに追加	プレイリストを選んで追加できます。プレイリストが作成されていない場合は、プレイリストを新規作成する画面が表示されます。プレイリストのタイトルを入力し、［完了］を選んで［実行］ボタンを押します。
トラックを開く	アルバムが含まれるトラックリストが表示されます。

「トラック名で探す」で検索した場合

項目	内容
再生開始	選んだトラックが再生されます。
消去	選択したトラックを消去できます。
お気に入りに追加	お気に入りに追加できます。
プレイリストに追加	プレイリストを選んで追加できます。プレイリストが作成されていない場合は、プレイリストを新規作成する画面が表示されます。プレイリストのタイトルを入力し、［完了］を選んで［実行］ボタンを押します。

新しくプレイリストを作る 簡単操作 標準操作

新しくユーザープレイリストを作り、曲を登録することができます。 ※1

曲を選んでプレイリストを作成する

リストから曲を選んで、プレイリストを新規作成することができます。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272) の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **編集／検索** を選んで 実行 を押す

2 **新規プレイリスト作成** を選んで 実行 を押す

3 **リストから選択する** を選んで 実行 を押す

4 リストから**曲**を選んで 実行 を押す

選んだ曲の色が変わります。

5 手順 4 を繰り返し、**新規プレイリストに登録する曲**を選択する

6 ジョイスティックを下に倒して、**決定** を選んで 実行 を押す

7 **プレイリストのタイトル**を入力する

8 **完了** を選んで 実行 を押す

▼

プレイリストが作成され、再生中の曲のトラックリスト画面が表示されます。

ポイント

※1
- ユーザープレイリストは、99 個まで作成できます。
- 1 つのプレイリストには、99 曲まで登録できます。

関連する機能

文字入力のしかた.....P34

曲を探してプレイリストを作成する

条件を指定して曲を探し、プレイリストを新規作成することができます。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272)

の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **編集／検索** を選んで 実行 を押す

2 **新規プレイリスト作成** を選んで 実行 を押す

3 **条件を指定して探す** を選んで 実行 を押す

4 **条件項目**を選んで 実行 を押し、条件を設定する

録音した時期	期限なし、1 週間以内、1 ヶ月以内、半年以内、半年以上前、1 年以内、1 年以上前、3 年以内、3 年以上前
ジャンル	制限なし、ジャンル
アルバム名	制限なし、キーボード入力※1、リストから選択する※2
トラック名	制限なし、キーボード入力※1、リストから選択する※2
アーティスト名	制限なし、キーボード入力※1、リストから選択する※2
再生回数	制限なし、0 回、1 ～ 5 回、6 回以上
再生した時期	制限なし、1 週間以内、1 ヶ月以内、半年以内、半年以上前、1 年以内、1 年以上前、3 年以内、3 年以上前

※ 1：条件となる名前を直接入力することができます。入力後は［完了］を選び［実行］ボタンを押します。

※ 2：リストから選択することができます。

5 ジョイスティックを下に倒して、**検索開始** を選んで 実行 を押す

6 **プレイリストに追加する曲**を選んで、実行 を押す ※1

選択すると色が変わります

7 ジョイスティックを下に倒して、**決定** を選んで 実行 を押す ※2

8 プレイリストのタイトルを入力する

9 **完了** を選んで 実行 を押す

▼

プレイリストが作成され、再生中の曲のトラックリスト画面が表示されます。

ポイント

※1
- 検索件数が 400 件を超える場合は、録音順で 400 件の検索結果が表示されます。
- 検索結果が 99 件以下の場合、すべての検索結果が選択されている状態で表示されます。検索結果が 100 件以上ある場合、上位 99 件が選択された状態で表示されます。

※2
- ［全解除］を選んで［実行］ボタンを押すと、すべての曲の選択が解除されます。
- ［全選択］を選んで［実行］ボタンを押すと、すべての曲が選択された状態になります。

関連する機能

文字入力のしかた.....P34

プレイリストの情報を編集する 簡単操作 標準操作

プレイリストやトラックの詳細情報を表示して、編集することができます。

詳細情報を表示する

登録されているプレイリストまたはトラックの情報を編集します。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272)

の操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **編集／検索** を選んで 実行 を押す

2 **編集** を選んで 実行 を押す

3 **05 プレイリスト** を選んで 実行 を押す ＊1

4 **編集したいプレイリスト**または**トラック**を選んで 実行 を押す ＊2

5 **タイトル編集** を選んで 実行 を押す

▼

編集画面を表示します。

プレイリスト編集画面

トラック編集画面

ポイント

＊1 ・プレイリストの情報の編集は、［05 プレイリスト］の他に、以下の項目が選べます。
01 録音順
02 アルバム名
03 アーティスト名

＊2 ・「お気に入り」、「ジャンル」プレイリストを編集することはできません。

タイトルや読みを変更するには

タイトルは表示や検索に、読みは音声操作で曲を選ぶときに使用します。ここで変更したタイトルは音源となったCDのタイトル表示に反映されます。

「詳細情報を表示する」（P282）の操作をした後に・・・

1 **タイトル** または **タイトル読み** を選んで 実行 を押す

2 **タイトル**または**読み**を入力する

3 **完了** を選んで 実行 を押す

▼

タイトルまたは読みの変更が完了します。 *1

アーティスト名を変更するには

「詳細情報を表示する」（P282）の操作をした後に・・・

1 **アーティスト**、**トラックアーティスト**、または **アーティスト読み** を選んで 実行 を押す *1

[アーティスト読み] を選んだ場合は、手順３へ進んでください。

2 ジョイスティックを下に倒して **キーボード入力** を選んで 実行 を押す *2

3 **アーティスト名**または**読み**を入力する

4 **完了** を選んで 実行 を押す

▼

アーティスト名、トラックアーティスト名またはアーティスト読みの変更が完了します。 *3

ポイント

*1 ・アーティスト名が設定されていないときは、［アーティスト読み］を編集することはできません。
・トラック編集画面では、［アーティスト読み］は表示されません。

*2 ・すでに登録されているアーティスト名からアーティストを選ぶときは、リストからアーティスト名を選んで［実行］ボタンを押します。

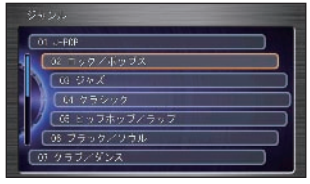
*3 ・タイトル名、アーティスト名を変更した場合でも、タイトル情報を取得すると元に戻すことができます。
→*「タイトル情報を取得するには」（P290）*

ジャンルを変更するには

「詳細情報を表示する」（P282）の操作をした後に・・・

1 ジャンル を選んで 実行 を押す ＊1

2 **変えたいジャンル**を選んで 実行 を押す



▼

ジャンルの変更が完了します。 ＊2

ポイント

＊1 ・トラック編集画面では、［ジャンル］は表示されません。

＊2 ・タイトル名を変更した場合でも、タイトル情報を取得すると元に戻すことができます。

プレイリストに曲を追加するには

お気に入り、ユーザープレイリストに曲を追加できます。※1

再生中の曲をお気に入りに追加する

再生中の曲をお気に入りに追加することができます。よくきく曲を［お気に入り］に登録しておくと、プレイリストを作成しなくてもすぐに曲をきくことができます。
お気に入りは、［ユーザープレイリスト］の一番上に表示されます。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272) の操作をした後に・・・

1 お気に入りに追加したい曲が再生されたときに、ジョイスティックを下に倒して お気に入りに追加 を選んで 実行 を押す

2 追加する を選んで 実行 を押す

▼

再生中の曲がお気に入りに追加され、再生中の曲のトラックリスト画面が表示されます。

検索した曲をプレイリストに追加する

検索した曲をプレイリストに追加することができます。※1

「検索機能を使うには」（P277）の操作をした後に・・・

1 トラックを選んで 実行 を押す

2 プレイリストに追加 を選んで 実行 を押す

3 **追加先のプレイリスト**を選んで 実行 を押す ※2

▼

選んだ曲がプレイリストに追加され、再生中の曲があるトラックリスト画面が表示されます。

ポイント

※1
- オリジナルプレイリストには曲を追加できません。
- 1 つのプレイリストに登録できる曲は 99 件までです。

※2
- ユーザープレイリストが作成されていない場合は、新規プレイリスト作成画面が表示されます。プレイリストのタイトルを入力し、[完了] を選んで［実行］ボタンを押します。
- [お気に入り] の再生順序を変更することはできません。
- オリジナルプレイリストの再生順番は変更できません

プレイリストの再生順番を変更するには ※1

「詳細情報を表示する」（P282）の手順２までの操作をした後に・・・

1 **再生順番を変更したいプレイリスト**を選んで 実行 を押す

2 移動 を選んで 実行 を押す

3 **挿入したい位置**を選んで 実行 を押す

▼

選んだ位置にプレイリストが移動します。

曲の再生順番を変更するには

ユーザープレイリスト内、またはお気に入り内の曲の再生順番を変更することができます。※2

「詳細情報を表示する」（P282）の手順２までの操作をした後に・・・

1 **再生順番を変更したい曲のユーザープレイリスト**を選んでジョイスティックを右へ倒す

2 **順番を変更したい曲**を選んで 実行 を押す

3 サブメニューから 移動 を選んで 実行 を押す

選んだ曲は色を変えて表示します。

4 他のプレイリストへ移動する場合は、ジョイスティックを左へ倒して、**移動先のプレイリスト**を選んで 実行 を押す

5 **移動したい位置**を選んで 実行 を押す

▼

選んだ位置に曲が移動します。

ポイント

※1 ・オリジナルプレイリストを再生する順番は変更できません。

※2 ・オリジナルプレイリストでは曲を再生する順番を変更できません。

プレイリスト、トラックを消去する 簡単操作 標準操作 ＊1

プレイリストを消去する

プレイリストを選んで消去することができます。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272)
の操作をした後に・・・

1. ジョイスティックを下に倒し、**編集／検索** を選んで 実行 を押す
2. **編集** を選んで 実行 を押す
3. **消したいプレイリスト**を選んで 実行 を押す
   トラックリストが表示されている場合は、ジョイスティックを左に倒してプレイリストを表示させてください。
4. **消去** を選んで 実行 を押す
5. 実行 を押す

▼

プレイリストが消去されます。
[お気に入り]、ジャンルプレイリストは消去することはできません。

曲を選んで消去する

トラックリストから曲を選んで消去することができます。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272)
の操作をした後に・・・

1. ジョイスティックを下に倒し、**編集／検索** を選んで 実行 を押す
2. **編集** を選んで 実行 を押す
3. ジョイスティックを右に倒し **曲名** を選んで**消したい曲**を選んで 実行 を押す
4. **消去** を選んで 実行 を押す
5. 実行 を押す

▼

曲が消去されます。

お願い

消去には時間がかかることがあります。消去が完了するまでエンジンスイッチを“0”にしないでください。故障の原因となることがあります。

ポイント

＊1
- HDD サウンドコンテナの録音した曲を一括で消去することができます。
  →「HDD サウンドコンテナの曲をすべて消去する」(P288)
- トラックを消去するとき、プレイリストの種類によって、消去される内容が異なります。

オリジナルプレイリスト内のトラック	録音した曲を消去します。同時に登録されているユーザープレイリスト内の曲も消去します。
ユーザープレイリスト内のトラック	曲の登録を解除します。オリジナルプレイリスト内にある登録元の曲 (録音した曲) は、そのまま残され消えません。「お気に入り」内のトラックも同様です。

再生中の曲を消去する

再生中の曲を消去することができます。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272) **の操作をした後に・・・**

1 消したい曲を再生中にジョイスティックを下に倒し、**再生曲消去** を選んで 実行 を押す

2 実行 を押す

▼

再生中の曲が消去され、消去した曲の次の曲が再生されます。プレイリストに次の曲がない場合は、次のプレイリストの先頭曲が再生されます。
再生中の曲のトラックリスト画面が表示されます。

HDD サウンドコンテナの曲をすべて消去する

録音した曲をすべて消去することができます。 ※1

お願い

- 車を譲渡するときなどは、著作権法上すべての曲を消去してください。
- 消去には時間がかかることがあります。消去が完了するまでエンジンスイッチを“0”にしないでください。故障の原因となることがあります。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272) **の操作をした後に・・・**

1 サウンドコンテナの画面で、ジョイスティックを下に倒し、**編集／検索** を選んで 実行 を押す

2 **サウンドコンテナ全消去** を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

4 実行 を押す

▼

サウンドコンテナのデータがすべて消去され、ナビゲーション本体が再起動されます。

ポイント

※1 ・一度全消去すると、元に戻せません。

タイトル情報を取得する 簡単操作 標準操作

Gracenote データベースを利用してタイトル情報を取得します。 ※1

取得できる情報について

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルの読み
- アルバムのアーティスト
- アルバムのアーティストの読み
- トラックタイトル
- トラックタイトルの読み
- トラックのアーティスト
- ジャンル

Gracenote データベースについて

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

- 本体内蔵の Gracenote データベース、インターネットの Gracenote データベースともに、データの内容を 100%保証するものではありません。
- インターネットの Gracenote データベースはメンテナンス等により予告なく停止することがあります。

会社概要および著作権、使用許諾について詳しくは*「Gracenote サービスについて」(P521)* を参照してください。

ポイント

※1
- CD または曲によっては取得できない情報もあります。
- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは通信で探すことができます。→*「タイトル情報を取得するには」(P290)*
- オリジナルプレイリスト以外は、タイトル情報は取得できません。
- USB メモリー内の音楽データのタイトル情報は取得できません。

タイトル情報を取得するには

通常、音楽 CD を本機に挿入すると、自動的に内蔵のハードディスクからタイトル情報の取得を行います。取得したタイトル情報が別のものだった場合やタイトル情報が取得できなかった場合は、通信機能を使ってタイトル情報を取得することができます。[※1]

音楽 CD 録音後、タイトル情報を取得するには、HDD サウンドコンテナから操作する必要があります。

操作のながれ

まず内蔵ハードディスクのデータベースからタイトル情報を取得します。取得できなかった場合も、続いて通信で取得することができます。

「詳細情報を表示する」(P282) の操作をした後に・・・

1 プレイリストまたはトラックの編集画面でジョイスティックを下に倒して 実行 を押す

2 登録したいタイトルを選んで 実行 を押す

(アルバム名)	内蔵のハードディスクに収録されているデータベースから情報を取得できた場合に表示します。
該当タイトルなし	タイトルは登録されません。プレイリスト編集画面またはトラック編集画面から、好みのタイトルを入力してください。→*「タイトルや読みを変更するには」(P283)*
通信で取得 通信	携帯電話を使って、インターネットの Gracenote データベースから情報を取得します。
No Title リストに登録する 通信	No Title リストに登録され、後で通信機能を使って、まとめてタイトル情報を取得することができます。→*「「No Title リスト」のタイトル情報を取得する」(P291)*
USB メモリーから取得	USB メモリーに保存されている情報からタイトル情報を取得できた場合に表示します。
USB メモリーへ保存	タイトル情報を取得できなかったプレイリストの情報を No Title リストと USB メモリー（No Title リストへ保存済みの場合は、USB メモリーのみ）へ保存できます。

▼

選んだタイトルの登録が完了します。

ポイント

[※1]
- 音楽 CD を挿入したときに内蔵のデータベースからタイトル情報が取得できなかった場合は、タイトルは「No Title」アーティストは「No Name」と表示します。
- CD-TEXT 情報がある CD では、CD-TEXT データ内のタイトル情報が内蔵のハードディスクのタイトル情報よりも優先的に採用されます。
- 通信機能を使ってタイトル情報を取得するには、事前に準備が必要です。詳しくは「インターナビの通信サービスを使う」の*「通信機能を使えるようにする」(P166)* を参照してください。
- 通信で情報を取得する場合、通信の状態および検索サーバーの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。
- ユーザープレイリストおよびユーザープレイリスト内のトラックの編集画面からはタイトル情報を取得できません。
- 通信で探すときハンズフリー電話を使用している場合は、通信を使ったタイトルサーチはできません。
- 通信を使ったタイトルサーチ中に電話がかかってきたときには、タイトルサーチが中断されます。

「No Title リスト」のタイトル情報を取得する

「No Title リスト」に登録したプレイリストは通信機能や USB メモリーを使ってタイトル情報を取得することができます。 ※1

通信で取得する 通信

タイトル情報のないプレイリストは、通信機能を使ってタイトル情報を取得することができます。

「HDD サウンドコンテナできくには」(P272) **の操作をした後に・・・**

1 ジョイスティックを下に倒し、**編集／検索** を選んで 実行 を押す

2 **No Title リスト** を選んで 実行 を押す ※2

3 ジョイスティックを下に倒して **通信で一括取得** を選んで 実行 を押す ※3

▼

タイトル情報が取得されます。

お願い

エンジンを OFF にしないでください。

USB メモリーから取得する

タイトル情報のないプレイリストは、タイトル情報を保存した USB メモリーを使って、タイトル情報を取得することができます。
USB メモリーを使ってタイトル情報を取得する場合は、以下の手順で行います。

操作の流れ

No Title リストのプレイリスト情報を USB メモリーに保存する

▼

ご自宅のパソコンからパーソナル・ホームページに接続して、USB メモリー内のプレイリスト情報に該当するタイトル情報を取得する *(P290)*

▼

再び本機に USB メモリーを接続し、USB メモリーからタイトル情報を一括取得する *(P291)*

ポイント

※1 ・内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できなかったプレイリストを [No Title リスト] に登録しておく必要があります。
→「タイトル情報を取得するには」(P290)

※2 ・個別に取得する場合は、取得したいプレイリストを選び、［通信で取得］を選び、［実行］ボタンを押します。
・タイトル情報が取得できたプレイリストは [No Title リスト] から自動的に登録を解除します。

※3 ・ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］ボタンを押すと、No Title リストのすべてのプレイリストを消去できます。

USB メモリーに No Title 情報を保存する

タイトル情報を取得できなかったプレイリストの情報を USB メモリーに保存することができます。

「通信で取得する」（P291）の手順 2 までの操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して USB メモリー を選んで 実行 を押す

2 タイトルデータ保存 を選んで 実行 を押す

▼

タイトルが保存され、USB メモリー画面に戻ります。

お願い

- エンジンを OFF にしないでください。
- USB メモリーを外さないでください。

USB メモリーからタイトル情報を取得する

ナビゲーション本体内蔵のハードディスクに収録されているデータベースに該当するタイトルのデータがない場合は、USB メモリーに保存された情報からタイトル情報を取得することができます。
あらかじめご自宅のパソコンからパーソナル・ホームページに接続して、USB メモリー内のプレイリスト情報に該当するタイトル情報を取得しておく必要があります。

「通信で取得する」（P291）の手順 2 までの操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して USB メモリー を選んで 実行 を押す

2 タイトルデータ取得 を選んで 実行 を押す

▼

USB メモリーからタイトル情報が取得され、USB メモリー画面に戻ります。
タイトル情報を取得できた件数と取得できなかった件数が表示されます。

USB メモリー内のタイトル情報を消去する

USB メモリー内のタイトル情報を消去することができます。一度消去したタイトル情報を元に戻すことはできません。

「通信で取得する」（P291）の手順 2 までの操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して USB メモリー を選んで 実行 を押す

2 タイトルデータ消去 を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

▼

USB メモリー内のすべてのタイトル情報が消去され、USB メモリー画面に戻ります。

タイトル情報のないプレイリストを消去する

タイトル情報のないプレイリストを消去することができます。消去したプレイリストを元に戻すことはできません。

「通信で取得する」（P291）の手順２までの操作をした後に・・・

1 **消去したいプレイリスト**を選んで 実行 を押す ※1

2 消去 を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

▼

選んだプレイリストが消去されます。

お願い

エンジンキーを OFF にしないでください。

ポイント

※1 ・ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選んで［実行］ボタンを押すと、No Title リスト内のすべてのプレイリストを消去することができます。

HDD サウンドコンテナの空き容量を見る 簡単操作 標準操作

サウンドコンテナの使用容量、空き容量を確認できます。サウンドコンテナの使用容量が、サウンドコンテナ使用可能容量に届くと、それ以上の録音はできなくなります。不要なプレイリストや曲を消去してください。 ◆1

1 サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して、**編集／検索** を選んで、実行 を押す

2 **サウンドコンテナ容量** を選んで、実行 を押す

▼

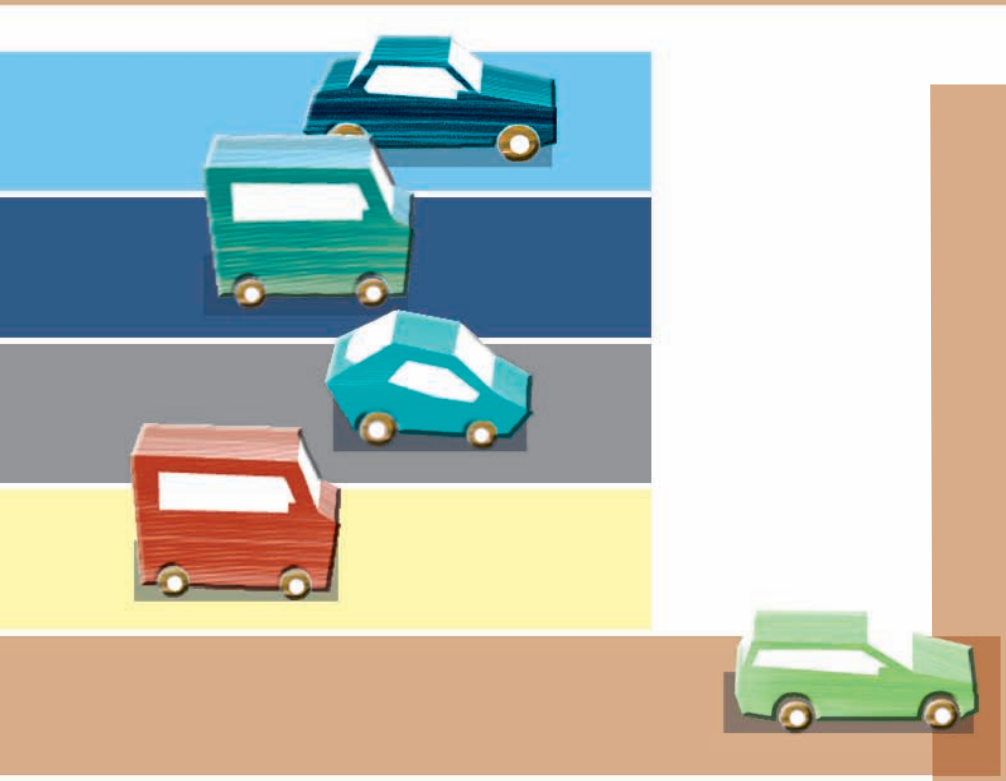
サウンドコンテナ容量画面が表示されます。

アドバイス

◆1 ・空き容量が 0%になると（曲の長さによっては 0%になる前に）、サウンドコンテナの録音ができなくなります。

USB メモリーを使う

インターナビでは、USB メモリーを画像やマーク地点リストの
バックアップに使ったりすることができます。



USB メモリーを接続する　296
USB メモリーでマーク地点
リストを取り扱う　298
USB メモリーから道路データを
取得する　301
USB メモリーで画像を扱う　302
USB メモリーの情報を確認する　303

USB メモリーを接続する 簡単操作 標準操作

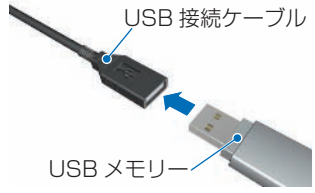
USB メモリーに関するお願いや接続方法について説明しています。

お願い

- 読み込みや書き込みの最中に USB メモリーを抜くと保存されたデータが消えてしまう場合がありますので、USB メモリーを抜かないでください。
- USB メモリーは精密機器です。製品の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- USB メモリーの動作保証はしておりません。あらかじめご容赦願います。
- 車内に放置するなどの要因による破損がありましても、保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 画像の設定（または変更）操作をした直後は、エンジンスイッチを“0”にしたり、USB メモリーを抜かないでください。エラーが発生したり、USB メモリーのデータが壊れることがあります。

USB メモリーの接続のしかた

1 USB 接続ケーブルに USB メモリーをしっかりと差し込む ※1

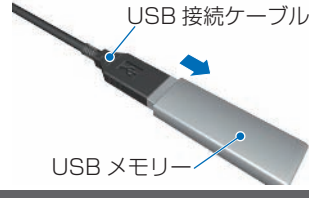


お願い

- USB メモリーはしっかりと差し込んでください。

USB メモリーの外しかた

1 USB 接続ケーブルと USB メモリーをしっかり持って矢印の方向に抜く



ポイント

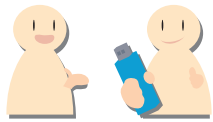
※1
- USB メモリーは、インターナビ対応の USB メモリーを使用してください。
- インターナビでお使いの USB メモリーにインターナビや音楽データ以外のデータを保存するとデータが破損するおそれがあります。USB メモリーはナビゲーション専用でご使用になることをおすすめします。
- Honda の指定する USB 通信機器（ウィルコム社製　インターナビ·データ通信 USB）にも対応しています。対応機種や設定方法についてはインターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  http://premium-club.jp/

USB メモリーを使ってできること

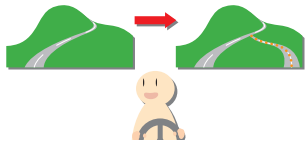
本機から行える USB メモリーの操作について説明します。

USB メモリーは工夫しだいでさまざまな用途に利用できます。
マーク地点リストや、マーク地点に登録しておく画像などのバックアップ用記憶媒体としても役立ちます。
ご自宅のパソコンでインターナビ・プレミアムクラブのホームページからダウンロードしたマーク地点、HDD サウンドコンテナ用タイトル情報、パーソナルホームページから取得した新規道路データを保存すれば、それら最新のデータをナビゲーションシステムで扱うことができます。
また、マーク地点に登録できる画像として、デジカメで撮った画像やイラストなどを扱うこともできます。

マーク地点リストのバックアップ用や友人とのデータ交換に（＊）



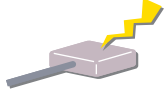
最新の道路情報でルート案内

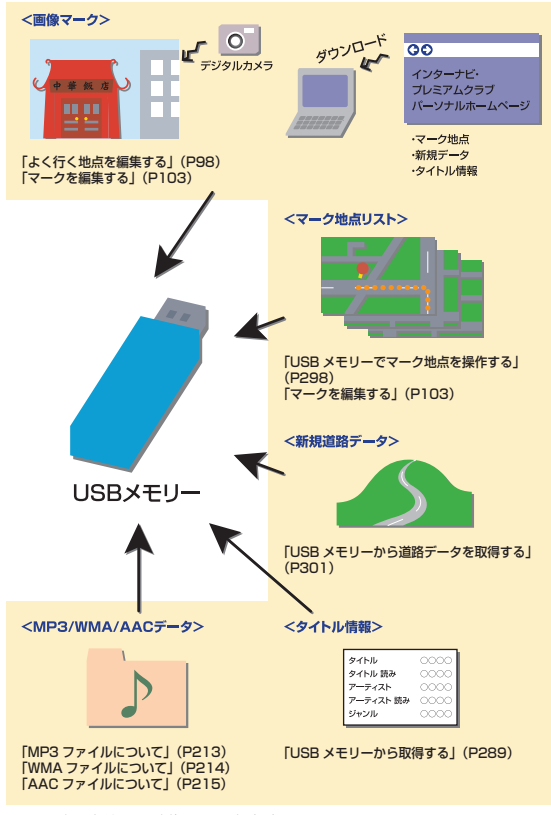


サウンドコンテナの不明なタイトルもインターネット経由で取得

音楽プレイヤーとして
「USB メモリーの曲をきく」(P238)

WILLCOM のインターナビデータ通信 USB を使えば、インターナビ・プレミアムクラブにつなぎ放題





＊：一部の車種間では交換できない場合があります。

USB メモリーでマーク地点リストを取り扱う 標準操作

大切なマーク地点リストをバックアップしたり、友人とのデータ交換することがます。

マーク地点リストを USB メモリーに保存する ＊1

1 ナビメニュー → マーク／地図変更 → マーク地点リスト を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒し 設定 を選んで 実行 を押す

3 USB メモリー を選んで 実行 を押す

4 データ保存 を選んで 実行 を押す

5 保存するマーク地点を選んで 実行 を押す

6 ジョイスティックを下に倒して 決定 を選んで 実行 を押す ◆1

▼

USB メモリーにマーク地点リストが保存され、データ保存画面に戻ります。すべてのマーク地点を保存した場合は、USB メモリー画面に戻ります。＊2

お願い

- 保存中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、USB メモリーを抜かないでください。

ポイント

＊1
- マーク地点を USB メモリーに保存することで、数多くのマーク地点を扱えるようになります。
- USB メモリーに保存できるマーク地点は、400 件です。ただし、USB メモリーの容量によっては、保存できないことがあります。

＊2
- USB メモリー内のマーク地点が 400 件を超えると、メッセージが表示され、保存することができません。

アドバイス

◆1
- ［全保存］を選んで［実行］ボタンを押すと、すべてのマーク地点リストを選べます。
- ［マーク順に表示］を選んで［実行］ボタンを押すとマーク地点リストがマーク順に並び換わり、［登録順に表示］を選んで［実行］ボタンを押すとマーク地点リストが登録された順に並び換わります。

関連する機能

USB メモリー内のマーク地点リストを確認する……P299

標準操作

USB メモリー内のマーク地点リストを確認する

1 ナビメニュー → マーク／地図変更 → マーク地点リスト を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒し 設定 を選んで 実行 を押す

3 USB メモリー を選んで 実行 を押す

4 データ読み込み を選んで 実行 を押す

▼

USB メモリー内のマーク地点リストの一覧が表示されます。

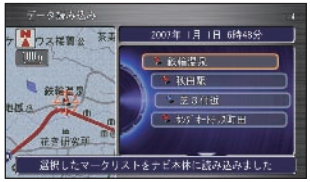
マーク地点リストを USB メモリーから読み込む

「USB メモリー内のマーク地点リストを確認する」（P299）を操作した後に・・・

1 保存するマーク地点を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して 決定 を選んで 実行 を押す ※1 ◆1

▼



USB メモリーからマーク地点リストが保存され、データ読み込み画面に戻ります。すべてのマーク地点を読み込んだ場合は、USB メモリー画面に戻ります。

お願い

・読み込み中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、USB メモリーを抜かないでください。

ポイント

※1 ・マーク地点の登録可能件数は、400 件（インターナビのマークを含む）までです。マーク地点が 400 件を超えて登録しようとしたときはメッセージが表示されます。いらないマーク地点の登録を消去してください。
→「マークを消去する」（P105）

アドバイス

◆1 ・［全読み込み］を選んで［実行］ボタンを押すと、すべてのマーク地点リストを選べます。

・［マーク順に表示］を選んで［実行］ボタンを押すとマーク地点リストがマーク順に並び換わり、［登録順に表示］を選んで［実行］ボタンを押すとマーク地点リストが登録された順に並び換わります。

USB メモリー内のマーク地点を消去する

「USB メモリー内のマーク地点リストを確認する」（P299）を操作した後に・・・

1 データ消去 を選んで 実行 を押す

2 消去するマーク地点を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを下に倒して 決定 を選んで 実行 を押す

4 実行 を押す

▼

USB メモリーからマーク地点が消去され、データ消去画面に戻ります。すべてのマーク地点を消去した場合は、USB メモリー画面に戻ります。◆1

お願い

- 消去中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、USB メモリーを抜かないでください。

アドバイス

◆1
- ［全消去］を選んで［実行］ボタンを押すと、すべてのマーク地点リストを選べます。
- ［マーク順に表示］を選んで［実行］ボタンを押すとマーク地点リストがマーク順に並び換わり、［登録順に表示］を選んで［実行］ボタンを押すとマーク地点リストが登録された順に並び換わります。

関連する機能

USB メモリー内のマーク地点リストを確認する.....P299

USB メモリーから道路データを取得する 簡単操作 標準操作

ご自宅のパソコンなどからインターナビ・プレミアムクラブのパーソナルホームページにアクセスして、開通した道路の情報をダウンロードすることができます。ダウンロードした新規道路データを USB メモリーに保存して、新規道路を更新することができます。

USB メモリーから新しい道路データを読み込む

新規道路データを保存した USB メモリーを本機に接続して、新規道路データを地図に反映させることができます。

1 ナビメニュー → ツール → データ管理 を選んで 実行 を押す

2 バージョン情報 を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを下に倒して 実行 を押す ＊1

▼

USB メモリーの新規道路データが、ナビゲーションシステムに読み込まれます。

4 実行する を選んで 実行 を押す ＊2

▼

USB メモリーの新規道路データが、ナビゲーションシステムに読み込まれます。

ポイント

＊1 ・USB メモリー内の MP3/WMA/AAC ファイルを再生しているときは、新しい道路データを読み込むことはできません。他のソースに切り換えてから、行ってください。
→「オーディオ・テレビ」(P209)、「HDD サウンドコンテナ」(P267)

＊2 ・［戻る］ボタンを押すと、新規道路データは更新されません。次回起動時に更新が行われます。

USB メモリーで画像を扱う 簡単操作 標準操作

USB メモリー内の画像をよく行く地点やマークに登録することができます。
画像を扱う際には、以下のことに気をつけてください。

お知らせ

- 確認できる画像のファイル形式は、BMP (.bmp)、JPEG(.jpg) です。
- プログレッシブ方式の JPEG ファイルには対応していません。
- 確認できる画像データは、もとの大きさが JPEG で 2048 × 1536 ドット、BMP で 488 × 240 ドットまでです。
- 1 つあたり 6MB 以上のファイルは認識されません。
- 大きな画像を画面表示する際には、縮小して表示されます。
- デジタルカメラなどで撮影した画像を確認するには、デジタルカメラまたは画像が保存されている USB メモリーをナビゲーションシステム本体に接続してください。
- 文字数は、拡張子を含めて半角で 255 文字です。「ファイル名 +(.bmp、.jpg)」の名前が、画像データのリストに表示されます。
- ハードディスク内に保存できるマーク地点の画像ファイルは最大で 400 個です。
- Honda インターナビシステムで表示できる USB メモリー内の画像ファイルは最大で 200 個です。200 個を超えると USB メモリー内の画像ファイルがリスト表示されません。
- USB メモリー内のフォルダ (ディレクトリ) は 8 階層 (ルートディレクトリを含む) まで認識できます。
- 画像が表示されるまで時間がかかることがあります。容量が大きな画像を保存しないことをお勧めします。
- USB メモリーの接続方法や利用方法について詳しくは、*「USB メモリーを接続する」(→ P296)* を参照してください。

USB メモリー内の画像をマークやよく行く地点に登録するには

→ *「よく行く地点を編集する」(P99)*
→ *「マークを編集する」(P103)*

USB メモリーの情報を確認する 標準操作

USB メモリー内のメモリー使用容量と空き容量を確認することができます。

1 **ナビメニュー** → **ツール** を選んで 実行 を押す

2 **データ管理** を選んで 実行 を押す

3 **USB メモリー情報** を選んで 実行 を押す

▼

USB メモリー情報が表示されます。※1

お願い

・USB メモリー情報が表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、USB メモリーを抜かないでください。

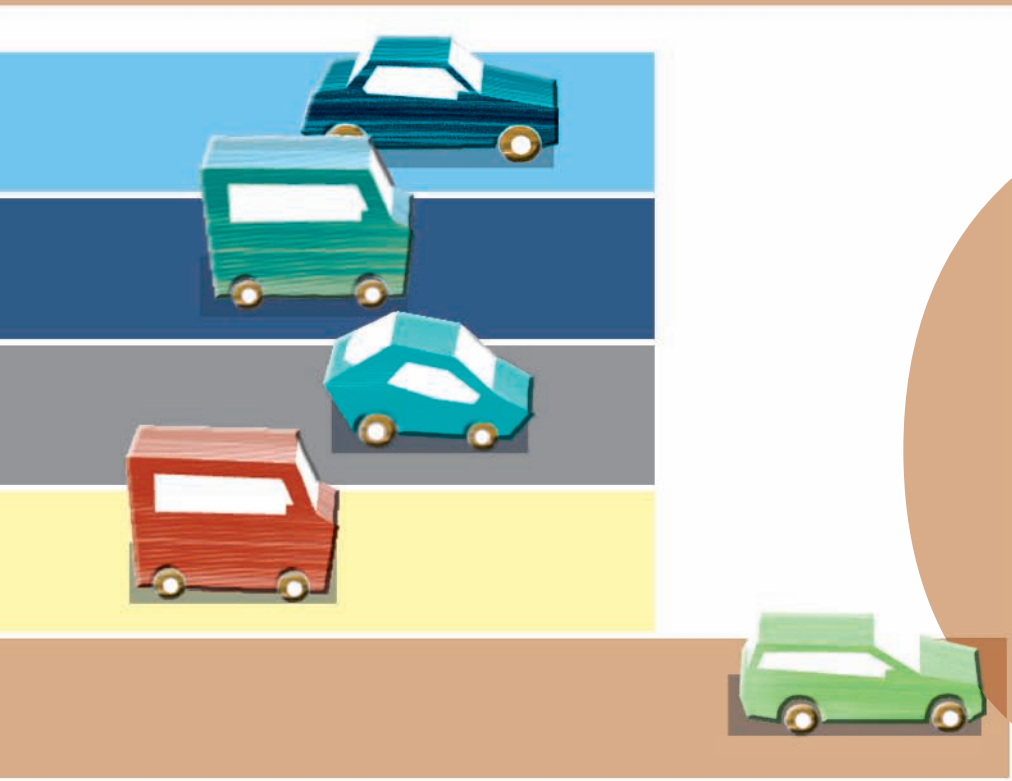
ポイント

※1 ・USB メモリーの容量が大きいと、USB メモリー情報が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

M E M O

ハンズフリー電話を使う

ハンズフリー電話を使用するための設定を行います。



準備　306
ハンズフリー電話の設定　307
ハンズフリー電話を使う　320

準備 簡単操作 標準操作

ハンズフリー電話を使用するための設定を行います。

ハンズフリー電話について

話しかたによっては相手先に声が伝わりにくい場合や、相手の声が聞こえにくい場合があります。ハンズフリー電話どうしの通話、騒音の大きい環境下での通話など、使用条件によっては通話しづらい場合があります。また相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより不自然な音となる場合があります。

お願い

- 交通量の多い市街地や狭い道での操作は避けてください。

お知らせ

- 通話時は、大きめの声ではっきりとお話しください。
- 電話機のノイズキャンセラー機能、パワーセーブ機能はなるべく「OFF」に設定しておいてください。
- 通話中は窓を閉めてお話しください。
- Bluetooth 方式以外の携帯電話を接続する場合は、別売の接続ケーブルが必要になります。詳しくは Honda 販売店にご相談ください。
- 携帯電話の接続コネクターからは、携帯電話用の電源は供給されていません。
- 携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth 接続された携帯電話を直接操作して発信すると、携帯電話の機種によっては、ハンズフリー通話にならない場合があります。
- Bluetooth 接続でデータ通信中は、Honda インターナビシステムで電話を受けることができません。
- 携帯電話やデータ通信 USB の対応機種については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス :
  http://www.premium-club.jp/

携帯電話を接続する

携帯電話の接続のしかたについては「インターナビの通信サービスを使う」の*「通信機能を使えるようにする」(→P166)*を参照してください。

お願い

- 携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。

ハンズフリー電話の設定 簡単操作 標準操作

ハンズフリー電話を使用するために、ナビゲーションシステムを設定します。 ＊1

簡単操作 標準操作

電話の設定をする

自動着信の設定、受話音量、着信音量の設定方法を説明します。

1 簡単操作

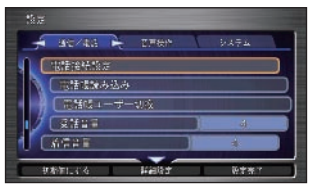
ナビメニュー → **電話をかける** を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **電話** を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して、**通信／電話設定** を選んで 実行 を押す ◆1

3 設定する項目を選んで 実行 を押す ◆2



設定できる項目と設定は次のとおりです。

電話接続設定	電話の設定と通信の接続先を設定することができます。 *→「インターナビの通信サービスを使う」（P163）*
電話帳読み込み	携帯電話の電話帳リストをナビゲーション本体に読み込むことができます。 *→「携帯電話の電話帳を読み込む」（P310）*
電話帳ユーザー切換	ユーザーごとに電話帳を切り換えることができます。 *→「ユーザーごとに電話帳を使う」（P309）*
受話音量	受話音量を７段階で調節できます。 ７段階（0 含まず）[4] *→「受話音量／着信音量を調節する」（P308）*
着信音量	着信音量を７段階で調節できます。 ７段階（0 含まず）[4] *→「受話音量／着信音量を調節する」（P308）*
自動着信 ＊2	[する] に設定すると、電話がかかってきたときに自動的に受話することができます。

4 設定を選んで 実行 を押す
設定が変更されます。

5 手順３～４を繰り返し、項目を設定する

ポイント

＊1 ・ワンタッチダイヤル、電話帳、発信着信履歴にはシークレットモードが設定されています。シークレットモードを設定すると電話帳、発信着信履歴はメニュー画面から選択できなくなります。また、ワンタッチダイヤルでは、すべての項目が「＊」で表示されます。*→「シークレットモードを使う」（P412）*

＊2 ・[自動着信] を [する] に設定しても、携帯電話のメッセージサービス、留守番サービス、転送サービスを４秒より短い設定にしていた場合や、呼び出しなしにしておいた場合は、自動着信せず、携帯電話の設定が優先されます。

アドバイス

◆1 ・[ナビメニュー] ボタン→［設定を変える］（または［設定］）→［通信／電話設定］を選び［実行］ボタンを押しても同じ操作です。

◆2 ・設定を初期状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して [初期値にする] を選び、[実行] ボタンを押します。

受話音量 / 着信音量を調節する

スピーカーから聞こえてくる相手の声の大きさ、または電話がかかってきたときにスピーカーから聞こえてくる着信音の大きさを調節することができます。

「電話の設定をする」（P307）の手順 2 までを操作した後に・・・

1 受話音量 または 着信音量 を選んで 実行 を押す

2 コマンドホイールを左右に回して、音量を設定する

3 実行 を押す

▼

音量が設定されます。◆1

アドバイス

◆1
- 通話中に受話音量を調節するには [受話音量] を選んで［実行］ボタンを押し、コマンドホイールを回して音量を選び、［実行］ボタンを押します。
- 手順 2 で設定した音量は［実行］ボタンを押さずに、一定の時間に無操作のままでも設定されます。

電話帳を設定する

電話帳を携帯電話から読み込んで使うことができます。ナビゲーション本体で新規に電話帳データを登録したり、編集することもできます。
また、電話帳をユーザーごとに切り換えて使う方法もあります。電話帳をユーザーごとに切り換えて使う場合は、あらかじめユーザーの設定を行い、ユーザーを切り換える必要があります。

ユーザーごとに電話帳を使う

ユーザーを設定し、ユーザーごとに電話帳を使い分けることができます。

ユーザーを設定する

電話帳をユーザーごとに設定するために、あらかじめユーザーを設定しておきます。ユーザーは５人まで設定できます。

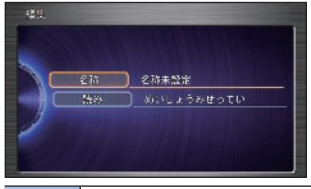
「電話の設定をする」（P307）の手順２までを操作した後に・・・

1 **電話帳ユーザー切換** を選んで 実行 を押す

2 **未使用** を選んで 実行 を押す

3 **編集** を選んで 実行 を押す

4 設定する項目を選んで 実行 を押し、設定する



名称	ユーザーの名前を入力します。
読み	音声操作で使うユーザーの名前を入力します。

▼

ユーザーが設定されます。

関連する機能

電話の設定をする.....P307
文字入力のしかた.....P34

ユーザーを切り換える

電話帳を使い分けるために、ユーザーを切り換えられます。

「電話の設定をする」（P307）の手順 2 までを操作した後に・・・

1 通信／電話設定画面で、
電話帳ユーザー切換 を選んで 実行 を押す

2 ユーザーを選んで 実行 を押す

3 **決定** を選んで 実行 を押す

▼

ユーザーが切り換わります。

簡単操作 標準操作

携帯電話の電話帳を読み込む

携帯電話の電話帳データをナビゲーション本体に読み込むことができます。プロバイダや通信方法によって、途中から手順が異なります。ユーザーごとに電話帳を使い分ける場合は、あらかじめユーザーを切り換えておきます。→*「ユーザーを切り換える」（本ページ）*

携帯電話に登録されている電話番号のリストを電話帳に読み込むことができます。名称は 1000 件、1 名称あたりの電話番号は 5 件までの合計 5000 件までの電話番号を転送できます。最大 20 件のグループ名称を読み込むこともできます。 ※1

「電話の設定をする」（P307）の手順 2 までを操作した後に・・・

1 通信／電話設定画面で、
電話帳読み込み を選んで 実行 を押す ※2 ◆1

2 **追加読み込み** または **上書き読み込み** を選んで 実行 を押す

追加読み込み	携帯電話からデータを読み込み、現在の電話帳データに追加されます。
上書き読み込み	現在の電話帳データがすべて消去され、携帯電話からデータを読み込みます。

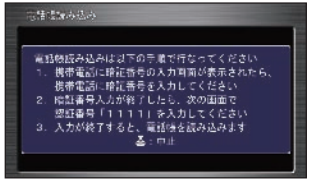
3 **読み込む** を選んで 実行 を押す ※3

● FOMA 以外の携帯電話とケーブルで接続している場合

暗証番号入力画面が表示されたら、暗証番号を入力し［完了］を選んで［実行］ボタンを押す

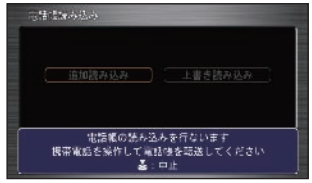
● FOMA 携帯電話とケーブルで接続している場合

携帯電話に暗証番号の入力画面が表示されたら、携帯電話に暗証番号を入力する



● Bluetooth で接続している場合

携帯電話を操作して、電話帳データを Bluetooth 送信する



電話帳を読み込み、通信／電話接続設定画面に戻ります。

ポイント

＊1
- 読み込み中に［実行］ボタンを押すと、読み込みを中止します。
- 一度読み込みを完了した電話帳は、［電話帳読み込み］で新しく読み込むまで保持されます。
- ［電話帳読み込み］で新しく読み込むと、［追加読み込み］を選んだ場合は古い電話帳に新しい電話帳を追加し、［上書き読み込み］を選んだ場合はすべてが上書きされ古い電話帳は消去されます。
- グループ番号が 20 番以降の電話帳を読み込むと電話帳をグループ番号順に表示したとき、グループ番号 20 番で登録、管理されます。
- 「読み」のない電話帳、アルファベットや数字、記号が含まれる電話帳を読み込むと電話帳を名前順に表示したとき、“＊”で管理されます。
- 携帯電話の機種によっては、電話番号を 5000 件まで読み込めない場合があります。
- 携帯電話側にシークレットの設定がされているものは、読み込まれません。
- 携帯電話の種類によっては、読み込んだ登録名称が正しく表示できないことがあります。
- 電話帳にはシークレットモードが設定できます。シークレットモードを設定すると電話帳は、メニュー画面から選べなくなります。→*「シークレットモードを使う」(P412)*
- 電話番号のないデータは電話帳に表示されません。
- 電話帳データが存在しない場合は、この画面は表示されません。手順 6 に進んでください。

＊2
- 電話帳を読み込む場合は、認証処理をする必要があります。認証処理は、接続している携帯電話によって操作が異なります。
- 携帯電話の事業者によっては、暗証番号を次の 2 種類用意している場合があります。
  - 電話機本体の各種機能を操作するためのもの
  - 通信会社による各種サービスを一般電話から利用するためのもの（携帯電話契約時に登録した暗証番号）
    ご利用の携帯電話によっては、どちらの暗証番号を入力するかが異なります。一方の暗証番号で転送できないときは、もう一方の暗証番号を入力してください。

＊3
- 暗証番号を入力すると、他人に読み取られないように“＊”で表示されます。

アドバイス

◆1
- ユーザーごとに電話帳を使い分ける場合は、ユーザーを切り換えておきます。→*「ユーザーを切り換える」(P310)*
- ［ナビメニュー］ボタン→［設定を変える］（または［設定］）→［通信／電話設定］→［電話帳読み込み］を選び［実行］ボタンを押しても同じ操作です。
- 携帯電話の暗証番号入力方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話から電話帳データを Bluetooth 送信する方法については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。携帯電話の取扱説明書も併せてご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://www.premium-club.jp/

電話帳を確認する

ナビゲーション本体の電話帳を確認することができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **電話をかける** を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **電話** を選んで 実行 を押す

2 **電話帳** を選んで 実行 を押す

▼

電話帳画面が表示されます。◆1

アドバイス

◆1 ・電話帳は名前順、メモリー番号順、グループ番号順に並べ換えることができます。→「電話帳データを並べ換える」(P316)

・ジョイスティックを左右に倒すと「あ、い、う・・・(名前順)」、「0～49、50～99・・・(メモリー番号順)」または「Gr1、Gr2・・・(グループ番号順、全角4字まで表示)」と表示を切り換えることができます。

関連する機能

携帯電話の電話帳を読み込む P310
電話帳データを新規登録する P314
電話帳データを変更する P315
電話帳のグループ名を変更する P315
電話帳データを並べ換える P316
電話帳を検索する P316
電話帳データを消去する P317

電話帳データを新規登録する

電話帳に新しく電話帳データを登録することができます。1つの電話帳データに5つまでの電話番号を登録することができます。

「電話帳を確認する」（P313）を操作した後に・・・

1 **新規登録** を選んで 実行 を押す

2 **項目**を選んで 実行 を押し、設定する

設定できる項目は以下のとおりです。 ※1

名前	名前を入力します。全角12文字（半角24字）まで入力できます。
読み	音声操作やデータ並べ替えに使う「読み」を入力します。全角24文字までのひらがなで入力できます。
電話番号1 ～ **電話番号5**	電話番号を入力します。半角3～24桁の数字、「*」、「#」を入力できます。
電話番号1種別 ～ **電話番号5種別**	電話番号の種別を選びます。［自宅］、［携帯］、［職場］、［その他］から選べます。
グループ名 ※2	電話帳データが所属するグループを選べます。グループ名が設定されていないときは、グループ番号が表示されます。

3 ジョイスティックを下に倒し、実行 を押す

▼

電話帳データが登録され、電話帳画面に戻ります。

ポイント

※1 ・［メモリー番号］は、編集することはできません。

※2 ・グループ名は編集することができます。
→*「電話帳のグループ名を変更する」（P315）*

関連する機能

電話帳を確認する.....P313
文字入力のしかた.....P34

電話帳データを変更する

電話帳データを変更することができます。

「電話帳を確認する」（P313）を操作した後に・・・

1 **変更したい電話帳データ**を選んで 実行 を押す

2 詳細情報 を選んで 実行 を押す

3 変更したい項目を選び 実行 を押して、設定を変更します。

詳細情報の変更方法は、*「電話帳データを新規登録する」（→P314）*の手順２以降と同様に行います。

▼

電話帳データが変更され、詳細情報画面に戻ります。

電話帳のグループ名を変更する

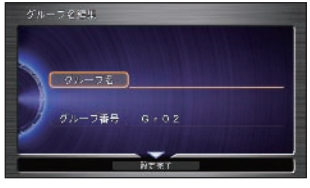
電話帳のグループ名を変更することができます。

「電話帳を確認する」（P313）を操作した後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒し グループ名編集 を選んで 実行 を押す

2 **変更したいグループ番号**を選んで 実行 を押す

3 グループ名 を選んで 実行 を押す ※1



4 グループ名を入力して 完了 を選んで 実行 を押す

5 ジョイスティックを下に倒して 設定完了 を選んで 実行 を押す

▼

グループ名が変更され、グループ名画面に戻ります。

ポイント

※1 ・グループ番号を変更することはできません。

関連する機能

電話帳を確認する.....P313
文字入力のしかた.....P34

電話帳データを並べ換える

電話帳データを名前順、メモリー番号順、グループ名順に並べ替えることができます。

「電話帳を確認する」（P313）を操作した後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒し **リスト表示順変更** を選んで 実行 を押す

2 並べ替え方法を選んで 実行 を押す

並べ替え方法は、以下のとおりです。

名前順	名前の読み順番に電話帳データが並び替わります。
メモリー番号順	メモリー番号の順番に電話帳データが並び替わります。
グループ順	グループ名の順番に電話帳データが並び替わります。

▼

並び順が変更され、電話帳画面に戻ります。 ※1

電話帳を検索する

電話帳から名前、読み、電話番号を手がかりに電話帳データを検索することができ

「電話帳を確認する」（P313）を操作した後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒し **検索** を選んで 実行 を押す

2 検索対象を選んで 実行 を押す

検索対象は、以下のとおりです。

名前	名前を手がかりに電話帳データが検索されます。
読み	読みを手がかりに電話帳データが検索されます。
電話番号	電話番号を手がかりに電話帳データが検索されます。

3 文字、数字を入力して **完了** を選んで 実行 を押す

▼

検索結果が表示されます。

ポイント

※1
- 携帯電話の電話帳を読み込んだとき、グループ番号が 20 番以降のアドレスは、グループ番号順で表示するとグループ番号 20 番で管理されます。
- 「読み」が入力されていないアドレスは名前順で表示すると“＊”で管理されます。

関連する機能

電話帳を確認する.....P313
文字入力のしかた.....P34

電話帳データを消去する

電話帳データを消去することができます。

「電話帳を確認する」（P313）を操作した後に・・・

1 **消去したい電話帳データ**を選んで 実行 を押す ◆1

2 消去 を選んで 実行 を押す

3 消去する を選んで 実行 を押す

詳細情報の変更方法は、*「電話帳データを登録する」（→P314）*の手順４以降と同様です。

▼

電話帳データが消去され、電話帳画面に戻ります。

アドバイス

◆1
- 複数の電話帳データを選んで消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［複数消去］を選んで［実行］ボタンを押します。
- すべての電話帳データを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選んで［実行］ボタンを押します。

関連する機能

電話帳を確認する.....P313

ワンタッチダイヤルを設定する

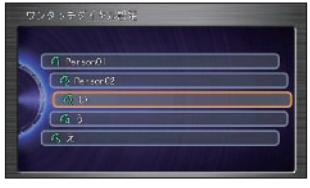
ワンタッチダイヤルを登録する

携帯電話から電話番号データを「上書き登録」で読み込むと、メモリー番号の小さい順に５件のデータが、自動的にワンタッチダイヤルに登録されます。登録された電話番号データは次の手順で変更できます。

「電話帳を確認する」（P313）の手順 1 までを操作した後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して、**ワンタッチダイヤル設定** を選んで 実行 を押す

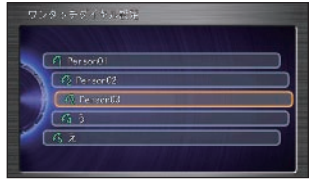
2 ワンタッチダイヤル設定画面で、**登録したいワンタッチダイヤル** を選んで 実行 を押す



3 **電話帳** または **発信着信履歴** を選んで 実行 を押す

4 **ワンタッチダイヤルに登録する電話番号** を選んで 実行 を押す ※1

▼



▼

ワンタッチダイヤルが登録され、ワンタッチダイヤル設定画面に戻ります。※2

ポイント

※1
- 手順３で［電話帳］を選んだ場合は、電話帳データを選んだ後、電話番号を選びます。
- 手順３で［電話帳］を選んだ場合は、ジョイスティックを下に倒して項目を選ぶと、電話帳データを名前順、メモリー番号順、グループ順に並べ替えることができます。
- 手順３で［発信着信履歴］を選んだ場合は、発信着信履歴から電話番号を選びます。ジョイスティックを左右に倒すと、［発信履歴］、［着信履歴］を切り換えることができます。

※2
- 再度、携帯電話から電話帳データを「上書き登録」で読み込むと、メモリー番号の小さい順に５件のデータでワンタッチダイヤルが上書きされます。
- 読み込んだデータに情報がない詳細項目は空白になります。また、各項目の内容を編集する場合は、電話帳から行います。

→「電話帳を確認する」（P313）

関連する機能

ワンタッチダイヤルを消去する P319

ワンタッチダイヤルを消去する

ワンタッチダイヤルを未登録の状態にできます。電話帳から登録した場合、電話帳データ自体は消去されません。発着信履歴から登録した場合、発着信履歴から電話番号は消去されません。

「電話帳を確認する」（P313）の手順 1 までを操作した後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して **ワンタッチダイヤル設定** を選んで 実行 を押す

2 **消去したいワンタッチダイヤル** を選んで 実行 を押す

3 **消去** を選んで 実行 を押す

4 **消去する** を選んで 実行 を押す

▼

ワンタッチダイヤルが［未登録］と表示され、ワンタッチダイヤル設定画面に戻ります。

関連する機能

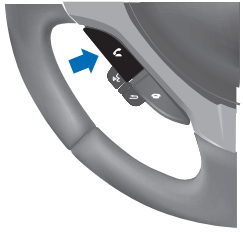
ワンタッチダイヤルを登録する P318

ハンズフリー電話を使う 簡単操作 標準操作

ハンズフリー電話の使いかたを説明します。 ＊1

電話をかける

1 ハンドルの オフフックスイッチを押す ◆1



2 番号入力発信 を選んで 実行 を押す

3 電話番号を入力する

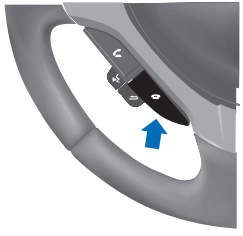
4 発信 を選んで 実行 を押す ◆2

▼

通話を開始します。

通話が終了したら・・・

5 ハンドルの オンフックスイッチを押して、電話を切る



ポイント

＊1 ・走行中は一部の機能が操作できません。

アドバイス

◆1 ・[ナビメニュー] ボタンを押して [電話](簡単操作モードでは [電話をかける]) を選び、[実行] ボタンを押しても電話のメニューが表示されます。
→「電話帳を確認する」(P313)

◆2 ・ハンドルの オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。

・通話中に次の操作ができます。

- [通話録音]：通話内容を約 30 秒録音します。
→「通話録音するには」(P328)
- [受話音量]：相手の声の大きさを調節します。
→「受話音量 / 着信音量を調節する」(P308)
- [終了]：電話を切ります。

関連する機能

文字入力のしかた.....P34

ワンタッチダイヤルでかける

1 ハンドルの オフフックスイッチを押す ◆1
電話のメニューが表示されます。

2 電話をかける相手を選んで 実行 を押す

▼

通話が開始されます。

通話が終了したら・・・

3 ハンドルの オンフックスイッチを押して、電話を切る ◆3

電話帳からかける

1 ハンドルの オフフックスイッチを押す ※1 ◆1
電話のメニューが表示されます。

2 電話帳 を選んで 実行 を押す

3 電話をかける相手を選んで 実行 を押す ◆2

4 かける電話番号データを選んで 実行 を押す

▼

通話が開始されます。

通話が終了したら・・・

5 ハンドルの オンフックスイッチを押して、電話を切る ◆3

ポイント

※1 ・電話帳は走行中は操作できません。

アドバイス

◆1 ・[ナビメニュー] ボタンを押して [電話](簡単操作モードでは [電話をかける]) を選び、[実行] ボタンを押しても電話のメニューが表示されます。
→「電話帳を確認する」(P313)

◆2 ・ジョイスティックを左右に倒すと「あ、い、う・・・(名前順)」、「0 ～ 49、50 ～ 99・・・(メモリ番号順)」または「Gr1、Gr2・・・(グループ番号順)」とリストを切り換えることができます。

・ジョイスティックを下に倒して [メモリ番号順]、[グループ順] を選び、[実行] ボタンを押すと、電話帳の表示を並び換えることができます。

◆3 ・[終了] を選んで [実行] ボタンを押しても電話を切ることができます。

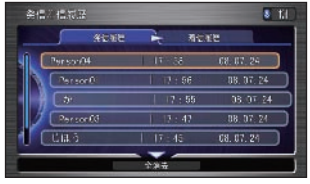
履歴から電話をかける

1 ハンドルの オフフックスイッチを押す ◆1
電話のメニューが表示されます。

2 発信着信履歴 を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを左右に倒して 発信履歴 または 着信履歴 を選ぶ

4 **電話をかける履歴**を選んで 実行 を押す



5 発信 を選んで 実行 を押す

▼

通話を開始します。

通話が終了したら・・・

6 ハンドルの オンフックスイッチを押して、電話を切る ◆2

アドバイス

◆1 ・[ナビメニュー] ボタンを押して [電話](簡単操作モードでは [電話をかける]) を選び、[実行] を押しても電話のメニューが表示されます。
→「電話帳を確認する」(P313)

◆2 ・[終了] を選んで [実行] ボタンを押しても電話を切ることができます。

履歴を電話帳に登録する

履歴の電話番号を電話帳に登録することができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **電話をかける** を選んで 実行 を押す

標準操作

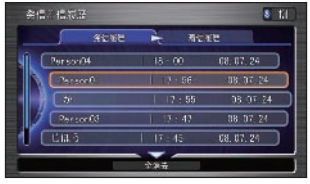
ナビメニュー → **電話** を選んで 実行 を押す

2 **発信着信履歴** を選んで 実行 を押す

履歴のリストが表示されます。

3 ジョイスティックを左右に倒して **発信履歴** または **着信履歴** を選ぶ

4 **登録したい履歴**を選んで 実行 を押す



5 **新規登録** または **上書き登録** を選んで 実行 を押す

▼

［新規登録］を選んで［実行］ボタンを押したときは、電話帳登録画面が表示されます。
［上書き登録］を選んで［実行］ボタンを押したときは、電話帳上書き追加画面が表示されます。

新規登録を選んだとき

電話帳登録画面で［新規登録］を選んだ場合は、電話帳に新たに電話帳データを追加して登録します。

1 各項目を選んで 実行 を押し、設定する

新規電話帳データの設定方法は、*「電話帳データを新規登録する」（→ P314）*の手順２と同様に行います。

2 ジョイスティックを下に倒して **設定完了** を選んで 実行 を押す

▼

履歴が電話帳に新たに登録されます。

関連する機能

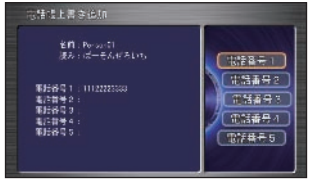
電話帳データを登録する P314

上書き登録を選んだとき

［上書き登録］を選んだ場合は、すでにある電話帳データに履歴の電話番号を上書きして登録します。

1 **上書きする登録者**を選んで 実行 を押す

2 **上書き追加したい電話番号**を選んで 実行 を押す



▼

履歴が電話帳に上書きして登録されます。

履歴を消去する

「履歴を電話帳に登録する」（P323）の手順3までを操作した後に・・・

1 **消去する履歴**を選んで 実行 を押す ◆1

2 消去 を選んで 実行 を押す

3 消去する を選んで 実行 を押す

▼

選んだ履歴が消去されます。

アドバイス

◆1 ・発信履歴または着信履歴を一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］ボタンを押します。

地図に登録された電話番号にかける

地図上に登録された施設やマークに電話番号の情報がある場合は、その電話番号に電話をかけることができます。

施設情報の画面から電話をかける

電話をかけたい施設を地図上で探して、電話をかけます。

1 **電話をかけたい施設**にカーソルを合わせて 実行 を押す
メニューが表示されます。

2 詳細情報 を選んで 実行 を押す ※1

3 発信 を選んで 実行 を押す

▼

通話が開始されます。

通話が終了したら・・・

4 ハンドルの オンフックス イッチを押して、電話を切る ◆1

ポイント

※1 ・選んだ施設に複数の会社、店などがある場合、施設内にある店舗リストが表示されます、店舗を選んで [実行] ボタンを押してください。

アドバイス

◆1 ・[終了] を選んで [実行] ボタンを押しても電話を切ることができます。

標準操作

マーク地点リストから電話をかける

標準操作モードでは、電話をかけたいマークの情報画面をマーク地点リストから表示して、電話をかけます。

1 **目的地／リスト** → **マーク／履歴** → **マーク地点リスト** を選んで 実行 を押す

2 **電話をかけたいマーク**を選んで 実行 を押す

3 **マーク情報** を選んで 実行 を押す ◆1

4 ジョイスティックを下に倒して **発信** を選んで 実行 を押す

▼

通話が開始されます。

通話が終了したら・・・

5 ハンドルの オンフックスイッチを押して、電話を切る ◆2

アドバイス

◆1 ・[ナビメニュー] ボタン→ [マーク／地図変更] → [マーク地点リスト] で電話をかけたいマークを選び、[マーク情報] を選んでもマーク情報画面が表示されます。

◆2 ・[終了] を選んで [実行] ボタンを押しても電話を切ることができます。

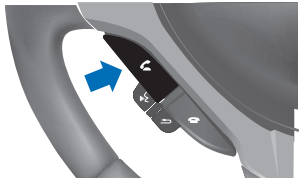
電話を受ける

電話がかかってくると

着信音が鳴り、通話中画面が表示されます。[*1]

かかってきた電話に出るには

1 ハンドルの オフフック スイッチを押す



▼

通話が開始されます。[◆1]

通話が終了したら・・・

2 ハンドルの オンフック スイッチを押して、電話を切る

ポイント

[*1] ・電話帳に登録されている電話からかかってきたときは、登録されている名称が表示されます。

・発信者番号通知サービスの利用状況によって、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されない場合があります。

・自動着信を [する] に設定している場合は、着信してから約 4 秒で自動的に通話中になります。
→「電話の設定をする」(P307)

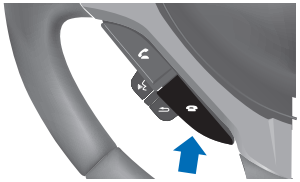
アドバイス

[◆1] ・電話がかかってくると次の操作ができます。

着信音量	着信音の大きさを調節します。→「受話音量／着信音量を調節する」(P308)
応答保留	応答を保留にします。→「応答保留するには」(P328)
通話	電話に出ます。また、通話中には次の操作ができます。 [通話録音] 通話内容を約 30 秒録音します。→「通話録音するには」(P328) [受話音量] 相手の声の大きさを調節します。→「受話音量／着信音量を調節する」(P308)
終了	電話を切ります。

応答保留するには

1 ハンドルの オンフックスイッチを押す



▼

応答保留になります。 ※1

2 応答保留中の電話に出るには、ハンドルの オフフックスイッチを押す

通話録音するには

通話中画面表示に [通話録音] が表示され、通話内容を音声メモに録音できます。 ※2

1 通話中画面表示から **通話録音** を選び、実行 を押す

▼

録音中は「録音中」と表示されます。録音が終了すると、通常の通話中画面表示に戻ります。 ※3

ポイント

※1 ・接続している携帯電話の機種によっては応答保留にならないことがあります。

※2 ・再生は音声メモより行います。
→「音声メモを再生する」(P410)

※3 ・録音は約 30 秒経つと自動的に止まります。また録音中に [録音停止] を選んで [実行] ボタンを押すと録音が停止します。

QQ コールを利用する

ドライブ中に不意のトラブルにあったときなど、QQ コールに電話をかけて必要な処置を聞いたり手配を頼んだりできます。 ＊1

1

簡単操作

ナビメニュー → 電話をかける を選んで 実行 を押す ＊2

標準操作

ナビメニュー → 電話 を選んで 実行 を押す ＊2

2

QQ コール を選んで 実行 を押す

▼

QQ コールに電話がかかります。オペレーターとお話しください。 ＊3 ◆1

ポイント

＊1 ・QQ コール (有料サービス) を使うには、インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続を行う必要があります。詳しくは、「インターナビの通信サービスを使う」の *「通信機能を使えるようにする」* を参照してください。 *(→P166)*

・QQ コールについて詳しくは Honda 販売店にお問い合わせいただくか、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
ホームページアドレス :
http://www.premium-club.jp/

＊2 ・ハンドルのオフフックスイッチを 2 回押しても QQ コールを利用することができます。

＊3 ・通話中画面の [マップコード読上げ] を選んで [実行] を押すと、自動的にマップコードを読み上げて自車位置を QQ コールセンターに伝えることができます。

アドバイス

◆1 ・携帯電話が接続されていない場合には、画面に QQ コールの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。お近くの電話から QQ コールに電話をかけ、マップコードをお伝えください。

緊急連絡先に電話する

緊急連絡先として登録されている Honda 販売店「My ディーラー」や保険会社、ロードサービスに電話をかけることができます。*1

「QQ コールを利用する」（P329）の手順 1 までを操作した後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して 緊急連絡先 を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを左右に倒して My ディーラー または 任意保険 、 ロードサービス を選ぶ

3 ジョイスティックを下に倒して 発信 を選んで 実行 を押す

▼

選んだ緊急連絡先に電話がかかります。

ロードサービスを利用する

ドライブ中に車が故障したり、トラブルなどにあったときは、最寄りの JAF などのロードサービスに電話をかけることができます。

「QQ コールを利用する」（P329）の手順 1 までを操作した後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して 近くのロードサービス を選んで 実行 を押す

2 利用したいロードサービスを選んで 実行 を押す

▼

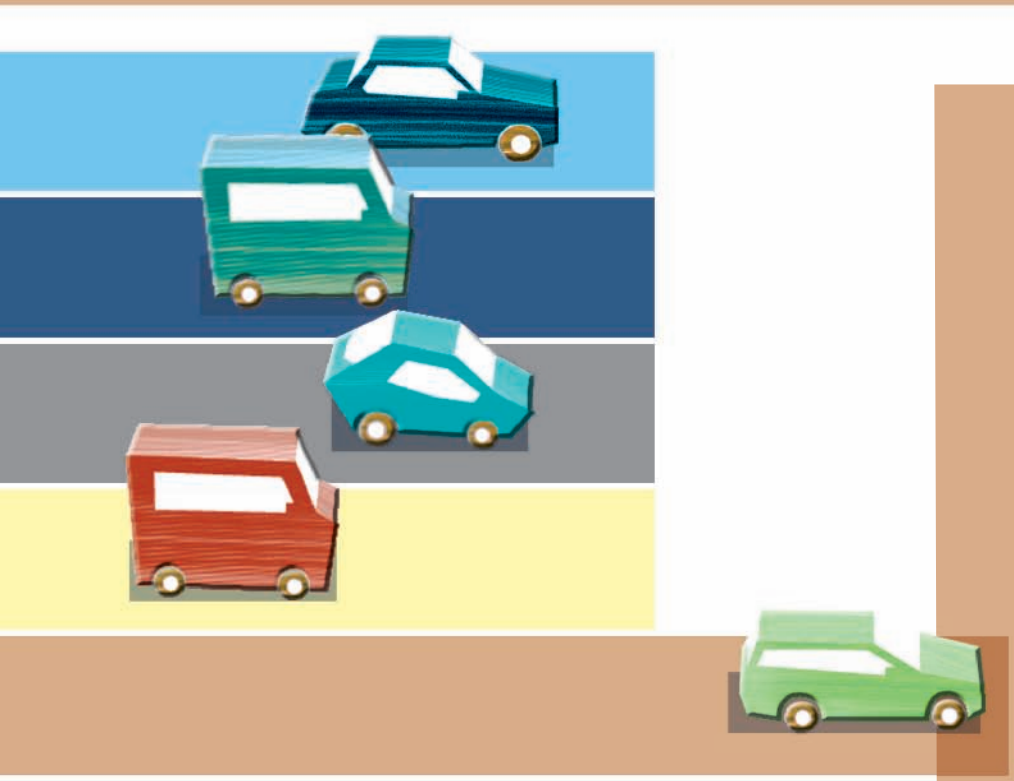
選んだロードサービスに電話がかかります。

ポイント

*1
- [My ディーラー] の連絡先はパーソナル・ホームページと同期を行うと Honda インターナビシステムに送られます。パーソナル・ホームページで連絡先を変更した場合は、再度、同期を行ってください。
  →*「登録した情報をパーソナル・ホームページと同期する」(P189)*
- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「インターナビの通信サービスを使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」(→P164)* を参照してください。
- [任意保険] と [ロードサービス] は、あらかじめ電話番号を登録しておく必要があります。
  →「緊急時の連絡先を登録する」(P198)

音声操作

Honda インターナビシステムの各機能を
音声で操作できます。



基本操作 332
声を覚えさせる（学習モード） 338
音声操作モードについて 340
音声で操作する 341
音声操作ガイドを使う 347
主な音声コマンドを確認する 348
設定を変更する 349
音声コマンド一覧 351

基本操作

音声コマンドを使った基本的な操作を説明します。

音声コマンドを話して、目的地を検索したり、オーディオやエアコンを操作することができます。
発話した音声コマンドは、マップランプ付近に取り付けられたマイクで認識されます。＊1

※ イラストは代表例を掲載しています。

ポイント

＊1 ・音声は、通常の運転姿勢で正しく認識されます。顔をマイクに向けたり、無理に大きな声で発話する必要はありません。

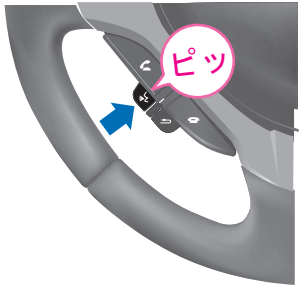
音声コマンドとは !?

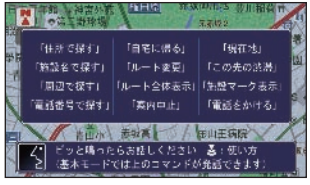
ナビゲーションシステムを操作することができる言葉です。音声コマンドを認識すると、話したコマンドに応じてナビゲーションシステムの操作が実行されます。
→「音声コマンド一覧」（P351）

音声操作の流れ

音声操作を行うには［発話］スイッチを押して、音声コマンドを話します。
ここでは、基本モードの音声操作の流れを説明します。音声操作が拡張モードのときは、音声操作に慣れた方のための、さらに詳細な音声操作ができます。
→「音声操作モードについて」（P340）
操作の例として、住所で目的地を検索する方法を紹介します。※1

1 ハンドルの を押す





“ピッ”と発信音がして、画面に表示されたアイコンの が に変わり、音声コマンドを認識できる状態になります。※2

2 ピッと発信音がしてから“**住所で探す**”と話す

都道府県名から始まる
住所をお話しください

・・・次ページ手順３につづく

3 ピッと発信音がしてから“**東京都港区南青山**”と話す ＊3 ◆1

音声コマンドが認識されると、音声操作の内容が画面表示と音声で案内されます。

4 ピッと発信音がしてから“**２の１の１**”と話す

音声コマンドが認識されると、音声操作の内容が画面表示と音声で案内されます。

ポイント

＊1 ・交差点案内や方向指示器（ウィンカー）使用時、一時的に音声操作を停止することがあります。音声操作が停止した場合は、［発話］スイッチを押すと音声操作を再開できます。

＊2 ・ が表示されるまで時間がかかることがあります
・「ワンプッシュ音声操作」を［しない］に設定していると、続けて話すときに［発話］スイッチを押す必要があります。→*「設定内容の詳細」（P350）*
・ナビゲーションが応答メッセージを返している間でも［発話］スイッチを押すと発話できます。（応答メッセージが中断されて、“ピッ”と音が鳴ります。）

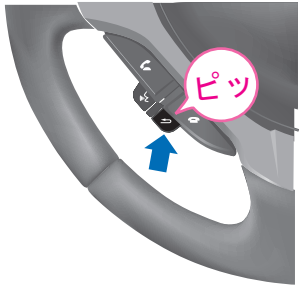
＊3 ・町や村名は正式な読みかたで話してください。
・自車位置が存在する都道府県名は、省略することができます。
・郡名は省略して話してください。
・都道府県名と市区町村名を分けて話すことができます。
・町名（大字、小字）まで検索できた場合は、さらに詳細な住所まで検索できます。
・住所によっては検索できない場合もあります。

アドバイス

◆1 ・住所や施設名を間違えた場合は、［取消］スイッチを押して、正しい住所を１つ前の段階から（例：東京都港区南青山）発話し直してください。

1 つ前の操作に戻りたいとき

1 ハンドルの ⮌ を押す



1 つ前の音声操作画面に戻ります。 ＊1

最初から操作をやり直したいとき

1 **現在地** を押す

現在地の地図画面に戻ります。 ＊2

ポイント

＊1 ・同じ「読み」の施設名などが存在する場合は、［取消］スイッチで選ぶことができます。

・音声コマンドや操作によっては、［取消］スイッチを押しても操作前の状態に戻らない場合があります。

＊2 ・繰り返し正しく認識されない場合は、［現在地］ボタンを押して、もう一度始めから行ってください。

発話のポイント

音声を正しく認識させるために、ご注意いただきたい点や、数字の発音のしかたについて説明します。 ＊1 ◆1

音声操作の注意点

音声は、通常の運転姿勢で正しく認識します。顔をマイクに向けたり、無理に大きな声で発話する必要はありません。ただし、正しく認識させるために、次のことを守ってください。

発話スイッチを押して、“ピッ”という音の後、約 5 秒以内に話す（ が に変わった状態のときに話す）

- ナビゲーションシステムの認識可能な言葉（音声コマンド）で話す
- 音声コマンドのみをはっきりと話し、“えーっと”などと言わない
- エアコンの風量を下げる
- 車外の音などを遮断するため、窓を閉める

数字の発音のしかた

数字を音声で操作するときは、次の点に注意して発音してください。

住所の番号を発話するとき

“丁目”、“番地”、“号”などは、発話しないでください。

（例 1）「9 番地 13 号」を発話する場合
↓
正“キューのジューサン”
誤“キューバンチジューサンゴウ”

（例 2）「4630 号」を発話する場合
↓
正“ヨンセンロッピャクサンジュー”
正“ヨンロクサンゼロ”
誤“ヨンセンロッピャクサンジューゴウ”

（例 3）「4559 番地 3 号」を発話する場合
↓
正“ヨンセンゴヒャクゴジューキューのサン”
正“ヨンゴーゴーキューのサン”
誤“ヨンゴーゴーキューサン”

（例 4）「3 丁目 126 番地 11 号」を発話する場合
正“サンのヒャクニジューロクのジューイチ”
正“サンのイチニーロクのイチイチ”
誤“サンチョウメヒャクニジューロクバンチジューイチゴウ”
誤“サンイチニーロクイチイチ”

ポイント

＊1
- 周囲の雑音や同乗者の会話などの影響により、正しく認識できない場合があります。
- ハンズフリー電話を使用しているときは、音声操作はできません。

アドバイス

◆1
- “ピッ”という音の後に、一息おいて発話すると認識されやすくなることがあります。
- 数字の間の“の”をやや強く発話すると認識されやすくなることがあります。

住所の数字の読みかた

0	ゼロ
1	イチ
2	ニ、ニー
3	サン
4	ヨン
5	ゴ、ゴー
6	ロク（「600」：ロッピャク）
7	ナナ
8	ハチ（「800」：ハッピャク）
9	キュー
十の桁	ジュー
百の桁	ヒャク、ビャク、ピャク
千の桁	セン、ゼン
万の桁	マン

電話番号、郵便番号を発話するとき

十、百、千などの桁情報は付けずに発話してください。◆1

（例 1）「8600」の場合

↓

正“ハチロクゼロゼロ”

誤“ハッセンロッピャク”

アドバイス

◆1
- 電話番号は「市外局番」「市内局番」「残りの 4 桁の番号」の 3 回に分けて発話するか、「市外局番＋市内局番」「残りの 4 桁の番号」の 2 回に分けて発話します。
- 郵便番号は「はじめの 3 桁」「続きの 4 桁」の 2 回に分けて発話します。
- 携帯電話や IP 電話の場合は「0*0」「次の 4 桁」「残りの 4 桁」の 3 回に分けて発話します。
- フリーダイヤルの場合（0120-***-*** または 0800-***-****）は、「0120」「次の 3 桁」「残りの 3 桁」または「0800」「次の 3 桁」「残りの 4 桁」の 3 回に、ナビダイヤルの場合（0570-***-***）は、「0570」「次の 3 桁」「残りの 3 桁」の 3 回に分けて発話します。

声を覚えさせる（学習モード）

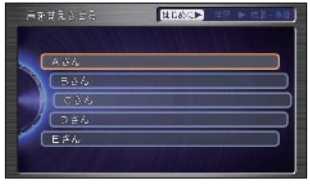
5 人分の声データをナビゲーションシステムに覚えさせることができます。

声を覚えさせることで、音声認識の認識率を向上させることができます。また、音声操作をするときに気をつけていただきたいアドバイスが表示されます。 *1

1 **ナビメニュー** → **ツール** → **音声操作** を選んで 実行 を押す

2 **声を覚えさせる** を選んで 実行 を押す

3 **登録したい場所**を選んで 実行 を押す



4 画面と音声ガイダンスに従って操作する *2

学習は 5 回（5 つの単語）繰り返します。最後の学習を終了すると、学習結果として認知レベルとアドバイスが表示されます。

5 **登録** を選んで 実行 を押す *3

6 **登録する** を選んで 実行 を押す

学習結果を選んだユーザーに登録して、学習を終了します。 *4

ポイント

*1 • 走行中は、本操作を行うことはできません。

*2 • 音声が認識できなかったときは、［取消］スイッチまたは［戻る］ボタンを押してやり直してください。

*3 • ［やり直し］を選んで［実行］ボタンを押すと、手順 3 からやり直すことができます。

• ［中止］を選んで［実行］ボタンを押すと、登録を中止して手順 2 の画面に戻ります。

*4 • 登録したユーザーごとに切り換えて音声操作をすることができます。
→「設定を変更する」(P349)

• ユーザー名を変更することもできます。*→「ユーザー名読みを変更する」(P339)*

ユーザーを選択する

「声を覚えさせる」で登録してある声データを、使用するユーザーに合わせて選ぶことができます。

1 簡単操作

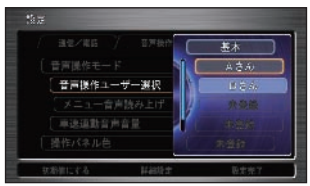
ナビメニュー → **設定を変える** → **音声操作設定** を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **設定** → **音声操作設定** を選んで 実行 を押す

2 **音声操作ユーザー選択** を選んで 実行 を押す

3 ユーザーを選んで 実行 を押す



▼

ユーザーが変更されます。

ユーザー名読みを変更する

「声を覚えさせる」で登録した声データを、お好みの名称読みに変更できます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **設定を変える** → **音声操作設定** を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **設定** → **音声操作設定** を選んで 実行 を押す

2 **音声操作ユーザー選択** を選んで 実行 を押す

3 **名称編集** を選んで 実行 を押す

4 ユーザー名を変更したいユーザーを選んで 実行 を押す ＊1

5 **名称** を選んで 実行 を押す ＊2

6 名称の文字を入力して **完了** を選んで 実行 を押す ＊3

7 **読み** を選んで 実行 を押す ＊2

8 読みの文字を入力して **完了** を選んで 実行 を押す ＊4

9 ジョイスティックを下に倒して **設定完了** を選んで 実行 を押す

▼

入力した名称と読みに変更されます。

ポイント

＊1・すべての声データを消去し、すべてを未登録に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して［初期値にする］を選び、［実行］ボタンを押します。

＊2・選んだユーザーの声データを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［初期値にする］を選び、［実行］ボタンを押します。

＊3・入力できる文字数は全角５文字分（半角 10 文字分）までです。

＊4・入力できる文字数は全角ひらがな 10 文字分までです。

関連する機能

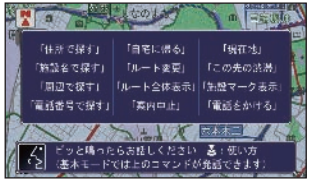
ナビ機能の設定を変える……P422
文字入力のしかた……P34

音声操作モードについて

音声操作モードには、「基本モード」と「拡張モード」の２種類のモードがあります。

基本モードは、使用できる音声コマンドを限定した初心者向きの音声操作を行うことができます。拡張モードは、さまざまな音声コマンドを使用でき、音声操作に慣れた方におすすめです。

基本モード



拡張モード

初期状態では、基本モードに設定されています。

標準操作

音声操作モードを切り換える

音声操作モードを基本モード／拡張モードに切り換えることができます。

手動で音声操作モードを切り換える

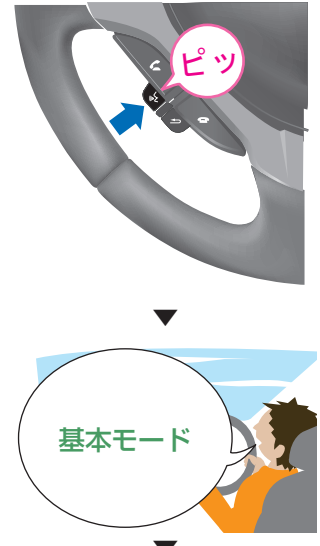
1 **ナビメニュー** → **設定** → **音声操作設定** を選んで 実行 を押す

2 **音声操作モード** を選んで 実行 を押す

3 **基本** または **拡張** を選んで 実行 を押す

音声操作で基本モードに切り換える（拡張モードのみ）

1 音声操作が拡張モードのときにハンドルの を押して、ピッと発信音がしてから“**基本モード**”と話す



基本モードに切り換わります。

音声で操作する

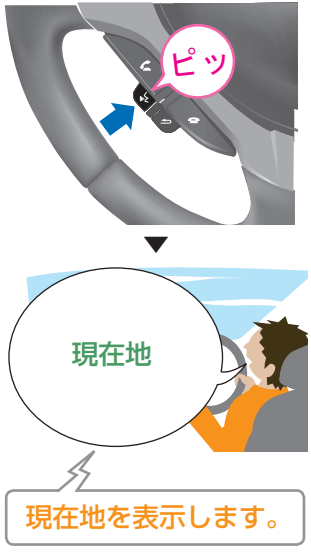
例をあげて音声操作ができる機能を説明します。おもに基本モードでの操作方法について説明します。

地図の表示を操作する

音声操作で地図のスケールや方位など表示の設定を変更することができます。

現在地の地図を見る

1 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**現在地**”と話す



現在地の地図が表示されます。

拡張モード時に地図表示を操作する例

拡張モード時は、音声コマンドでさらに詳細な操作ができます。

地図上に施設のマークを表示する例

操作内容	音声コマンド
ガソリンスタンドを表示する	ガソリンスタンド表示
コンビニを表示する	コンビニ表示

地図スケールを変更する例

操作内容	音声コマンド
広域地図を表示する	広域
詳細地図を表示する	詳細

地図の向きを変更する例

操作内容	音声コマンド
北を上にして表示する	北を上に表示
進行方向を上にして表示する	進行方向を上に表示

マップモードを変更する例

操作内容	音声コマンド
1 画面地図を表示する	1 画面地図
2 画面地図を表示する	2 画面地図
3D マップを表示する	スリーディーマップ
ドライビングマップを表示する	ドライビングマップ
高速ガイドを表示する	高速ガイド

場所を探す

音声操作で各都道府県の有名施設、周辺の施設を探すことができます。

各都道府県の有名施設を探す

各都道府県の有名施設を検索することができます。
ここでは栃木県のツインリンクもてぎを検索してルートを案内させる場合を例に説明します。

1 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**施設で探す**”と話す

施設のある都道府県名と施設の名前を続けてお話しください

2 ピッと発信音がしてから“**栃木県のツインリンクもてぎ**”と話す ◆1

栃木県ツインリンクもてぎを表示します

ツインリンクもてぎ周辺の地図が表示されます。

3 ピッと発信音がしてから“**ここに行く**”と話す

ツインリンクもてぎ付近に目的地を設定しました

ルートが計算され、ルート案内が始まります。

アドバイス

◆1 ・都道府県名と検索する施設名を分けて話すこともできます。

◆2 ・“ここに行く”の音声コマンドのほか、経由地に設定するときは“ここに立ち寄る”、マークリストに登録するときは“マークセット”と話します。

◆3 ・ワンプッシュ音声操作を [する] に設定していると、「“ ここに行く ” とお話しください」などのガイダンスが流れ、音声コマンドを認識できる状態になります。

周辺の施設を探す

現在地周辺の施設を探すことができます。[*1]
また、この検索方法の場合は「コンビニ」や「ファミリーレストラン」などの施設の種類で話してください。
ここでは、現在地周辺のコンビニを検索してルートを案内させる場合を例に説明します。

1 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**周辺で探す**”と話す [*2]

「近くのコンビニ」、「近くのガソリンスタンド」のようにお話しください

2 ピッと発信音がしてから“**近くのコンビニ**”と話す [◆1]

近くのコンビニを検索します。

▼

近くにあるコンビニの候補が数件案内されます。

3 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**次**”または“**前**”と話す [*3]

4 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**ここに行く**”と話す [◆2]

▼

ルートが計算され、ルート案内が始まります。

ポイント

[*1] ・拡張モード時は、目的地やルート沿いの周辺施設も検索できます。

[*2] ・拡張モード時は、「周辺で探す」を省略できます。

[*3] ・手順３の操作を繰り返して目的の施設を候補の中から探し、手順４へ進みます。

・１件目の候補が目的の施設のときは、手順３の操作を行わずに手順４へ進みます。

アドバイス

[◆1] ・拡張モードの場合は、“近くの＜施設の種類＞”の音声コマンドのほか、ルート沿いの施設を探すときは“この先の＜施設の種類＞”、目的地周辺の施設を探すときは“目的地周辺の＜施設の種類＞”と話します。

[◆2] ・“ここに行く”の音声コマンドのほか、経由地に設定するときは“ここに立ち寄る”、マークリストに登録するときは“マークセット”と話します。

電話番号で施設を探す ＊1

電話番号で施設を探すことができます。
ここでは、電話番号で施設を検索してマークリストに登録させる場合を例に説明しています。

1 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**電話番号で探す**”と話す

市外局番と市内局番を続けてどうぞ

2 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**0285（市外局番）**”と話す

市内局番をどうぞ

3 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**64（市内局番）**”と話す

続きの番号をどうぞ

4 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**0001（残りの番号）**”と話す

この番号で検索する時は、「検索する」とお話しください

5 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**検索する**”と話す

0285640001で検索します

電話番号に該当する施設の地図が表示されます。◆1

6 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**マークセット**”と話す ◆2

ツインリンクもてぎ付近にマークを設定しました。

▼

検索した場所がマーク地点リストに登録されます。

ポイント

＊1 ・拡張モード時は、郵便番号でも場所を探すことができます。

アドバイス

◆1 ・複数の施設が検索されたときは、“次”、“前”の発話で、目的の施設を選んでください。

◆2 ・“マークセット”の音声コマンドのほか、目的地を設定するときは“ここに行く”、経由地に設定するときは“ここに立ち寄る”と話します。

ルート案内中に操作する

目的地を設定し、ルートが引かれると、ルート案内が始まります。
ここでは、ルート案内中の操作の例として、ルート全体を表示する方法とルート案内を中止する方法を説明します。

ルート全体を表示する

1 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから、“**ルート全体表示**”と話す

ルート全体を表示します

画面にルート全体が表示されます。

ルート案内を中止する

1 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから、“**案内中止**”と話す

誘導を一時中断します

▼

ルート案内が一時中止されます。
再開するには、*「案内を再開する」（P159）*を参照してください。

拡張モード時に実行できるルート案内中の操作の例

拡張モード時は、音声コマンドでさらに詳細な操作ができます。

操作内容	音声コマンド
全ルートを表示する	ルート全体表示
次の経由地を表示する	経由地表示
ルートを再計算させる	ルート再計算
ルート案内を一時中断する	案内中止
ルート案内を再開する	誘導開始
到着予想時刻を確認する	到着予想時刻
残りの距離を確認する	残りの距離
案内音の音量を１～７に設定する	音声音量“○”※1
一般道路走行中	
迂回ルートを再計算させる	迂回距離“○”キロメートル※2
高速道路走行中	
迂回ルートを再計算させる	迂回距離“○”キロメートル※3

※１：設定したい音量（１～７）を発話してください。
※２：設定したい迂回距離（２，５，１０）を発話してください。
※３：設定したい迂回距離（１０，２０，３０）を発話してください。

音声でインターナビ情報を確認する 通信

ニュースや目的地の天気予報など、インターナビ情報センターのカーナビ向け情報を音声で操作することができます。
例として、ルート沿いの交通情報を聞きます。

1 ハンドルの を押し、ピッと発信音がしてから“**この先の交通情報**”と話す

VICS情報からこの先の交通情報を検索します

2 **前の情報** または **次の情報** を選んで 実行 を押す

選んだ情報が読み上げられます。

拡張モード時にインターナビ情報を確認する例 ＊1

拡張モード時は、交通情報や気象情報を音声コマンドで操作できます。

操作内容	音声コマンド
交通情報を確認する	交通情報
ルート案内中に目的地方面の天気を確認する	インターナビウェザー

ポイント

＊1
- インターナビ情報を確認するには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「インターナビの通信サービスを使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」（P164）*を参照してください。
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続を行わないとインターナビ情報はご利用できません。詳しくは、*「インターナビの通信サービスを使う」*の*「通信機能を使えるようにする」（P167）*を参照してください。
- サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

音声操作ガイドを使う 簡単操作 標準操作

音声操作ガイドを使うと、音声操作の基本的な操作や主な音声コマンドを確認することができます。

基本的な音声操作の方法を表示する

1 ナビメニュー → ツール → 音声操作 を選んで 実行 を押す

2 音声操作ガイド を選んで 実行 を押す

▼

音声操作ガイドメニュー画面が表示されます。

音声操作ガイドには、以下の項目があります。

項目	内容
基本操作	音声操作に必要な基本的な操作の説明を確認できます。
住所検索	住所による検索で、目的地を設定する例を確認できます。
施設検索	施設を検索して、そこに目的地を設定する例を確認できます。
周辺検索	ルート周辺の施設を検索して、そこに経由地を設定する例を確認できます。
電話番号検索	電話番号による検索で、目的地を設定する例を確認できます。
郵便番号検索（拡張モードのみ）	郵便番号による検索で、目的地を設定する例を確認できます。

音声操作ガイドとは !?

音声操作の基本的な操作や主な音声コマンドをデモンストレーションで確認することができます。

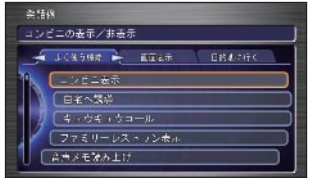
主な音声コマンドを確認する 簡単操作 標準操作

音声操作モードが拡張モードのとき、主な音声コマンドの発話例を表示することができます。 ※1

1 ナビメニュー → ツール → 音声操作 を選んで 実行 を押す

2 発話例 を選んで 実行 を押す ※2

3 ジョイスティックを左右に倒して、**確認したい発話例のジャンル**を選ぶ



4 コマンドホイールを回して、確認したい発話例を選び 実行 を押す

▼

音声コマンドの詳細な説明が表示されます。 ※3

確認できる発話例のジャンル

確認できる発話例のジャンルは、次のとおりです。

ジャンル	内容
よく使う機能	お客様がよく使う機能やナビゲーションの状態に適した発話例が表示されます。
画面表示	画面の操作に関する発話例が表示されます。
目的地に行く	目的地設定に関する操作の発話例が表示されます。
ルート案内	ルート案内に関する操作の発話例が表示されます。
天気・交通情報	交通情報やインターナビウェザーに関する操作の発話例が表示されます。
インターナビ・電話	インターナビやハンズフリー電話に関する発話例が表示されます。
オーディオ	オーディオ・テレビ操作に関する発話例が表示されます。
エアコン	エアコン操作に関する発話例が表示されます。
その他	環境の設定や音声メモの操作に関する発話例が表示されます。

ポイント

※1 ・走行中は、本操作を行うことはできません。

※2 ・発話例は拡張モードでのみ使用できます。

※3 ・選択した音声コマンドによっては、[実行] ボタンを押すと、発話したときと同様に動作する場合があります。

設定を変更する 簡単操作 標準操作

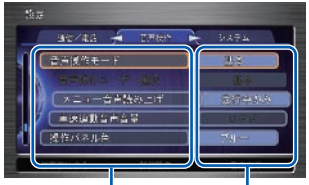
音声操作に関する設定をすることができます。 ※1

設定を変更する

1 ナビメニュー → ツール → 音声操作 を選んで 実行 を押す

2 設定 を選んで 実行 を押す

3 変更したい設定項目を選んで 実行 を押す



設定項目　設定

4 設定を選び 実行 を押す

▼

設定が変更され、直前の画面に戻ります。引き続き設定項目を選んで変更することができます。 ◆1

ポイント

※1 ・走行中は、本操作を行うことはできません。

アドバイス

◆1 ・設定内容については、*「設定内容の詳細」（→ P350）* を参照してください。

・音声操作の詳細設定を行うには、ジョイスティックを下に倒して、［詳細設定］を選び、［実行］ボタンを押します。

・各項目の設定を初期状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して［初期値にする］を選び、［実行］ボタンを押します。

設定内容の詳細

設定の**青い太字**は、購入直後に選択されている設定（工場出荷時）です。

設定項目		設定内容	設定
音声操作モード		“**音声操作モード**”を切り換えることができます。	[**基本**]
			[拡張]
音声操作ユーザー選択		“**音声操作をするユーザー**”を選ぶことができます。 あらかじめユーザー作成をしておく必要があります。 →*「声を覚えさせる」（P338）*	[**基本**]
			[A さん] ※1
			[B さん] ※1
			[C さん] ※1
			[D さん] ※1
			[E さん] ※1
			[名称編集] ※2
詳細設定 （ジョイスティックを下に倒し、［詳細設定］を選んで［実行］ボタンを押す）	音声操作	“**音声操作をするかどうか**”を選ぶことができます。	[**する**]
			[しない]
	音声操作テロップ表示※3	“**音声操作のテロップを表示するかどうか**”を選ぶことができます。	[**する**]
			[しない]
	音声操作補助案内※3	“**音声操作に対する音声ガイダンスを再生するかどうか**”を選ぶことができます。 （基本モード、拡張モード、それぞれのモードで設定が保持されます。）	[**する**]
			[しない]
※簡単操作モードでは、詳細設定はありません。	ワンプッシュ音声操作	住所や電話番号から検索するときなどに、“**毎回［発話］スイッチを押さなくても音声操作をできるようにするかどうか**”を選ぶことができます。	[**する**]
			[しない]

※1：音声操作ユーザーが設定されていない場合、［未登録］と表示され、選ぶことができません。
※2：音声操作ユーザーが設定されていない場合、選ぶことができません。
※3：［音声操作テロップ表示］と［音声操作補助案内］を両方［しない］に設定することはできません。

音声コマンド一覧 簡単操作 標準操作

ナビゲーションシステムで使用できるおもな音声コマンドは、以下のとおりです。

「×」は、その欄に示す操作モードでは操作できない機能を示しています。
音声コマンド欄の**青字は定型コマンド**で、**緑字はユーザー任意コマンド**となります。

基本モード時の音声コマンド一覧

■画面表示

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
施設マーク表示		
施設マークの表示／非表示	施設マーク表示	

■目的地を探す

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
目的地を探す		
自宅を目的地にする	自宅に帰る	
住所で検索する	住所で探す	
施設名で検索する	施設名で探す	
電話番号で検索する	電話番号で探す	
周辺検索		
周辺施設を検索する	周辺で探す	
現在地周辺の施設を検索する	近くの“○○” ※1	

※1：基本モードの場合は、「周辺で探す」を発話した後にのみ使用できます。検索できる施設のジャンルは、コンビニ、ガソリンスタンド、銀行、ファミレス、駐車場、郵便局のみです。

■目的地に行く

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
ルート設定		
表示場所にマークセットをする	マークセット※1	×
表示した場所を目的地に設定する	ここに行く※1	
表示した場所を経由地に設定する	ここに立ち寄る※1	×
表示した場所を経由して自宅に帰る	ここに寄って帰る※1	×
ルート確認		
全画面地図を見る	ルート全体表示	

※1：地点を検索した後にのみ使用できます。

■目的地に行く（つづき）

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
ルート変更		
計算条件を変更して、ルートを再計算する	ルート条件変更	×
ルート案内の中止／再開		
ルート案内を一時中断する	案内中止	

■インターナビを使う

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
ルート沿いの交通情報を検索する	この先の交通情報 この先の渋滞	

■電話を使う

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
電話をかける	電話をかける	
電話帳から名称を呼び出す	＜読み＞※1※3	
QQ コールに電話をかける	キュウキュウコール※2※3	
My ディーラーへ電話する	マイディーラー※3※4	
ロードサービスへ電話する	ロードサービス※3※4	
ＪＡＦへ電話する	ジャフ※3	
保険会社へ電話する	任意保険※3※4	

※１：　電話帳内に登録されている読みがなを発話してください。
※２：　QQ コールに登録されているときに操作できます。詳しくは Honda 販売店にご相談ください。
※３：「電話をかける」を発話した後のみ使用できます。
※４：　緊急連絡先に登録されているときに使用できます。

拡張モード時の音声コマンド一覧

■基本操作

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
現在地を表示する	現在地	
モード切り換え		
簡単操作モードに切り換える	簡単操作モード	×
標準操作モードに切り換える	×	標準モードにする

■画面表示

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
画面を消す	画面消し	
地図の向き		
地図の向きを変える	地図方位切り換え	
北を上の地図にする	北を上に表示	
進行方向を上の地図にする	進行方向を上に表示	
マップモード		
1画面表示にする	1画面地図	
2画面表示にする	2画面地図	×
3D（立体）表示にする	スリーディーマップ	×
3D／2Dマップ表示にする	スリーディーツーディーマップ	×
ドライビングマップ表示にする	ドライビングマップ	×
行程ガイドを表示する	行程ガイド	×
高速ガイドを表示する	高速ガイド	
スケール		
地図縮尺を1段階上げる	広域	
地図縮尺を1段階下げる	詳細	
地図縮尺を“○○”mにする	“○○”メートル※1	
地図縮尺を“○○”kmにする	“○○”キロメートル※2	
右画面縮尺画面を表示する	右画面縮尺	×
右画面の地図縮尺を1段階上げる	右画面広域	×
右画面の地図縮尺を1段階下げる	右画面詳細	×
右画面の地図向きを変える	右画面地図方位切り換え	×
右画面で北を上に表示する	右画面北を上に表示	×
右画面で進行方向を上に表示する	右画面進行方向を上に表示	×

※1：“○○”には、10、25、50、100、200、500を発話して設定することができます。
※2：“○○”には、1、2、5、10、20、50、100、200、500を発話して設定することができます。

■画面表示（つづき）

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
施設マーク表示		
施設マークの表示／非表示	施設マーク表示	
ガソリンスタンドの表示／非表示	ガソリンスタンド表示	
コンビニの表示／非表示	コンビニ表示	
ファミリーレストランの表示／非表示	ファミリーレストラン表示	
ファーストフードの表示／非表示	ファーストフード表示	
スーパーの表示／非表示	スーパー表示	
カー用品店の表示／非表示	カー用品店表示	
銀行の表示／非表示	銀行表示	
駐車場の表示／非表示	駐車場表示	
VICS 駐車場マーク表示をする／しない	ビックス駐車場マーク表示	×
表示設定		
地図色を変える	地図色	×
昼の地図色を変える	地図色　昼	×
夜の地図色を変える	地図色　夜	×
地図色時刻連動切換をする／しない	地図色時刻連動	×
操作パネル色を変える	操作パネル色	×
時計の表示／非表示	時計表示	

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
時計表示を 24 時間制にする／しない	24 時間表示	×
サマータイムにする／しない	サマータイム表示	×
高速ガイドの自動表示をする／しない	高速ガイド自動表示	×
行程ガイドの自動表示をする／しない	行程ガイド自動表示	×
行程ガイド IC 省略をする／しない	行程ガイド IC（インターチェンジ）省略	×
都市高速マップ表示をする／しない	都市高速マップ表示	×
駐車場マップ表示をする／しない	駐車場マップ表示	×
3D ビルの表示／非表示	ビル立体表示	×
有名施設リアル表示をする／しない	有名施設リアル表示	×
施設文字サイズを変更する	施設文字	×
方面看板の表示／非表示	方面看板表示	×
現在地情報の表示を変更する	現在地情報の表示	×
走行軌跡の表示／非表示	走行軌跡表示	×
走行軌跡自動消去を自宅到着時にする／しない	走行軌跡自動消去	×

■画面表示（つづき）

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
警告・案内設定		
ETC 案内をする／しない	ETC（イーティーシー）案内※1	×
ETC カードの挿入状態を確認する	ETC（イーティーシー）カード確認※1	
ふらつき検知警報をする／しない	ふらつき検知警報	×
カーブ警告の設定を変える	カーブ警告	×
シートベルト警告をする／しない	シートベルト警告	×
パーキングブレーキ警告をする／しない	パーキングブレーキ警告	×
リフレッシュ案内をする／しない	リフレッシュ案内	×
その他の設定		
現在地を修正する	現在地修正	×

※1：ETC 装備車のみ有効なコマンドです。

■目的地を探す

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
表示場所にマークセットをする	マークセット	×
目的地を探す		
自宅を目的地にする	自宅に帰る	
住所で検索する	住所で探す	
施設名で検索する	施設名で探す	
電話番号で検索する	電話番号で探す	
郵便番号で検索する	郵便番号	×
周辺検索		
周辺施設を検索する	周辺で探す	
現在地周辺の施設を検索する	近くの“○○”※1	
ルート沿いの施設を検索する	この先の“○○”※1	
目的地周辺の施設を検索する	目的地周辺の“○○”※1	
よく行く地点／目的地履歴／マーク		
先ほどの地図を表示する	先ほどの地図	×
マークの地点を地図表示する	＜マーク名＞※2	
マークリストを順番に表示する	マークリスト	
過去の目的地を地図表示する	＜過去の目的地＞※3	
過去の目的地を順番に表示する	目的地履歴	
よく行く地点“○”を地図表示する	よく行く地点“○”※4	
よく行く地点を順番に表示する	よく行く地点	

※1：続けて検索したい施設コマンド(→P362)を発話してください。
※2：読みを発話して設定することができます。
※3：「施設名で探す」と話した後で、発話してください。(→P342)
※4：○には、よく行く地点の番号として、1～5を発話して設定することができます。

■目的地に行く

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
ルート設定		
表示した場所を目的地に設定する	ここに行く	
表示した場所を経由地に設定する	ここに立ち寄る	×
表示した場所を経由して自宅に帰る	ここに寄って帰る	×
ルート案内		
音声案内を確認する	音声案内	
目的地までの残りの距離を確認する	残りの距離	
到着予想時刻を確認する	到着予想時刻	
交差点案内を確認する	交差点拡大図	
駐車場セレクト画面を表示する	駐車場セレクト	
マップクリップ画面を表示する	マップクリップ	×
ルート案内設定		
交通状況変化時案内をする／しない	交通状況変化時案内	×
到着予想時刻案内を目的地／経由地／しないにする	到着予想時刻案内	×
交差点目印案内をする／しない	交差点目印案内	×
リアル拡大図表示をする／しない	リアル拡大図表示	×
右左折専用レーン案内をする／しない	右左折専用レーン案内	×
シンプル案内をする／しない	シンプル案内	×
県境案内をする／しない	県境案内	×
合流案内をする／しない	合流案内	×
事故多発地点案内をする／しない	事故多発地点案内	×
踏み切り案内をする／しない	踏み切り案内	×
時間曜日規制考慮をする／しない	時間曜日規制考慮	×
回避エリア考慮をする／しない	回避エリア考慮	×
フェリー使用をする／しない	フェリー使用	×
直線誘導線の表示／非表示	直線誘導線表示	×
ルート学習をする／しない	ルート学習	×
スマート IC を利用する／しない	スマート IC 案内	×
渋滞考慮オートリルートをする／しない	渋滞考慮オートリルート	×
VICS 設定		
VICS 一般道情報表示をする／しない	一般道情報表示	×
VICS 高速道情報表示をする／しない	高速道情報表示	×
図形情報割込みをする／しない	図形情報割込み	×
文字情報割込みをする／しない	文字情報割込み	×
ルート沿いの交通情報を検索する	この先の交通情報 この先の渋滞	

■目的地に行く（つづき）

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
渋滞表示をする／点滅表示／しない	渋滞表示	×
混雑表示をする／点滅表示／しない	混雑表示	×
順調表示をする／点滅表示／しない	順調表示	×
規制表示をする／しない	規制表示	×
音声設定		
音声音量設定画面を表示する	音声音量設定	
音声案内の音量を上げる	音声音量アップ	
音声案内の音量を下げる	音声音量ダウン	
音声案内の音量を OFF にする	音声音量オフ	
音声案内の音量を“○”にする	音声音量“○”※1	
ルート確認		
全画面地図を見る	ルート全体表示	
目的地を表示する	目的地表示	
経由地を表示する	経由地表示	×
ルート変更		
ルートを再計算する	ルート再計算	
計算条件を変更して、ルートを再計算する	ルート条件変更	×
高速道標準ルートで案内する	高速道標準	×
一般道標準ルートで案内する	一般道標準	×
一般道距離優先ルートで案内する	一般道距離優先	×
一般道道幅優先ルートで案内する	一般道道幅優先	×
高速道道幅優先ルートで案内する	高速道道幅優先	×
高速道距離優先ルートで案内する	高速道距離優先	×
距離優先ルートで案内する	距離優先	×
幹線優先ルートで案内する	幹線優先	×
現在地から“○○”ｋｍ先までを迂回するルートを探す	迂回距離“○○”キロメートル※2	×
高速を一時回避する	高速を一時回避	×
高速を利用しない	高速を利用しない	×
ルート案内の中止／再開		
ルート案内を開始する	誘導開始	
ルート案内を一時中断する	案内中止	
目的地を消去する	目的地消去	

※1：○には、1～7を発話して設定することができます。
※2：○○には、2、5、10（高速道路走行中 10、20、30）を発話して設定することができます。

■インターナビを使う 通信

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
インターナビルートで案内する	インターナビルート	
交通情報を見る	交通情報	
internaviVICS 情報を取得する	インターナビビックス	
新規道路データを取得する	新規道路データ	
Honda からのお知らせを読み上げる	Honda からのお知らせ	
メンテナンスや更新のお知らせを起動時に通知する／しない	カーカルテ起動時通知	×
ルート案内時連動取得設定を変える	ルート案内時連動取得	×
情報取得周期設定を変える	情報取得周期	×
走行した道路情報を情報センターに送信する／しない	フローティングカー情報	×
マークリストをパーソナルHPと同期する際に画像情報も同時に取得する／しない	マーク地点リスト画像同期	×
インターナビウェザー		
気象情報を取得する	インターナビウェザー	
天気音声案内をする／しない	天気音声案内	×
天気情報割込みをする／しない	天気情報割込み	×
気象警戒エリア表示をする／しない	気象警戒エリア表示	×

■エアコンを使う

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
電源		
エアコンの電源を入れる	エアコンオン	
エアコンの電源を切る	エアコンオフ	
クーラーの電源を入れる	クーラーオン	
クーラーの電源を切る	クーラーオフ	
リアデフをオンにする	リアデフオン	
リアデフをオフにする	リアデフオフ	
すべてのエアコンをオフにする	エアコン全席　オフ	
温度		
設定温度を 1 度下げる	あつい	
設定温度を 1 度上げる	さむい	
設定温度を“○○”度にする	“○○”度※1	
設定温度を左右独立にする	エアコン左右独立※2	
設定温度を左右同じにする	エアコン左右一括※2	
運転席の設定温度を 1 上げる	運転席さむい※2	
運転席の設定温度を 1 下げる	運転席あつい※2	
運転席の設定温度を“○○”度にする	運転席“○○”度※1※2	
助手席の設定温度を 1 上げる	助手席さむい※2	
助手席の設定温度を 1 下げる	助手席あつい※2	
助手席の設定温度を“○○”度にする	助手席“○○”度※1※2	

※ 1：　○○には、18 ～ 32 を発話して設定することができます。
※ 2：　左右独立制御可能なエアコン装着車で使用します。

■エアコンを使う（つづき）

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
風		
内気循環にする	内気循環	
外気導入にする	外気導入	
ファンスピードを 1 上げる	ファンスピード上げる	
ファンスピードを 1 下げる	ファンスピード下げる	
ファンスピードを低速にする	ファンスピード小	
ファンスピードを中速にする	ファンスピード中	
ファンスピードを高速にする	ファンスピード大	
上から風を出す	吹き出し口　上	
上と足下から風を出す	吹き出し口　上と足下	
足下から風を出す	吹き出し口　足下	
足下と窓から風を出す	吹き出し口　足下と窓	
ファンスピードを“○”にする	ファンスピード“○”※1	
冷暖房		
急速冷房にする	急速冷房	
急速暖房にする	急速暖房	
エアコンをおまかせモードにする	おまかせ※2	

※1：“○”には、1～7を発話して設定することができます。
※2：エアコンをオートにして、設定温度を 25 度にします。

■オーディオを使う

再生･視聴しているソース（ラジオ、テレビ、CD、MP3/WMA/AAC ディスクなど）に合った音声コマンドを発話してください。

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
オーディオの電源を入れる	オーディオ	
オーディオの電源を切る	オーディオ　オフ	
共通操作		
局番を指定して受信する／曲番を指定して再生する	＜“N”キョク目＞※1	
次の局を受信する／次の曲を再生する	次のキョク	
前の局を受信する／前の曲を再生する	前のキョク	
再生操作		
リピートモードを変更する	リピート	
ランダムモードを変更する	ランダム	
スキャンモードを変更する	スキャン	
次のフォルダを再生する	次のフォルダ	
前のフォルダを再生する	前のフォルダ	
選局操作		
自動選局を開始する	オートセレクト	
自動選局を解除する	オートセレクトオフ	

※1：“N”には、1～20（曲番を指定するとき）、または 1～6（局番を指定するとき）を発話して設定することができます。

■オーディオを使う（つづき）

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
ラジオ		
ラジオをきく	ラジオ	
AM 放送をきく	エーエム	
FM 放送をきく	エフエム	
＜AM 放送局名称＞で選局する	＜AM放送局名称＞※1	
＜FM 放送局名称＞で選局する	＜FM放送局名称＞※1	
テレビ		
テレビを見る	テレビ	
＜TV 放送局名称＞で選局する	＜TV 放送局名称＞※1※2	
DVD		
DVD-Video を再生する	ディーブイディービデオ	
サウンドコンテナ		
サウンドコンテナを再生する	サウンドコンテナ	
サウンドコンテナに登録された曲を探す	名称で探す※3	
現在聴いている曲をお気に入りに登録する	お気に入りに追加	
お気に入りに登録された曲を再生する	お気に入り	

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
その他		
音楽 CD を再生する	シーディー	
iPod を再生する	アイポッド※4	
USB メモリーを再生する	ユーエスビーメモリー※4	
交通情報をきく	交通情報ラジオ	

※１：　オーディオ画面に表示される放送局名を発話してください。
※２：　プリセットされた放送局名のみを認識できます。
※３：　アルバムアーティスト名、アルバム名、トラック名から探すことができます。アルバムアーティスト名、アルバム名で探した場合は、該当アーティストのアルバムの最初のトラックが再生されます。
※４：　USB ボックスに該当機器が接続されている必要があります。

■電話を使う

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
電話をかける	電話をかける	
電話帳から名称を呼び出す	＜読み＞※1	
QQ コールに電話をかける	キュウキュウコール※2	
My ディーラーへ電話する	マイディーラー※3	
ロードサービスへ電話する	ロードサービス※3	
ＪＡＦへ電話する	ジャフ	
保険会社へ電話する	任意保険※4	
電話帳を切り換える	＜電話帳ユーザー　登録名称＞※5	
受話音量設定画面を表示する	受話音量	×
着信音量設定画面を表示する	着信音量	×
自動着信をする / しない	自動着信	×

※１：　電話帳に登録されている読みがなを発話してください。「電話をかける」を発話した後のみ使用できます。
※２：　QQ コールに登録されているときに操作できます。詳しくは Honda 販売店にご相談ください。
※３：　緊急連絡先に登録されているときに使用できます。
※４：　任意保険を登録しているときに使用できます。
※５：　ユーザーの読みがなを発話してください。

■音声メモを使う

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
音声メモで録音する	音声メモ録音	
音声メモを再生する	音声メモ読み上げ	

■読み上げの設定をする

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
メニュー音声読み上げの設定を変える	メニュー音声読み上げ	×

■音声操作を使う

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
音声操作を基本モードに切り換える	基本モード	
音声操作ガイドを表示する	音声操作ガイド	
発話例を表示する	発話例	
よく使う機能を読み上げる	よく使う機能	

■時刻を知る

操作内容	音声コマンド	
	標準操作	簡単操作
現在の時刻を読み上げる	今何時	
今日の日付を読み上げる	今日は何日	

施設

- 都道府県名の欄に○がついているコマンドは、都道府県名の後に施設名を話すと検索することができます。 ただし、施設によっては都道府県名を省略できる場合があります。
  例：施設名で探す→三重県　鈴鹿サーキット
- 周辺検索の欄に○がついているコマンドは、拡張モード時に周辺検索コマンド *(P343)* の後で施設ジャンルを発話すると検索することができます。基本モードで検索できる施設は、コンビニ、ガソリンスタンド、銀行、ファミレス、駐車場、郵便局に限られます。
  例：近くのファーストフード、目的地のファミリーレストラン、この先のファミリーレストラン *→「周辺の施設を探す」(P343)*
- 一度目的地や経由地に設定すると、次回からはその施設名を話すと都道府県名を省略して検索することができます。
  （一部の施設または読みがながない施設名を除きます。）
  例：施設名で探す→六本木ヒルズ（以前、六本木ヒルズを目的地や経由地に設定した場合）

カテゴリ	コマンド	都道府県名	周辺検索
交通機関	駅	○	○
	道の駅	○	○
	JR	○	×
	新幹線	○	×
	幹線	○	×
	地方交通線	○	×
	高速道路	○	×
	有料道路	○	×
	交差点	×	×
	空港	○	×
	フェリーターミナル	○	×
公共施設	警察署	○	○
	消防署	×	○
	税務署	×	○
	ハローワーク	×	○
	法務局	×	○
	保健所	×	○
	免許センター	×	○
	役所	○	×
トイレ	トイレ	×	○
金融機関／ATM	郵便局	×	○
	都市銀行	×	○
	地方銀行	×	○
	第２地方銀行	×	○
	その他金融機関	×	○
	ATM	×	○
宿泊施設	公共宿舎	○	○
	ペンション	○	○
	ホテル	○	○
	民宿	×	○
	旅館	○	○
飲食店	イタリア料理店	×	○
	うどん・そば店	×	○
	うなぎ料理店	×	○
	お好み焼屋	×	○

カテゴリ	コマンド	都道府県名	周辺検索
	おでん屋	×	○
	海鮮料理店	×	○
	割烹・懐石	×	○
	カレー店	×	○
	喫茶店	×	○
	地ビール	×	○
	地ワイン	×	○
	寿司屋	×	○
	ステーキハウス	×	○
	スパゲッティ専門店	×	○
	中華料理店	×	○
	てんぷら料理店	×	○
	鳥料理店	×	○
	とんかつ・串かつ料理店	×	○
	なべ料理店	×	○
	ピザハウス	×	○
	ファーストフード	×	○
	ファミリーレストラン	×	○
	フランス料理店	×	○
	焼肉・韓国料理店	×	○
	洋食料理店	×	○
	ラーメン店	×	○
	和食料理店	×	○

カテゴリ	コマンド	都道府県名	周辺検索
	その他料理店	×	○
レジャー施設	映画館	○	○
	温泉	○	○
	海水浴場	○	○
	カラオケボックス	×	○
	キャンプ場	○	○
	ゲームセンター	×	○
	公営ギャンブル場	○	○
	公園	○	○
	サウナ・健康ランド	×	○
	植物園	○	○
	水族館	○	○
	釣り堀	○	○
	ディスコ	×	○
	動物園	○	○
	パチンコ	×	○
	牧場	○	○
	遊園地	○	○
	寄席	×	○
	ライブハウス	×	○
	リゾート施設	×	○
スポーツ施設	競技場	○	○
	ゴルフ場	○	○
	ゴルフ練習場	○	○
	サーキット	○	○

カテゴリ	コマンド	都道府県名	周辺検索
	スキー場	○	○
	スケート場	○	○
	体育館・アリーナ	○	○
	テニスコート	○	○
	トレーニングセンター	×	○
	バッティングセンター	×	○
	ビリヤード場	×	○
	プール	○	○
	ボウリング場	○	○
	野球場	○	○
	ヨットハーバー	○	○
	レンタサイクル	×	○
	その他スポーツ施設	×	○
文化施設	教会	×	○
	劇場・ホール	○	○
	資料館	○	○
	城・城跡	○	○
	神社・寺	○	○
	展示場	○	○
	図書館	○	○
	博物館	○	○
	美術館	○	○

カテゴリ	コマンド	都道府県名	周辺検索
	プラネタリウム・天文台	○	○
	名所・旧跡	○	○
車	カー用品店	×	○
	ガソリンスタンド	×	○
	Honda 販売店	○	○
	オートテラス	○	○
	交通教育センター	×	○
	駐車場	×	○
	ロードサービス	×	○
	自動車整備	×	○
	洗車場	×	○
	レンタカー	×	○
	中古車販売	×	○
買物	市場	×	○
	衣料品店	×	○
	お菓子・ケーキ店	×	○
	お土産屋	×	○
	おもちゃ屋	×	○
	家具・インテリア店	×	○
	家電店	×	○
	くつ店	×	○
	化粧品店	×	○
	コンビニ	×	○
	酒屋	×	○

カテゴリ	コマンド	都道府県名	周辺検索
	雑貨店	×	○
	CD・ビデオ店	×	○
	自転車・バイク店	×	○
	手・工芸品店	×	○
	書店	×	○
	スーパー	×	○
	ショッピングモール	○	○
	スポーツ用品店	×	○
	ディスカウントストア	×	○
	デパート	○	○
	花屋・園芸店	×	○
	パン店	×	○
	プレイガイド	×	○
	文房具店	×	○
	ペットショップ	×	○
	ホームセンター	×	○
	めがね店	×	○
	薬局	×	○
	レンタルCD・ビデオ店	×	○
	レンタルショップ	×	○
	美容室	×	○
	弁当	×	○
	理容店	×	○

カテゴリ	コマンド	都道府県名	周辺検索
病院	医院・診療所	×	○
	眼科	×	○
	外科	×	○
	産婦人科	×	○
	歯科	×	○
	耳鼻咽喉科	×	○
	小児科	×	○
	総合病院	○	○
	動物病院・獣医師	×	○
	内科	×	○
	皮膚科	×	○
教育施設	保育園	×	○
	幼稚園	×	○
	小学校	×	○
	中学校	×	○
	高校	×	○
	大学	×	○
	その他学校	×	○

M E M O

ETC を使う

ETC の使いかたを説明します。

ETC について　368
ETC を利用する前に　369
ETC の使いかた　370

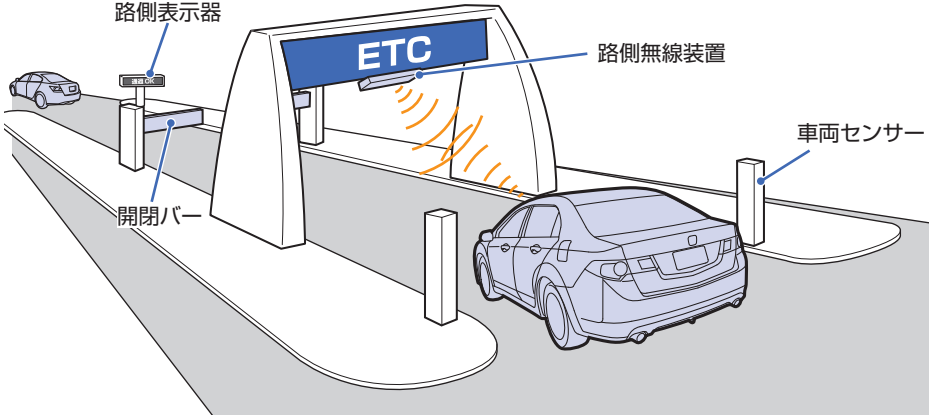
ETC について 簡単操作 標準操作

ETC（Electronic Toll Collection System の略）とは、自動料金収受システムのことです。有料道路の料金所で行われている現金や回数券、カードの手渡しによる料金支払いに代わる新しい料金支払いシステムです。

ETC® は財団法人道路システム高度化推進機構（ORSE）の登録商標です。

自動料金収受システムのしくみ

料金所に設置されている路側アンテナと車に装着されている ETC 車載器との間で無線通信を行い、料金情報をやりとりします。支払いを自動的に行うため、料金所では車を停めることなくスムーズに通過することができます。



ETC をご利用いただくには

ETC は、ETC 車載器のセットアップと事前にクレジット会社が発行する ETC カードをご用意いただく必要があります。ETC カードを所有している場合には、車種を問わずにご利用いただけます。ご用意いただいた ETC カードをセットアップした ETC 車載器に挿入することでご利用いただけます。

ETC カードの取り扱いについては、ETC カード発行会社の提示する注意事項に従ってください。初めて ETC システムを使うときは、セットアップする必要があります。詳しくは Honda 販売店にご相談ください。

ETC を利用する前に 簡単操作 標準操作

ETC を正しく使用していただくために以下のことに注意してください。

⚠ 注意

- 安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差しおよび本機の操作を行わないでください。
  前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お願い

- ETC 車載器のアンテナ上に物を置かないでください。ETC のアンテナはインストルメントパネルの中央裏側にあります。
- ナンバープレートの変更や車検証の記載が変更になった場合は、ETC 車載器の変更手続きが必要となりますので Honda 販売店にご相談ください。

乗車前の注意と確認

お願い

- ETC カードを ETC 車載器に確実に挿入し、正常に動作することを確認してください。
- ETC カードの有効期限を確認してください。(有効期限が切れていてもエラー表示されません。)

料金所を通過するときの注意

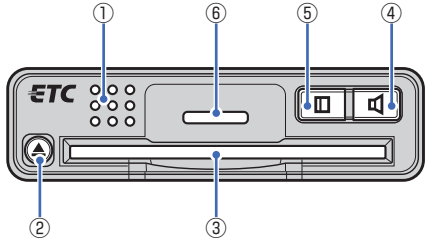
⚠ 注意

- 本機は ETC レーンのある方向を案内しますが、必ず実際の状況に従って走行してください。
- 十分な車間距離を取って、時速 20km 以下の安全な速度で通過してください。
- 開閉バーの動作や前車の急停車等に注意してください。

ETC の使いかた 簡単操作 標準操作

ETC 車載器は、ハンドル右下にあるコインポケットの中に設置されています。コインポケットの場所については車両本体の取扱説明書をご覧ください。

ETC 車載器の各部の名称



① スピーカー
ETC に関する内容を音声で案内します。

② [⏏] ボタン
ETC カードを取り出すときに使います。

③ カードスロット
ETC カードを挿入します。

④ [🔊] ボタン
スピーカーの音量を調節します。

⑤ [◫] ボタン
押すたびに ETC の利用履歴を音声で確認します。*（→ P374）*
画面で確認したいときは、*「履歴を画面で確認する」（→ P375）*を参照してください。

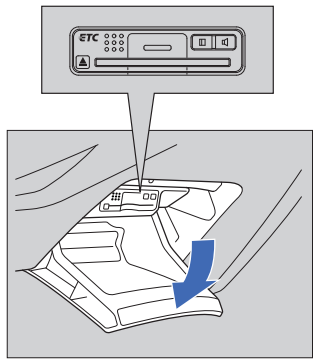
⑥ LED ランプ
ETC 車載器の動作状態を確認します。
「緑」：正常
「緑」（点滅表示）：未セットアップ
「橙」：何らかの異常（カード未挿入等）

ETC カードを入れる / 取り出す

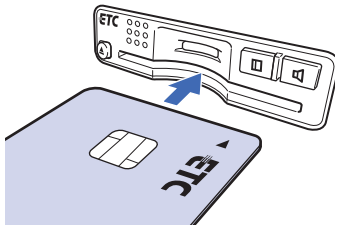
ETC 車載器に ETC カードを挿入する方法、取り出す方法を説明します。

ETC カードを入れる

1 運転席側のコインポケットのふたを開ける



2 金属端子 (IC チップ) が上になるように ETC カードを差し込む



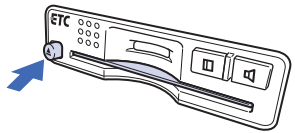
ETC カードの読み込みが正常に完了すれば、ETC 車載器の LED ランプが緑になり、画面にメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されたときは *「エラーメッセージと対処方法」(→ P470)* を参照してください。

3 コインポケットのふたを閉じる

ETC カードを取り出す

1 コインポケットのふたを開ける

2 [⏏] ボタンを押して ETC カードを取り出す *1



3 コインポケットのふたを閉じる

お願い

- 車から離れるときは、ETC カードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。

ポイント

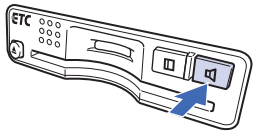
*1
- ETC カードが残ったままエンジンスイッチを “0” にすると ETC 車載器のスピーカーから「ETC カードが残っています」と案内します。
- ETC カードはクレジットの一種ですので、車内に残したまま降車しないでください。

スピーカーの音量を調節する

音声案内の音量を 4 段階で調節することができます。

1 コインポケットのふたを開ける

2 [🔊] ボタンを押す



▼

[🔊] ボタンを押すたびに ETC 車載器のスピーカー音量が変わります。このとき、調節した音量は「1 番」「2 番」・・・と音声で案内されます。

3 コインポケットのふたを閉める

音量について ※1

番号	音声案内	音量
0 番	ピッ！	消音
1 番	イチバン	小
2 番	ニバン	中
3 番	サンバン	大

ポイント

※1 ・工場出荷時の番号は「2 番」となります。

ETC カードの未挿入 / 抜き忘れ案内について

ETC 車載器がセットアップされていれば、ETC カードの状態によって以下の案内をします。
また、モードを切り換えることによって ETC 車載器からの音声案内を設定することができます。

ETC カードが未挿入のとき

エンジンスイッチを “I” または “II” にしたとき、ETC 車載器に ETC カードが挿入されていない場合、ETC 車載器のスピーカーから「ピッ！ ETC カードを入れてください」と案内します。
また、Honda インターナビシステム起動後、画面に「ETC カードが挿入されていません」と案内します。 ＊1

ETC カードを抜き忘れていたとき

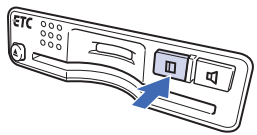
ETC 車載器に ETC カードが挿入されている状態で、エンジンスイッチを “0” にすると、ETC 車載器のスピーカーから「ピー！ ETC カードが残っています」と案内します。

ETC カード未挿入 / 抜き忘れ案内を ON/OFF する

音声案内のモードを 4 段階で切り換えることができます。 ＊1

1 コインポケットのふたを開ける

2 ETC カードが挿入されていない状態で、[⊡] ボタンを押し続ける



▼

「○番」と現在のモード番号を音声で案内します。

3 音声案内後、2 秒以内に [⊡] ボタンを押す

▼

モードが切り換わり、切り換わったモード番号を音声で案内します。続けて［⊡］ボタンを押すたびに「1 番」「2 番」・・・とモードが切り換わっていきます。

4 コインポケットのふたを閉める

モードについて ＊2

番号	カード 未挿入案内	カード 抜き忘れ案内
1 番	ON	ON
2 番	ON	OFF
3 番	OFF	ON
4 番	OFF	OFF

ポイント

＊1 ・画面に表示される ETC 案内は [する]/[しない] を選ぶことができます。
・工場出荷時の初期設定は「OFF」に設定していますので、モードを変更していないときは案内されません。

＊2 ・工場出荷時のモード番号は「3 番」となります。

料金所通過のしかた

料金所に近づいてから、通過までの一例を説明します。◆1

料金所から約 1km まで近づくと

料金および ETC レーンのある方向を案内します。

▼

料金所のアンテナを通過すると

状態および利用料金を案内します。

履歴を確認する

ETC の利用履歴を確認する方法には音声で確認する方法と画面で確認する方法の 2 種類があります。

確認できる履歴内容について

音声	画面	内容
○	○	利用日
×	○	利用区間
○	○	利用料金

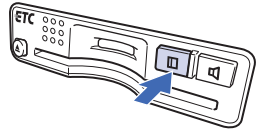
簡単操作 標準操作

履歴を音声で確認する

ETC 車載器のスピーカーから音声で履歴の内容を確認することができます。

1 コインポケットのふたを開ける

2 ETC カードが挿入されている状態で、[🕮] ボタンを押す



▼

一番最近の利用履歴を音声で案内します。[🕮] ボタンを押すたびに、最近の履歴から古い履歴へと確認することができます。

3 コインポケットのふたを閉める

アドバイス

◆1 ・案内する料金は実際と異なる場合があります。

標準操作

履歴を画面で確認する

1 **ナビメニュー** → **ツール** を選んで 実行 を押す

2 **データ管理** を選んで 実行 を押す

3 **ETC 料金履歴** を選んで 実行 を押す

4 **確認したい履歴**を選んで 実行 を押す

▼

▼

利用履歴の詳細を確認できます。※1

標準操作

車載器管理番号を確認する

「履歴を画面で確認する」（P375）の手順 2 までの操作をした後に・・・

1 **ETC ユーザー情報** を選んで 実行 を押す

▼

情報が表示されます。

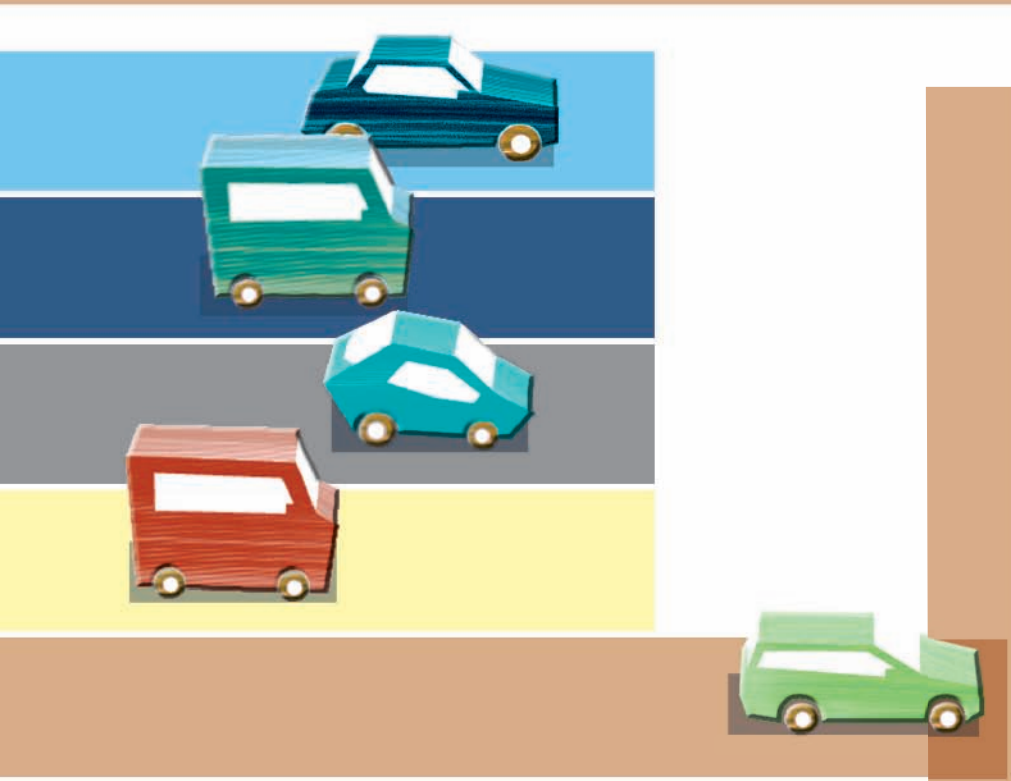
ポイント

※1・利用日時、入口料金所名、出口料金所名、料金が表示されます。料金所名が取得できなかった場合は IC 番号が表示されます。

M E M O

VICS を使う

VICS センターに集められた交通情報を利用することで
Honda インターナビシステムをより活用することができます。



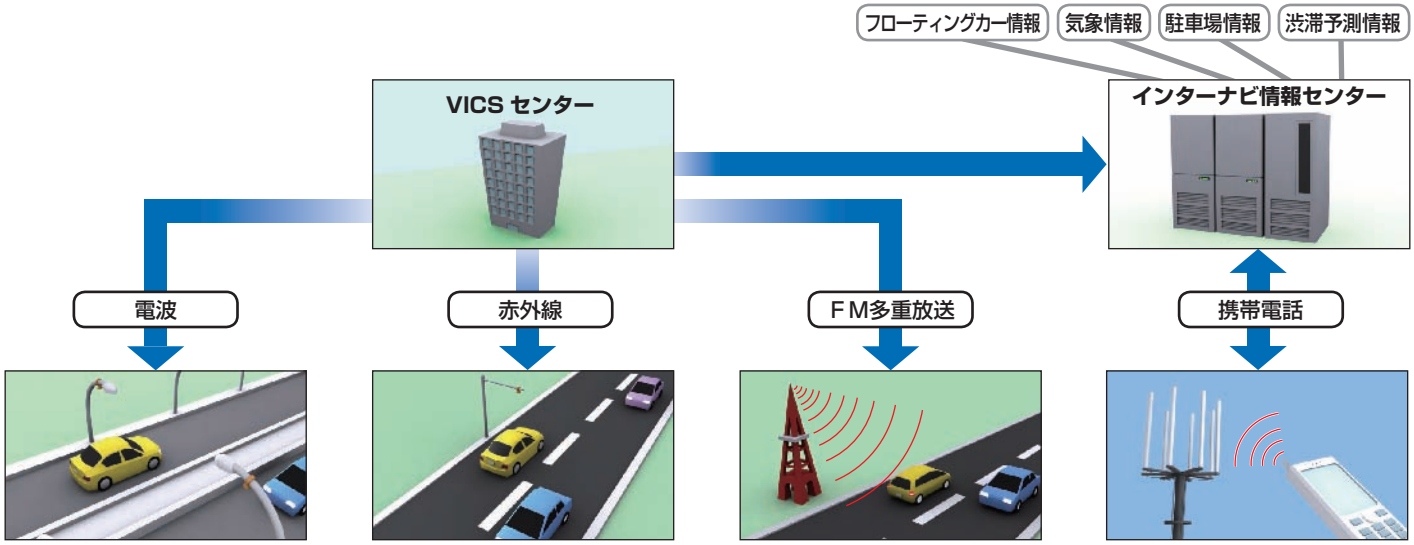
VICS とは　378
インターナビ VICS とは　381
VICS からの情報を確認する　382
VICS 放送局を選ぶ　388
FM 文字多重放送を見る　390
VICS 情報について　392

VICS とは

VICS 情報の提供方法や画面表示などについて説明しています。

VICS 情報の提供方法について

道路・交通に関するさまざまな情報（渋滞情報 / 駐車場情報 / 規制情報など）は一度 VICS センターに集められます。
その後、次の 4 つの方法で最新の道路交通情報 (VICS 情報) を提供します。*1



電波ビーコン (主に高速道路)
電波を使ったビーコンで情報が提供されます。

光ビーコン (主に一般道路)
赤外線を使ったビーコンで情報が提供されます。

FM-VICS
受信する FM 局のある都道府県内とその周辺の交通情報が提供されています。*1
ただし、渋滞を回避した経路誘導用のデータは含まれません。

インターナビ VICS
VICS の情報にさまざまな Honda 独自の情報を加え、携帯電話経由で提供しています。
出発地で目的地までの情報を取得できます。*2

ポイント

＊1 ・ナビゲーションシステムに内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

＊2 ・インターナビ情報センターへの接続は通信機能を使用しています。通信機能をご利用になるには、事前に準備が必要です。詳しくは「インターナビの通信サービスを使う」の*「通信機能を使えるようにする」(P166)* を参照してください。

アドバイス

◆1 ・VICSセンターからの情報はVICSサービスエリア内でのみ受けることができます。サービスエリアについて詳しくはVICSセンターにお問い合わせください。→*「VICSについてのお問い合わせ先」(P400)*

VICSとは!?

VICS(Vehicle Information and Communication System: 道路交通情報通信システム)とは、1996年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報を運転者に伝えるための通信システムです。VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。

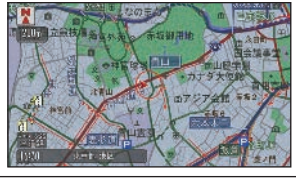
ビーコンとは!?

道路脇に設置された、VICS情報を送信する装置です。
設置された場所周辺の交通情報をここから送信します。
電波ビーコンおよび光ビーコンの情報は、別売のビーコンアンテナキットを装着することにより受信できます。ビーコンアンテナキットの装置やご利用についてはHonda販売店にご相談ください。

VICS 情報の画面表示について

VICS 情報には、レベル 1 からレベル 3 までの 3 種類の表示形態があります。運転者は VICS センターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。※1

●渋滞情報（順調情報も含む）●旅行時間情報●交通障害情報●交通規制情報●駐車場情報

レベル	情報	表示例	説明
1	文字情報		文字で交通情報（渋滞情報、規制情報、駐車場情報など）を案内します。 FM 多重放送で確認することができます。
2	図形情報		簡単な地図イラストなどで交通情報（渋滞情報、規制情報、駐車場情報など）を案内します。FM 多重放送、インターナビ VICS で確認することができます。
3	地図		ナビゲーションの地図や高速ガイド、行程ガイドに交通情報（渋滞情報、規制情報、駐車場情報など）を表示し案内します。FM 多重放送、インターナビ VICS で確認することができます。
	高速ガイド / 行程ガイド	 VICS 情報	

ポイント

※1
- VICS 情報は月々の情報料をお支払いいただくことなく、ご利用いただけます。情報料は、お買い上げいただいたシステムの価格に含まれており、その一部が FM 多重放送の有料放送視聴料となっていますので、巻末の *「VICS 情報有料放送サービス契約約款」(P519)* をご一読ください。（ただし、インターナビ情報センターから情報を受信する場合は、通信料が発生します。本書では通信料が必要な操作については 通信 マークをタイトル横に記載しています。）
- 提供される VICS 情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
- 提供される VICS 情報は最新のものではない場合もあります。
- VICS は、（財）道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。
- VICS の地図表示は、10m スケール表示から 1km スケール表示のときに表示されます（通行止めなど一部の規制マークは、1km 以上のスケールでも表示されます）。

インターナビ VICS とは 通信

インターナビ VICS の特徴や通常の VICS との違いについて説明しています。

VICS とは何が違うの？

「インターナビ VICS」では、VICS 情報に加え、インターナビ情報センターが独自に収集、加工、処理を施している「インターナビ VICS 情報」を通信で取得することができます。
目的地までのルート計算に必要な情報を取得することもできます。また、会員の走行情報 (フローティングカー情報) によるインターナビ・フローティングカー情報、リアルタイムに予測処理を行う渋滞予測情報、独自の簡易図形情報、駐車場情報の提供も行います。

お知らせ

インターナビ VICS をご利用になるには、事前に準備が必要です。詳しくは「インターナビの通信サービスを使う」の*「通信機能を使えるようにする」(P166)* を参照してください。
目的地が遠方 (約 200km 以上) の場合は、案内ルートの途中までしか VICS 情報を受信しません。また、遠方エリアに関して途中の区間は高速道路の情報のみ受信します。
VICS センターで情報収集されていない道路については、VICS 情報は提供されません。
VICS センターのメンテナンスなどにより VICS 情報が提供されない場合があります。

VICS からの情報を確認する 簡単操作 標準操作

VICS を利用すればさまざまな方法で交通情報を確認できます。

ルート上の交通情報を確認するとき

ルート案内中に、渋滞情報や規制情報がある場合、これから向かうルート上の渋滞や規制を画面に表示することができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **VICS 交通情報を見る** を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **VICS** を選んで 実行 を押す

VICS のメニューが表示されます。

2 **この先の交通情報** を選んで 実行 を押す

左画面に渋滞（規制）のポイントの地図が、500m のスケール、北が上の状態で表示されます。 ＊1

ポイント

＊1
- ［音声案内］を選んで［実行］を押すと、表示中の情報の音声案内を確認することができます。
- 情報が複数ある場合は、［次の情報］、［前の情報］が表示され、それぞれを選んで「実行」ボタンを押すと表示を切り換えることができます。
- ［音量調整］を選んで［実行］ボタンを押すと、音量調節の画面が表示されます。

目的地や経由地周辺の VICS 情報を確認するとき 通信

現在地、目的地、経由地周辺の地点を選んで VICS 情報を取得することができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → VICS 交通情報を見る → internavi VICS を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → VICS → internavi VICS を選んで 実行 を押す

VICS のメニューが表示されます。

2 現在地周辺、目的地周辺、経由地○周辺 のいずれかを選んで 実行 を押す

3 全画面地図 を選んで 実行 を押す ＊1

4 情報を取得したい地点に ⊕ を合わせて 実行 を押す

5 VICS 情報取得 を選んで 実行 を押す

▼

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の VICS 情報を受信します。

ポイント

＊1
- ジョイスティックを左に倒しても全画面地図が表示されます。
- 現在地、目的地、経由地○の VICS 情報を取得したい場合は、手順 5 に進みます。

地図をスクロールして確認するとき 通信

現在地やスクロールしたカーソル周辺のVICS情報を取得することができます。またルート案内中であれば渋滞情報を考慮したルートの再計算が行われます。

1 現在地画面で 実行 を押す
カスタマイズメニュー（簡単操作モードの場合はワンプッシュメニュー）が表示されます。

2 internavi ダイレクト → 実行 を押す

3 Internavi ダイレクト画面で、internavi VICS を選んで 実行 を押す

▼

インターナビ情報センターに接続し、カーソル周辺のVICS情報を受信します。

選んだ地点のVICS情報を取得する 通信

情報を取得したい地点を目的地や経由地、検索した地点など、お好みの場所にすることができます。

1 簡単操作
ナビメニュー → VICS 交通情報を見る → internavi VICS を選んで 実行 を押す

標準操作
ナビメニュー → VICS → internavi VICS を選んで 実行 を押す

2 現在地周辺、目的地周辺、経由地○周辺、検索して選択 のいずれかを選んで 実行 を押す

3 検索して選択 を選んだ場合は、場所を探して 実行 を押す
→「場所を探す」（P113）

4 VICS 情報取得 を選んで 実行 を押す *1

▼

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺のVICS情報が受信されます。

ポイント

*1 ・［戻る］ボタンを押すとインターナビVICSのメニューに戻りますので、引き続き地点を探すことができます。

関連する機能

場所を探す P113

VICS 文字情報を見る

受信した文字情報を表示することができます。

1

簡単操作

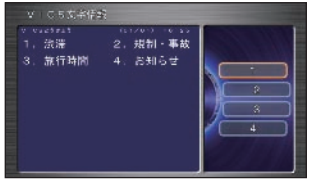
ナビメニュー → **VICS 交通情報を見る** → **VICS 文字情報** を選んで 実行 を押す

標準操作

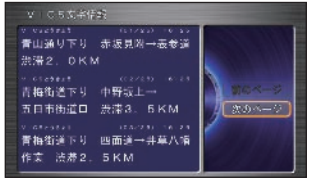
ナビメニュー → **VICS** → **VICS 文字情報** を選んで 実行 を押す

2

見たい情報の番号を選んで 実行 を押す ＊1



▼



渋滞や交通規制などに関する文字情報を表示します。

VICS 図形情報を見る

受信した簡易図形情報を表示することができます。

1

簡単操作

ナビメニュー → **VICS 交通情報を見る** → **VICS 図形情報** を選んで 実行 を押す

標準操作

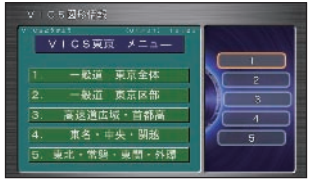
ナビメニュー → **VICS** → **VICS 図形情報** を選んで 実行 を押す

・・・次ページ手順 2 につづく

ポイント

＊1
- 停車中は 3 件分の文字情報を 1 画面に表示します。
- 安全のため走行中は、1 件分の文字情報のみ表示します。

2 **見たい情報の番号**を選んで 実行 を押す



▼

渋滞や交通規制などに関する簡易図形情報を表示します。

受信済みの割り込み情報を再表示するとき

ビーコンから受信した文字情報、簡易図形情報やインターナビ VICS から受信した簡易図形情報を表示することができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **VICS 交通情報を見る** → **割込情報** を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **VICS** → **割込情報** を選んで 実行 を押す

▼

一番最近割り込んだ情報が表示されます。 *1

ポイント

*1
- 受信済みの割込情報が複数ある場合は、［次のページ］［前のページ］が表示され、選んで［実行］ボタンを押すと表示を切り換えることができます。また、ジョイスティックを左右に倒しても切り換わります。
- 緊急情報、注意警戒情報、ことわり情報など、文字情報を受信しているときは、［メッセージ］を選ぶことができ、選んで［実行］ボタンを押すと再表示することができます。
- 文字情報表示中に［図形］を選んで［実行］ボタンを押すと、図形情報画面に戻ります。
- 情報は受信後 60 分経過すると消去されます。

音声で情報を確認する 通信

すでに受信した渋滞や規制がある場合、それらの交通情報を音声で案内することができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **VICS 交通情報を見る** → **internavi VICS** を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **VICS** → **internavi VICS** を選んで 実行 を押す

2 **交通情報読み上げ** を選んで 実行 を押す *1

3 確認したい交通情報を選んで 実行 を押す

選んだ交通情報の本文表示画面が表示されます。◆1

4 **読み上げ** を選んで 実行 を押す

▼

読み上げ画面が表示され、自動的に読み上げが開始します。*2

ポイント

*1 ・ナビゲーションの現在地画面で［実行］ボタンを押し、［internavi ダイレクト］→［交通情報読み上げ］を選んで［実行］を押しても同じ操作です。

*2 ・ルート案内中は目的地周辺の交通情報、目的地を設定していない場合は現在地周辺の交通情報が案内されます。

- ［取得中止］を選んで［実行］ボタンを押すと、交通情報の受信が中止されます。
- ［停止］を選んで［実行］ボタンを押すと、読み上げが停止されます。
- ［次の情報］、［前の情報］を選んで［実行］ボタンを押すと、読み上げる内容を切り換えることができます。
- ［本文表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、本文表示画面に戻ります。
- ［画像表示］を選んで［実行］ボタンを押すと、画像が表示されます。
- ［音量調整］を選んで［実行］ボタンを押すと、読み上げの音量を調節できます。

アドバイス

◆1 ・すべての交通情報を音声で読み上げる場合は、ジョイスティックを下に倒して［全件読み上げ］を選び、［実行］ボタンを押します。

VICS 放送局を選ぶ 通信 簡単操作 標準操作

VICS 情報を受信する放送局をさまざまな方法で選びます。 ◆1

リストから選局する

自車の位置で受信可能な放送局をリストから選ぶことができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → VICS 交通情報を見る → VICS 放送局リスト を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → VICS → VICS 放送局リスト を選んで 実行 を押す

2 放送局を選んで 実行 を押す

放送局が選局され、VICS のメニューに戻ります。

アドバイス

◆1
- 放送局をリストから選んで情報を表示することもできます。
- エンジンスイッチを“I”または“II”にすると、自動選局になります。

簡単操作 標準操作

マニュアル選局する

VICS FM 多重放送を行っている放送局の周波数を指定して、放送局を選ぶことができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → VICS 交通情報を見る → VICS 放送局リスト を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → VICS → VICS 放送局リスト を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して マニュアル選局 を選んで 実行 を押す

3 コマンドホイールを左右に回してお好みの放送局に合わせる

コマンドホイールを左に回すと低い周波数、右に回すと高い周波数に変わります。

4 実行 を押す

▼

放送局を受信し、VICS 放送局リスト画面に戻ります。

自動選局に戻す

VICS 情報を受信する放送局を自動選局に戻すことができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → VICS 交通情報を見る → VICS 放送局リスト を選んで 実行 を押す

標準操作

メニュー → VICS → VICS 放送局リスト を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して 自動選局 を選んで 実行 を押す

自動選局の状態となり、VICS のメニューに戻ります。

FM 文字多重放送を見る 簡単操作 標準操作

FM 放送局の文字放送（見えるラジオなど）を受信して情報を確認できます。

リストから放送局を選ぶとき

自車の位置で受信可能な放送局をリストから選ぶことができます。

1 簡単操作

ナビメニュー →
VICS 交通情報を見る →
FM 文字多重 を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **VICS** →
FM 文字多重 を選んで 実行 を押す

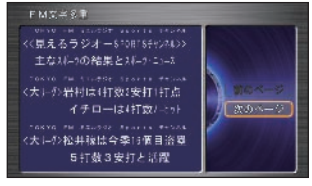
2 **見たい放送局**を選んで 実行 を押す

▼

FM 文字多重放送を受信します。

3 **見たい番組**を選んで 実行 を押す

▼



番組が表示されます。 ＊1

ポイント

＊1
- 情報画面が複数のページにおよぶときは、[次ページ] [前ページ]を選んで[実行] ボタンを押し、ページを送ります。また、ジョイスティックを左右に倒しても、同様に操作できます。
- 停車中は、1 画面に最大 3 件分の文字情報が表示されます。
- 安全のため走行中は、1 件分の情報のみ表示します。
- 安全のため走行中は、緊急情報、交通情報、気象情報など一部の情報しか表示できません。

マニュアルで選局するとき

受信可能な放送局の周波数を指定して、放送局を選ぶことができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **VICS 交通情報を見る** → **FM 文字多重** を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **VICS** → **FM 文字多重** を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して **マニュアル選局** を選んで 実行 を押す

3 コマンドホイールを左右に回す

コマンドホイールを回すと周波数が変化します。
希望の放送局に合わせます。

4 実行 を押す

FM 文字多重放送を受信します。 ※1

ポイント

※1
- 情報画面が複数のページにおよぶときは、［次のページ］［前のページ］を選んで［実行］ボタンを押し、ページを送ります。また、ジョイスティックを左右に倒しても、同様に操作できます。
- 停車中は、1 画面に最大 3 件分の文字情報が表示されます。
- 安全のため走行中は、1 件分の情報のみ表示します。
- 安全のため走行中は、緊急情報、交通情報、気象情報など一部の情報しか表示できません。

VICS 情報について

VICS に関する情報を詳しく説明しています。

VICS センターからのおことわり

VICS センターは、何らかの理由により情報が送信できなくなった場合、メッセージを送信します。
メッセージ内容は、VICS センターから送られるものです。
地図画面表示中にメッセージを受信した場合は、約 15 秒間割り込み表示します。他の画面表示時に受信した場合は、メッセージ受信後、他の画面から地図画面に表示を切り換えたときにメッセージが表示されます。 ＊1

緊急情報の自動表示について

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容を表示します。
［確認］を選んで［実行］ボタンを押すと、地図画面に戻ります。

ポイント

＊1 ・「インターナビ／ VICS 設定」で「文字情報割込み」が［する］に設定されていないと、ことわり情報は表示されません。
→「ナビ機能の設定を変える」(P422)

・自動割り込みされたことわり情報は［割込情報］から再度表示することができます。
→「受信済みの割り込み情報を再表示するとき」(P386)

VICS を使ったルート計算について

ルート計算やルート再計算を行ったときには、インターナビ情報センターから最新の VICS 情報を取得します。インターナビ通信を行っていない場合は、受信済みの VICS 情報が考慮されます。
一般道路で渋滞情報を考慮して VICS ルート計算を行うにはインターナビ VICS からの VICS 情報が必要です。また、高速道路では、FM 多重またはインターナビ VICS からの VICS 情報が必要です。

VICS ルート計算は、リンク旅行時間情報、規制情報 (通行止め、ランプ閉鎖など) を使用して行います。リンク旅行時間情報は、高速道路では FM 多重、電波ビーコン、インターナビ VICS から提供され、一般道路では、光ビーコン、インターナビ VICS から提供します。また、規制情報は、FM 多重、インターナビ VICS から提供します。

VICS ルート計算によるルート案内は、あくまで参考情報としてご利用ください。

6 ルートのとき

6 ルートからルートを選ぶ場合、[標準] または [一般道] では、VICS 情報 (リンク旅行時間情報、規制情報) を考慮したルートを案内します。[距離]、[道幅]、[別ルート] では、VICS 情報 (規制情報) を考慮したルートを案内します。

VICS の音声による案内について

ルート案内中は、通常の本機の音声による案内に加え、VICS 情報による交通規制、災害、事故、渋滞の発生や故障車の存在なども音声により案内します。

VICS の音声による案内は、VICS 情報の更新のたびにルート上の VICS 情報を案内します。

ルート案内中に [現在地] ボタンを押すと、本機の音声による案内と共に、VICS の音声による案内も行います。

インターナビ VICS を使ったルート計算について 通信

インターナビ情報センターに接続して、VICS 情報を取得します。

「インターナビ／ VICS 設定」で「ルート案内時連動取得」を［すべての情報］に設定している場合は、ルート案内時に連動して VICS 情報やインターナビ情報を取得してルート計算が行われます。
また、ルート案内中にインターナビ情報センターに接続し、VICS 情報を取得したときは、渋滞情報などを考慮したルートの再計算が行われます。その結果、新しいルートが見つかった場合、自動でルートの更新が行われます。

6 ルートのとき

6 ルートからルートを選ぶ場合、[標準] または [一般道] では、VICS 情報 (リンク旅行時間情報、規制情報) を考慮したルートを案内します。[距離]、[道幅]、[別ルート] では、VICS 情報 (規制情報) を考慮したルートを案内します。

インターナビ情報センターへの接続について

情報受信中でも、［取得中止］を選んで［実行］ボタンを押すと、接続を中止することができます。

インターナビ情報センターに接続している経過時間を表示します。

電波の状態が悪いと接続されないことがあります。

渋滞予測情報について

インターナビ VICS では、統計情報とリアルタイムの VICS 情報をもとに予測処理を行い、渋滞予測情報を提供します。渋滞予測情報は、ルート計算や到着予想時刻に使用します。

予測リンク旅行時間情報が提供されている箇所においても、地図上に表示している渋滞、混雑、順調矢印は予測情報ではありません。よって、地図上が順調矢印でも予測リンク旅行時間情報が長いとその箇所を避けるルートを案内したり、渋滞矢印でも予測リンク旅行時間情報が短いとその箇所を通るルートを案内する場合があります。

時間を決めて自動受信するには

「インターナビ／ VICS 設定」の「情報取得周期」で自動受信する周期 (時間) を決めて、自動的にインターナビ情報センターに接続し、ルート案内中は、目的地方面の VICS 情報、ルートがないときは現在地周辺の VICS 情報を受信することができます。設定できる周期は [状況変化時]/[5 分ごと]/[15 分ごと]/[30 分ごと]/[60 分ごと]/[しない] から設定できます。詳しくは、*「ナビ機能の設定を変える」(P422)* を参照してください。

出荷時の設定は［状況変化時］です。［状況変化時］に設定した場合は、ルートを誘導中に 10 分ごとに通信を行い、目的地までの交通状況の変化の有無を確認します。変化があった場合のみ、新しい交通情報を取得します。
目的地を設定せずに走行する場合は、自動的に交通情報を取得しないので、情報取得周期を［30 分ごと］や［15 分ごと］に設定するか、音声操作で「インターナビ・ビックス」と発話することで、任意に交通情報を取得してください。→*「音声操作」(P331)*

インターナビ・フローティングカーシステムについて 通信

インターナビ・プレミアムクラブ会員様の走行データ（フローティングカーデータ) を、次回の通信時にインターナビ情報センターに提供していただきます。このデータを統計処理し会員全員で共有することで、通常の VICS 情報より多くの区間でリンク旅行時間情報を用いたより正確なルート計算を可能にしました。この仕組みを応用し、都市高速のジャンクションの手前などでは、方面車線別の走行所要時間を考慮したルートを提供します。

インターナビ・フローティングカー情報での渋滞 / 混雑 / 順調の情報は点線で表示します。

個人を特定するデータを収集することはありません。

お知らせ

フローティングカー情報のインターナビ情報センターへの提供およびインターナビ･フローティングカー情報の受信は、「インターナビ／ VICS 設定」の「フローティングカー情報」が [する] に設定されている場合に行われます。→*「ナビ機能の設定を変える」(P422)*

インターナビ・フローティングカー情報は、リアルタイムデータに加えて統計的に処理したデータも含まれているため、あくまでも参考情報としてご利用ください。

提供いただいたフローティングカー情報は、提供いただいたお客様が特定できない形式で処理 / 保存します。

VICS 使用時のメッセージについて

	状況	音声での案内
規制	通行止めの規制がある場合	（およそ○○ km 先）××のため通行止めです
	速度規制がある場合 (例 50km/h 規制)	（およそ○○ km 先）××のため 50 キロ規制です （およそ○○ km 先）××のため徐行規制です
	車線規制がある場合	（およそ○○ km 先）××のため車線規制です
	片側規制がある場合	（およそ○○ km 先）××のため対面通行です （およそ○○ km 先）××のため片側交互通行です
	チェーン規制がある場合	（およそ○○ km 先）××のためチェーンの装着が必要です
	オンランプ規制および オフランプ規制がある場合	（およそ○○ km 先）××のため入口閉鎖です
事象	事故が発生した場合	（およそ○○ km 先）事故のため注意が必要です
	火災が発生した場合	（およそ○○ km 先）火災のため注意が必要です
	故障車がある場合	（およそ○○ km 先）故障車のため注意が必要です
	路上障害物がある場合	（およそ○○ km 先）障害物のため注意が必要です
	工事箇所がある場合	（およそ○○ km 先）工事のため注意が必要です
	作業箇所がある場合	（およそ○○ km 先）作業のため注意が必要です
	気象の案内	（およそ○○ km 先）雨のため注意が必要です （およそ○○ km 先）凍結のため注意が必要です
	災害の発生	（およそ○○ km 先）災害のため注意が必要です （およそ○○ km 先）土砂崩れのため注意が必要です
渋滞	渋滞	（およそ○○ km 先）渋滞が発生してます

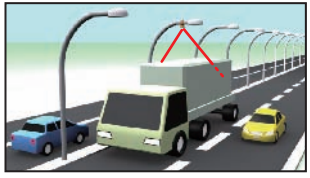
○○：距離　　××：事象

VICS 情報が受信しにくい状況

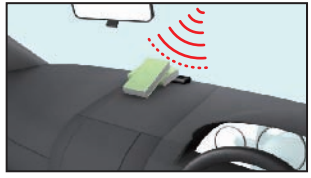
次のような状況下においては、VICS 情報が良好に受信できないことがあります。

電波ビーコン / 光ビーコン

受信が完了するまでの所要時間は、電波状況により変化します。



大型車の近くを走行



受信機の周辺に物を置く

太陽光やネオンサインの影響がある

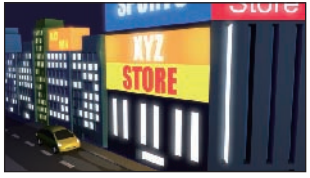
積雪などのしゃへい物がある

高架下を走行中

VICS センターのメンテナンス中

FM 多重放送

受信が完了するまでの所要時間は、電波状況により変化します。



近くに高圧線 / 信号機 / ネオンサインがある

障害物となる建物や山がある

トンネル内を走行中

放送局から遠く離れている

高架下を走行中

VICS センターのメンテナンス中

インターナビ VICS 通信

携帯電話の電波状況が悪い

インターナビ情報センター
のメンテナンス中

トンネル内を走行中

VICS 情報についての注意事項

- エンジン始動直後や放送局が切り換わった直後は、受信できた情報から表示可能となるため、受信完了していないページがとばされることがあります。
- 情報の更新がおよそ 5 分間隔で行われるため、地図上の VICS 情報の表示が増えたり減ったりする場合があります。
- 新しい VICS 情報を長時間 (およそ 60 分) 受信しない場合には、データが自動的に消去され、表示が消える場合があります。
- 渋滞情報は VICS センターでの収集、編集、送信に若干 (5 ～ 10 分程度) 時間がかかりますので、実際の状況が変化している場合があります。
- 全ての道路について情報が提供されているわけではありません。また情報の収集ができていない場合には、情報が提供されません。
- VICS リンク *(P489)* の番号が更新されると、今まで VICS 情報が表示されていた道路で表示されなくなる場合があります。
  地図データが更新され本機の VICS リンク番号が更新されると、VICS 情報を正しく表示するようになります。
- VICS リンクの更新は年 1 回行われ、新しく道路ができたり、道路がなくなったり、新たに VICS リンクとして定義された道路がある場合に、それらに接続する道路の VICS リンク番号が変更されることがあります。VICS リンクの番号変更については、VICS センターにお問い合わせください。
- VICS 駐車場の情報は、VICS センターで情報収集している駐車場のみ表示します。
- 本機では自車位置の情報と VICS/FM 多重チューナーの受信状態から最適と思われる放送局を自動選局するように設定してあります。なお、必要に応じて手動で放送局選択を行ってください。
- 周波数により、放送局名称が表示できない場合があります。
  通常は自車位置のある都道府県の放送局を受信していますが、他県の放送局を受信している場合があります。
- 自車位置から遠方の地域を選択すると、選択している地域以外の VICS 情報を受信する場合があります。
- VICS ルート計算では、渋滞箇所の通過にかかる時間と迂回した場合の時間をリンク旅行時間情報により計算し、迂回するかどうかを決定しますので、全ての渋滞箇所を迂回するとは限りません。
- 情報提供のない道路の計算は、通常の本機同様のルート計算になります。したがって、VICS 情報のない道路が渋滞していてもそのルートを選択する場合があります。また、ルート計算後に渋滞が発生する場合もあります。
- 自車位置から遠方にある通行止め、ランプ閉鎖は迂回しない場合があります。
  走行中、通行止め、ランプ閉鎖のある場所に近づくとアイコンが 50km スケール以下で表示されます。
- VICS 情報の中に、その事象の位置データがない場合は、該当する VICS リンクの始点が案内対象位置 (マーク表示位置) となるため、事象発生場所と異なる場合があります。また、渋滞に関しては時間とともに状況が変化するためあくまで参考としてお考えください。

VICS センターの運用時間

FM 多重放送	24 時間 (ただし月曜日午前 1 時～ 5 時は運用休止) ※3 月および 9 月に、深夜 0 時～ 5 時までをメンテナンスウィークとして保守のため運用を休止することがあります。
ビーコン	24 時間 (メンテナンスのため運用を休止することがあります。)
インターナビ	24 時間 (メンテナンスのため運用を休止することがあります。)

VICS の運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

VICS についてのお問い合わせ先

VICS の状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にしてください。

巻末の本田技研工業株式会社「お客様相談センター」までご連絡ください。

- ◎ VICS 車載器の調子や使用方法
- ◎ VICS 車載器の受信可否に関して
- ◎ 地図表示 (レベル 3) の内容に関して
- ◎ VICS 情報の受信エリアについて
- ◎ VICS 情報の内容の概略に関して
- ◎ インターナビ VICS の簡易図形表示の内容に関して

右記の VICS センターまでご連絡ください。

- ◎ 文字表示 (レベル 1) の内容に関して
- ◎ 簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して
- ◎ VICS の概念
- ◎ サービス提供エリアに関して

(財)VICS センター (東京センター)

受付番号	0570-00-8831 (全国から市内通話料金でご利用になれます) PHS 専用 東京 03-3592-2033 大阪 06-6209-2033
電話受付時間	9:30 ～ 17:45 (ただし土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)
受付 FAX 番号	03-3592-5494(全国)
FAX 受付時間	24 時間
ホームページアドレス	http://www.vics.or.jp/ VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などをご覧いただけます。

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの Honda 販売店または、巻末に記載している*本田技研工業株式会社「お客様相談センター」*までご連絡いただくことをお勧めします。

便利な機能

スケジュールの管理や個人情報を守る
シークレットモードを利用することができます。

警告灯サポート　402
スケジュールを管理する　404
音声メモを使う　409
シークレットモードを使う　412
マップクリップを使う　414
保存データを消去する　415
地図 / その他情報について　416

警告灯サポート 簡単操作 標準操作

車両の異常を検知してメーターの警告灯が点灯したときに、ナビゲーション画面にメッセージを表示して警告灯がついたことを知らせ、対処方法を案内します。
画面に表示されるメニューから、QQ コールまたは My ディーラーに電話をかけることができます。

お知らせ

- 携帯電話が接続されていない場合には、QQ コールまたは My ディーラーに電話をかける機能は使えません。電話番号がテロップ表示されます。
- [警告灯メッセージ割込み] は、[する] / [しない] を選ぶことができます。(標準操作モードのみ) →*「ナビ機能の設定を変える」(P422)*
- QQ コール、My ディーラーでお客様とのやりとりをスムーズにするために、インターナビ情報センターに自動的に送信します。インターナビ情報センターへの送信は、[する] / [しない] を選ぶことができます。(標準操作モードのみ) →*「ナビ機能の設定を変える」(P422)*

警告灯サポートメッセージを確認する

警告灯が点灯すると、自動的にナビ画面に警告灯サポート画面が表示され、警告灯の名称と対処方法が確認できます。 *1

ポイント

*1
- 警告灯サポート画面は、約 15 秒間表示されます。
- 複数の警告がある場合は、[次の情報]、[前の情報] を選んで [実行] ボタンを押すと、次または前の情報を確認することができます。
- 安全のため走行中は、「次の情報」、「前の情報」を選ぶことはできません。
- 警告灯サポート画面を再び表示させる場合は、ハンドルのインフォメーションスイッチを押します。

警告灯サポートの詳細情報を見る

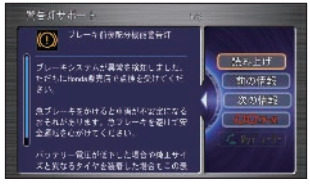
警告灯サポートメッセージの詳細情報を見ることができます。

1 警告灯サポート画面で

詳細情報 を選んで 実行 を押す

▼

警告灯サポートメッセージの詳細な情報を確認できます。 ＊1 ◆1



警告灯サポートの情報を読み上げる

警告灯サポートの詳細情報を読み上げることができます。

1 警告灯サポート画面で

読み上げ を選んで 実行 を押す

▼

警告灯サポートメッセージが読み上げられます。 ◆2

QQ コールに電話する

1 警告灯サポート画面で

QQ コール を選んで 実行 を押す

▼

QQ コールに電話がかかります。

→「QQ コールを利用する」(P329)

My ディーラーに電話する

1 警告灯サポート画面で

My ディーラー を選んで 実行 を押す

▼

My ディーラーに電話がかかります。

→「緊急連絡先に電話する」(P330)

ポイント

＊1 ・安全のため走行中は、表示されません。

アドバイス

◆1 ・詳細情報をスクロールさせる場合は、ジョイスティックを左に倒してコマンドホイールを回します。

◆2 ・[停止] を選び [実行] ボタンを押すと、読み上げを停止できます。

・[音量調整] を選び [実行] ボタンを押すと、読み上げ音量を調整できます。

スケジュールを管理する 簡単操作 標準操作

スケジュールを新規作成・変更して管理することができます。

スケジュールを新規作成・変更して、指定した時刻に、指定した操作を実行させることができます。スケジュール機能では、次の操作を指定できます。

- ラジオをきく
- DVD、CD、MP3/WMA/AAC ディスクを再生する
- ビデオを見る
- USB メモリー内の MP3/WMA/AAC ファイルを再生する
- iPod を再生する
- HDD サウンドコンテナを再生する

お願い

オーディオなどのスケジュールが実行されると、大きな音量で音楽が再生されることがあります。音量設定にご注意ください。

カーカルテとは何が違うの？

「カーカルテ」*(P191)* は通信機能を利用した、お車の各パーツの交換スケジュールを管理するものですが、「スケジュール」は通信機能を使わずにお客様が自由に予定を設定できます。

スケジュールを作成する

スケジュールを新規作成して、設定した日時にオーディオを視聴、再生することができます。※1

1 **スケジュールを設定するオーディオ**に切り換える

→「各メディアに切り換える」(P221)

2 ジョイスティックを下に倒し、**スケジュール設定** を選んで 実行 を押す

3 **新規作成** を選んで 実行 を押す

4 **日付** を選んで 実行 を押す

5 **日付**を入力し、**完了** を選んで 実行 を押す

6 **いずれか**を選んで 実行 を押す

時間指定	指定した時刻にスケジュールを実行させることができます。
起動時	指定した日の最初にエンジンスイッチを“I”または“II”にしたときにスケジュールを実行させることができます。［起動時］を選んで［実行］ボタンを押した場合は、手順８に進みます。

7 時間を入力し、**完了** を選んで 実行 を押す ※1

8 **周期**を選んで 実行 を押す

当日のみ	当日のみ、設定した時刻に指定した機能を実行します。
毎日	毎日、同じ時刻に指定した機能を実行します。
毎週	毎週、同じ時刻に指定した機能を実行します。

▼

手順 1 で選んだオーディオの種類により表示される画面が異なります。

9 **スケジュールを実行する項目**を指定します ※2

FM をきく	放送局を選んで［実行］ボタンを押します。
AM をきく	放送局を選んで［実行］ボタンを押します。
HDD サウンドコンテナを再生する	トラックを選んで［実行］ボタンを押します。

▼

スケジュールが設定され、新規作成画面に戻ります。

10 ジョイスティックを下に倒して 実行 を押す

ポイント

※1 • 2026 年 8 月 16 日までのスケジュールを作成できます。

• 最大 100 件までスケジュールを作成できます。

※2 • DVD、CD、MP3/WMA/AAC ディスク、USB メモリー、iPod の場合は、個別の画面は表示されません。前回の再生終了位置から再生されます。手順 10 に進みます。

• 手順 1 で選んだオーディオの種類により実行する項目が異なります。オーディオの種類に応じて実行する項目を指定してください。

アドバイス

◆1 • 時間は 24 時間制で入力します。

• 時間を入力せずに［完了］を選んで［実行］ボタンを押すと、指定した日付にナビゲーション本体が起動したときにスケジュールが実行されます。

関連する機能

オーディオ・テレビ.....P209
HDD サウンドコンテナ P267
文字入力のしかた.....P34

設定できるイベントについて

イベント項目	内容
FM をきく	指定した日時に、設定した放送局を受信します。
AM をきく	指定した日時に、設定した放送局を受信します。
DVD ビデオ、CD、MP3/WMA/AAC ディスクを再生する	指定した日時にセットしたディスクを再生します。ディスクがセットされていないときは、何も再生されません。
USB メモリー内の MP3/WMA/AAC ファイルを再生する	指定した日時に USB メモリー内ファイルが再生されます。 USB メモリーが接続されていないときや、USB メモリー内に MP3/WMA/AAC ファイルがない場合は、何も再生されません。
iPod をきく	指定した日時に iPod が再生されます。iPod が接続されていないときは何も再生されません。
HDD サウンドコンテナを再生する	指定した日時に設定したトラックが再生されます。
ビデオを見る	指定した日時にビデオに切り換えます。

設定したイベントが実行されると・・・

スケジュールを実行する時刻になると、次のような確認のメッセージを表示します。

メッセージに従って操作してください。[*1]

ポイント

[*1]
- スケジュールが重複した場合は、最後に設定したスケジュールを実行します。
- 指定期日にエンジンスイッチが“I”または“II”になっていないなど、Honda インターナビシステムがスケジュールを実行できない状態になっていた場合は実行されません。
- ラジオに関しては設定したときの現在地に基づいた放送局でスケジュール登録しますので、当日の行き先によっては放送されていない場合があります。

スケジュールを確認 / 変更するには

日付からスケジュールの設定内容を確認したり、変更することができます。

1 スケジュール実行可能なオーディオ画面で、ジョイスティックを下に倒して **スケジュール設定** を選んで 実行 を押す

2 **スケジュールリスト** を選んで 実行 を押す

3 **編集したいスケジュール**を選んで 実行 を押す

4 **編集** を選んで 実行 を押す ◆1

5 **編集したい項目**を選んで 実行 を押し、設定する

日付	スケジュールを実行する日付を設定できます。 日付を入力して［完了］を選んで［実行］ボタンを押します。	
時間	スケジュールを実行する時間を設定できます。 いずれかを選んで［実行］ボタンを押し、時間を指定します。	
	時間指定	24 時間制でスケジュールを実行する時間を入力し、［完了］を選んで［実行］ボタンを押します。 時間を入力しないで設定を完了すると、［起動時］を選んだときと同様の設定になります。
	起動時	指定した日の最初にエンジンスイッチを “I” または “II” にしたときにスケジュールを実行させることができます。

・・・次ページにつづく

アドバイス

◆1 ・スケジュールの実行状態がマークで表示されます。

済	実行済みのスケジュールです。
未	エンジンがかかっていなかったなどの理由で実行できなかったスケジュールです。
マークなし	実行されていないスケジュールです。

周期	スケジュールを実行する周期を設定できます。 いずれかを選んで［実行］ボタンを押します。	
	当日のみ	当日のみ、設定した時刻に指定した機能を実行します。
	毎日	毎日、同じ時刻に指定した機能を実行します。
	毎週	毎週、同じ時刻に指定した機能を実行します。
個別の設定	*→「スケジュールを作成する」（P404）の手順 9*	

6 ジョイスティックを下に倒して 実行 を押す

スケジュールを実行する

スケジュールリストからスケジュールを選んで実行することができます。

「スケジュールを確認 / 変更するには」（P407）の手順 2 までの操作をした後に・・・

1 **実行したいスケジュール**または**取りやめたいスケジュール**を選んで 実行 を押す

2 実行 を選んで 実行 を押す

▼

スケジュールが実行されます。

スケジュールを消去する

スケジュールリストからスケジュールを選んで消去することができます。

「スケジュールを確認 / 変更するには」（P407）の手順 2 までの操作をした後に・・・

1 **消去したいスケジュール**を選んで 実行 を押す ＊1

2 消去 を選んで 実行 を押す

3 実行 を押す

▼

選択したスケジュールが消去され、スケジュールリストに戻ります。

ポイント

＊1 ・すべてのスケジュールを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］ボタンを押します。

音声メモを使う 簡単操作 標準操作

音声メモを作成したり、通話を録音したりできます。約 30 秒の録音データを通話メモと合わせて最大 10 件まで、ハードディスクに保存することができます。 ※1 ◆1

音声を録音する

音声メモのリストが表示されます。

1 ナビメニュー → ツール → 音声メモ を選んで 実行 を押す

▼

音声メモのリストが表示されます。

2 新規録音 を選んで 実行 を押す

▼

録音が始まります。

ポイント

※1
- 録音または再生するときに、「音声メモ準備中です」のメッセージが表示されることがあります。ハードディスクの準備中ですので、メッセージが消えるまでお待ちください。
- 録音は約 30 秒経つと自動的に止まります。また録音中に [実行] ボタンを押すと、録音を停止することができます。
- 録音中にナビゲーション本体の各ボタンが押された場合は、録音が解除されます。
- 録音が完了すると、録音した日時が音声メモの名前として記録されます。
- すでに 10 件録音されているときは録音できません。不要なメッセージを消去してから録音してください。
→「音声メモを消去する」(P410)

アドバイス

◆1
- 通話メモの録音については、「通話録音するには」(→ P328) を参照してください。

音声メモを再生する

録音した音声メモを再生します。

1 **ナビメニュー** → **ツール** → **音声メモ** を選んで 実行 を押す

音声メモのリストが表示されます。

2 **再生したい音声メモ**を選んで 実行 を押す ◆1

[音声メモ] から録音した音声メモは 📝、通話中の通話録音は☎が表示されます。

3 **再生** を選んで 実行 を押す

▼

再生が開始されます。◆2

音声メモを消去する

録音した音声メモを消去します。

1 **ナビメニュー** → **ツール** → **音声メモ** を選んで 実行 を押す

2 **消去したい音声メモ**を選んで 実行 を押す ◆3

3 **消去** を選んで 実行 を押す

4 実行 を押す

▼

選んだ音声メモが消去されます。

アドバイス

◆1 ・リスト順にすべての音声メモを再生する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全件再生] を選び [実行] ボタンを押します。

◆2 ・再生中、コマンドホイールを回すと、音量を調節できます。

・再生中、[実行] ボタンを押すと途中で再生を終了することができます。

◆3 ・音声メモを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] ボタンを押します。

タイトルを編集する

音声メモのタイトルは、自動的に録音時の日付と時刻になります。あとから名称を入力することができます。

1 **ナビメニュー** → **ツール** → **音声メモ** を選んで 実行 を押す
音声メモのリストが表示されます。

2 **編集したい音声メモ**を選んで 実行 を押す

3 **名称編集** を選んで 実行 を押す

4 **編集したい項目**を選んで 実行 を押す ＊1

5 文字を入力する

6 **完了** を選んで 実行 を押す

7 ジョイスティックを下に倒して 実行 を押す

▼

タイトルが更新されます。

ポイント

＊1
- 最初、読みは入力されていません。
- [読み] は音声操作で使用します。また、メニュー音声読み上げ （→ P438） 時にも使用されます。

関連する機能

文字入力のしかた.....P34

シークレットモードを使う 簡単操作 標準操作

マーク情報と電話帳の表示をパスワードで規制できます。

シークレットモードを設定する

シークレットモードの設定にはパスワードの設定が必要になります。パスワードの設定後、シークレットモードを ON に設定します。

1 **ナビメニュー** → **ツール** を選んで 実行 を押す

2 **シークレットモード** を選んで 実行 を押す

3 **4 桁の数字**を入力し **完了** を選んで 実行 を押す

4 確認のため再度、**4 桁の数字**を入力し **完了** を選んで 実行 を押す ※1

5 **ON** を選んで 実行 を押す ◆1

▼

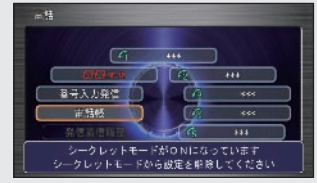
シークレットモードの設定が完了します。

ポイント

※1 ・すでにパスワードが設定されている場合は、手順 4 は不要です。

アドバイス

◆1 ・シークレットモードが設定されているときに、マーク情報、電話帳、発信着信履歴の表示操作を行うと、シークレットモードが ON であることを伝えるメッセージを表示します。



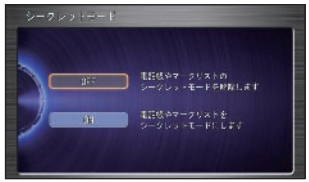
シークレットモードを解除するには*「シークレットモードを解除する」(P413)* を参照してください。

シークレットモードを解除する

「シークレットモードを設定する」(P412)
の手順２までの操作をした後に・・・

1 **パスワード(設定時の４桁の数字)**を入力し 完了 を選んで 実行 を押す

2 OFF を選んで 実行 を押す



▼

シークレットモードを解除します。

パスワードを変更するには

「シークレットモードを設定する」(P412)
の手順２までの操作をした後に・・・

1 ジョイスティックを下に倒して 実行 を押す

2 **現在のパスワード**を入力し 完了 を選んで 実行 を押す

3 **新しいパスワード**を入力し 完了 を選んで 実行 を押す

4 確認のため再度、**新しいパスワード**を入力し 完了 を選んで 実行 を押す

▼

パスワードの変更が完了します。

パスワードを忘れたときは

パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて再設定してください。パスワードをクリアすると、パスワード未設定の状態となり、設定した電話帳やマークリストなどのシークレットモードも解除します。
パスワードをクリアするには、未入力状態のパスワード入力画面で次のように操作します。

文字未入力の状態で・・・

1 文字未入力の状態でジョイスティックを上に倒す

2 ジョイスティックを左に５回連続で倒す

▼

パスワードをクリアします。

マップクリップを使う 標準操作

マップクリップとは、目的地付近の地点情報に含まれた QR コードを、画面に表示する機能です。携帯電話のカメラなどで読み取ってご活用ください。

1 ナビメニュー → ツール → マップクリップ を選んで 実行 を押す

目的地の QR コードが表示されます。 *1

2 ジョイスティックを左に倒す

全画面地図が表示されます。

3 QR コードを表示させたい地点にカーソルを合わせて 実行 を押す

▼

地点の QR コードが表示されます。 ◆1

ポイント

*1 ・地図の縮尺を変えても QR コードは変わりません（常に一定の縮尺 <200 m換算 > です）。

アドバイス

◆1 ・安全のため走行中は、QR コードは表示されません。

保存データを消去する 標準操作

ユーザーデータを消去することができます。 ※1

お願い

- 車を譲渡するときなどは、お客様が設定した画像、登録地、回避エリア、電話帳、施設マークなどのユーザーデータを消去してください。

1 **ナビメニュー** → **ツール** を選んで 実行 を押す

2 **データ管理** を選んで 実行 を押す

3 **保存情報の全消去** を選んで 実行 を押す

4 実行 を押す

5 実行 を押す

▼

保存情報が消去され、起動画面を表示します。

ポイント

※1
- 一度全消去すると、元に戻せません。
- この操作で、HDD サウンドコンテナの音楽データはすべて消去されます。HDD サウンドコンテナの音楽データだけを消去するときは、*「HDD サウンドコンテナの曲をすべて消去する」(P288)* を参照してください。

地図 / その他情報について

地図データの情報や地図バージョンの確認方法について説明します。

ソリッドシティマップ収録エリア

収録エリアは以下の都市高速道路です。

・首都高速道路
・阪神高速道路
・名古屋高速道路
・広島高速道路
・福岡都市高速道路
・北九州都市高速道路

阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由した後にその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。（乗り継ぎ区間ではETC が利用可能）。また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

京橋出入口 ⇔ 住吉浜出入口間
摩耶出入口 ⇔ 住吉浜出入口間
大浜出入口 ⇔ 堺出入口間
中之島西出口 → 堂島入口（守口方面）間（一方向）
波除出口 → 堂島入口（守口方面）間（一方向）
中之島西出入口 ⇔ 波除出入口間
生田川出入口 ⇔ 箕谷出入口間
柳原出入口⇔ 神戸長田出入口間

地図データについて

この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用した。「© 2008 財団法人日本デジタル道路地図協会」2007 年 9 月発行を使用。

・この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の 1/2,500 国土基本図を使用したものである。(承認番号) 小田原市指令第 52 号 平成 10 年 4 月 2 日承認
・この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の 2500 分の 1 都市計画図を使用したものである。平成 12 年 養建第 1902 号
・この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の 2,500 分の 1 都市計画基本図を使用したものである。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 平成 12 年度 知都発第 170 号)
・この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の 1/2,500 全図を使用し、調製したものである。(承認番号) 平 10．近公．第 34 号
・この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の 5,000 分の 1 の地形図を使用し調製したものです。(承認番号 15 大木建第 734 号)

・この地図は、堀金村長の承認を得て 1/2,500 の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16 堀第 5417 号)
・この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図 1/2,500 を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第 111 号 平成 18 年 2 月 28 日承認)
・この地図は、伊香保町長の承認を得て平成 7 年度作成の 10,000 分の 1 の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発 229 号 平成 17 年 7 月 14 日承認)
・この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺 1/2500 地形図を使用して作成したものである。(承認番号 :18 東デ共 041 号)
・この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 18 都市基交 第 478 号
・この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画 (1/2,500) を使用して調製したものです。(承認番号 平成 17 年津山市使用承認第 5 号)
・この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号 指令宇都第 13 号 平成 18 年 5 月 15 日承認)
・この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号 指令宇都第 14 号 平成 18 年 5 月 31 日承認)
・この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号 周防建設第 56 号 平成 18 年 5 月 12 日承認)
・この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図 1/10,000 及び東かがわ市都市計画図 1/2,500 を使用して調製したものである。(承認番号平成 18 年 5 月 2 日 18 建第 107 号)
・この測量の成果は、東温市長の承認により、平成 17 年 3 月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18 東温都第 174 号)
・この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第 350 号 平成 18 年 9 月 19 日承認)
・この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第 611 号 平成 19 年 2 月 28 日承認)"
・この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成 19 年 3 月 7 日 指令水緑 -1258
・この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第 18-10 号
・この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図 1/10,000 を使用して調製したものである。(長都政第 477 号 平成 18 年 3 月 28 日承認)"
・この地図は、富山県知事の承認を得て、同県作成 1/5,000 の森林基本図を使用して得たものである。承認番号 森政第 1005 号 (平成 18 年度)"
・この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成 19 年 3 月 1 日 森整第 1561 号
・この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18 森政第 5-5 号)
・この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 18 年 11 月 24 日付け森第 1286 号)
・この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 27 日付け森第 1736 号)
・この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第 115 号 平成 19 年 2 月 15 日承認)
・この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第 484 号 平成 19 年 1 月 30 日承認)
・この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用した

ものである。(承認番号 森整第 010634 号 平成 18 年 10 月 4 日承認)
・この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図 (1/5,000) を使用し調製したものである。{承認番号 18 林第 492 号 (平成 18 年 10 月 6 日)}
・この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第 993 号・平成 19 年 2 月 14 日)
・この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第 1079 号・平成 19 年 3 月 7 日)
・この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである (承認番号林 18-1 平成 18 年 12 月 5 日)。
・この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである (承認番号林 18-2 平成 19 年 3 月 7 日)。
・この地図は宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-1 号 平成 18 年 12 月 8 日)
・この地図は宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-3 号 平成 19 年 3 月 8 日)
・この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 18 林振第 360 号)
・この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の 1/5,000 全図を使用し、調製したものである。(承認番号) 平成 18 年 5 月 26 日知耕第 590 号 "
・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分の 1 国土基本図を使用したものである。(承認番号 平 19 総使、第 24 号)
・この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成 19 年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号) 平 21 樽港事第 33 号
・この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の 5000 分の 1 の森林基本図を複製したものである。(承認番号) 平成 21 年森計第 477 号
・この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 18 林振第 497 号)

VICS サービスエリアについて

北海道（北見）（旭川）（札幌）（釧路）（函館）、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

VICS サービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル 3（地図表示型）表示はできません。

放送局リストのデータについて

VICS 放送局リスト、AM ・FM 放送局リスト、FM 文字放送局リストのデータは 2008 年 4 月調査現在のものです。放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

その他情報提供元

・NTT 情報開発株式会社タウンページデータ
・財団法人交通事故総合分析センター　統計による危険地帯データ
・（株）IMJ モバイルの駐車場データ
・監修：夜景倶楽部　縄手真人（夜景コメント・夜景写真）
・小黒俊雄（写真撮影、百名山・高原植物）
・加藤庸二（写真撮影、名滝百選）
・関係各市区町村観光課・観光協会（写真協力、さくら名所・名水百選）
・おすすめグルメデータは、株式会社昭文社提供のデータを使用しています。

簡単操作 標準操作

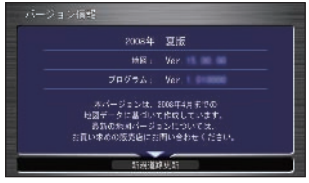
地図のバージョンを確認する

1 **ナビメニュー** → **ツール** → **データ管理** を選んで 実行 を押す

2 **バージョン情報** を選んで 実行 を押す

▼

バージョン情報が表示されます。



M E M O

環境の設定について

このナビゲーションの設定を変えたり、メニューを
カスタマイズしたりすることができます。

ナビ機能の設定を変える 422
よく使う機能をまとめる 440
現在地を修正する 442
ルートの学習内容を消去する 443
地図データを更新する 444
オーディオの設定を変える 446
テレビや DVD の設定を変える 447

ナビ機能の設定を変える 簡単操作 標準操作

ナビゲーション機能に関する初期設定を行います。

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。ナビゲーションの設定項目は、簡単操作モード、標準操作モードごとに機能がそれぞれ次のように分類されています。

簡単操作

1 **ナビメニュー** → **設定を変える** を選んで 実行 を押す

▼

地図表示設定	地図表示に関する設定が行えます。*(→ P424)*
通信／電話設定	電話の接続設定が行えます。*(→ P436)*
音声操作設定	音声案内に関する設定が行えます。*(→ P437)*
システム設定	ナビゲーションシステム全般に関する設定が行えます。*(→ P438)*

標準操作

1 **ナビメニュー** → **設定** を選んで 実行 を押す

▼

地図表示設定	地図表示に関する設定が行えます。*(→ P424)*
案内設定	ルート設定を行ったときの表示や音声の案内方法、ルートの計算方法についての設定が行えます。*(→ P429)*
インターナビ／VICS 設定	VICS やインターナビに関する設定が行えます。*(→ P433)*
車両警告設定	急なカーブにさしかかったり、シートベルトなしで走行するなどの場合に警告する設定が行えます。*(→ P435)*
通信／電話設定	電話の接続設定が行えます。*(→ P436)*
音声操作設定	音声案内に関する設定が行えます。*(→ P437)*
システム設定	ナビゲーションシステム全般に関する設定が行えます。*(→ P438)*

設定を変更する

ナビゲーションの機能設定を変更することができます。

1 簡単操作

ナビメニュー → **設定を変える** を選んで 実行 を押す

標準操作

ナビメニュー → **設定** を選んで 実行 を押す

2 **変更したい設定内容**を選んで 実行 を押す

3 **変更したい項目**を選んで 実行 を押す ＊1 ◆1

4 **設定**を選び 実行 を押す

▼

設定が変更され、直前の画面に戻ります。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

ポイント

＊1
- 設定を［しない］など、機能させない設定にしてある場合、設定に何も表示されない項目もあります。
- ジョイスティックを左右に倒すと、機能の表示を切り換えることができます。

アドバイス

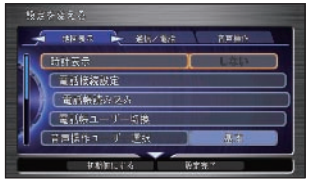
◆1
- すべての設定項目を工場出荷時に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して［初期値にする］を選び、［実行］ボタンを押してください。

簡単操作 標準操作

地図表示設定

設定値の**青い太字**は、工場出荷時の設定です。

簡単操作



時計表示に関する設定が行えます。

標準操作

時計表示や地図色、地図に表示するアイコンなどの設定が行えます。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作	簡単操作
都市高速マップ表示	都市高速道路を走行時に、**“都市高速マップを表示するかどうか”**を選ぶことができます。	**[する]**	設定内容は、標準操作モードでの設定と同じ
		[しない]	
一般道情報表示	**“一般道交通情報を表示するかどうか”**を選ぶことができます。	**[する]**	
		[しない]	
高速道情報表示	**“高速道路走行中に高速道交通情報を表示するかどうか”**を選ぶことができます。	**[する]**	
		[しない]	
ＶＩＣＳ駐車場マーク表示	**“駐車場の空き状況に関する VICS 情報マークを表示するかどうか”**を選ぶことができます。	**[する]**	
		[しない]	
渋滞表示	**“渋滞表示(矢印)を表示するかどうか”**を選ぶことができます。	[する]	
		[点滅表示]	
		[しない]	
混雑表示	**“混雑表示(矢印)を表示するかどうか”**を選ぶことができます。	**[する]**	
		[点滅表示]	
		[しない]	
順調表示	**“順調表示(矢印)を表示するかどうか”**を選ぶことができます。	[する]	
		[点滅表示]	
		[しない]	
走行軌跡表示	**“走行軌跡を地図上に表示させるかどうか”**を選ぶことができます。	[する]	
		[しない]	
走行軌跡消去	それまでの走行軌跡を消去します。		消去できません。

「地図表示設定」のつづき・・・

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作	簡単操作
地図色　昼	昼間（車幅灯を消しているとき）の地図色を 6 色の中から選ぶことができます。	**［ホワイト］**	設定内容は、標準操作モードでの設定と同じ
		［ブルー］	
		［グリーン］	
		［ベージュ］	
		［モノトーンライト］	
		［モノトーンダーク］	
地図色　夜	夜間（車幅灯をつけているとき）の地図色を 6 色の中から選ぶことができます。	［ホワイト］	
		［ブルー］	
		［グリーン］	
		［ベージュ］	
		［モノトーンライト］	
		［モノトーンダーク］	
気象警戒エリア表示	ルート上に注意すべき警戒エリアがあった場合に、**“ 自動的に情報が表示されるかどうか ”** を選ぶことができます。	**［する］**	
		［しない］	
駐車場マップ表示	収録されている駐車場に入った場合、**“ 自動的に駐車場内の地図が表示されるかどうか ”** を設定します。	**［する］**	
		［しない］	

・・・次ページにつづく

「地図表示設定」のつづき・・・

設定項目		設定内容	設定	
			標準操作	簡単操作
3D マップ角度調整		3D マップの角度調整を行います。	**[3]** ジョイスティックを上下に倒して10 段階で選択できます。	設定はありません。
詳細設定（ジョイスティックを下に倒し、［詳細設定］を選んで［実行］ボタンを押す	現在地情報の表示	現在地画面に **“ 地名または路線名を表示するかしないか ”** を選ぶことができます。	**［地名］** ［路線名］ ［しない］	標準操作モードでの設定と同じ
	方面看板表示	一般道で大きな交差点に近づいたとき、**“ 道路標識のイラストを画面に表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	**［する］** ［しない］	
	リアル拡大図表示	主要な交差点で **“ リアルな拡大図（3D イラスト表示）を表示するかしないか ”** を選ぶことができます。	**［する］** ［しない］	
	規制表示	**“ 交通規制に関する VICS 情報マークと規制区間を表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	**［する］** ［しない］	
	ビル立体表示	市街地図表示（10、25、50m スケール）で 3D（立体）マップのとき、**“ 付近のビルを立体的に表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	**［する］** ［しない］	
	24 時間表示	時計を **“24 時間制で表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	［する］ **［しない］**	

「地図表示設定」のつづき・・・

設定項目		設定内容	設定	
			標準操作	簡単操作
詳細設定（ジョイスティックを下に倒し、［詳細設定］を選んで［実行］ボタンを押す	直線誘導線表示	**“ 自車と目的地（または経由地）を結ぶ直線を表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	［する］ **［しない］**	標準操作モードでの設定と同じ
	高速ガイド自動表示	高速道路に入った場合、**“ 高速ガイドを自動的に表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	**［する］** ［しない］	［する］固定
	行程ガイド自動表示	**“ 行程ガイドを自動的に表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	［する］ **［しない］**	［しない］固定
	時計表示	**“ 時計を表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	［する］ **［しない］**	標準操作モードでの設定と同じ
	施設文字	地図に表示される **“ 施設名の文字サイズ ”** を選ぶことができます。	**［標準］** ［小文字］	［標準］固定
	有名施設リアル表示	**“ 有名な施設をリアルな立体表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	**［する］** ［しない］	標準操作モードでの設定と同じ
	行程ガイドIC省略	**“ 行程ガイドで入口、出口とならないインターチェンジや路線切換点とならないジャンクションの表示を省略するかどうか ”** を選ぶことができます。	**［する］** ［しない］	
	走行軌跡自動消去	自宅に到着すると **“ 走行軌跡を自動的に消去するかどうか ”** を選ぶことができます。	［自宅到着時］ **［しない］**	

・・・次ページにつづく

「地図表示設定」のつづき・・・

設定項目		設定内容	設定	
			標準操作	簡単操作
詳細設定（ジョイスティックを下に倒し、［詳細設定］を選んで［実行］ボタンを押す	サマータイム表示	**“時計の表示を夏季に 1 時間進める（サマータイム表示）かどうか”**を選ぶことができます。［する］に設定すると時間表示の文字が薄い黄色になります。	［する］ **［しない］**	標準操作モードでの設定と同じ
	地図色時刻連動	**“日没／日出の時刻に連動して画面の配色を切り換えるかどうか”**を選ぶことができます。	［する］ **［しない］**	

標準操作

案内設定

設定値の**青い太字**は、工場出荷時の設定です。

ルート設定を行ったときの表示や音声の方法やルートの計算方法についての設定を行えます。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作	簡単操作
到着予想時刻案内	**“到着予想時刻と残距離を表示するかどうかと対象となる地点”**を選ぶことができます。	［目的地］ **［経由地］** ［しない］	［目的地］固定
合流案内	ルート案内中、**“合流地点に近づいたときに案内するかどうか”**を選ぶことができます。 合流地点に近づくと のマークを表示して音声で案内します。	**［する］** ［しない］	標準操作モードでの設定と同じ
事故多発地点案内	ルート案内中、**“事故多発地点に近づいたときに音声で案内するかどうか”**を選ぶことができます。事故多発地点に近づくと音声で案内します。	**［する］** ［しない］	
踏み切り案内	ルート案内中、**“踏み切りに近づいたときに警告表示マークと音声で案内するかどうか”**を選ぶことができます。 踏み切りに近づくと のマークを表示して音声で案内します。	**［する］** ［しない］	
県境案内	ルート案内中、**“県境に近づいたときに案内するかどうか”**を選ぶことができます。	**［する］** ［しない］	
高速道優先	ルート計算時、**“高速道路を優先してルート計算するかどうか”**を選ぶことができます。（設定後のルート計算から反映されます。）	**［する］** ［しない］	

・・・次ページにつづく

「案内設定」のつづき・・・

設定項目		設定内容	設定	
			標準操作	簡単操作
ルート計算条件		ルートを計算時、**“最初に計算させる基準”**を選ぶことができます。（設定後のルート計算から反映されます。）	**[標準]**	標準操作モードでの設定と同じ
			[距離優先]	
			[道幅優先]	
右左折専用レーン案内		直進レーンが**“右折専用レーンまたは左折専用レーンに変化する地点を案内するかどうか”**を選ぶことができます。	**[する]**	
			[しない]	
交通状況変化時案内		**“インターナビサーバーから配信された音声を案内するかどうか”**を選ぶことができます。	**[する]**	
			[しない]	
スマートIC案内		**“スマートICを利用したルート計算をするかどうか”**を選ぶことができます。	[する]	
			[しない]	
詳細設定（ジョイスティックを下に倒し、[詳細設定]を選んで[実行]ボタンを押す）	時間曜日規制考慮	**“曜日や時間帯で規制の入る道路を避けて計算するかしないか”**を選ぶことができます。 実際の規制と異なるルート案内がされる場合があります。実際の交通情報規制に従って走行してください。時間曜日規制は現在地周辺の情報が考慮されます。	**[する]**	
			[しない]	
	リフレッシュ案内	**“2時間連続してナビゲーションシステムを使用したことを音声で案内するかどうか”**を選ぶことができます。	**[する]** ※1	
			[しない]	
	交差点目印案内	**“交差点の目印を音声で案内するかどうか”**を選ぶことができます。	[する]	
			[しない]	

※1 ナビゲーションシステムを起動して、2時間になると「そろそろ2時間になります。休憩しませんか」と音声案内されます。

「案内設定」のつづき・・・

設定項目		設定内容	設定	
			標準操作	簡単操作
詳細設定（ジョイスティックを下に倒し、［詳細設定］を選んで［実行］ボタンを押す）	天気音声案内	ルート設定時に“**目的地付近の天気予報を音声で案内するかどうか**”を選ぶことができます。	**［する］**	標準操作モードでの設定と同じ
			［しない］	
	ETC 案内	“**ETC 案内をするかどうか**”を選ぶことができます。	**［する］**	
			［しない］	
	フェリー使用※２	フェリーを使用できる場合に、“**フェリーを利用するルートを計算するかどうか**”を選ぶことができます。	［する］	
			［しない］	
	回避エリア考慮	ルート計算時、“**回避エリアを通らないルートを計算するかどうか**”を選ぶことができます。	**［する］**	
			［しない］	
	ルート学習 ※３	ルート計算時、“**学習したルートを考慮するかどうか**”を選ぶことができます。 ［リセット］で“ルート学習の記録を消去”できます。	**［する］**	
			［しない］	
			［リセット］ *「ルートの学習内容を消去する」（→ P443）*	
	シンプル案内	“**簡単な音声案内で案内するかどうか**”を選ぶことができます。	［する］	
			［しない］	
	一般道路の車速	到着時刻を計算するときの基準となる“**一般道路の走行速度**”を選ぶことができます。	［25km/h］ ※４	

・・・次ページにつづく

※2 一般道路優先で計算した場合、［する］に設定していてもなるべくフェリーを利用しないルートが案内されます。
フェリーを利用するルートを計算できない場合もあります。
フェリーを利用しないと目的地に行くことができない場合、フェリー使用を［しない］に設定してもフェリーを利用するルートが計算されます。

※3 ルート学習とは、元のルートから外れて同じルートを数回走行すると、そのルートを学習する機能です。
次回走行時よりそのルートを計算しやすくなります。走行ルートによっては学習しないこともあります。

※4 コマンドホイールを回して［5km/h］～［80km/h］の間を 5km/h 刻みで選ぶことができます。

「案内設定」のつづき・・・

設定項目		設定内容	設定	
			標準操作	簡単操作
詳細設定（ジョイスティックを下に倒し、［詳細設定］を選んで［実行］ボタンを押す）	高速道路の車速	到着時刻を計算するときの基準となる“**高速道路の走行速度**”を選ぶことができます。	［70km/h］※5	標準操作モードでの設定と同じ
	有料道路の車速	到着時刻を計算するときの基準となる“**有料道路の走行速度**”を選ぶことができます。	［50km/h］※6	
	渋滞考慮オートリルート	VICS 情報をもとに、“**自動的に渋滞を考慮したオートリルートを行うかどうか**”を選ぶことができます（→P141）。	**［する］**	
			［しない］	
	カーカルテ起動時通知	“**起動時にメンテナンス情報などを通知するかどうか**”を選ぶことができます。	**［する］**	
			［しない］	
	回避エリア	回避エリアを設定します。	「回避エリアを登録・編集する」（→P109、110）	—

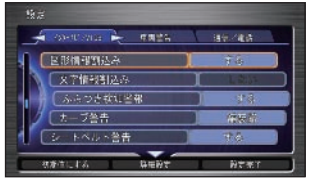
※5 コマンドホイールを回して［5km/h］～［120km/h］の間を 5km/h 刻みで選ぶことができます。

※6 コマンドホイールを回して［5km/h］～［100km/h］の間を 5km/h 刻みで選ぶことができます。

標準操作

インターナビ /VICS 設定

設定値の**青い太字**は、工場出荷時の設定です。



インターナビや VICS に関する設定を行えます。*(→P124)*

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作	簡単操作
図形情報割込み	地図上に **“ 受信した図形情報を割込み表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	**[する]**	標準操作モードでの設定と同じ
		[しない]	
文字情報割込み	地図上に **“ 受信した文字情報を割込み表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	[する]	
		[しない]	
天気情報割込み	地図上に **“ 受信した詳細な天気情報を割込み表示するかどうか ”** を選ぶことができます。	**[する]**	
		[しない]	
ルート案内時連動取得※ 1	**“ ルート案内時に連動して VICS 情報やインターナビ情報を取得するかどうかと取得する情報の種類 ”** を選ぶことができます。	**[すべての情報]**	
		[交通情報のみ]	
		[しない]	
情報取得周期※ 1	**“ インターナビ情報センターに自動で接続する周期 ”** を選ぶことができます。	**[状況変化時]** ※ 2	
		[5 分ごと]	
		[15 分ごと]	
		[30 分ごと]	
		[60 分ごと]	
		[しない]	

・・・次ページにつづく

「インターナビ /VICS 設定 標準操作」のつづき・・・

設定項目		設定内容	設定	
			標準操作	簡単操作
駐車場セレクト設定 ※ 1		インターナビ情報センターに接続して取得した駐車場情報から、**“ お好みの駐車場を探すための設定 ”** をします。→「駐車場セレクトを設定する」(P124)	**[なし]**	標準操作モードでの設定と同じ
			[料金] ※ 3	
			[距離] ※ 4	
			[満空情報] ※ 5	
詳細設定（ジョイスティックを下に倒し、[詳細設定] を選んで [実行] ボタンを押す）	フローティングカー情報 ※ 1	走行した経路や所要時間といった **“ 道路情報をインターナビ情報センターに自動的に送信するかどうか ”** を選ぶことができます。	**[する]**	
			[しない]	
	マーク地点リスト画像同期 ※ 1	**“ ナビゲーション本体のマーク地点リスト画像をパソコンの画像データと同期するかどうか ”** を選ぶことができます。	[する]	
			[しない]	

※ 1 インターナビ VICS の認証が終了するまで、設定項目として表示されません。

※ 2 状況が変化したとインターナビ情報センターが判断したときにインターナビ情報センターに自動接続します。

※ 3 料金が安い方から順に駐車場を並べ替えるよう設定します。

※ 4 距離が近い方から順に駐車場を並べ替えるよう設定します。

※ 5 空車があるところから順に駐車場を並べ替えるよう設定します。

標準操作

車両警告設定

設定値の**青い太字**は、工場出荷時の設定です。

急なカーブにさしかかったり、シートベルトなしで走行するなどの場合に警告する設定が行えます。

※1 高速道路や急なカーブのない自動車専用道路などを走行時に車線に沿って走行するようハンドル操作を補うのがレーンキープアシストという機能です。
レーンキープアシスト機能が動作している場合、またはウィンカーが動作している場合は、車両のふらつきは感知されません。

※2 状況に応じてカーブ警告が表示されます。

※3 状況に応じてカーブ警告が表示されます。［舗装路］を選んだときよりも警告が出やすくなります。

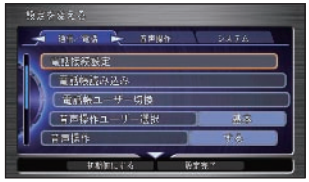
設定項目	設定内容	設定	
		標準操作	簡単操作
ふらつき検知警報※1	**“車両のふらつきを感知した場合、警告を案内するかどうか”**を選ぶことができます。	**［する］**	標準操作モードでの設定と同じ
		［しない］	
カーブ警告	**“速い速度でカーブを走行しようとした場合、警告を案内するかどうか”**を選ぶことができます。	**［舗装路］**※2	
		［圧雪路］※3	
		［しない］	
シートベルト警告	**“シートベルトを装着せずに走行した場合、警報を案内するかどうか”**を選ぶことができます。	**［する］**	
		［しない］	
パーキングブレーキ警告	**“パーキングブレーキを解除せずに走行した場合、警報を案内するかどうか”**を選ぶことができます。	**［する］**	
		［しない］	
警告灯メッセージ割込み	**“警告灯が点灯したときに、メッセージを割込み表示するかどうか”**を選ぶことができます。	**［する］**	
		［しない］	
警告灯情報センター送信	**“警告灯が点灯したときにインターナビ情報センターに自動的に情報を送信するかどうか”**を選ぶことができます。	**［する］**	
		［しない］	

簡単操作 標準操作

通信／電話設定

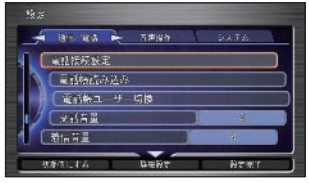
設定値の**青い太字**は、工場出荷時の設定です。

簡単操作



電話の接続や通信の設定などを行えます。

標準操作



電話の接続や通信の設定などを行えます。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作	簡単操作
電話接続設定	携帯電話と本機の“**通信設定**”をします。	→*「インターナビの通信サービスを使う」(P163)*	
電話帳読み込み	携帯電話の電話帳データを本機に読み込みます。	→*「携帯電話の電話帳を読み込む」(P310)*	
電話帳ユーザー切換	ユーザーごとに電話帳を使用できるよう、ユーザーを切り換えます。	→*「ユーザーごとに電話帳を使う」(P309)*	
受話音量	受話音量を調節します。	[4] 7段階で設定できる →*「受話音量／着信音量を調整する」(P308)*	標準操作モードでの設定と同じ
着信音量	着信音量を調節します。	[4] 7段階で設定できる →*「受話音量／着信音量を調整する」(P308)*	
自動着信	電話がかかってくると“**自動的に通話状態になるかどうか**”を選ぶことができます。	[する] →*「電話の設定をする」(P307)*	
		[**しない**]	

標準操作

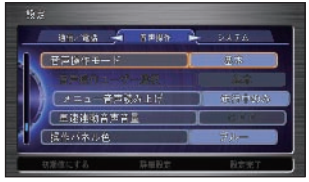
音声操作設定

設定値の**青い太字**は、工場出荷時の設定です。

簡単操作

利用するユーザーを変更したり、音声操作やワンプッシュ音声案内を利用するかどうか選ぶことができます。

標準操作



音声操作のモードを変更したり、利用するユーザーを変更できます。

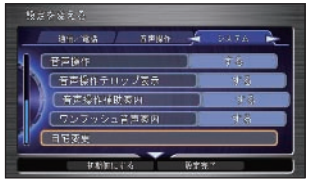
設定項目		設定内容	設定	
			標準操作	簡単操作
音声操作モード		音声操作で利用できる音声コマンドを選ぶことができます。	**[基本]**	—
			[拡張]	
音声操作ユーザー選択		登録したユーザーの音声をユーザーごとに選ぶことができます。	**[基本]** 最大５つまで異なるユーザーを登録できる。 *→「声を覚えさせる（学習モード）」(P338)*	標準操作モードでの設定と同じ
詳細設定（ジョイスティックを下に倒し、[詳細設定] を選んで [実行] ボタンを押す）	音声操作	**“音声操作を利用するかどうか”** を選ぶことができます。	**[する]**	
			[しない]	
	音声操作テロップ表示	**“音声操作をテロップ表示するかどうか”** を選ぶことができます。	**[する]**	
			[しない]	
	音声操作補助案内	**“音声操作補助案内をするかどうか”** を選ぶことができます。	**[する]**	
			[しない]	
	ワンプッシュ音声案内	**“ワンプッシュ音声案内をするかどうか”** を選ぶことができます。	**[する]**	
			[しない]	

簡単操作 標準操作

システム設定

設定値の**青い太字**は、工場出荷時の設定です。

簡単操作



自宅の位置を変更することができます。

標準操作

現在地の位置を修正したり、操作パネルの色を変えたり、地図縮尺の操作設定を変えるなど、システム全般の設定を行えます。

※走行中のみ、メニューの表示項目が読み上げられます。
※初期状態は、タイプによって異なります。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作	簡単操作
メニュー音声読み上げ	**“メニューの表示項目を音声で読み上げるかどうか”**を選ぶことができます。	[する]	標準操作モードでの設定と同じ
		[しない]	
		[走行中のみ]	
車速連動音声音量	車速に連動して音声音量を自動的に調節します。	**[OFF]**	
		[LO]	
		[MID]	
		[HI]	
操作パネル色※	**“画面（操作パネル）の色”**を５色の中から選ぶことができます。	[ホワイト]	
		[ブルー]	
		[グリーン]	
		[アンバー]	
		[レッド]	
現在地修正	現在地がずれたときに、現在地を修正します。	*→「現在地を修正する」(P442)*	—
操作音量	操作音量を調節します。	[0]	標準操作モードでの設定と同じ
		[1]	
		[2]	
		[3]	
地図縮尺詳細操作	地図の縮尺変更で詳細表示するときの**“コマンドホイールの回転方向”**を選ぶことができます。	**[右回転]**	
		[左回転]	

・・・次ページにつづく

「システム設定」のつづき・・・

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作	簡単操作
画面／消	ナビゲーション画面を消したり、画面の明るさ、コントラスト、色を調整できます。	→「画面を消す」(P82) →「画面の明るさを変える」(P83)	—
自宅登録／自宅変更	自宅を登録・変更します。	→「自宅を登録する」(P42) →「自宅の位置を変更する」(P44)	
操作ヘルプ	ヘルプモードに切り換わります。	→「ヘルプモードに切り換える」(P41)	—

よく使う機能をまとめる 標準操作

よく使う項目などを登録して、メニューをカスタマイズすることができます。※1

1 地図画面で 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して、**カスタマイズメニュー編集** を選んで 実行 を押す ◆1

3 変更したい項目を選んで 実行 を押す

4 新たにメニューに入れたい項目を選んで 実行 を押す

▼

カスタマイズメニューが変更されます。◆2

ポイント

※1
- 簡単操作モードのワンプッシュメニューは、カスタマイズできません。
- カスタマイズメニューから［internaviダイレクト］を外すことはできません。

アドバイス

◆1
- ［ナビメニュー］ボタン→［ツール］→［カスタマイズ］→［カスタマイズメニュー］を選び［実行］ボタンを押しても同じ操作ができます。

◆2
- メニュー項目を工場出荷時に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して［初期値にする］を選び、［実行］ボタンを押してください。

入れ換え可能な項目

初期値	先ほどの地図
	現在地周辺：コンビニ
	現在地周辺：ガソリンスタンド
	地図方位
	マークセット
	右画面縮尺
	intarnavi ダイレクト
地図表示設定	都市高速マップ表示
	一般道情報表示
	高速道情報表示
	VICS 駐車場マーク表示
	渋滞表示
	混雑表示
	順調表示
	走行軌跡表示
	走行軌跡消去
	地図色　昼
	地図色　夜
	気象警戒エリア表示
	駐車場マップ表示
	3D マップ角度調整

案内設定	到着予想時刻案内
	合流案内
	事故多発地点案内
	踏み切り案内
	県境案内
	高速道優先
	ルート計算条件
	右左折専用レーン案内
	交通状況変化時案内
	スマート IC 案内
インターナビ／VICS 設定	図形情報割込み
	文字情報割込み
	天気情報割込み
	ルート案内時連動取得
	情報取得周期
	駐車場セレクト設定
	並び替え条件 1
	並び替え条件 2
	並び替え条件 3
	駐車場料金
	駐車場までの距離
	屋根
	機械式
	営業時間

車両警告設定	ふらつき検知警報
	カーブ警告
	シートベルト警告
	パーキングブレーキ警告
	警告灯メッセージ割込み
	警告灯情報センター送信
通信／電話設定	電話接続設定
	電話帳読込み
	電話帳ユーザー切換
	受話音量
	着信音量
	自動着信
音声操作設定	音声操作モード
	音声操作ユーザ選択
システム設定	メニュー音声読み上げ
	操作パネル色
	地図縮尺詳細操作
	操作音量
	現在地修正
	画面／消
	自宅登録または自宅変更
	操作ヘルプ
その他	現在地周辺：ファミレス

現在地を修正する 標準操作

現在地がずれたときは、以下の方法で修正してください。 ◆1

1 ナビメニュー → 設定 → システム設定 を選んで 実行 を押す

2 現在地修正 を選んで 実行 を押す ◆2

3 ジョイスティックで自車がいる地点にカーソルを合わせて 実行 を押す

4 コマンドホイールを左右に回して自車マークの向きを合わせ、実行 を押す

▼

自車位置が修正されます。

アドバイス

◆1 ・GPS の測位の状態によっては、現在地のずれを自動的に修正できないことがあります。

◆2 ・走行中は自動的に有料道路、一般道路を切り換えます。近くに切り換え対象の道路がない場合は、メッセージが表示されます。

ルートの学習内容を消去する 標準操作

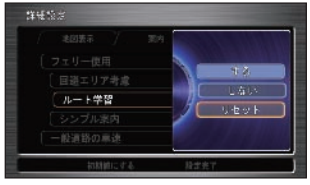
本機はふだん使用する道を学習しています。学習内容を消去することができます。 ◆1

1 **ナビメニュー** → **設定** → **案内設定** を選んで 実行 を押す

2 ジョイスティックを下に倒して **詳細設定** を選んで 実行 を押す

3 ジョイスティックを左右に倒して **案内** を選んで、**ルート学習** を選んで 実行 を押す

4 **リセット** を選んで 実行 を押す



5 実行 を押す

▼

詳細設定のメニューに戻ります。

アドバイス

◆1 ・本機はふだん使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に計算します（［ルート学習］が［する］のとき→ P431）。したがって、他に効率のよい道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときは、ルートの学習内容をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。

地図データを更新する 簡単操作 標準操作

DVD による地図データ更新 (スマート全地図更新) の概要を説明します。◆1

DVD で地図を更新するには

地図データのバージョンアップは DVD を使って行います。

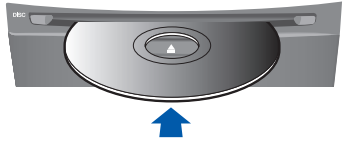
お願い

エンジンが停止している状態で以降の操作を行うと、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

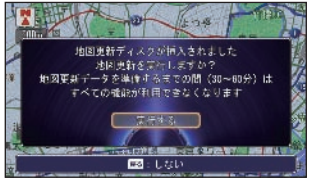
お知らせ

- 地図データ更新は、インターナビ・プレミアムクラブの会員サービスとしてご提供します。会員登録をされていない場合はサービスが受けられません。
  必ず Honda 販売店での会員登録をお願いします。
- 更新時期はインターナビ情報センターからパーソナル・ホームページ、メールなどを通じてご案内します。
- 詳しくは更新用 DVD に添付されている説明書をご覧ください。

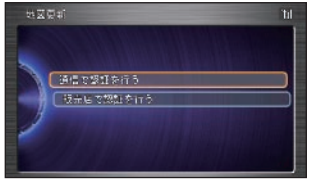
1 地図データ更新用 DVD を本機に挿入する



2 実行する を選んで 実行 を押す



3 いずれかを選んで 実行 を押す



[通信で認証を行う] →手順 7 へ ＊1
[販売店で認証を行う] →手順 4 へ ＊2

ポイント

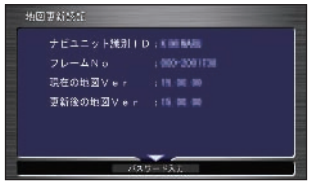
＊1 ・通信で認証を行うには、事前に準備が必要です。詳しくは「インターナビの通信サービスを使う」の *「通信機能を使えるようにする」(→P166)* を参照してください。

＊2 ・Honda 販売店での認証は、本機の識別 ID、フレーム No.(車台番号) などから認証用パスワードを取得して行います。詳しくは、Honda 販売店にお問い合わせください。

アドバイス

◆1 ・タイトル情報を格納した内蔵の Gracenote データベース *(→P289)* も同時に更新します。

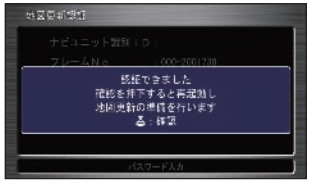
4 ジョイスティックを下に倒して **パスワード入力** を選んで 実行 を押す



5 Honda 販売店から入手した **認証用パスワード**を入力する

6 **完了** を選んで 実行 を押す

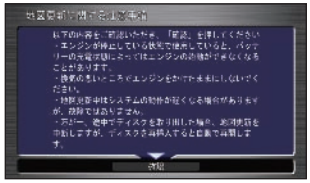
7 実行 を押す（「確認」する）



▼

再起動し、約 30 分間更新の準備が行われます。
この間、オーディオ操作を含む全ての機能がご使用になれません。

8 「地図更新に関する注意事項」が表示されましたら内容を読んだ上、**確認** を選んで 実行 を押す



▼

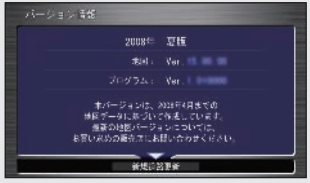
地図データおよび、他の情報の更新が行われます。更新には時間がかかります。*3

▼

画面の案内にしたがって地図データ更新用 DVD を取り出してください。

ポイント

*3
- 地図更新が完了するまでの時間はバージョン情報画面（→P445）で確認できます。



ただし、更新進捗状況や残り時間はデータ量やシステム状態によって異なります。
- 地図更新中は、Honda インターナビシステムのパフォーマンスが低下しますが故障ではありません。
- 一度、更新された地図は古いバージョンに戻すことはできません。
- 地図更新中は左上に地図更新アイコンを表示します。

地図更新アイコン

- 地図データ更新用 DVD を使用中に DVD を取り出すと更新が中断します。
- 地図更新中にエンジンスイッチを “0” にすると、次回は続きから更新します。

オーディオの設定を変える 簡単操作 標準操作

音質を調節するには

オーディオの基本的な音質が調節できます。
また、車の速度に応じて音量を自動的に調節する設定を選択できます。

「ナビゲーション画面とオーディオ画面の切り換え」（P221）を操作した後に・・・

1 オーディオ画面表示中にジョイスティックを下に倒して **音質調整** を選んで 実行 を押す ◆1

例）音楽 CD 操作画面

2 **調節項目**を選んで 実行 を押す

3 コマンドホイールを回して調節する

4 実行 を押す

調節項目について

BASS	低音の調節を行います。低音を強調したいときは [+] 方向へ、弱くしたいときは [−] 方向へ移動します。
TREBLE	高音の調節を行います。高音を強調したいときは [+] 方向へ、弱くしたいときは [−] 方向へ移動します。
FADER	前後のスピーカー音量バランスを調節します。 フロントのスピーカー音量を大きくしたいときは［FR］方向へ、リヤのスピーカー音量を大きくしたいときは［RR］方向へ移動します。
BALANCE	左右のスピーカー音量バランスを調節します。左のスピーカー音量を大きくしたいときは［L］方向へ、右のスピーカー音量を大きくしたいときは［R］方向へ移動します。 ［L］、［R］の最大値を選ぶとセンタースピーカーが消音します。
車速連動音量	車の速度に連動して音量を自動調整します。車の速度に合わせてより音量を大きくしたい場合は［HI］を、より小さくしたい場合は［LO］を選びます。この機能を使用しない場合は［OFF］を選んでください。

アドバイス

◆1 ・ ♪/🔇 ボタンを押すことにより音質調整の調節項目を切り換えることができます。

テレビや DVD の設定を変える 簡単操作 標準操作

テレビや DVD ビデオ、ビデオに関する設定ができます。

映像の色を調節するには

テレビや DVD ビデオでは色の濃さ、色合いを調節することができます。 *1

「テレビを見る」（P248）、「DVD ビデオを再生する」（P256）、「ビデオに切り換える」（P266）のいずれかを操作した後に・・・

1 画面／消 を押す

2 設定する項目を選んで 実行 を押す *2

3 コマンドホイールを左右に回して調節する

4 実行 を押す *3

▼

色の調節が完了します。

DVD の初期設定を変更するには

あらかじめ、字幕や音声の言語を設定することができます。あらかじめお好みの設定にしておくと、ディスクを再生するたびに設定を変える必要がなくなります。

「DVD ビデオを再生する」（P256）を操作した後に・・・

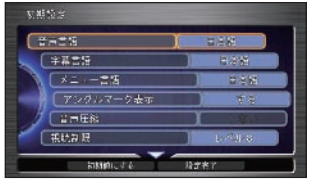
1 コマンドホイールを回す

DVD の操作メニューが表示されます。

2 停止 を選んで 実行 を押す

3 初期設定 を選んで 実行 を押す

4 **変更したい項目**を選んで 実行 を押す ◆1



5 **設定**を選んで 実行 を押す ◆2

6 ジョイスティックを下に倒して 設定完了 を選んで 実行 を押す

▼

初期設定の変更が完了します。

ポイント

*1 ・色合いを調節できるのはワンセグとビデオ画像のみです。

*2 ・走行中は［明るさ］のみ選ぶことができます。

*3 ・画面の調節は地図色が昼の場合と夜の場合（車幅灯をつけているとき）で、別々に設定することができます。

・テレビおよびビデオ、DVD で別々に設定することができます。

アドバイス

◆1 ・設定項目の詳細については、*「DVD の初期設定で設定できる項目について」（→ P448）*を参照してください。

◆2 ・初期設定メニューで、［初期値にする］を選択すると、視聴制限以外の項目が初期状態に戻ります。

DVD の初期設定で設定できる項目について

設定値の**青い太字**は、工場出荷時の設定です。 ※1

設定項目	設定内容	設定値
音声言語	優先してききたい音声の言語を設定します。	**[日本語]** ※2
字幕言語	優先して表示させたい字幕の言語を設定します。	
メニュー言語	ディスクに記録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。	
アングルマーク表示	マルチアングルの場面を再生しているときにアングルマークを表示するかしないかを設定します。	**[する]**
		[しない]
音声圧縮	DVD 再生時に小音量と大音量の幅を一定に制御します。 →*「DVD のダイナミックレンジコントロールを切り換えるには」(P449)*	**[する]**
		[しない]
視聴制限	視聴制限を設定します。 →*「DVD の視聴制限のレベルを変更するには」(P449)*	**[レベル 8]** ※3

ポイント

※1 ・[音声言語]、[字幕言語]、[メニュー言語] では、選んだ言語がディスクに書き込まれていない場合は、ディスクで指定されている言語を設定します。

※2 ・[日本語] 以外に [英語]/[フランス語]/[スペイン語] /[ドイツ語]/[イタリア語]/[オランダ語]/[中国語]/[韓国語]/[タイ語]/[その他] から選べます。
また、[その他] を選んだ場合は、*「言語コード表」(P451)* より、4 桁の言語コードを入力し、[決定] を選んで [実行] ボタンを押します。

※3 ・[レベル 1] ～ [レベル 8] を選ぶことができます。

ダイナミックレンジコントロールとは !?

DVD 再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御 (ダイナミックレンジコントロール) し、小さな音や大きな音でもききやすくする機能です。

DVD のダイナミックレンジコントロールを切り換えるには

ここでは DVD 再生中の音声を制御するかしないかを選ぶことができます。※1

「DVD ビデオの初期設定を変更するには」(P447) の手順 3 まで操作した後に・・・

1 初期設定メニューで **音声圧縮** を選んで 実行 を押す

2 **する** を選んで 実行 を押す

▼

設定が完了します。

DVD の視聴制限のレベルを変更するには

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかけることができます。(パレンタルロック)※2

「DVD ビデオの初期設定を変更するには」(P447) の手順 3 まで操作した後に・・・

1 初期設定メニューで **視聴制限** を選んで 実行 を押す

▼

パスワード入力画面を表示します。

2 **4 桁のパスワード**を入力する

パスワードの設定です。忘れないようメモしておくことをおすすめします。

3 **決定** を選んで 実行 を押す

4 確認のため再度 **4 桁のパスワード**を入力する

5 **決定** を選んで 実行 を押す

6 レベルを選んで 実行 を押す

レベル 8	ディスクをすべて再生します。
レベル 7 ～ 2	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル 1	子供向けディスクのみ再生します。

▼

視聴制限レベルの設定が完了します。

レベルを変更する

設定した視聴制限のレベルを変更することができます。

「DVD の初期設定を変更するには」(P447) の手順 3 まで操作した後に・・・

1 初期設定メニューで 視聴制限 を選んで 実行 を押す

2 **設定したパスワード**を入力する

3 決定 を選んで 実行 を押す
視聴制限レベルの変更が可能になります。

4 **レベル**を選んで 実行 を押す

▼

視聴制限レベルの変更が完了します。

パスワードを忘れたときは

パスワードを忘れたときやパスワードを変更したいときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて設定し直してください。
パスワードをクリアするには、未入力の状態のパスワードを入力する画面で次のように操作します。

1 パスワードを入力する画面で 未入力の状態でジョイスティックを上に倒します

2 ジョイスティックを **5 回連続**で左に倒す

▼

メッセージが表示され、パスワードをクリアします。

ポイント

＊1
- 音声圧縮 (ダイナミックレンジコントロール) の効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

＊2
- 最初にご使用になるときは、パスワードを設定してください。視聴制限は、パスワードが設定されないと操作できません。
- 視聴制限されたディスクを再生すると、パスワードの入力画面を表示することがあります。この場合は、正しいパスワードを入力しないと視聴制限シーンを再生できません。
  →「視聴制限のある DVD ビデオを再生したとき」(P265)
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに書き込まれています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、いったんディスクを取り出して、視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

言語コード表

言語名	コード
アファル語	0101
アブハジア語	0102
アフリカーンス語	0106
アムハラ語	0113
アラビア語	0118
アッサム語	0119
アイマラ語	0125
アゼルバイジャン語	0126
バシキール語	0201
ベラルーシ語	0205
ブルガリア語	0207
ビハーリー語	0208
ビスラマ語	0209
ベンガル語	0214
チベット語	0215
ブルトン語	0218
カタロニア語	0301
コルシカ語	0315
チェコ語	0319
ウェールズ語	0325
デンマーク語	0401
ドイツ語	0405
ブータン語	0426
ギリシャ語	0512
英語	0514
エスペラント語	0515
スペイン語	0519
エストニア語	0520
バスク語	0521

言語名	コード
ペルシア語	0601
フィンランド語	0609
フィジー語	0610
フェロー語	0615
フランス語	0618
フリジア語	0625
アイルランド語	0701
スコットランドゲール語	0704
ガルシア語	0712
グアラニ語	0714
グジャラート語	0721
ハウサ語	0801
ヒンディー語	0809
クロアチア語	0818
ハンガリー語	0821
アルメニア語	0825
国際語	0901
Interlingue	0905
イヌピアック語	0911
インドネシア語	0914
アイスランド語	0919
イタリア語	0920
ヘブライ語	0923
日本語	1001
イディッシュ語	1009
ジャワ語	1023
グルジア語	1101
カザフ語	1111

言語名	コード
グリーンランド語	1112
カンボジア語	1113
カンナダ語	1114
韓国語	1115
カシミール語	1119
クルド語	1121
キルギス語	1125
ラテン語	1201
リンガラ語	1214
ラオス語	1215
リトアニア語	1220
ラトビア語	1222
マダガスカル語	1307
マオリ語	1309
マケドニア語	1311
マラヤーラム語	1312
モンゴル語	1314
モルダビア語	1315
マラータ語	1318
マライ語	1319
マルタ語	1320
ビルマ語	1325
ナウル語	1401
ネパール語	1405
オランダ語	1412
ノルウェー語	1415
プロバンス語	1503
オロモ語	1513
オリヤー語	1518

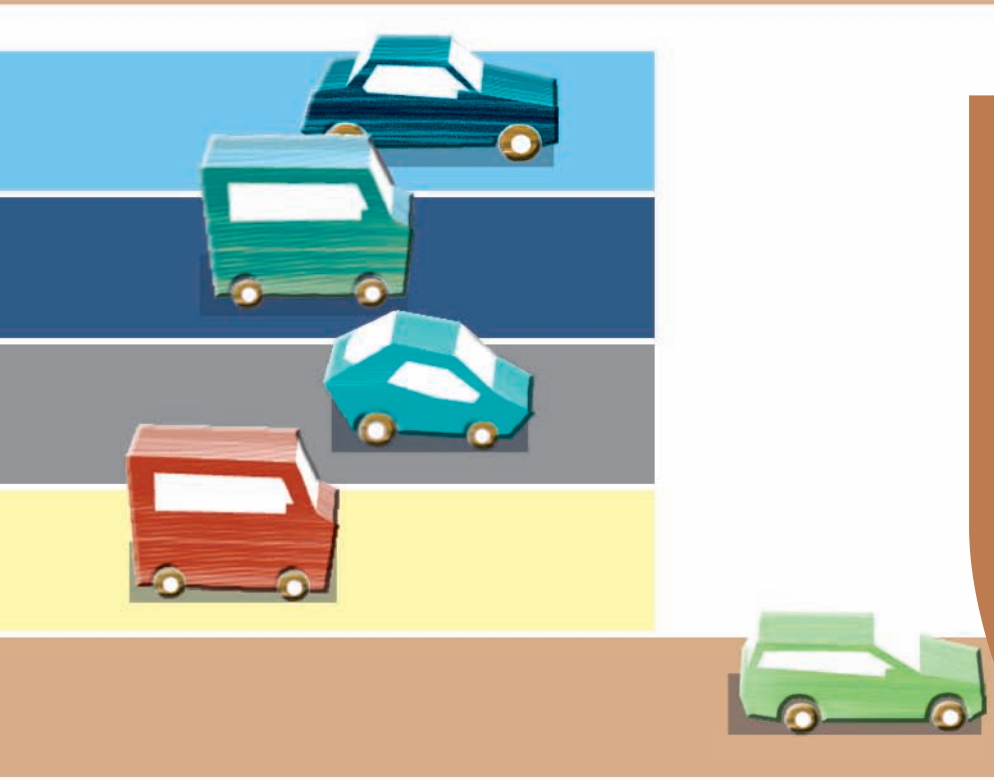
言語名	コード
パンジャブ語	1601
ポーランド語	1612
アフガニスタン語	1619
ポルトガル語	1620
ケチュア語	1721
レートロマン語	1813
キルンディ語	1814
ローマ語	1815
ロシア語	1821
キニヤルワンダ語	1823
サンスクリット語	1901
シンド語	1904
サンド語	1907
セルボアクロアチア語	1908
セイロン語	1909
スロバック語	1911
スロベニア語	1912
サモア語	1913
ショナ語	1914
ソマリ語	1915
アルバニア語	1917
セルビア語	1918
シスワティ語	1919
セストゥ語	1920
スンダ語	1921
スウェーデン語	1922
スワヒリ語	1923
タミル語	2001

言語名	コード
テルグ語	2005
タジル語	2007
タイ語	2008
チグリス語	2009
ツルキ語	2011
タガログ語	2012
セツワナ語	2014
トンガ語	2015
トルコ語	2018
ツォンガ語	2019
タタール語	2020
トウィ語	2023
ウクライナ語	2111
ウルドゥー語	2118
ウズベク語	2126
ベトナム語	2209
ボラピュク語	2215
ウォルフ語	2315
コーサ語	2408
ユルバ語	2515
中国語	2608
ズールー語	2621

M E M O

困ったときは・・・

「故障かな？」と思ったり、「どうしたらいいの？」と
困ったときは、本章をチェックしてみてください。



Q & A（よくある質問について） 454
故障かな？と思ったときの対処方法 460
エラーメッセージと対処方法 470

Q & A (よくある質問について)

操作方法や仕様について、よくある質問をまとめています。

ナビゲーション機能について

Q 01 バッテリーを交換したら、現在地が東京になっている。時刻もずれている。どうしたらいい？	**A 01** GPS が測位するまでしばらくお待ちください。 バッテリーからの電源が供給されない状態がしばらく続くと、現在地や日時が工場出荷時の状態に戻ります。しかし、GPS 衛星からの電波を受信して測位が完了すると、正しい現在地、日時を示します。しばらく待っても改善されない場合は、お近くの Honda 販売店にご相談ください。
Q 02 現在地がよくずれる。なぜ？	**A 02** GPS アンテナ周辺に金属製の物が置かれている可能性があります。 *「現在地や軌跡の誤差について」(P482)* をご覧になって GPS アンテナの位置を確認し、GPS アンテナ周辺に物 (金属製のトレー、小銭、携帯電話等) が置かれていないか確認してください。
Q 03 地図にマークがたくさん表示されている。もっと減らせないの？	**A 03** 表示する施設マークを選ぶことで減らすことができます。 *「表示する施設マークを選ぶ」(P86)* をご覧になって不要なマークを [表示しない] の設定に変更してください。
Q 04 地図の縮尺が 25m から 50m に自動で切り換わった。なぜ？	**A 04** 安全上の配慮から、地図の縮尺を広域にする仕様になっています。 走行速度が約 85km/h を超えると表示できなくなり、約 75km/h 以下になると再表示します。

通信機能について

Q 01 自分の携帯電話は対応しているの？	**A 01** ホームページをご覧ください。 対応機種についてはインターナビ・プレミアムクラブホームページの「対応通信機器について」をご覧ください。 ホームページ URL： http://www.premium-club.jp/
Q 02 Bluetooth がつながらない！	**A 02** 接続まで時間がかかることがあります。もうしばらくお待ちください。 携帯電話側、Honda インターナビシステム側の双方で接続先を検出するのに時間がかかることがあります。もうしばらくお待ちください。 設定方法が誤っている可能性があります。 **処置①：携帯電話の電源を入れ直してください。** 再度、お手持ちの携帯電話の取扱説明書と併わせまして、本書 *「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170)* の操作を行ってください。 **処置②：登録内容を消去してください。** 携帯電話側の登録内容の消去および Honda インターナビシステム側の登録されている携帯電話設定の消去 *(P175)* を行ってください。 その後、本書 *「Bluetooth で携帯電話を接続する」(P170)* の操作を行ってください。

・・・次ページにつづく

通信機能について（つづき）

Q 03 Bluetooth の設定方法がわからない！	**A 03** ホームページをご覧ください。 インターナビ・プレミアムクラブホームページの「対応通信機器について」のページで機種ごとの設定手順をご説明した PDF を提供しております。 ホームページ URL： http://www.premium-club.jp/
Q 04 インターナビ・プレミアムクラブの暗証番号を忘れてしまった。	**A 04** インターナビ・プレミアムクラブサポートデスクにご連絡の上、再発行の手続きをお取りください。 TEL：0120-738147（会員専用） メールアドレス：member@premium-club.jp 営業時間： 月～土曜　9 時 ～ 12 時　13 時 ～ 18 時 祝祭日、夏期休暇、年末年始を除く
Q 05 通信費はどのくらいかかる？	**A 05** インターナビ VICS の受信 1 回あたり 150 ～ 200 パケット程度です。 通信費はお客様と携帯電話会社との契約プランにより異なります。

地図データについて

Q 01 他メーカーの地図ディスクは使えるの？	**A 01** 使用できません。 本機は市販されている CD や DVD の地図ディスクには対応しておりません。
Q 02 最新の地図データの更新 / 入手方法はどうするの？	**A 02** 地図データ更新用 DVD をお配りいたします。(スマート全地図更新) インターナビ・プレミアムクラブの会員サービスとして初回車検前に 1 回無料で全データを更新する地図データ更新用 DVD を指定のディーラー (My ディーラー) 経由でお配りします。 また、有料での更新も承ります。地図更新の時期についてはインターナビ・プレミアムクラブパーソナル・ホームページや電子メールなどでお知らせしますので、必ず会員登録をお願いします。
Q 03 新しい道ができているが、反映されている地図データはありますか？	**A 03** internavi 情報から確認、ダウンロードができます。(新規道路データ配信) 通信機能を使った「internavi 情報」から新設道路のデータを確認 / 取得ができます。*→「新しい道路のデータがないか確認する」(P206)*
Q 04 地図を更新したあと、前の地図バージョンに戻すことはできますか？	**A 04** できません。 一度、最新の地図バージョンに更新すると、前のバージョンに戻すことはできません。

・・・次ページにつづく

地図データについて（つづき）

Q 05 DVD を使った地図データの更新（スマート全地図更新）中に DVD を取り出すとどうなるの？

A 05 一部の機能が使用できなくなる場合があります。

地図データ更新中に DVD を取り出すと、更新を中断します。中断中は更新が終了していない機能が一部使えなくなることがあります。ナビゲーション機能をご使用になるときは、再度地図データ更新用 DVD を挿入してください。

Q 06 ルートの周辺以外の新しい道路のデータ（新規道路データ配信）を取得する方法はありますか？

A 06 internavi 情報から確認、ダウンロードができます。

[メニュー] → [internavi 情報] → [新規道路データ] に提供データの一覧を表示します。ジョイスティックを下に倒して [全道路取得] を選び [実行] ボタンを押して、ダウンロードしてください。

→「新しい道路データを取得する」(P206)

ナビゲーションシステム内の道路が新しい道路に更新されます。

Q 07 新しい道路のデータ（新規道路データ配信）のダウンロードは有償ですか？

A 07 約 1 年間、無料でダウンロードできます。

HDD に収録されている地図データの発行日から約 1 年間、無料でダウンロードできます。
詳しくはインターナビ・プレミアムクラブサポートデスクにご確認ください。

TEL：0120-738147（会員専用）

メールアドレス：member@premium-club.jp

営業時間：9:00 ～ 12:00　13:00 ～ 19:00
土・日・祝日・年末年始を除く

ダウンロードにかかる通信費はお客様のご負担となります。提供期間終了後はスマート全地図更新を行わないと新しい道路データのダウンロード更新はできません。

オーディオ機能について

Q 01 音楽CDのタイトル情報が取得できない！	**A 01** すべてのタイトル情報が取得できるわけではありません。 *→「タイトル情報を取得する」(P289)* すべての音楽 CD のタイトル情報をサポートしているわけではありません。 また、工場出荷時期以降に発売された CD について、ハードディスク内のタイトル情報では未対応となります。 通信機能をご利用いただきますと、インターネットを利用したタイトル情報の取得が可能となりますので、工場出荷時期以降に発売された CD のタイトル情報でも取得できる可能性があります。
Q 02 地上デジタル放送に対応していますか？	**A 02** 地上デジタル放送の「ワンセグ放送」に対応しています。 地上デジタル放送の「ハイビジョン放送 (HDTV)」には対応しておりません。 また、アナログ放送にも対応しておりません。

故障かな？と思ったときの対処方法

「故障かな？」と思ったときの症状、原因、対処方法について説明します。

ナビゲーション機能関連項目

症状	原因	処置
画面を表示しない。	画面が [画面 消] になっている。	[現在地] ボタンを押してください。
	車内の温度が上がり、液晶画面が高温になった。	車内の温度が下がれば自動的に復帰します。
ルート案内中に音声案内が出ない。	案内音量が OFF になっている。	案内音量を確認してください。 *→「案内の音量を調節する」(P33)*
車の車幅灯を ON にしても夜画面に切り換わらない。	車幅灯点灯時の減光が解除されている。	イルミネーションコントロールの操作で車幅灯点灯時に減光するようにしてください。イルミネーションコントロールの操作については、車両本体の取扱説明書をご覧ください。
走行軌跡が表示されない。	走行軌跡を表示しない設定になっている。	「走行軌跡表示」の設定を [する] にしてください。 *→「地図表示設定」(P424)*
映像が暗い。	日没時刻が過ぎている。	夜間でも見やすいように、日没時刻になると、映像が自動的に暗い配色になるよう設計されています。 (「地図色時刻連動」が [する] に設定されている場合) *→「地図表示設定」(P424)*
自車位置の誤差が大きくなった。	TV の 56ch を受信している。	TV のチャンネルを変えるか、TV を OFF にしてください。 *→「現在地や軌跡の誤差について」(P482)*

VICS 関連項目

症状	原因	処置
地図上に VICS 情報が表示されない。	VICS サービスのエリア外または対象外の道路を走行している。	VICS のサービスエリア外では VICS 情報は受信できません。
		VICS 情報対象外の道路では VICS 情報を表示しません。
	提供されていない情報がある。	提供される情報がいつでもすべてそろっているとは限りません。
		受信状況によっては情報がそろわない場合があります。
	地図データベースが古い。	新設道路の情報は地図データが古いと表示されません。
	携帯電話が接続状態ではない。	インターナビの VICS 情報は携帯電話を接続して受信してください。
	「地図表示設定」(P424) の「渋滞表示」等が [しない] を選んでいる。	「地図表示設定」の「渋滞表示」等を [しない] 以外にしてください。
	地図表示が 1km スケール表示より広域になっている。	1km スケール以下でないと VICS 情報を表示しません。 地図表示を 10m スケール表示から 1km スケール表示にしてください。
FM 多重情報が表示されない。	FM 多重情報が放送されていない。	放送を休止している場合があります。 NHK の FM 文字放送サービスは、2007 年 3 月末をもって終了しています。(VICS 道路交通情報は提供されています。)
	地下や建物脇など受信状態の悪い場所にいる。	受信状態によっては情報を表示できない場合があります。

・・・次ページにつづく

「VICS 関連項目」のつづき・・・

症状	原因	処置
ビーコン情報が表示されない。	ビーコン送受信機の上部およびその周辺に物を置くなどして、電波をさえぎっている。	電波をさえぎらないようにしてください。また、ビーコン送受信機の取付角度がずれていると受信しにくくなります。

通信機能関連項目

症状	原因	処置
回線接続できない。	携帯電話またはデータ通信 USB が接続状態ではない。	携帯電話またはデータ通信 USB の接続を確認してください。
	通信機能設定で設定した通信手段（携帯電話または通信カード）が接続されていない。	
	ユーザー ID またはパスワードが正しくない。	インターネットプロバイダのユーザー ID またはパスワードが正しいことを確認してください。
	接続先が正しく設定されていない。	携帯電話に対応した接続先が正しいことを確認してください。 →「接続先（プロバイダ）を選ぶ」(P178)
	暗証番号が正しくない。	販売店にご相談ください。
	携帯電話の電波状態が良くない場所、または圏外にいる。	再度操作してみて接続できない場合には、電波状態が良い場所に移動してみてください。
	回線が混み合っている。	しばらくしてから、再度操作してください。
回線接続しない。	キャッシュにデータが残っている。	キャッシュにデータが残っている場合には回線接続不要と判断して回線接続を行いません。

「通信機能関連項目」のつづき・・・

症状	原因	処置
通信中に回線が切れてしまった。	携帯電話の電波状態が良くない場所、または圏外にいる。	再度操作してみて回線が切れる場合には、電波状態が良い場所に移動してみてください。
	インターネット上の回線やサーバーの負荷が高くなっているため、データを受信できない。	しばらくしてから、再度操作してください。
	操作がなかった。	何も操作がない場合には、回線交換方式では 3 分、パケット方式では 10 分で自動切断する仕組みになっています。

DVD ビデオ /CD/MP3/WMA/AAC 関連項目

症状	原因	処置
再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →「ディスクの取り扱いについて」(P210)
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →「再生できるディスクの種類」(P211)
	PAL 方式で書き込まれたディスクを挿入している。	NTSC 方式で書き込まれたディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号が [2] または [ALL] のディスクに交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。

・・・次ページにつづく

「DVD ビデオ /CD/MP3/WMA/AAC 関連項目」のつづき・・・

症状	原因	処置
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	[AUDIO 表示] ボタンで画面を切り換えてください。
	PAL 方式で書き込まれた DVD ビデオディスクを使用している。	NTSC 方式で書き込まれた DVD ビデオディスクを使用してください。
DVD ビデオの音が出ない。	静止画再生中である。	静止画再生中に、音声をきくことはできません。
CD 再生中に、大きな雑音が出る。CD の再生が途中で止まる。	ディスクにキズやそりがある。	他のディスクと交換してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 *→「ディスクの取り扱いについて」(P210)*
	ディスクに曇りや水滴が付いている。	ディスクの曇りや水滴を拭き取ってください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。 *→「視聴制限のある DVD ビデオを再生したとき」(P265)*
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 *→「DVD ビデオの視聴制限のレベルを変更するには」(P449)*
	暗証番号を忘れてしまった。	ジョイスティックを左に 5 回倒し、暗証番号を解除します。*→「DVD ビデオの視聴制限のレベルを変更するには」(P449)*

「DVD ビデオ /CD/MP3/WMA/AAC 関連項目」のつづき・・・

症状	原因	処置
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が書き込まれていない DVD ビデオを再生している。	複数の言語が書き込まれていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が書き込まれていない DVD ビデオを再生している。	初期設定で選んだ言語が書き込まれていない DVD ビデオでは、選んだ言語に切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが書き込まれていない DVD ビデオを再生している。	複数のアングルが書き込まれていない DVD ビデオでは、切り換えられません。
	複数のアングルが書き込まれていない場面で操作している。	複数のアングルが書き込まれている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れるまたは暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの現象が出るものもあります。(故障ではありません。)
🚫 (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受けつけない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	[停止] を選んで [実行] ボタンを押してから、もう一度再生してください。
	ディスクが汚れている。	他のディスクと交換してください。

・・・次ページにつづく

「DVD ビデオ /CD/MP3/WMA/AAC 関連項目」のつづき・・・

症状	原因	処置
CD-R/CD-RW、DVD-R/DVD-RW を再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。 *→「再生できる MP3 ファイルの仕様」(P213)*
MP3 ファイルを再生できない。	MP3 ファイルに「.mp3」の拡張子がついていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」を付けたデータの入った CD-R/RW、DVD-R/RW に交換してください。 *→「再生できる MP3 ファイルの仕様」(P213)*
	320kbps を超えるビットレートで書き込まれている。	ビットレートが 320kbps 以下で書き込まれた MP3 ファイルにしてください。 *→「再生できる MP3 ファイルの仕様」(P213)*
WMA ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」の拡張子がついていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」を付けたデータの入った CD-R/RW、DVD-R/RW に交換してください。 *→「再生できる WMA ファイルの仕様」(P214)*
	320kbps を超えるビットレートで書き込まれている。	ビットレートが 320kbps 以下で書き込まれた WMA ファイルにしてください。 *→「再生できる WMA ファイルの仕様」(P214)*
AAC ファイルを再生できない	AAC ファイルに「.m4a」の拡張子がついていない。	AAC ファイルに拡張子「.m4a」を付けた CD-R/RW、DVD-R/RW に交換してください。
	320kbps を超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが 320kbps 以下で記録された AAC ファイルにしてください。
MP3 ファイル再生中に大きな雑音が出る /MP3 ファイル再生中に音が出なくなる。	MP3 形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。 (MP3 形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けて再生しないでください。) *→「再生できる MP3 ファイルの仕様」(P213)*

「DVD ビデオ /CD/MP3/WMA/AAC 関連項目」のつづき・・・

症状	原因	処置
WMA ファイル再生中に大きな雑音が出る/WMA ファイル再生中に音が出なくなる。	WMA 形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。 (WMA 形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けて再生しないでください。) *→「再生できる WMA ファイルの仕様」(P214)*
AAC ファイル再生中に大きな雑音が出る/AAC ファイル再生中に音が出なくなる	AAC 形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(AAC 形式でないファイルに「.m4a」拡張子を付けて再生しないでください。)
聞きたい MP3 ファイルが見つからない。	MP3 ファイルに「.mp3」の拡張子がついていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」を付けたデータの入った CD-R/RW、DVD-R/RW に交換してください。 *→「再生できる MP3 ファイルの仕様」(P213)*
聞きたい WMA ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」の拡張子がついていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」を付けたデータの入った CD-R/RW、DVD-R/RW に交換してください。 *→「再生できる WMA ファイルの仕様」(P214)*
聞きたい AAC ファイルが見つからない	AAC ファイルに「.m4a」の拡張子がついていない。	AAC ファイルに拡張子「.m4a」を付けた CD-R/RW、DVD-R/RW に交換してください。
	iTunesMusicStore で購入した音楽ファイルがある。	iTunesMusicStore で購入した音楽ファイルを CD-R/RW、DVD-R/RW に記録しても表示・再生できません。iTunesMusicStore で購入した音楽ファイルを使用しないでください。

・・・次ページにつづく

「DVD ビデオ /CD/MP3/WMA/AAC 関連項目」のつづき・・・

症状	原因	処置
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Joliet、Romeo に準拠して書き込まれていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Joliet、Romeo に準拠して書き込んだディスクに交換してください。 *→「再生できる MP3 ファイルの仕様」(P213)* *→「再生できる WMA ファイルの仕様」(P214)*
MP3、WMA、AAC ファイル再生が、書き込んだ順と異なる。	MP3、WMA、AAC ファイルは、書き込んだときの順番通りに再生されないことがあります。	ライティングソフトによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字 (01、02 など) を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

HDD サウンドコンテナ関連項目

症状	原因	処置
CDが録音されていない。	CD の録音が中止された。	CD の録音制限を確認してください。 →*「CD 録音の制限について」(P271)*
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	携帯電話またはデータ通信 USB が接続されていない。	携帯電話またはデータ通信 USB の接続を確認してください。
	インターナビの通信機能が使用できる状態になっていない。	インターナビが使用できる状態 (通信設定、接続、認証) にしてください。 →*「通信機能を使えるようにする」(P166)* →*「通信 / 電話設定」(P436)*
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。

エラーメッセージと対処方法

次のメッセージが表示されたときの、原因、対処方法について説明します。

ナビゲーション機能関連項目

メッセージ	原因	処置
ハードディスクに異常があります 販売店にご相談ください	ハードディスクにデータが読み書きできない。ハードディスクに振動異常が発生した。	しばらくして、通常の状態に復帰しない場合はエンジンをかけ直してください。 それでも復帰しない場合は Honda 販売店にご相談ください。
高温のため動作できません 温度が下がるまでしばらくお待ちください	ハードディスクが高温になったため、保護機能が働いた。	温度が下がるまでお待ちください。
ディスプレイが高温状態です ディスプレイ保護のため画面を OFF します	ディスプレイが高温になったため、保護機能が働いた。	温度が下がるまでお待ちください。
ルート計算できませんでした	自車の近くに計算対象道路がない。	道路の近くに移動してから再度計算してください。
	目的地または経由地の近くに計算対象道路がない。または、計算対象道路が時間規制となっている	目的地または経由地の位置を変えてください。
	目的地または経由地の近くの道路が交通規制となっている。	目的地または経由地の位置を変えてください。
	目的地が遠すぎる。	途中に経由地を追加してください。
	到達可能な経路がない。(フェリー航路のない島への探索など)	目的地の位置を変えてください。

通信機能関連項目

メッセージ	原因	処置
携帯電話の接続を確認してください	携帯電話が接続されていない。	携帯電話の接続を確認してください。
	ハンズフリー未対応の電話機接続時にハンズフリーで発信しようとした。	ハンズフリーで発信可能な電話機を使用してください。
認証できませんでしたHonda 販売店までご連絡ください	認証したユーザー情報に誤りがある。	販売店に連絡してください。
回線が混雑していますのでしばらく待ってから接続してください	接続先が話中などで接続できない。	しばらく経ってから再接続してみてください。
通信設定がされていません 通信設定を行ってから使用してください	通信設定の接続先が誤りがある。	接続先の設定を確認してください。 *→「接続先 (プロバイダ) を選ぶ」(P178)*
○分以上通信が行われなかったので回線を切断します	一定時間通信が行われなかった。	必要に応じて再接続してください。
情報を取得できません	サーバーからデータを受信できなかった。	しばらく経ってから再接続してみてください。
携帯電話またはデータ通信機器の接続を確認してください	携帯電話、または、データ通信機器が接続されていない。もしくは使用できない携帯電話、データ通信機器が接続されている。	携帯電話、もしくはデータ通信機の接続を確認してください。また、接続されている携帯電話、データ通信危機が使用可能であることを確認してください。

DVD ビデオ /CD/MP3/WMA/AAC 関連項目

メッセージ	原因	処置
再生ができません ディスクを確認してください	ほこりなどでディスクの表面が汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再生してください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりのあるディスクは使用しないでください。
	ディスクの表裏を逆にしてセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
再生できないディスクです	再生できないディスクです。	本機で再生できるディスクに交換してください。→*「再生できるディスクの種類」(P211)*
高温のため再生ができません	ナビゲーション本体の内部温度が高い。	内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
著作権保護のため再生できません	著作権保護のエラーが発生した	著作権保護付きの WMA/AAC ファイルは再生できません。WMA/AAC ファイルを記録するときは、著作権保護が付いていないものにしてください。
低温のためハードディスクにデータが書き込めませんでした	ナビゲーション本体の内部温度が低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
ハードディスク容量不足のため録音できません	ハードディスクの残容量が足りないため録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。→*「プレイリスト、トラックを消去する」(P287)*
録音できませんでした	CD が正常に読み込みできなかった。	ディスクを確認してください。

・・・次ページにつづく

「DVD ビデオ /CD/MP3/WMA/AAC 関連項目」のつづき・・・

メッセージ	原因	処置
リージョンコードが違います	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョンコード [2] を含むディスクに交換してください。
メカエラーのため再生ができません ディスクを取り出してください	ディスクドライブが正常動作できなかった。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。正常なディスクを使用しても状況が改善しない場合は、販売店にご相談ください。
DVD ドライブに異常が発生しました	ディスクドライブに異常がある	販売店にご相談ください

USB アダプター（USB メモリー）

メッセージ	原因	処置
エラーが発生しました	USB アダプターに問題が発生した。	以下の操作を試してください。 • USB メモリーをいったん USB アダプターから取り外し接続し直す。 • [PWR] ボタンを押してオーディオの電源を OFF → ON する。 • エンジンスイッチをいったん“0”にし、“I”または“II”にする。 いずれの操作でも復帰しない場合は、販売店にご相談ください。
対応していない USB 機器です	認識できない未対応フォーマットの USB メモリーが接続されている。	USB メモリーの対応フォーマットを確認してください。

HDD サウンドコンテナ関連項目

メッセージ	原因	処置
この CD は録音できません	コピー禁止のディスクから録音しようとしている。	別のディスクに交換してください。
サウンドコンテナの再生・録音機能は利用できません	著作権保護のための録音抑止状態です。	著作権保護のため、法人登録車では HDD サウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。
ハードディスクに異常があります 販売店にご相談ください	ハードディスクに異常がある。	販売店にご相談ください。
サウンドコンテナのデータ転送に失敗しました 販売店にご相談ください	HDD サウンドコンテナの音楽データに異常がある。	販売店にご相談ください。
高温のため再生ができません ディスクを取り出してください	本機の内部温度が高い。	内部温度が正常に戻るまでしばらくお待ちください。
低温のためハードディスクにデータが書き込めませんでした	本機の内部温度が低い。	内部温度が正常に戻るまでしばらくお待ちください。
ハードディスク容量不足のため録音できません	ハードディスクの容量が足りない。	不要なトラックを消去してハードディスクの容量を確保してください。→*「プレイリスト、トラックを消去する」(P287)*
登録できるトラックの上限を超えたため録音できません	サウンドコンテナに登録できるトラック数の上限（5,000）に達した。	不要なトラックを消去してください。→*「プレイリスト、トラックを消去する」(P287)*
登録できるトラックの上限を超えたため録音できません	サウンドコンテナに登録できるアルバム数の上限（999）に達した。	不要なアルバムを消去してください。→*「プレイリスト、トラックを消去する」(P287)*
録音可能なアルバム数または曲数を超えました これ以上録音できません	サウンドコンテナに登録できるアルバム数（999）またはトラック数（5,000）を超えた	販売店にご相談ください。
録音できませんでした	何らかのエラーで録音ができなかった。	しばらくしてから再度実行してください。それでも録音できない場合は、販売店にご相談ください。

サブディスプレイ

メッセージ	原因	処置
CHECK DISC	ディスクの読み込みができない。（露つき、傷、汚れなど）	他のディスクと交換してください。改善されれば、ディスクの不良です。
		ディスクの汚れを拭き取ってください。 →*「ディスクの正しい使いかた」（P210）*
		ディスクの曇りや水滴を拭き取ってください。
HEAT ERROR	メディアの内部の温度上昇による一時停止状態。	温度が下がるまでお待ちください。
*** ERROR※1	ディスクの排出や挿入ができないなど、機械的な不具合。	販売店にご相談ください。
USB ERROR	USB アダプターに異常がある。	販売店にご相談ください。
BAD USB DEVICE PLEASE CHECK OWNERS MANUAL	異常のある USB メモリーを接続した。	接続されている USB メモリーを取り外し、エンジンスイッチを“0”にした後、“I”または“II”にします。 このエラーが出た USB メモリーを再び接続しないでください。
UNPLAYABLE FILE	USB メモリーに記録された音楽ファイルで、著作権保護の WMA ファイルや対応していないフォーマットの音楽ファイルがあった。	著作権保護の WMA ファイルは再生できません。 約 3 秒間エラーを表示し、自動的に次の曲にスキップします。
NO DATA	USB メモリー内に再生できる音楽ファイルがない。	USB メモリーに対応しているフォーマットの音楽ファイルを記録してください。 →*「再生できる音楽ファイルについて」（P213～215）*
UNSUPPORTED VER.	本体または F/W の古い iPod が接続された。	*「対応機器について」（→P219）* を参照し、対応している iPod を接続してください。
CONNECT RETRY	iPod との認証が正しくできなかった。	再度接続しなおしてください。

※ 1：*** にはディスクの種類（CD、MP3、WMA、AAC、DVD）が表示されます（ディスク挿入時）。

ETC

メッセージ	原因	処置
ETC カードを確認できません コード（01）	ETC カードの未挿入。	ETC カードを正しく挿入してください。
ETC カードを確認できません コード（02）	ETC カードの金属端子（IC チップ）部分が汚れている。	ETC カードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	認証中に ETC カードが抜き取られた。	再度 ETC カードを正しく挿入してください。
ETC カードを確認できません コード（03）	ETC カードの金属端子（IC チップ）部分が汚れている。	ETC カードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	ETC カードまたはセットアップカード以外のカードが挿入された。	正しい ETC カードまたはセットアップカードを挿入してください。
	ETC カードの読み取り処理中にカードが抜き取られた。	再度 ETC カードを正しく挿入してください。
	ETC カードが正しく挿入されていない。（裏表が逆、前後が逆）	ETC カードを正しく挿入してください。
ETC 車載器が異常なため ETC を利用できません コード（04）	ETC 車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETC カードを確認できません コード（05） ETC カードをご確認ください	ETC カードの金属端子（IC チップ）部分が汚れている。	ETC カードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	ETC カードまたはセットアップカード以外のカードが挿入された。	正しい ETC カードまたはセットアップカードを挿入してください。
	何らかの異常で、セットアップが正しく行われなかった。	再度セットアップカードを挿入し、セットアップを行ってください。同じエラーが繰り返されるときは、販売店にご相談ください。

・・・次ページにつづく

「ETC」のつづき・・・

メッセージ	原因	処置
ETC カードを確認できません コード（05） ETC カードをご確認ください	認証中に ETC カードが抜き取られた。	再度 ETC カードを正しく挿入してください。
ETC 車載器が異常のため ETC を利用できません コード（06）	アンテナ通過時に何らかの異常があった。	販売店にご相談ください。
	未セットアップ状態で ETC カードを挿入した。	セットアップしてください。
ETC 通信異常のため ETC を利用できません コード（07）	アンテナ通過時に何らかの異常があった。	販売店にご相談ください。
ETC 車載器が異常のため ETC を利用できません コード（09）	ETC 車載器が故障している。	販売店にご相談ください
ETC 車載器が異常のため ETC を利用できません コード（10）	ETC 車載器が故障している。	販売店にご相談ください。

付録

GPS について　480
現在地や軌跡の誤差について　482
ハードディスクナビに関する注意点　485
ナビ専門用語集　486
画面マップ　490
さくいん　511
VICS 情報有料放送サービス契約約款　519
Gracenote サービスについて　521
お問い合わせ、ご相談窓口　524

GPS について

GPS のしくみについて説明します。

現在地がわかるしくみ

Honda インターナビシステムでは、以下の 2 つの方法で位置を決めます。

GPS による測位

GPS 衛星 (人工衛星) から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS(Global Positioning System: グローバル・ポジショニング・システム) です。GPS 衛星は、地球の周り高度 21,000km に打ち上げられています。3 つ以上の GPS 衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。

種類	内容
3 次元測位	4 個以上の GPS 衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度 / 経度 / 高度の 3 次元で測位できます。
2 次元測位	GPS 衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度 / 経度の 2 次元で測位します。高度は測位できないため、3 次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなります。

自立航法による測位

走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーから、それぞれ検出して現在地を割り出しています。

GPS と自立航法を組み合わせた測位の特徴

- GPS による現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS 衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPS と自立航法を組み合わせると、GPS 測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

3D ハイブリッドセンサーの役割

内蔵の 3D ハイブリッドセンサーは、車速パルスとジャイロセンサーによる自立航法に、傾斜センサーで検出した高度差を考慮することにより、高精度な測位が可能です。

高精度 3D ハイブリッドシステム

車速パルスと、3D ハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能です。

3D ハイブリッドセンサーの特長

- **高度差の測位も可能です**

  平面的な測位の場合、立体交差や上下に高速道路と一般道路がある場合では、側道と本道、あるいは高速道路と一般道路のどちらにいるのか判断できないことがありました。3D ハイブリッドセンサーでは坂道の上り下りも測位できるため、地図上では高速道路と一般道路が上下に重なっていても、どこを走っているかを的確に判断することが可能です。

- **ワインディングロードや坂道で生じる距離誤差も修正します。**
  山道や坂道を走行している場合、実際に走った距離と地図上の移動距離には誤差が生じます。このため、自車位置の先走りといった現象が起きることがありました。3D ハイブリッドセンサーは、測位した高度差から誤差を修正して、高精度な測位を可能にしています。

誤差の学習や補正を行います

- 3D ハイブリッドセンサーは、自分自身で計算した現在地と GPS 測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。
- 学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。
- 走行を重ねるにつれて学習が蓄積されるため、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

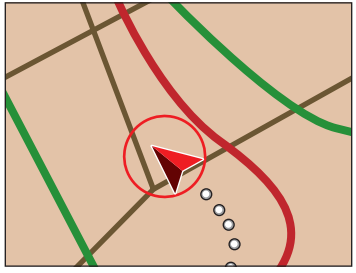
お願い

3D ハイブリッドセンサーは、GPS 衛星の電波が受信できないときは、学習・補正効果を高めるため、学習や補正を行いません。したがって、GPS による測位時間が短い間は、自車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。このようなときは、GPS 受信状態で 1 時間程度走行すると、精度が回復します。

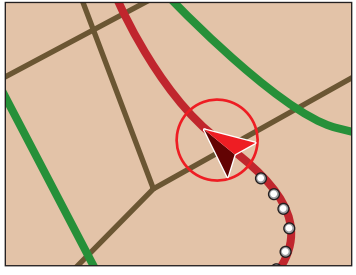
マップマッチング

GPS や自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外 (例えば川の中) になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合



本機では、GPS と自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能です。

道路データについて

市街地図で道路が表示されていても、その道路をルート計算またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

測位とは !?
GPS 衛星からの電波を受信して、自車の位置を測定することです。

車速センサーとは !?
車の走行速度を測定する部品です。

振動ジャイロセンサーとは !?
車の方向を調べる部品です。

傾斜センサーとは !?
自車の上り、下りを調べる部品です。

現在地や軌跡の誤差について

地図上に示される現在地がずれてしまう状況について説明します。

GPS 測位不可による誤差

- 2 つ以下の GPS 衛星の電波しか受信できないときは、GPS による測位ができないことがあります。
- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。

トンネルの中やビルの駐車場

2 層構造の高速道路の下

高層ビルの群集地帯

密集した樹木の間

- GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPS アンテナの上部やまわりに金属製の物などを置くなどしないでください。
  また、ウインドウに金属を含有するウインドウフィルムなどを貼り付けないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。

GPS アンテナは、インストルメントパネルのメーターの後方（内部）にあります。

GPS 衛星自体による誤差

- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 3 次元測位のときは、約 10m ～ 100m の誤差で現在地を測位します。2 次元測位のときは、3 次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。
- GPS 衛星の配置が悪いとき (衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき) には、十分な精度が得られないことがあります。(GPS 測位では、自車の真上と東西南北の地平線ぎりぎりにある複数の衛星を受信したときに、最も良い精度が得られるようになっています。)
- GPS 測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下 (地球の裏側) に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

その他の誤差について

以下のような状況下において、現在地がずれやすくなります。

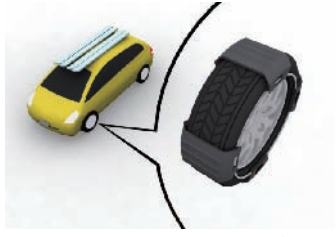
角度の小さなＹ字路を走行

緩やかなカーブを走行した後

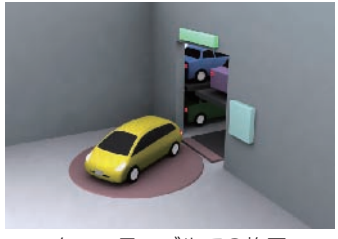
タイヤがスリップしやすい状況

蛇行運転をした

高低差のある道を走行

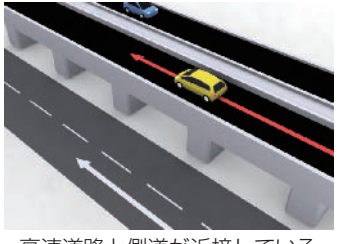


チェーンを装着 / タイヤを交換した



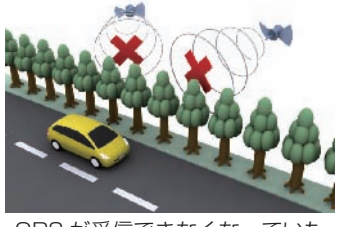
ターンテーブルでの旋回

ヘアピンカーブが続いた



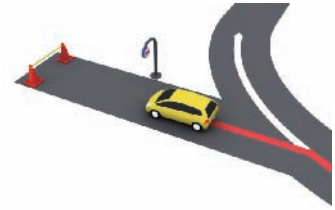
高速道路と側道が近接している

旋回や切り返しが続いた



GPS が受信できなくなっていた

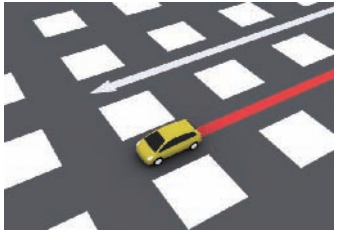
ループ橋などを通った



地図にない道を通った

車両運搬車などで移動した

渋滞などで、低速で発進、停止を繰り返した



碁盤の目状の道路を走った

- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。

その他、おことわり

GPS で現在地を測位しているときは、画面の左下に「GPS」の文字を表示します。

本機が作動してしばらくの間は、電波を受信しやすい場所にいても測位ができません。また、本機が作動したあとすぐに走行すると、GPS が測位するまでの時間が長くなります。
一度電源が切れた場合 (バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたとき) は、GPS が測位するまでの時間が長くなります。

ハードディスクナビに関する注意点

Honda インターナビシステムが搭載されているハードディスクに関する注意点を説明します。

市販のナビゲーションソフトのご利用について

市販されている CD-ROM や DVD のナビゲーションソフトを読み込んで利用することはできません。

低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、ハードディスクへの書き込み動作をともなう地点の登録 (マークやよく行く地点など)、HDD サウンドコンテナへの録音などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

著作権

本機に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

- Portions of the software in this product are copyright 2007 The FreeType Project (www.freetype.org).All rights reserved. Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (http://www.freetype.org/FTL.TXT)

バージョンアップについて

Honda インターナビシステムは、ハードディスクを利用したシステムですが、本機をバージョンアップするには内蔵ハードディスクの全てのデータをDVD-ROMにて書き換えます。バージョンアップを行うときは、Honda 販売店にご連絡ください。

お客様の登録されたデータについて

- 本機の修理において、お客様の登録されたデータおよび HDD サウンドコンテナに録音された音楽データの保証についてはご容赦願います。
- 本機が故障した場合、お客様の登録されたデータおよび HDD サウンドコンテナに録音された音楽データの保証についてはご容赦願います。
- お客様が録音された HDD サウンドコンテナ内の曲を別のハードディスクなどに複製することは、著作権法上できません。
- 車を譲渡するときは、お客様が録音された HDD サウンドコンテナ内の曲は、著作権法上消去してください。
- 車を譲渡するときなどは、お客様が設定した画像、登録地、回避エリア、電話帳、施設マークなどのユーザーデータを消去してください。

その他

- 弊社は、本機に収録されている地図データなどが完全・正確であることを保証するものではありません。
- 弊社は、Honda インターナビシステムがお客様の特定目的を満足させることを保証するものではありません。
- 本機の周辺に磁気を近づけないでください。故障の原因になります。
- 本機のハードディスクを取り外さないでください。故障の原因になります。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 著作権保護のため、法人登録車では HDD サウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。

ナビ専門用語集

Honda インターナビに関する専門用語を集めました。

インターナビ・プレミアムクラブ *(→ P164)*
Honda 純正インターナビ対応ナビゲーションシステム（Honda インターナビシステム）オーナーの方にご加入いただく会員制度です。Honda 独自のテレマティクスサービス、無償・有償の地図更新サービス (スマート地図更新サービス)、パソコン、携帯電話のパーソナル・ホームページなどさまざまなドライブサポートをご提供します。

オートリルート *(→ P161)*
ルート案内中に、曲がるべき交差点で曲がれなくておすすめのルートから離れてしまったとき、自動的に他のルートを探して元のルートに戻す機能です。

音声コマンド *(→ P332)*
Honda インターナビシステムを操作することができる言葉です。音声コマンドを認識すると、話したコマンドに応じて、Honda インターナビシステムの操作を実行します。

カスタマイズメニュー *(→ P61)*
よく使う機能を 1 画面に集めておくことができるメニューのことです。標準操作モードのみの機能です。

傾斜センサー *(→ P24)*
自車の上り、下りを調べる部品です。

結露 *(→ P210)*
真冬に車内を暖かくしていると、窓ガラスが曇ってきます。これは、車内の空気中にある水蒸気が外気で急速に冷やされて水滴になるためです。このような状態を結露と言います。寒いとき、暖房を始めたばかりの車内などでは、ディスクが結露しやすくなります。

自車 *(→ P24)*
この本機を装着しているお客様の車のことです。

車速センサー *(→ P24)*
車の走行速度を測定する部品です。

振動ジャイロセンサー *(→ P24)*
車の方向を調べる部品です。

走行軌跡 *(→ P50)*
地図には、自車が走ってきた道に印 (点線) がつきます。この印 (点線) を走行軌跡と言います。

測位 *(→ P24)*
GPS 衛星からの電波を受信して、自車の位置を測定することです。

ダイナミックレンジコントロール *(→ P448)*
DVD ビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御 (ダイナミックレンジコントロール) し、小さな音や大きな音でもききやすくする機能です。

駐車場オートガイド *(→ P123)*
推奨する駐車場を自動的に案内する機能です。*「駐車場セレクトを設定する」(→ P124)* で条件を設定していないときは現在地から駐車場までの距離、駐車場から目的地までの距離などを考慮した駐車場を推奨します。

駐車場セレクト *(→ P123)*
インターナビ VICS の駐車場情報をあらかじめ設定した条件で、表示することができる機能のことです。表示する優先順位を決めたり表示件数を絞り込むことができます。

二ヶ国語放送 *(→ P253)*
ひとつのチャンネルで同時に「主音声」と「副音声」に分けた 2 種類の言語を放送しているものを言います。
例）主音声＝日本語、副音声＝英語

パーソナル・ホームページ *(→P107)*
インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けのサービスで、自宅のパソコンからルート計算したり車のメンテナンス状況を管理することができます。

非表示設定データ *(→P91)*
お客様自身で非表示登録して、個別に表示させないようにした施設マーク施設のことです。実際にはなくなった施設なのに、地図データに残っているとき、非表示登録しておくと便利です。
最大 200 件まで登録できます。

ビーコン
道路脇に設置された、VICS 情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報をここから送信します。
(光 / 電波ビーコンは接続できません。)

物理チャンネル番号 *(→P250)*
リモコン番号とは異なり、実際に送信されているチャンネル番号 (13ch ～ 62ch まで) のことを言います。

プロバイダ *(→P178)*
インターネットをするための接続業者のことです。インターネットをするためには必ずプロバイダと契約が必要になります。

マップコード *(→P127)*
特定の場所の位置データをコード化し、1 ～ 12 桁の番号と「*」(アスタリスク) でその場所を特定することができます。従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。
MAPCODE®
※マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

マップマッチング *(→P24、P481)*
測位システムが測位する位置は、実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークを表示するなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

マルチサービス *(→P254)*
1 つのチャンネルで複数の番組を放送できるサービスです。

メディア *(→P221)*
本書では、CD、ラジオ、テレビ、HDD サウンドコンテナなどの視聴覚情報のことを総称して「メディア」と表現し説明しています。

ユーザー施設マーク *(→P93)*
お客様自身で登録したランドマーク施設のことです。地図データにはないランドマーク施設を追加するときに便利です。
最大 200 件まで登録できます。

施設マーク *(→P86)*
お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

リモコン番号 *(→P250)*
放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。

リンク旅行時間 *(→P394)*
交差点から交差点までなどで区切られた区間（リンク）の通過所要時間のことを言います。Honda インターナビシステムは主にこの情報を積算することでルート計算を行います。
(FM-VICS データには一般道路のリンク旅行時間は含まれていません。)

ワンセグ (→P248)

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルテレビ放送のことです。
別名「1seg」「1 セグメント放送」「1 セグ放送」で、地上デジタル放送の 1 つのチャンネルを 13 個のセグメントに分割し、そのうち 1 つのセグメントを使用していることから、「1 セグ＝ワンセグ」と呼ばれています。
ワンセグは放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

ハイビジョン放送 (HDTV) の地上デジタルテレビ放送は 12 セグメント使用されています。

ワンプッシュメニュー (→P61)

地図の向きを変えたり、前回検索した地点にカーソルを合わせる操作をいち早くできるメニューです。

Bluetooth(ブルートゥース)(→P165)

パソコン、ミュージックプレーヤー、デジタルカメラなどの電子機器どうしをワイヤレスで通信できる最先端のテクノロジー規格です。

Honda インターナビシステムでは、Bluetooth 対応の携帯電話をケーブルを使わずに接続し、通信機能を使用することができます。

※ Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG,Inc. の所有であり、本田技研工業株式会社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

EPG(→P250)

「Electronic Program Guide」の略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

GPS(ジー・ピー・エス)(→P24、P480)

GPS は、「Global Positioning System (グローバル・ポジショニング・システム)」の略称です。GPS は、米国が開発運用しているシステムで、高度約 21,000km の宇宙空間で周回している 3 つ以上の GPS 衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

MP3(エム・ピー・スリー)(→P213)

「MPEG-1 Audio Layer3」の略称です。MPEG とは「Moving Pictures Experts Group」の略でビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。MP3 は MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の一つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で少ないデータ容量のファイルを作ることができます。音楽 CD の内容を約 1/10 のデータ容量に圧縮することができるため、約 10 枚分の音楽 CD を 1 枚の CD-R/RW へ記録することが可能になります。

VICS(ビックス)(→P378)

VICS(Vehicle Information and Communication System: 道路交通情報通信システム) とは、1996 年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報を運転者に伝えるための通信システムです。VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。

※ VICS は、(財) 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS リンク (→P399)

VICS 情報が提供 (予定を含む) されている道路区間を、交差点やインターチェンジなどで分割し、番号を付けた区間のことです。
インターナビ VICS も同じ番号体系を利用し、フローティングカーシステムによって VICS データの未提供リンクを補っています。

WMA(ダブリュー・エム・エー)(→P214)

「Windows Media Audio」の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。
WMA は、著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、著作権で保護された WMA ファイルを再生するには、ライセンスキーが発行されたプレイヤーに限定されています。本機では著作権で保護された WMA ファイルについては再生することができません。

※ Microsoft、Windows Media、は米国 MicrosoftCorporation の米国およびその他の国における登録商標です。

3 桁チャンネル番号 (→P250)

マルチ編成でそれぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号のことです。

例) リモコン番号が“5”のとき
ワンセグでは 600 番台から始まり、
1 つ目の番組は「651」、
2 つ目の番組は「652」、
3 つ目の番組は「653」となります。

リモコン番号が“10”のとき
「701」、「702」、「703」となります。

3D ハイブリッドセンサー (→P24)

車の方向 (振動ジャイロセンサー)、車の高度差 (傾斜センサー)、車の走行速度 (車速センサー) を測定して、自車位置を決める部品です。

3G(第 3 世代携帯電話)

第 3 世代携帯電話とは、「IMT-2000」規格に準拠した ITU(国際電機通信連合) によって定められたデジタル携帯電話の方式の総称です。第 2 世代携帯電話方式 (PDC など) と比べて、高速なデータ通信が行えます。
音質の良い通話や映像の配信など、さまざまな通信サービスを行うことができます。

画面マップ

各ボタン、各メニューを選んだときに使えるおもな機能のメニューについて説明します。

簡単操作モード

ナビメニュー

音声音量を変える ⇒

P33

音声による案内の音量を調節できます。また音声を消すこともできます。

設定を変える ⇒

地図表示設定 ⇒

P424

時計を表示するかどうかを設定できます。

通信／電話設定 ⇒

P307

電話の接続や通信の接続の設定を変更できます。

音声操作設定 ⇒

P349

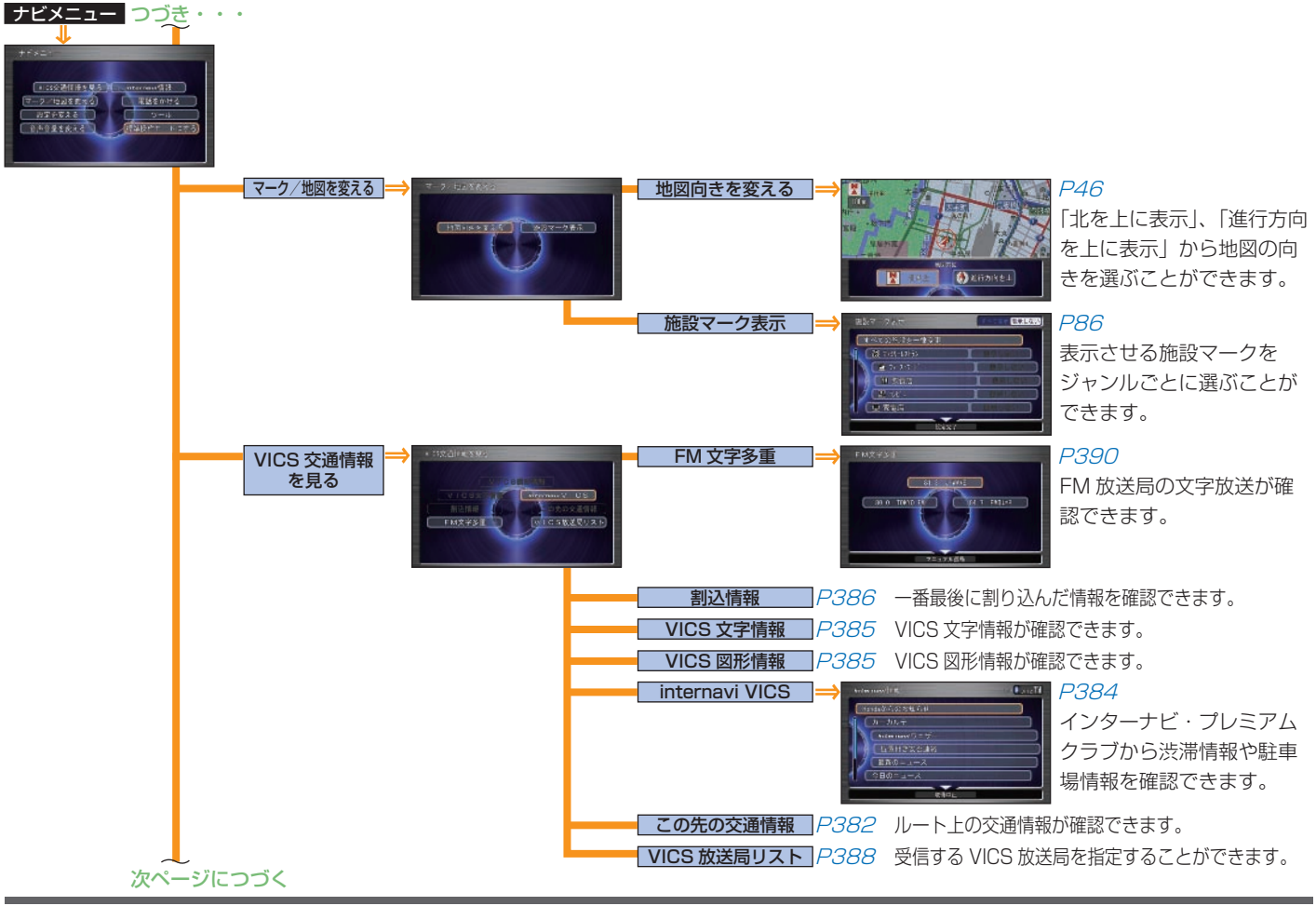
音声操作に関する設定を変更できます。

システム設定 ⇒

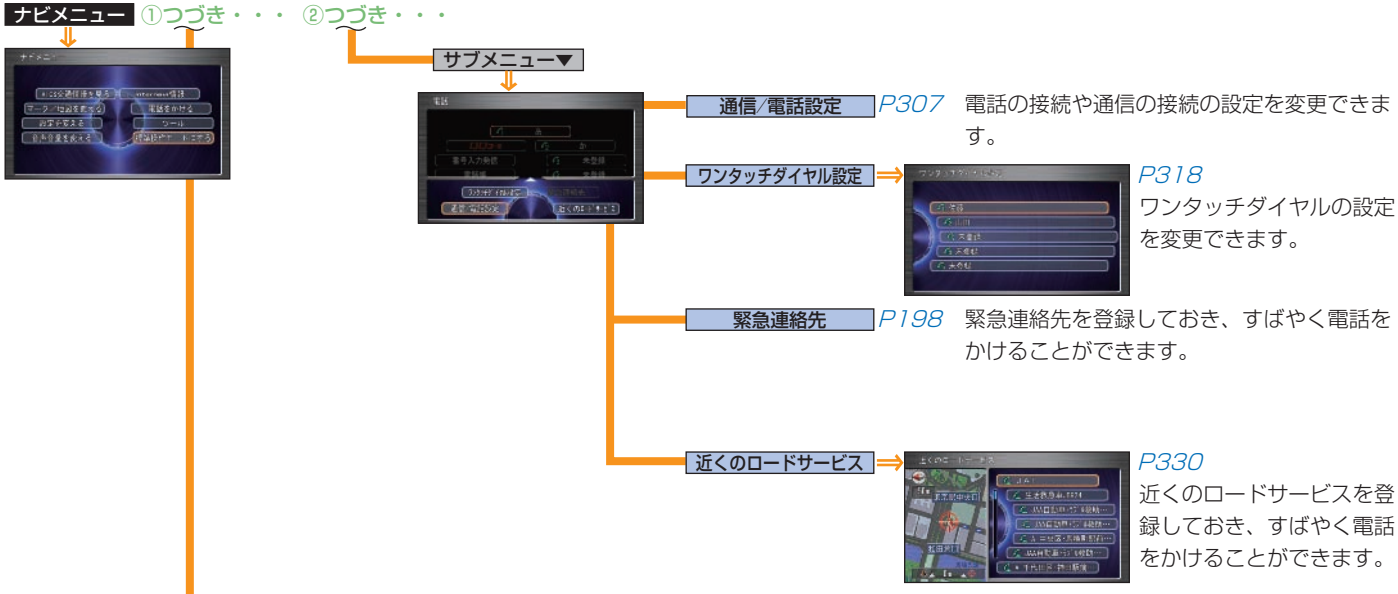
P438

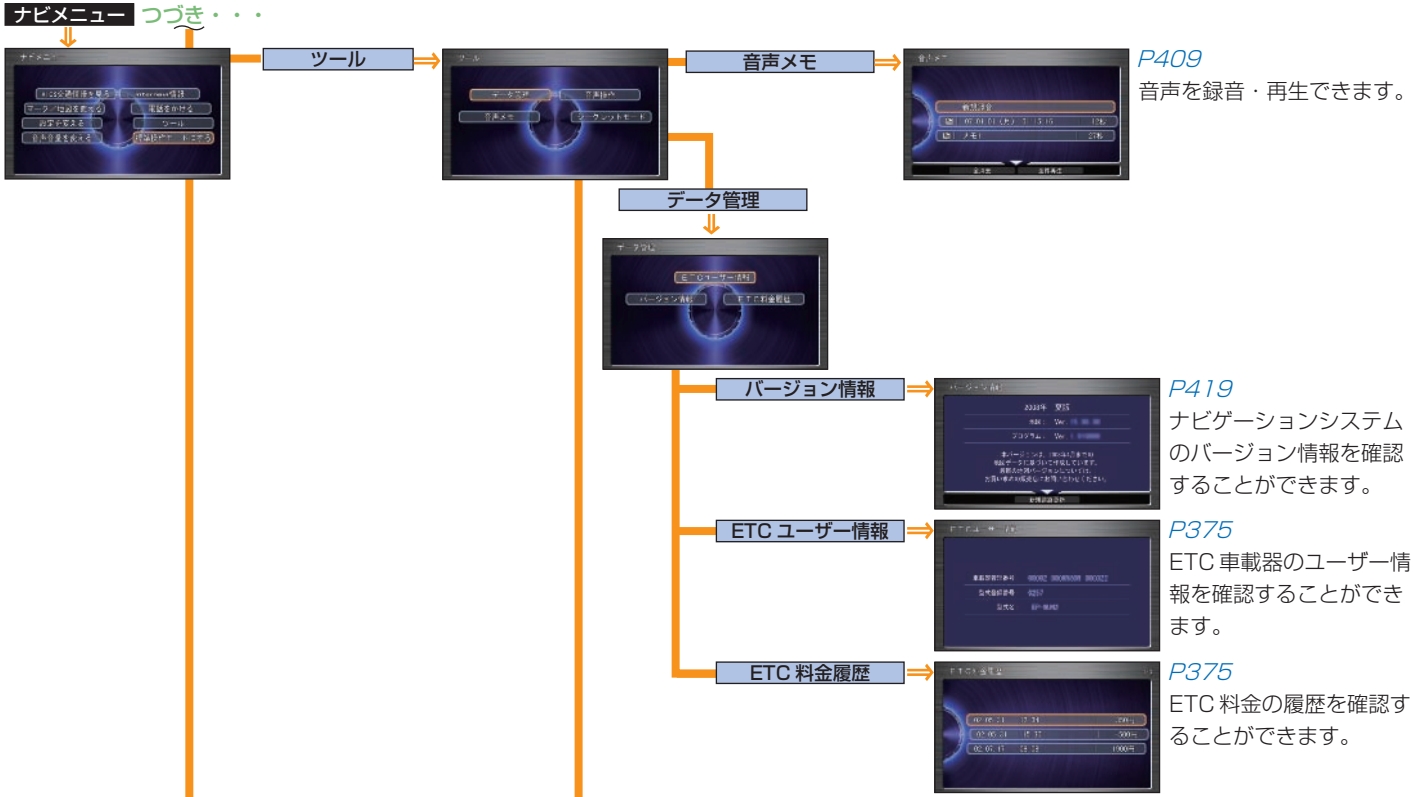
ナビゲーションシステム全般に関する設定を変更できます。

次ページにつづく


ナビメニュー
つづき・・・
マーク／地図を変える
地図向きを変える
P46
「北を上に表示」、「進行方向を上に表示」から地図の向きを選ぶことができます。
施設マーク表示
P86
表示させる施設マークをジャンルごとに選ぶことができます。
VICS 交通情報を見る
FM 文字多重
P390
FM 放送局の文字放送が確認できます。
割込情報
P386
一番最後に割り込んだ情報を確認できます。
VICS 文字情報
P385
VICS 文字情報が確認できます。
VICS 図形情報
P385
VICS 図形情報が確認できます。
internavi VICS
P384
インターナビ・プレミアムクラブから渋滞情報や駐車場情報を確認できます。
この先の交通情報
P382
ルート上の交通情報が確認できます。
VICS 放送局リスト
P388
受信する VICS 放送局を指定することができます。
次ページにつづく

ナビメニュー
つづき・・・
internavi 情報
P186
さまざまなニュースやお知らせを確認することができます。
電話をかける
発信着信履歴
P318
電話の発信履歴、着信履歴を表示することができます。
電話帳
P313
電話帳を確認・編集し、登録先に電話をかけることができます。
番号入力発信
P320
電話番号を入力して電話をかけることができます。
QQ コール
P329
登録（有料サービス）すると、緊急用の電話番号と現在地のマップコードが表示されるようになります。
ワンタッチダイヤル 1～5
P318
よく使う電話番号を登録し、すばやく電話をかけることができます。
次ページ①につづく
次ページ②につづく


ナビメニュー
①つづき・・・
②つづき・・・
サブメニュー▼
通信/電話設定
P307
電話の接続や通信の接続の設定を変更できます。
ワンタッチダイヤル設定
P318
ワンタッチダイヤルの設定を変更できます。
緊急連絡先
P198
緊急連絡先を登録しておき、すばやく電話をかけることができます。
近くのロードサービス
P330
近くのロードサービスを登録しておき、すばやく電話をかけることができます。
次ページにつづく



P409
音声を録音・再生できます。

P419
ナビゲーションシステムのバージョン情報を確認することができます。

P375
ETC 車載器のユーザー情報を確認することができます。

P375
ETC 料金の履歴を確認することができます。

ナビメニュー ③つづき・・・

④つづき・・・

音声操作

声を覚えさせる

P338

ユーザーごとの声を学習させることができます。

音声操作ガイド

P347

音声操作の方法を説明した簡単なガイドを確認することができます。

発話例

P348

拡張モード時に音声操作に必要な発話コマンドの例を確認することができます。

設定

P349

音声操作に関する設定を変更することができます。

シークレットモード

P412

電話帳やマークの表示をパスワードで規制することができます。

標準操作モードにする P40

標準操作モードに切り換えることができます。

目的地／ルート

目的地を消去する P159

目的地を消去します。

施設のジャンルで探す ⇒

P116

ジャンルごとに施設を探すことができます。

自宅に帰る（自宅を登録する） P134

自宅へのルートを設定します（自宅を登録します）。

名称／番号で探す ⇒

施設の名前で探す ⇒

P114

施設の名称を入力して場所を探します。

電話番号で探す ⇒

P115

電話番号から場所を探します。

住所で探す P121

住所から場所を探します。

internavi ドライブ情報 P136

次ページにつづく

目的地／ルート　つづき・・・

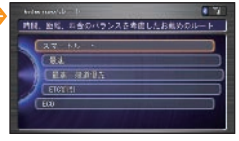
ルートを変える

P148
住所から場所を探します。

誤導一時中断（誘導再開）
P159
ルート案内を一時中止、再案内できます。

ルート再計算
P153
ルートを計算しなおします。

internavi ルート



P158
Internavi を利用してルートを設定します。

ルート全体表示

P148
すべてのルートを確認できる地図を表示できます。

経由地◯スキップ
P156
経由地をスキップすることができます。

現在地で（実行）（ワンプッシュメニュー）

地図向きを変える
P46
「北を上に表示」、「進行方向を上に表示」に地図の向きを切り換えることができます。

internavi ダイレクト

P188
internavi ダイレクトメニューを表示できます。

標準操作モード

ナビメニュー

音声音量設定

P33

音声による案内の音量を調節できます。
また、音声を消すこともできます。

設定

地図表示設定

P424

地図表示や地図色、地図に表示するアイコンなどを設定できます。

案内設定

P429

ルート案内に関する設定を変更できます。

インターナビ／VICS 設定

P433

インターナビや VICS に関する設定を変更できます。

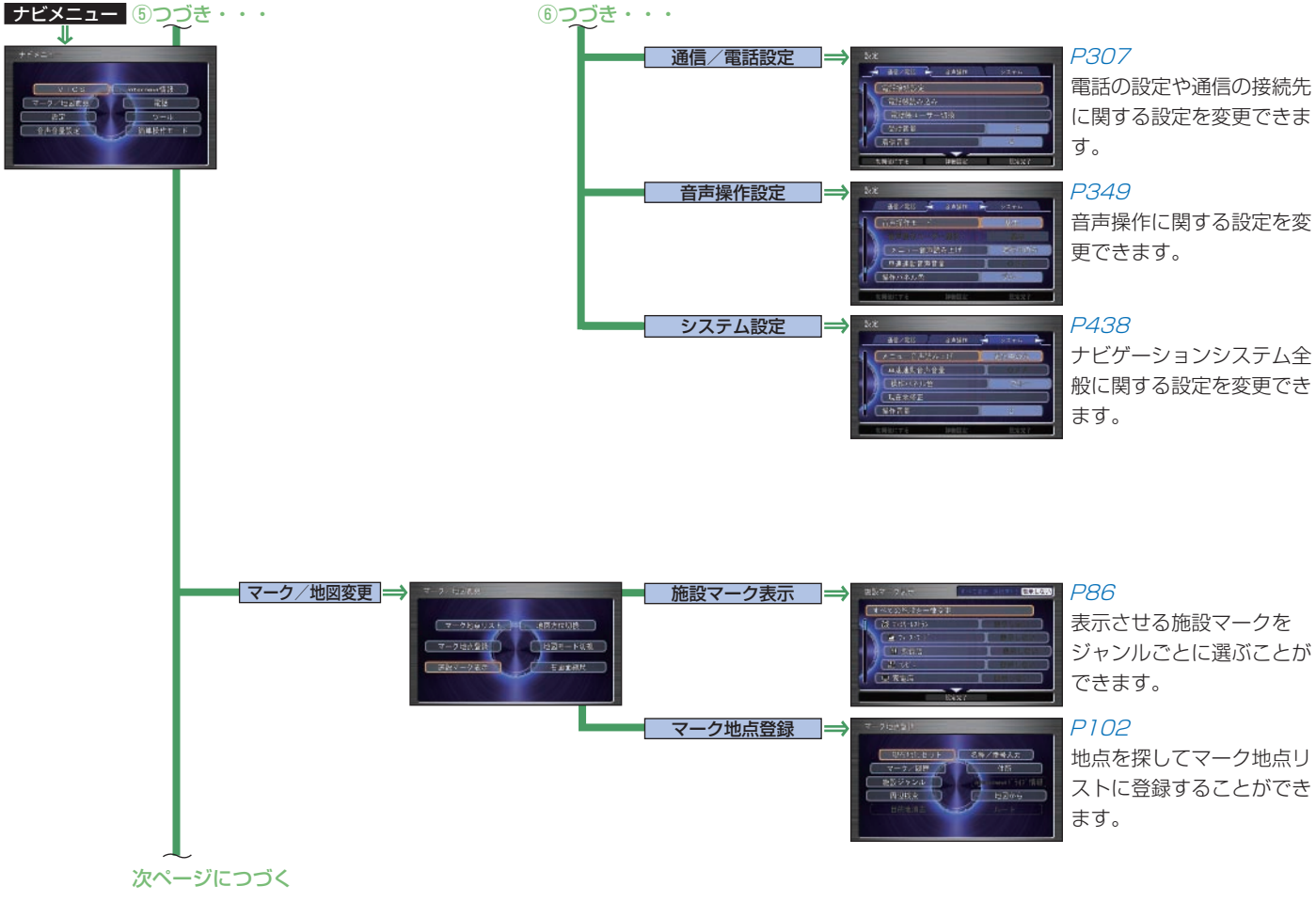
車両警告設定

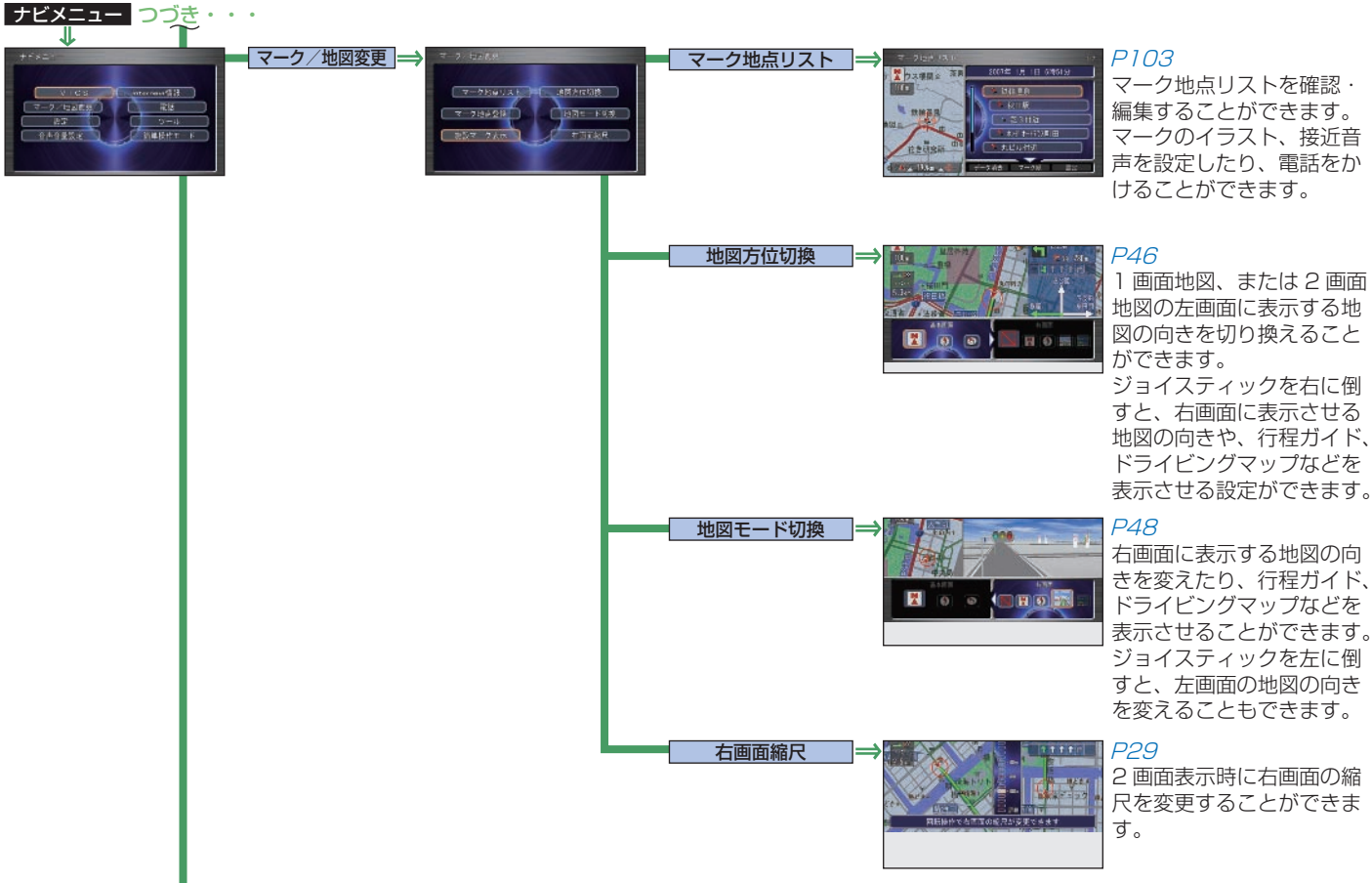
P435

車両の警告に関する設定を変更できます。

次ページ⑤につづく

次ページ⑥につづく


ナビメニュー
⑤つづき・・・
⑥つづき・・・
通信／電話設定
P307
電話の設定や通信の接続先に関する設定を変更できます。
音声操作設定
P349
音声操作に関する設定を変更できます。
システム設定
P438
ナビゲーションシステム全般に関する設定を変更できます。
マーク／地図変更
施設マーク表示
P86
表示させる施設マークをジャンルごとに選ぶことができます。
マーク地点登録
P102
地点を探してマーク地点リストに登録することができます。
次ページにつづく



P103
マーク地点リストを確認・編集することができます。マークのイラスト、接近音声を設定したり、電話をかけることができます。

P46
1 画面地図、または 2 画面地図の左画面に表示する地図の向きを切り換えることができます。
ジョイスティックを右に倒すと、右画面に表示させる地図の向きや、行程ガイド、ドライビングマップなどを表示させる設定ができます。

P48
右画面に表示する地図の向きを変えたり、行程ガイド、ドライビングマップなどを表示させることができます。
ジョイスティックを左に倒すと、左画面の地図の向きを変えることもできます。

P29
2 画面表示時に右画面の縮尺を変更することができます。

ナビメニュー つづき・・・

VICS ⇒

FM 文字多重 ⇒

P390
FM 放送局の文字放送が確認できます。

割込情報 P386 最後に割り込んだ情報を確認することができます。

VICS 文字情報 P385 VICS 文字情報を確認することができます。

VICS 図形情報 P385 VICS 図形情報を確認することができます。

internavi VICS ⇒

P383
インターナビ・プレミアムクラブから渋滞情報や駐車場を確認することができます。

この先の交通情報 P382 ルート上の交通情報を確認することができます。

駐車場情報 P126 VICS やインターナビ情報センターから受信した駐車場情報を見ることができます。

VICS 放送局リスト P388 受信する VICS 放送局を指定することができます。

internavi 情報 ⇒

P186
さまざまなニュースやお知らせを確認することができます。

次ページにつづく

ナビメニュー つづき・・・

電話

発信着信履歴

P318

電話の発信履歴、着信履歴を表示することができます。

電話帳

P313

電話帳を確認・編集し、登録先に電話をかけることができます。

番号入力発信

P320

電話番号を入力して電話をかけることができます。

QQ コール

P329

登録（有料サービス）すると、緊急用の電話番号と現在地のマップコードが表示されるようになります。

ワンタッチダイヤル 1～5

P318

よく使う電話番号を登録し、すばやく電話をかけることができます。

次ページ⑦につづく

次ページ⑧につづく

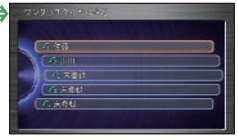
ナビメニュー ⑦つづき・・・ ⑧つづき・・・

サブメニュー▼

通信/電話設定 P307

電話の設定や通信の接続先を設定することができます。

ワンタッチダイヤル設定 ⇒



P318

ワンタッチダイヤルの設定を変更できます。

緊急連絡先 ⇒

P198

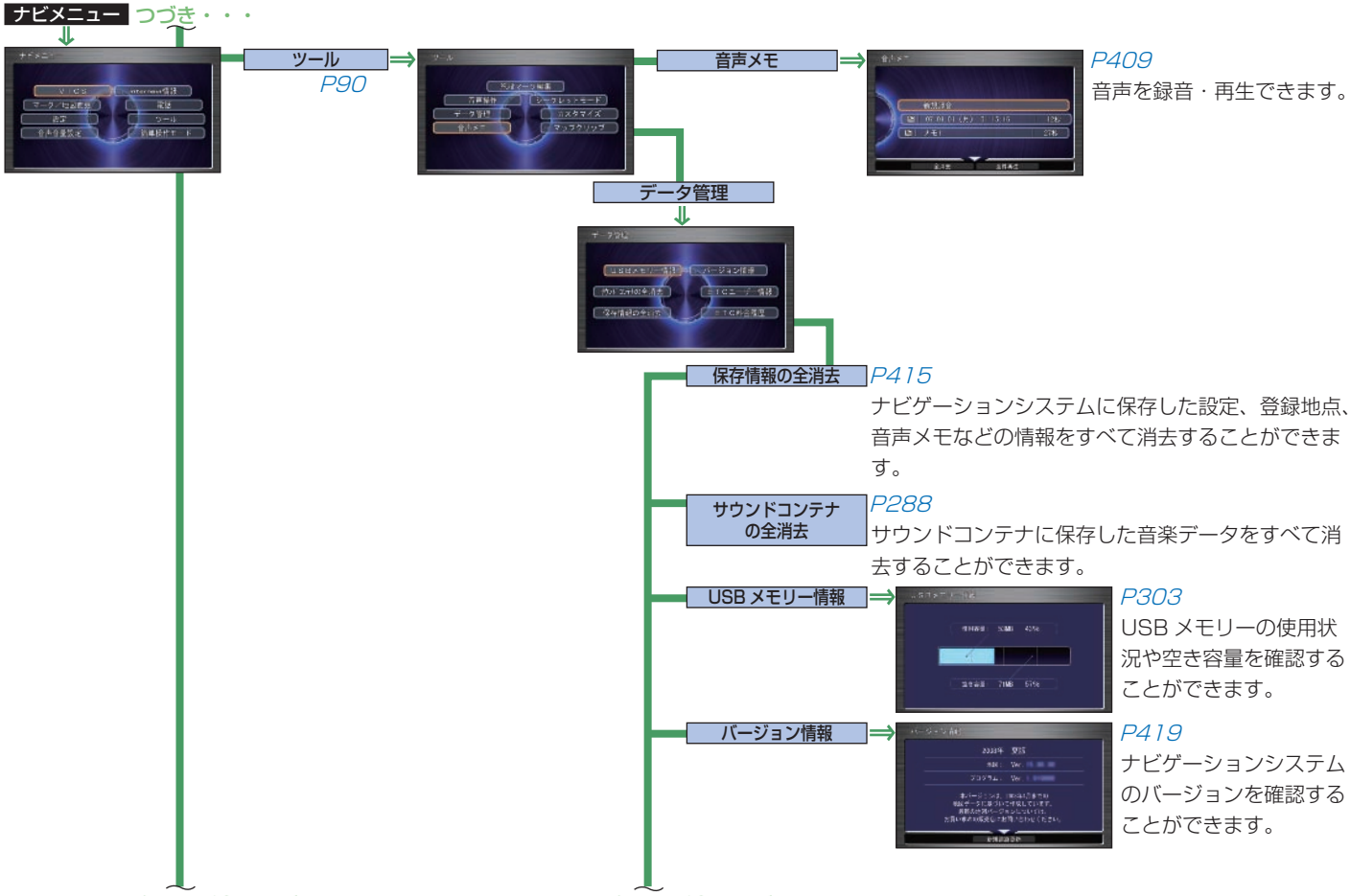
緊急連絡先に電話をかけることができます。

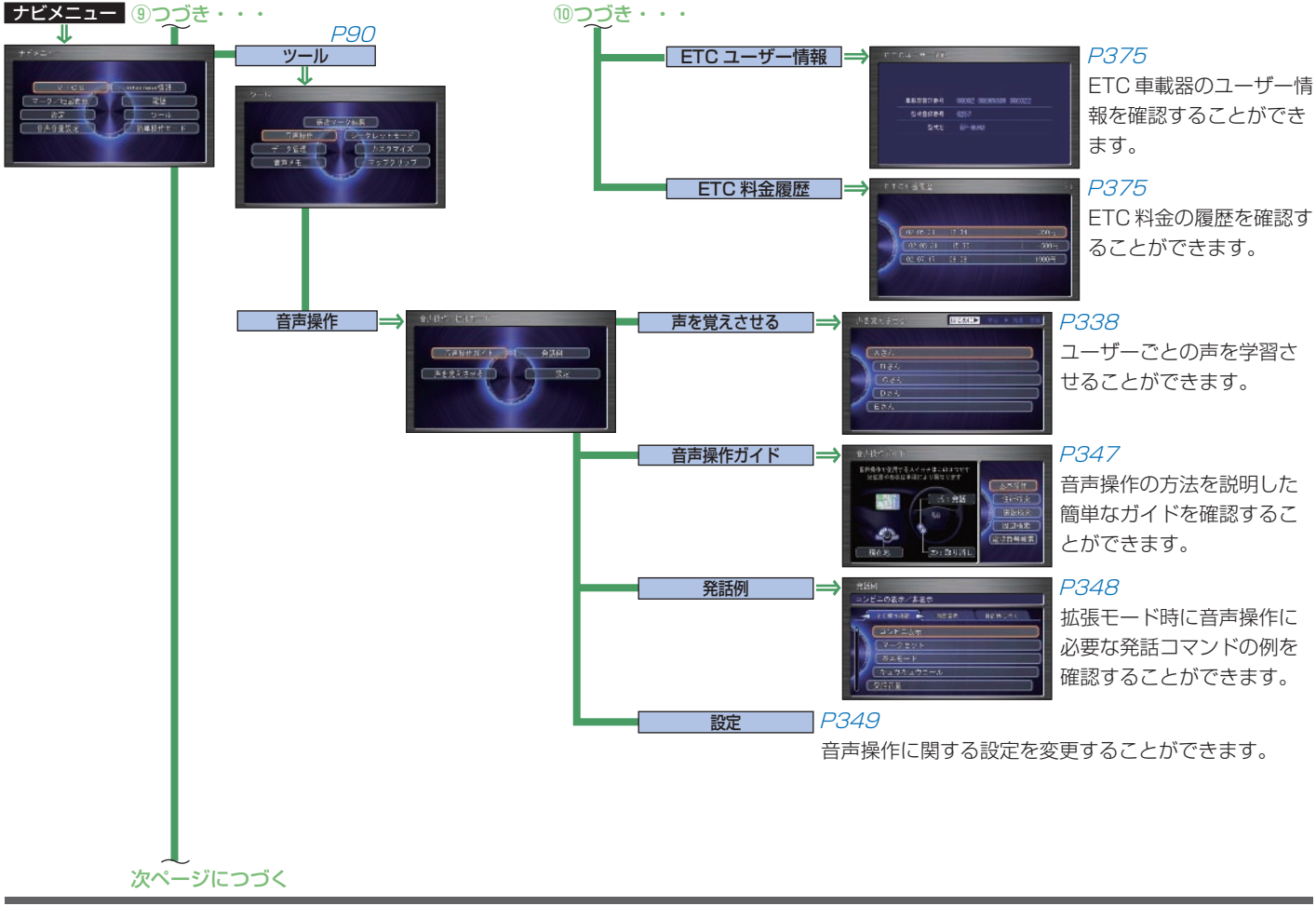
近くのロードサービス ⇒

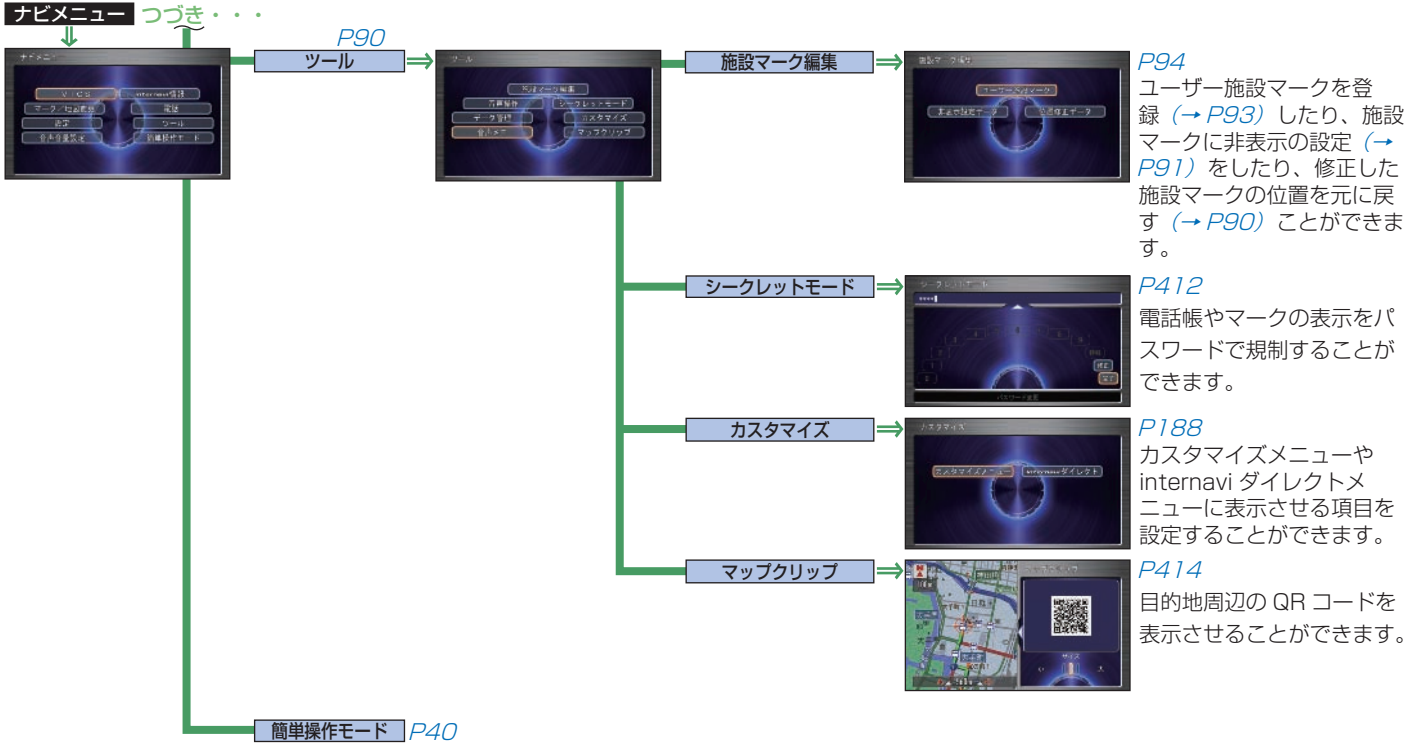
P330

近くのロードサービスに電話をかけることができます。

次ページにつづく


ナビメニュー
つづき・・・
ツール
P90
音声メモ
P409
音声を録音・再生できます。
データ管理
保存情報の全消去
P415
ナビゲーションシステムに保存した設定、登録地点、音声メモなどの情報をすべて消去することができます。
サウンドコンテナの全消去
P288
サウンドコンテナに保存した音楽データをすべて消去することができます。
USB メモリー情報
P303
USB メモリーの使用状況や空き容量を確認することができます。
バージョン情報
P419
ナビゲーションシステムのバージョンを確認することができます。
次ページ⑨につづく
次ページ⑩につづく


ナビメニュー
⑨つづき・・・
P90
ツール
音声操作
次ページにつづく
⑩つづき・・・
ETC ユーザー情報
P375
ETC 車載器のユーザー情報を確認することができます。
ETC 料金履歴
P375
ETC 料金の履歴を確認することができます。
声を覚えさせる
P338
ユーザーごとの声を学習させることができます。
音声操作ガイド
P347
音声操作の方法を説明した簡単なガイドを確認することができます。
発話例
P348
拡張モード時に音声操作に必要な発話コマンドの例を確認することができます。
設定
P349
音声操作に関する設定を変更することができます。



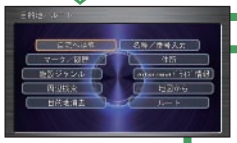
P94
ユーザー施設マークを登録（→P93）したり、施設マークに非表示の設定（→P91）をしたり、修正した施設マークの位置を元に戻す（→P90）ことができます。

P412
電話帳やマークの表示をパスワードで規制することができます。

P188
カスタマイズメニューやinternavi ダイレクトメニューに表示させる項目を設定することができます。

P414
目的地周辺の QR コードを表示させることができます。

目的地／ルート



- 目的地消去 P159 目的地を消去することができます。
- 周辺検索

  - 現在地周辺 P118 現在地周辺の施設を探すことができます。
  - 経由地周辺 P118 経由地周辺の施設を探すことができます。
  - ルート周辺 P118 ルート沿いの施設を探すことができます。
  - 目的地周辺 P118 目的地周辺の施設を探すことができます。
  - よく使う周辺検索１～４ P119 周辺検索の条件を選んで施設を探すことができます。
  - 編集▼ P119 よく使う周辺検索として、周辺検索の条件を編集することができます。
- 施設ジャンル

P116
施設のジャンルから目的地を探すことができます。
- マーク／履歴

  - よく行く地点

P134
よく行く地点を登録します。登録したよく行く地点を目的地・経由地に設定することができます。(→P135)
  - 目的地履歴

P133
過去に行った場所を目的地・経由地に設定することができます。
  - マーク地点リスト

P135
登録したマークの場所を目的地・経由地に設定することができます。
- 自宅へ誘導（自宅登録） P134 自宅へのルートを設定します。（自宅を登録します）

次ページにつづく

P115
電話番号から場所を探します。

P127
マップコードを入力して場所を指定します。

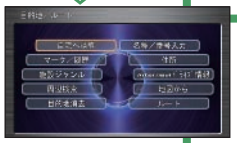
P114
施設名を入力して施設を探すことができます。

P127
郵便番号を入力して場所を指定します。

P116
ジャンルを入力して施設を探すことができます。

P121
住所から場所を探すことができます。

目的地／ルート つづき・・・



internavi ドライブ情報

P136
インターナビ情報センターの情報を利用して目的地を設定することができます。

地図から

先ほどの地図 P133 前に行った場所の地図を表示して、目的地・経由地を設定することができます。

現在地から P132 現在地周辺の地図を表示して、目的地・経由地を設定することができます。

ルート

誘導一時中断（誘導再開） P159 ルート案内を一時中断（再開）することができます。

迂回距離指定

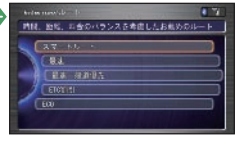
P151
通りたくないエリアの距離を設定して、ルートを再計算することができます。

6 ルート表示

P152
計算条件の違う別のルート候補からお好みのルートに変更することができます。

ルート再計算 P153 ルートを計算しなおします。

internavi ルート取得



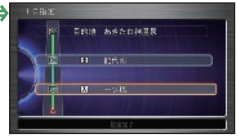
P158
ルートの目的を選んで、インターナビ・プレミアムクラブからルートを取得して、設定することができます。

次ページ⑪につづく

次ページ⑫につづく

目的地／ルート ⑪つづき・・・

⑫つづき・・・

- ルート条件変更 ⇒ P153
  設定されているルートを、計算条件を変えて再計算することができます。
- IC 指定 ⇒  P144
  高速道路の入口と出口のインターチェンジを指定することができます。
- ルート全体表示 ⇒ P148
  すべてのルートが確認できる地図を表示することができます。
- 経由地リスト ⇒ P148
  設定されているルートの経由地を確認・編集することができます。
- 経由地○スキップ P156 経由地をスキップすることができます。

現在地で（実行）（カスタマイズメニュー） P61

- internavi ダイレクト ⇒ P188
- カスタマイズメニュー編集▼ P440
  カスタマイズメニューにお好みの項目を設定することができます。

さくいん

ア行

ア

新しい道路のデータを取得する...207
案内音量を調節する...33
案内開始...140
案内設定...429

イ

一般道情報表示...424
一般道路の車速...431
インターチェンジを指定する...144,157
　解除する...144,157
インターナビ・ウェザー...200
　雨雪の動き...202
　確認する...203
　気象警戒エリアの表示...200
　警報・注意報...202
　降雨・降雪...200
　週間天気予報...202
　取得した気象情報を表示する...433
　台風情報...202
　地震...201
　津波...200
　天気予報表示...201
　履歴を確認する...205
インターナビドライブ情報...136
インターナビ・プレミアムクラブ...164
インターナビ・フローティングカーシステム...395
　インターナビ・フローティングカー情報...395
　地図の見かた...54
インターナビ VICS...381,394,395
　音声で情報を確認する...387
　渋滞予測情報...394
　フローティングカーシステム...395
　フローティングカーデータ...395

ウ

迂回計算...151
右左折専用レーン案内...430

エ

映像の色を調節する...447
エラーメッセージ...470
選ぶ
　携帯電話...173
　接続先...173
　接続方法...177
　ルート計算条件...142,152,153,430

オ

オーディオの設定
　音質を調節する...446
オートリルート...73,161
お問い合わせ、ご相談窓口...524
音楽 CD
　きく...231
　サブメニュー...232
　スキャン再生...233
　操作画面...231
　ランダム再生...233
　リピート再生...233
音声操作...331
　音声コマンド...351,353
　音声操作ガイド...347
　音声操作モード...340
　声を覚えさせる...338,437
　操作の流れ...333
　発話のポイント...336
音声による読み上げ機能...190
　最新のニュース...190
音声メモ...409

カ行

カ

カーカルテ...191
　確認する...192
　かんたん交換記録...194
　緊急時の連絡先を登録する...198
　交換サイクルを変更する...195
　交換時期のお知らせ設定...196
　パーソナル・ホームページと同期する...191
　パーツを消去する...195
　パーツを追加する...193
　マイカースケジュールを設定する...199
　マニュアル交換記録...194
カーカルテ起動時通知...432
カーブ警告...435
回避エリア
　考慮する / しない...431
　消去する...111
　情報を確認する...111
　設定する...432
　登録する...109
　編集する...110
確認する
　愛車プロフィール...196
　新しい道路のデータ...206
　インターナビ・ウェザー...203

付録 V

カーカルテ.....192
気象情報.....200
最新のニュース.....186
取得した天気情報.....205
スケジュール.....407
地図のバージョン.....419
HDD サウンドコンテナの容量.....294
Honda からのお知らせ.....184
VICS 情報.....382
VICS 図形情報.....385
VICS 駐車場.....126
VICS 文字情報.....385
カスタマイズメニュー.....61,440
画面／消ボタン.....23
画面の明るさを変える.....83
画面の表示を消す.....82
画面の見かた
音楽 CD のサブメニュー画面.....232
音楽 CD の操作画面.....231
カスタマイズメニュー.....61
画面 / 消ボタンを押したとき.....59
簡単操作モードに切り換える.....40
気象情報.....200
交通情報の操作画面.....230
地図.....52
地図をスクロールしたとき.....60
テレビのサブメニュー画面.....250
テレビの操作画面.....249
ナビゲーション画面.....50
ナビメニューボタンを押したとき.....58
標準操作モードに切り換える.....40
目的地 / ルートボタンを押したとき.....56
ラジオのサブメニュー画面.....226
ラジオの操作画面.....225
DVD ビデオのサブメニュー.....258,261
DVD ビデオの操作画面.....257,259,260,262
HDD サウンドコンテナのオーディオメニュー.....273
HDD サウンドコンテナの操作画面.....272
HDD サウンドコンテナの編集／検索メニュー.....274
iPod のサブメニュー画面.....244
iPod の操作画面.....243
MP3/WMA/AAC ディスクのサブメニュー画面.....235
MP3/WMA/AAC ディスクの操作画面.....234
USB メモリーのサブメニュー画面.....239
USB メモリーの操作画面.....238

キ

機器名称を変更する.....176
きく
音楽 CD.....231
交通情報.....230
ラジオ.....225
HDD サウンドコンテナ.....272
気象警戒エリア表示.....425
規制表示.....426

ク

区間表示.....150
グローバル・ポジショニング・システム.....24,480

ケ

警告灯サポート.....402
携帯電話
選ぶ.....173
消去する.....175
接続する.....166,167
登録する.....172
パスキーの設定.....171
経由地
追加する.....143
通らないようにする.....156
現在地修正.....438
現在地情報の表示.....426
現在地の地名.....50
現在地ボタン.....23
現在地や軌跡の誤差.....482
県境案内.....67,429

コ

豪雨・地震.....70
交差点拡大図.....161
交差点目印案内.....430
高速ガイド.....48,65
施設を確認する.....74
自動表示.....427
高速道情報表示.....424
高速道優先.....429
高速道路の車速.....432
高速料金について.....161
交通状況変化時案内.....430
交通情報
きく.....230
行程ガイド.....48,65,77
自動表示.....427
IC 省略.....427
合流案内.....69,429
コマンドホイール.....23
混雑表示.....424

付録

V

サ

細街路.....30
最近行った場所にもう一度行く...133
再生できるディスクの種類.....211
サブディスプレイ.....23
サマータイム表示.....428

シ

シークレットモード
　解除する.....413
　設定する.....412
　パスワードを変更するには...413
シートベルト警告.....435
市街地図.....30
時間曜日規制考慮.....430
事故多発地点案内.....69,429
自車.....24
自車位置マーク.....50
施設マーク
　位置を修正する.....89
　種類を詳細に選ぶ.....87
　非表示にした施設マークを再び表示させる.....92
　非表示にする.....88
　表示する.....88
　分類ごとに選ぶ.....86
施設文字.....427
自宅
　位置を変更する.....44
　自宅に帰る.....134
　消去する.....45
　情報を確認する.....101
　登録する（簡単操作）.....42
　登録する（標準操作）.....42
実行ボタン.....23,26
自動着信.....436
車速
　高速道路の車速.....432
車速センサー.....24
渋滞考慮オートリルート.....432
渋滞情報.....54
渋滞表示.....424
渋滞予測情報.....394
縮尺で切り換える.....29
受話音量.....308
順調表示.....424
ジョイスティック.....23,26
消去する
　回避エリア.....111
　携帯電話.....175
　施設マーク.....91
　自宅.....45
　スケジュール.....408
　接続先.....182
　通信機能の登録内容.....183
　パーツを消去する.....195
　保存データ.....415
　マーク.....105
　目的地履歴.....133
　ユーザー施設マーク.....95
　よく行く地点.....101
　ルートの学習内容.....443
　HDD サウンドコンテナ.....287
情報取得周期.....433
情報を確認する
　回避エリア.....111
　最新ニュース.....186
　施設.....79
　施設マーク.....80
　自宅.....81,101
　マーク.....105,108
　ユーザー施設マーク.....94
　よく行く地点.....81,101
　VICS 情報マーク.....81
新規道路データ配信.....146,207
シンプル案内.....431

ス

スクロール方面表示.....31
図形情報割込み.....419
スケール表示.....50
スケールを切り換える.....29
スケジュール
　確認する.....407
　消去する.....408
　追加する.....404
　変更する.....407
スマート全地図更新.....444
スマート IC 案内.....430

セ

接続先
　選ぶ.....178
　消去する.....182
　追加する.....180,181
接続する
　携帯電話.....166
　Bluetooth.....170
設定する
　愛車プロフィール.....196
　案内設定.....429
　インターナビ /VICS 設定.....433
　インターナビ・ウェザー.....433
　オーディオの設定.....446

回避エリア.....110
経由地.....143
高速ガイド自動表示.....427
シークレットモード.....412
システム設定.....438
車両警告設定.....435
地図表示設定.....424
通信／電話設定.....436
テレビや DVD の設定.....447
ナビ機能の設定.....422
マイカースケジュール.....199
目的地.....132
internavi ダイレクト.....188

ソ

走行軌跡.....50,482
走行軌跡自動消去.....427
走行軌跡消去.....424
走行軌跡表示.....424
操作パネル色.....438
操作モードを選ぶ
　簡単操作モード.....40
　標準操作モード.....40
測位.....480
測位システム.....480

タ行

チ

地図色.....425
地図色時刻連動.....428
地図縮尺詳細操作.....438
地図スクロールする.....31
地図データを更新する.....444
地図の縮尺を切り換える.....29
地図の表示方法を変える.....46,62
地図の見かた.....52
　インターナビ VICS.....54
　VICS 情報.....54
地図の向きを決める
　基本画面.....46
　右画面.....48
地図バージョン.....419
地図をスクロールしたとき.....60
着信音量.....436
駐車場
　オートガイド.....123
　周辺検索.....123
　都道府県別に探す.....122
　VICS 駐車場.....126
駐車場オートガイド.....123
駐車場セレクト.....123
　設定する.....124,434
駐車場マップ表示.....425
調節する
　案内音量.....33
　映像の色を調節する.....447
　オーディオの音量.....220
　音質.....446
　画面の明るさ.....83
　着信音量／受話音量.....308
直線誘導線表示.....427

ツ

追加する
　カーカルテ.....193
　経由地.....143
　スケジュール.....404
　接続先.....180,181

テ

ディスクインジケータ.....23
ディスク挿入口.....23,217
ディスク取り出しボタン.....23,217
ディスクの取り扱い.....210
　入れる.....217
　取り出す.....217
テレビ
　サブメニュー.....250
　初期スキャン.....248,255
　スキャン.....251
　操作画面.....249
　番組表を見る.....253
　表示サイズを切り換える.....254
　複数の音声を切り換える.....253
　放送局を選ぶ.....249
　放送局を記憶する.....252
　放送局を探す.....251
　マルチ編成を切り換える.....254
　見る.....248
　AUTO SELECT.....252
　1 局ずつ探す.....251
テレビや DVD ビデオの設定
　映像の色を調節する.....447
　表示サイズを切り換える.....254
　変更する.....447
　ワイド画面に切り換える.....264
　DVD ビデオの初期設定.....448
天気音声案内.....431
電話接続設定.....436
電話帳ユーザー切換.....436
電話帳読み込み.....436

ト

到着予想時刻 50,429

登録する

- 回避エリア.....109
- 緊急時の連絡先.....198
- 携帯電話.....172
- 自宅.....42
- マーク.....102
- ユーザー施設マーク.....93
- よく行く地点.....98

通りたくない地域を登録する 109

時計表示.....427

都市高速マップ.....62

都市高速マップ表示.....424

ドライビングマップ.....64

ナ行

ナ

ナビ機能の設定

- 案内設定.....429
- インターナビ /VICS 設定.....433
- システム設定.....438
- 車両警告設定.....435
- 設定する.....422
- 地図表示設定.....424
- 通信／電話設定.....436
- 変更する.....423

ナビゲーション画面の見かた 50

ナビゲーションシステム 24

ナビメニューボタン.....23

ニ

二ヶ国語放送 253

ハ行

ハ

パーキングブレーキ警告.....435

パーソナル・ホームページと同期する

- カーカルテ.....191
- すべての情報.....189
- マーク 107

ハードディスク.....485

- 容量を確認する.....294

場所で探す

- 地図をスクロールして探す...128
- マップコードで探す 127
- 郵便番号で探す 127

場所を探した後にできること 129

場所を探す

- 施設のジャンルで探す 116
- 住所で探す.....121
- 近くにある施設を探す 117
- 地名 121
- 駐車場 122
- 電話番号で探す.....115
- 名称で探す.....114
- よく使う条件で周辺の場所を探す 119
- ルート周辺の施設を探す 118

パスキーの設定.....171

速い速度でカーブに近づくと・・・ 66

ハンズフリー電話

- 受話音量 / 着信音量を調節 308
- 接続する.....306
- 設定する.....307
- 電話帳 309
- 履歴 322
- ワンタッチダイヤル 318

ハンズフリー電話を使う 305

ヒ

ビデオを見る 266

表示する

- オーディオ画面.....221
- カスタマイズメニュー 61
- 高速ガイド.....65
- 施設マーク.....91
- 全ルート.....148
- 時計表示.....427
- ナビゲーション画面 221
- ポイントメニュー 60
- ルート区間.....150
- ワンプッシュメニュー 61
- VICS 情報 433
- 24 時間表示.....426

ビル立体表示 426

フ

フェリー使用 431

フォルダ 216

踏み切り案内 69,429

ふらつき検知警報.....435

フローティングカーシステム 395

フローティングカー情報.....395

フローティングカーデータ 395

プログラムバージョン.....419

プログレッシブコマンダー 23

プロバイダ 178

ヘ

ヘルプモード 41

変更する

- 案内設定.....429
- インターナビ /VICS 設定.....433
- オーディオの設定.....446

カーカルテ（パーツ）.....195
カスタマイズメニュー.....440
現在地.....442
システム設定.....438
車両警告設定.....435
スケジュール.....407
地図表示設定.....424
通信／電話設定.....436
テレビや DVD の設定.....447
ナビ機能の設定.....422
ルート計算条件.....152,153
ワイド画面に切り換える....264
DVD の視聴制限.....449
DVD ビデオの初期設定.....447
編集する
回避エリア.....110
自宅.....44
プレイリスト.....282
マーク.....103
ユーザー施設マーク.....94
よく行く地点.....99

ホ

ポイントメニュー.....60
方位.....46
方角マーク.....50
方面看板表示.....50,426

マ行

マ

マーク
消去する.....105
情報を確認する.....108
登録する.....102
パーソナルホームページと同期する.....107
編集する.....103
目的地にする.....135
マーク地点リスト画像同期.....434
マークの種類.....104
マップクリップ.....414
マップコード.....487
マップマッチング.....24
マルチサービス.....254

メ

メディア.....221
メニュー音声読み上げ.....438

モ

目的地
設定する.....132
目的地 / ルートボタン.....23
目的地 / ルートボタンを押したとき.....56
簡単操作モードのとき.....56
標準操作モードのとき.....57
目的地にする
最近行った場所.....133
自宅.....134
マーク.....135
よく行く地点.....134
目的地履歴.....133
消去する.....133
文字情報割込み.....433
文字入力のしかた.....34
戻るボタン.....23

ヤ行

ユ

ユーザー施設マーク
消去する.....95
情報を確認する.....94
登録する.....93
編集する.....94
有名施設リアル表示.....427
有料道路の車速.....432

ヨ

よく行く地点
消去する.....101
情報を確認する.....101
登録する.....98
編集する.....99
目的地にする.....134

ラ行

ラ

ラジオ
エリア選局.....229
きく.....225
サブメニュー.....226
スキャン.....228
操作画面.....225
放送局を記憶する.....227
放送局を探す.....228
AUTO SELECT.....229

リ

リアル拡大図表示.....426
リフレッシュ案内.....430
リモコン番号.....250

ル

ルート
迂回計算.....151
ルート案内時連動取得.....433
ルート案内を一時中止する.....159
再開する.....159
ルート学習.....431
ルート再計算.....153

レ

レーン情報.....50,68

ワ行

ワ

ワイド画面に切り換える.....264
ワンセグ.....248
ワンプッシュメニュー.....61,187

アルファベット行

A

AAC.....215
きく.....234
サブメニュー.....235
スキャン再生.....236
操作画面.....234
ファイルの仕様.....215
ランダム再生.....237
リピート再生.....236
AUDIO 電源ボタン.....23
AUDIO 表示ボタン.....23
AV 入力端子.....266

B

Bluetooth
接続先を選ぶ.....179
接続先を追加する.....181
接続する.....170
接続を無効にする.....175

D

DISC.....23
DVD ビデオ
サブメニュー.....258,261
視聴制限のレベルを変更する.....449
初期設定を変更する.....447
操作画面 (再生中).....257,260
操作画面 (停止中).....259,262
操作画面を表示する.....256
タイトル番号を入力する.....263
チャプター番号を入力する.....263
見る.....256
ワイド画面を切り換える.....264

E

EPG.....250,253
ETC.....368
スピーカーの音量を調節する.....372
ETC カードを入れる / 取り出す.....371
ETC 車載器の各部の名称.....370
ETC 案内.....431

F

FM/AM ボタン.....23
FM 文字多重放送を見る.....390
FOLDER ボタン.....23

G

GPS.....24,480

H

HDD サウンドコンテナ.....267
オーディオメニュー.....273
きく.....272
曲を探す.....276
検索機能を使う.....277
スキャン再生.....275
すべての曲を消去する.....288
操作画面.....272
タイトル情報を取得する.....289
トラックを消去する.....287
プレイリスト.....269
プレイリストを消去する.....287
プレイリストを作る.....280
プレイリストを編集する.....282
ランダム再生.....275
リピート再生.....274
録音する.....270
録音を停止する.....270
No Title リスト.....291
HDD ボタン.....23
Honda からのお知らせを確認する.....184

付録

V

I

iPod
- 階層 242
- きく 243
- サブメニュー 244
- 操作画面 243
- ランダム再生 247
- リピート再生 246

iPod の曲をきく 242

J

JIS 第二水準 36

M

MP3 213
- きく 234
- サブメニュー 235
- 操作画面 235
- SKIP ボタン 23

T

TUNE ボタン 23

TV/AUX ボタン 23

U

USB アダプター 219
- 接続する 220
- 対応機器 219

USB メモリー 297
- 新しくできた道路を更新する 301
- 画像を扱う 302
- きく 238
- サブメニュー 239
- 情報を確認する 303
- スキャン再生 240
- 接続する 326
- 操作画面 238
- マーク地点リストを操作する 298
- ランダム再生 241
- リピート再生 240

V

VICS 378
- インターナビ VICS 381
- お問い合わせ先 400
- 放送局を選ぶ 388
- FM 文字多重放送 390
- FM-VICS 378

VICS 情報
- 確認する 382
- 画面表示について 380
- 受信しにくい状況 397
- 図形情報を見る 385
- 注意事項 399
- 提供方法 378
- 文字情報を見る 385
- 割り込み情報 386

VICS 情報マーク
- 情報を確認する 81
- マークの種類 55

VICS センターの運用時間 400

VICS 駐車場マーク表示 424

VICS ルート計算 393

W

WMA 214
- きく 234
- サブメニュー 235
- スキャン再生 236
- 操作画面 234
- ランダム再生 237
- リピート再生 236

数字行

数字

1 画面地図 62

2 画面
- 右画面のスケールを変えるには 29

2 画面地図 63

3 桁チャンネル番号 248

3D ハイブリットセンサー 24,480

3D マップ 30,64

3D マップ角度調整 426

3D/2D マップ 64

6 ルート計算 152

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第１章　総則

（約款の適用）
第１条
財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の４の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第２条
当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第３条
この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス
　当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICS サービス契約
　当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
　当センターと VICS サービス契約を締結した者
(4) VICS デスクランブラー
　ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）
第４条
VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス
　文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
　簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
　車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）
第５条
当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第３章　契約

（契約の単位）
第６条
当センターは、VICS デスクランブラー１台毎に１の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第７条
VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK －ＦＭ放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第８条
VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）
第９条
加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第４条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条
加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第 11 条
当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第 12 条
1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

(料金の支払い義務)

第 13 条

加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条

当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条

1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条

加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条

1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表

視聴料金 315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

Gracenote サービスについて

以下の内容を読んでいただき、同意の上ご使用ください。

著作権について

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください : www.gracenote.com

Gracenote からの CD および音楽関連データ :

Copyright © 2000-2008 Gracenote.

Gracenote Software: Copyright 2000 - 2008 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります :

#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、

およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。

Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。

Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。

Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください :

www.gracenote.com/corporate

会社概要

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。

Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2008

M E M O

お問い合わせ、ご相談窓口

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　**0120-112010**（イイフレアイオ）

受付時間　09:00 ～ 12:00
13:00 ～ 17:00

〒 351-0188 埼玉県和光市本町 8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お問い合わせ前に準備ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① **車検証記載事項**
　車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
② **車種名、タイプ名、走行距離**
③ **ご購入年月日**
④ **販売店名**
⑤ **地図バージョンを確認する** *(→P419)*

HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

インターネットでも取扱説明情報をお伝えしております。
Digital Owner's Manualのホームページ
http://www.honda.co.jp/manual/

30TL3V00
00X30-TL3-V001

Ⓨ PI 3000.2008.10.9
©2008 本田技研工業株式会社